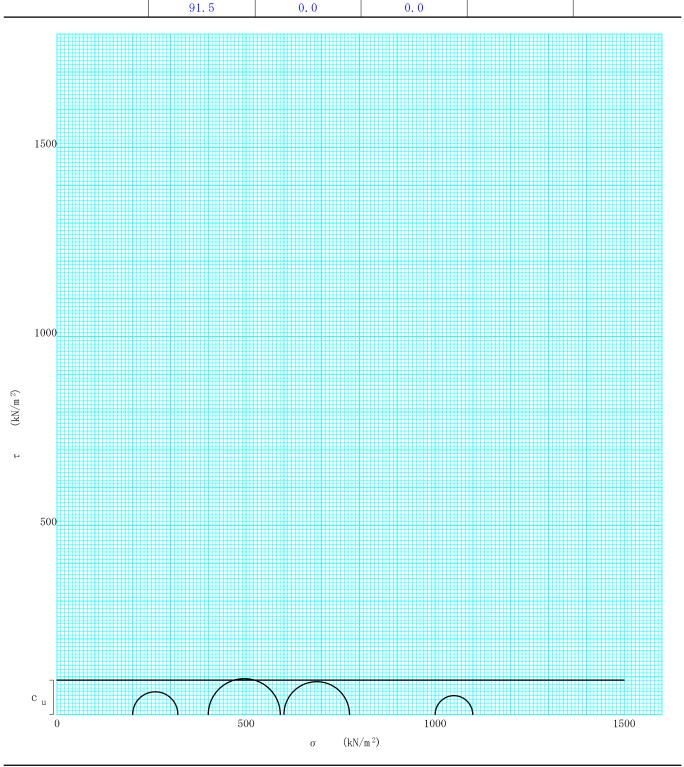
J G S 0521

土の三軸圧縮試験 [UU, CU, CU, CD] (応カーひずみ曲線)

查件名 ^{令和元年} 。 	度(仮称)夢洲南高。 		試験年月日 		2020年02月07日		
料番号(深さ)	試	験 者	内田昇一				
質名称		供 試 体 No.	1	2	3	4	
性限界 Wl%1)	116. 1	セル圧・ 圧密応力 kN/m ²	200	400	600	1000	
性限界 Wp% 1)	41.0	背 圧 u_b kN/m ²		101			
ずみ速度 %/min	1.0	圧縮強さ(σ _a -σ _r) _{max} kN/m ² 主 mt/λ-ボフ	121	191	175	100	
	要に応じて粘性土 場合は液性限界,		6. 89	6. 05	6. 47	5. 64	
塑	性限界,砂質土の	力 \subset					
	合は最小乾燥密度, 大乾燥密度等を記	最 有効側方向応力 σ' _{rr} kN/m²					
	する。	大 体積ひずみ きょ %					
		時 CD 間 隙 比 e _f					
		供試体の破壊状況	3	(54)			
300							
	(a - a) # 4						
	(σ _a -σ _r)-ε _a 曲紡 , u_e -ε_a曲紡	\					
	\ 						
200		2					
		*					
		3 -					
			<				
	//						
		1					
100		4					
							
100							
1//							
1/							
<i> </i>							
		 					
0 0. 00		5. 00	10. 00			15. 00	

J G S	0521	土の強度特性	土の三	軸圧縮試験〔U	TU]				
調査件名	調査件名 ^{令和元年度} (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託								
試料番号	(深さ)	S4-7 (62	2.00~63.00m)	試 験 者 内田昇一					
	強度定数	全	応	カ	有 效	応 力			
応力範囲		c_{u} kN/m ²	Ф и °	tan ϕ_{u}	c' kN/m²	φ, 。			
正規	王密領場	戊							
過圧	密領場	戊							
		01 5	0 0	0.0	1				



特記事項 供試体No.1及びNo.4は貝殻片の混入による内部亀裂の影響から圧縮強度が小さいため、No.2, No.3のモール円の漸近線より強度定数を求めた。

JGS 0520 土の三軸試験の供試体作製・設置

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月07日

試料番号(深さ)

S4-7 (62.00~63.00m)

試 験 者

内田昇一

四十年	f ク(休 <i>さ)</i> 	1 +0	pt 版 有 r j 由 开					
	xを用いる試験の基準番			21-2000 土の非圧密				
大)	料の状態1)		しさない	土 粒 子 の 密	度 $ ho_{ m s}^{3)}{ m g/cm^3}$	2. 643		
た 討	【体の作製型	<u> </u>	リミング法		4)			
Ŀ	質 名 称				4)			
	供試	本 No.	1	2	3	4		
			4. 995	5. 000	4. 995	4. 990		
	直径	cm	4. 990	5. 000	4. 990	4. 995		
			4. 995	4. 995	5.000	5.000		
初	平 均 直 往	圣 $D_{ m i}$ cm	4. 993	4. 998	4. 995	4. 995		
			10.000	10.000	10.000	10.000		
	高さ	cm	10.000	10.000	10.000	10.000		
期								
	平 均 高 る	\succeq $H_{ ext{i}}$ cm	10.000	10.000	10.000	10.000		
	体	責 $oldsymbol{V}_{ m i}$ cm 3	195. 80	196. 19	195. 95	195. 95		
状	含 水 上	七 w _i %	82. 3	78. 0	76. 2	76. 0		
	質	$ d m_{ m i}$ g	290. 37	300.60	303. 07	302. 03		
態	湿潤密	度 $\rho_{\rm ti}$ 3) g/cm ³	1. 483	1. 532	1. 547	1. 541		
	乾 燥 密 月	度 $ ho_{ m di}$ $^{3)}$ ${ m g/cm^3}$	0.813	0.861	0.878	0.876		
	間隙上	七 e 。3)	2. 249	2. 070	2.011	2. 018		
	飽 和 月	度 S _{ri} ³⁾ %	96. 7	99.5	100. 1	99. 6		
	相 対 密	度 $D_{\rm rc}$ 3) %						
	軸変位量の測	定方法		外部変位計に	より測定した			
設	設置時の軸変位量	i cm	0	0	0	0		
置	飽 和 過程の軸変位	畫 cm	0	0	0	0		
	軸変位	$\!$	0	0	0	0		
飽	体積変化量の	測定方法	計算により算出した					
和	設 置 時の体積変化量	i cm³	0	0	0	0		
過	飽和過程の体積変化量	走 cm³	0	0	0	0		
程	体 積 変 化 量	$ Arr igstar igstar V_{ m i}^{5)}{ m cm}^3$	0	0	0	0		
圧	高	\succeq H_0 cm	10.000	10.000	10.000	10.000		
密	直	$\mathbf{E} = oldsymbol{D}_0$ cm	4. 993	4. 998	4. 995	4. 995		
前	体	漬 $oldsymbol{V_0}$ cm 3	195. 80	196. 19	195. 95	195. 95		
試	乾 燥 密 月	度 ρ _{d0} ³⁾ g/cm ³	0.813	0.861	0.878	0.876		
験		七 e ₀ 3)	2. 249	2. 070	2.011	2. 018		
前	相対密	度 $D_{{ m r}_0}{}^{3)}$						
炉	容器 No	ο.						
乾	(炉乾燥供試体+容器)	 質量 g						
燥	容器質量	i g						
後	炉 乾 燥 質	量 <i>m</i> _s g	159. 28	168. 92	172. 02	171. 58		

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2)トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3)必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界,塑性限界,砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5)設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

J G S 0521

土の三軸圧縮試験 [UU, CU, CU, CD] (応カーひずみ曲線)

查件名 ^{令和元年度} 	(仮称)夢洲南高	架橋土質調査業務委託	武!	験年月日 	2020年02月] 07日
料番号(深さ)		S4-8 (66.00~67.00m)	試	験 者	内田昇	. —
= 質 名 称 5性限界 W ₁ % ¹⁾ 1性限界 W ₁ % ¹⁾ 六ずみ速度 %/min	119. 8 38. 3 1. 0	供 試 体 No. セル圧・ <u>圧密応力</u> kN/m² 背 圧 u_b kN/m² 圧縮強さ($\sigma_a - \sigma_r$) max kN/m²	1 200 295	2 400 345	3 600 274	4 1000 316
の場合 塑性I 場合に 最大 載する	二応じて粘性土 合は液性限界, 艮界,砂質土の ま最小乾燥密度, 乾燥密度等を記 る。	主	2.83	3. 21	2.48	2. 99
	a — σ _r) — ε _a 曲緩 u _e — ε _a 曲緩 ε _v — ε _a 曲線	₹				
500	2 4					
250						

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

JGS 0521 土の強度特性 土の三軸圧縮試験 [UU]

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月07日

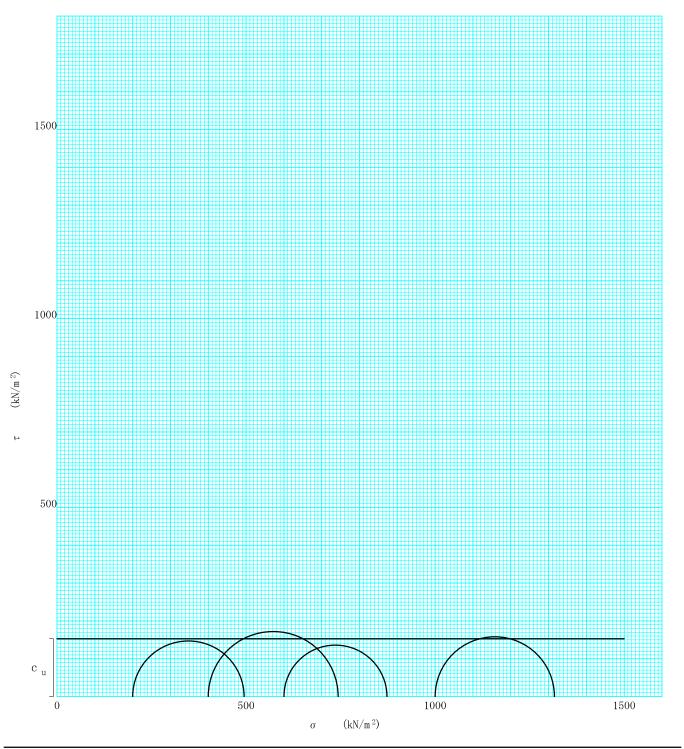
試料番号 (深さ)

S4-8 (66.00~67.00m)

試 験 者

内田昇一

強度定数	全	応	カ	有 効	応 力
応力範囲	$c_{ m u}$ kN/m ²	φ _u °	tan ϕ_{u}	c' kN/m²	φ' °
正規圧密領域					
過圧密領域					
	153. 8	0.0	0. 0		



JGS 0520 土の三軸試験の供試体作製・設置

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月07日

試料番号(深さ)

S4-8 (66.00~67.00m)

試 験 者

内田昇一

	まり(休 <i>さ)</i> 	`	pt 被 相 ri 田 开					
	xを用いる試験の基準番			21-2000 土の非圧密				
大 ;	料の状態 1)		しさない	土粒子の密	度 $ ho_{ m s}^{3)}{ m g/cm^3}$	2. 643		
大 討	大体の作製 ²⁾	トリ	リミング法		4)			
Ŀ	質 名 称				4)			
	供試	体 No.	1	2	3	4		
			4. 995	5. 000	5. 000	4. 995		
	直径	cm	4. 995	4. 995	5. 000	4. 995		
400			5. 000	4. 990	4. 995	5. 000		
初	平 均 直 往	怪 $D_{ m i}$ cm	4. 997	4. 995	4. 998	4. 997		
			10.000	10.000	10.000	10.000		
	高さ	cm	10.000	10.000	10.000	10.000		
期								
	平 均 高	$\stackrel{ ag{d}}{=} H_{ ext{i}}$ cm	10.000	10.000	10.000	10.000		
	体 和	債 $oldsymbol{V}_{ ext{i}}$ $ ext{cm}^3$	196. 11	195. 95	196. 19	196. 11		
状	含 水 」	比 w _i %	75. 9	73. 6	76. 2	74. 9		
	質	量 <i>m</i> _i g	301. 93	305. 10	301. 72	302. 99		
態	湿潤密	度 $\rho_{\mathrm{ti}}^{3)}\mathrm{g/cm}^{3}$	1.540	1. 557	1. 538	1. 545		
	乾 燥 密	要 ρ _{di} ³)g/cm³	0.875	0.897	0.873	0.883		
	間隙	比 $e_{ m c}$ 3)	2.020	1. 947	2. 028	1. 992		
	飽 和 月	变 S _{ri} ³⁾ %	99. 3	99. 9	99. 3	99. 4		
	相 対 密	变 D rc ³⁾ %						
	軸変位量の測	定方法		外部変位計に	より測定した			
設	設置時の軸変位	量 cm	0	0	0	0		
置	飽 和 過程の軸変位	量 cm	0	0	0	0		
	軸 変 位	量 <i>△H</i> _i 5) cm	0	0	0	0		
飽	体積変化量の	測定方法	計算により算出した					
和	設 置 時の体積変化	量 cm³	0	0	0	0		
過	飽和過程の体積変化	量 cm³	0	0	0	0		
程	体 積 変 化	量 $\angle V_{i}$ 5) cm ³	0	0	0	0		
圧	高	$ \stackrel{>}{\succeq} H_0 \text{cm} $	10.000	10.000	10.000	10.000		
密	直 1	怪 $oldsymbol{D_0}$ cm	4. 997	4. 995	4. 998	4. 997		
前(体	漬 $oldsymbol{V}_0$ ${ m cm}^3$	196. 11	195. 95	196. 19	196. 11		
試	乾燥密	变 ρ _{d0} ³⁾ g/cm ³	0.875	0.897	0.873	0.883		
験		比 e_0 3)	2.020	1. 947	2. 028	1. 992		
前	相対密	要 $D_{{ m r}_0}{}^{3)}$						
炉	容 器 N							
乾	(炉乾燥供試体+容器)	 質量 g	+					
燥		量 g						
後	炉 乾 燥 質	量 m _s g	171. 63	175. 73	171. 27	173. 22		
	1	- ş - 3						

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2)トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3)必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界,塑性限界,砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5)設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

J G S 0521

土の三軸圧縮試験 [UU], CU, CU, CD] (応カーひずみ曲線)

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 試験年月日 2020年02月07日 $S4-9 (71.00 \sim 72.00 \text{m})$ 内田昇-試料番号 (深さ) 試 験 者 土質名称 2 3 供 試 体 No. 1 4 200 600 1000 液性限界 W L% 1) 78. 1 セル圧・圧密応力 400 kN/m^2 25. 5 塑性限界 Wr% 1) 圧 **и** _b kN/m^2 1.0 335 358 366 367 ひずみ速度 %/min 圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ kN/m² 軸ひずみ <u>ε_{af}</u> 3.26 3.28 2.52 特記事項 1) 必要に応じて粘性土 2.12 応 の場合は液性限界, 間隙水圧 $u_{\rm f}$ kN/m² 力 塑性限界,砂質土の \overline{CU} 差 有効軸方向応力 σ'_{af} kN/m 2 場合は最小乾燥密度, 最 最大乾燥密度等を記 有効側方向応力 $\sigma'_{rf} kN/m^2$ CD 体積ひずみ ε_{vf} % 大 載する。 時 供試体の破壊状況 (σ_a-σ_r)-ε_a曲線 <u>u e - ε a</u>曲線 主応力差($\sigma_a - \sigma_r$),軸圧縮に伴う間隙水圧増分 $u_e = u - u_b (t_N/m^2)$ 400200 0.005.00 10.00 15.00軸 ひ ず み ϵ_a (%)

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

JGS 0521 土の強度特性 土の三軸圧縮試験 [UU]

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月07日

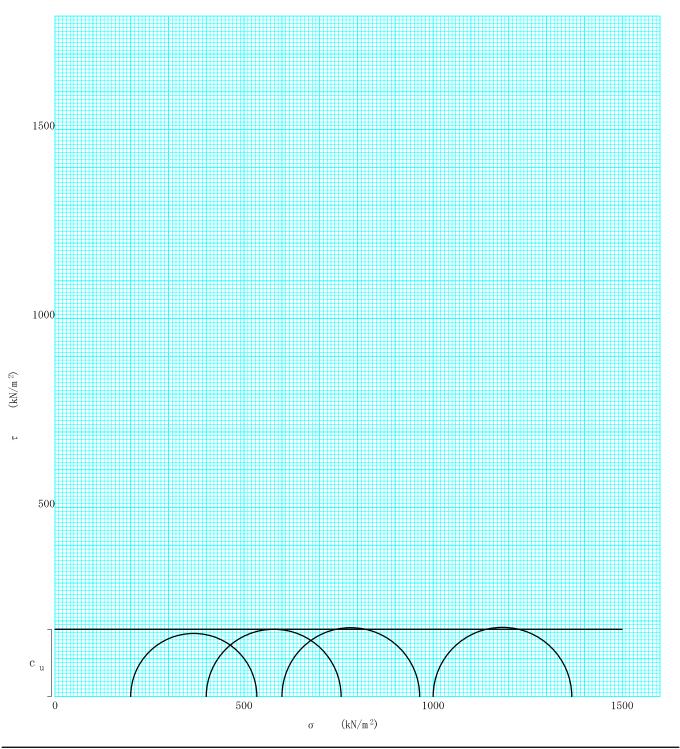
試料番号 (深さ)

S4-9 (71.00~72.00m)

試 験 者

内田昇一

強度定数	全	応	カ	有 効	応 力
応力範囲	$c_{ m u}$ kN/m ²	φ _u °	tan ϕ_{u}	c' kN/m²	φ' °
正規圧密領域					
過圧密領域					
	178. 2	0. 0	0. 0		



JGS 0520 土の三軸試験の供試体作製・設置

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月07日

試料番号 (深さ)

S4-9 $(71.00 \sim 72.00 \text{m})$

試 験 者

内田昇一

八个十百	すり (休 <i>さ)</i> 	54 3 (1	P(
洪試体	xを用いる試験の基準番			21-2000 土の非圧密				
£ ;	料の状態1)		乱した	土 粒 子 の 密	度 $ ho_{ m s}$ $^{3)}$ g/cm 3	2. 713		
は 討	【体の作製②	トリ	リミング法 		4)			
<u>t </u>	質 名 称				4)			
	供試	本 No.	1	2	3	4		
			4. 995	4. 995	4. 995	4. 990		
	直径	cm	4. 995	5. 000	4. 990	4. 995		
dere .			5. 000	5. 000	4. 995	5. 000		
初	平 均 直 往	${f E} m D_{ m i} cm$	4. 997	4. 998	4. 993	4. 995		
			10.000	10.000	10.000	10.000		
	高 さ	cm	10.000	10.000	10.000	10.000		
期								
	平 均 高 。	$\stackrel{>}{\succeq} H_{ ext{i}}$ cm	10.000	10.000	10.000	10.000		
	体	責 $oldsymbol{V}_{ m i}$ cm 3	196. 11	196. 19	195. 80	195. 95		
状	含 水 上	七 w _i %	47. 3	48. 1	46. 6	46.8		
	質	武 $m_{ m i}$ g	337. 39	338. 32	341. 64	341.10		
態	湿潤密	度 $ ho_{ m ti}^{~3)}{ m g/cm^3}$	1.720	1. 724	1. 745	1.741		
	乾 燥 密	度 $ ho_{ m di}^{~3)}{ m g/cm^3}$	1. 168	1. 164	1. 190	1. 186		
	間隙	七 $e_{ m c}$ $^{3)}$	1. 323	1. 330	1. 280	1. 288		
	飽 和 月	度 S _{ri} 3) %	97. 0	98. 1	98. 8	98.6		
	相 対 密	度 $D_{\rm rc}^{(3)}$ %						
-a-	軸変位量の測	定方法		外部変位計に	より測定した			
設置	設置時の軸変位	it cm	0	0	0	0		
置	飽 和 過程の軸変位	ida da d	0	0	0	0		
•	軸 変 位 』		0	0	0	0		
飽	体積変化量の	測定方法						
和	設 置 時の体積変化量	it cm³	0	0	0	0		
過	飽和過程の体積変化量	畫 cm³	0	0	0	0		
程	体 積 変 化 量		0	0	0	0		
圧	高	\succeq H_0 cm	10.000	10.000	10.000	10.000		
密	直	圣 $oldsymbol{D}_0$ cm	4.997	4. 998	4. 993	4. 995		
前	体 和	漬 $oldsymbol{V}_0$ cm 3	196. 11	196. 19	195. 80	195. 95		
試	乾 燥 密 月	度 ρ _{d0} ³⁾ g/cm ³	1. 168	1. 164	1. 190	1. 186		
験		七 e ₀ 3)	1. 323	1. 330	1. 280	1. 288		
前	相 対 密	度 $D_{r0}^{(3)}$						
炉	容 器 N	0.						
乾	(炉乾燥供試体+容器)	質量 g						
燥	容器質量	i g						
後	炉 乾 燥 質	量 <i>m</i> _s g	229. 06	228. 42	232. 98	232. 36		
	L. or		\					

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2)トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3)必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界,塑性限界,砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5)設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

J G S 0521

土の三軸圧縮試験 [UU, CU, CU, CD] (応カーひずみ曲線)

<u> </u>	要(仮称)夢洲南高 	架橋土質調査業務委託 	試	験年月日 	2020年02月	月05日
斗番号(深さ)		S4-10 (90.00~91.00m)	試	験 者	内田昇一	
質 名 称		供 試 体 No.	1	2	3	4
生限界 W L% 1)	91.8	セル圧・ 圧密応力 kN/m ²	200	400	600	1000
生限界 Wp% 1)	31. 2	背 圧 u_b kN/m²	202	420	496	276
デみ速度 %/min 記事項 1) 必	1.0 要に応じて粘性土	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{\text{max}} \text{ kN/m}^2$ 主 軸ひずみ ϵ_{af} %	392	430 2. 96	426 2, 82	376 3, 55
の	場合は液性限界,	心 問始表다. 1-N /m²	2. 00	2.00	2.02	0.00
	性限界,砂質土の 合は最小乾燥密度,	差 CU 有効軸方向応力σ'arkN/m²				
最	大乾燥密度等を記	最 有効側方向応力 σ' _{rr} kN/m² 大 体積ハボス c %				
載	する。	時 CD 14/19 0 7 9 % 7 6 vf 70				
		T			-	-
		供試体の破壊状況		1 7		
			1 1	V 1/2	1. 1	1
			1.7			1
			1		1.78	1
750						
	(
	(σ _a —σ _r)—ε _a 曲緩 _{и e} — ε _a 曲緩	<u>₹</u>				
	l εν 					
500						
	32 _ 4					
	Į.					
,						
	//					
///						
/						
250						
0						

JGS 0521 土の強度特性 土の三軸圧縮試験 [UU]

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月05日

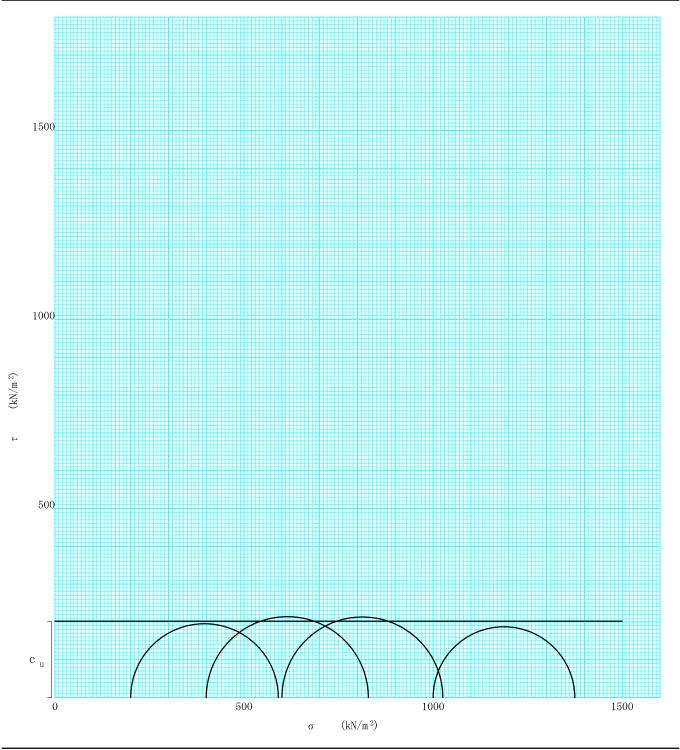
試料番号 (深さ)

S4-10 (90.00~91.00m)

試 験 者

内田昇一

強度定数	全	応	力	有 効	応力
応力範囲	$c_{ m u}$ kN/m ²	$\phi_{ m u}$ $^{\circ}$	tan $\phi_{ m u}$	c' kN/m ²	φ, °
正規圧密領域					
過圧密領域					
	202. 9	0. 0	0. 0		1



JGS 0520 土の三軸試験の供試体作製・設置

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月05日

試料番号 (深さ)

S4-10 (90.00~91.00m)

試 験 者

内田昇一

			JOC 05			
	xを用いる試験の基準都 			土 粒 子 の 密		2. 698
			リミング法		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2. 090
	は体の作製型		/ マク伝		4)	
<u> </u>	<u>質</u> 名 称 供 試 1	体 No.	1	2	3	4
	庆 成	<u>μ</u> ΝΟ.	5.000	4. 970	5. 000	5. 025
	直径	o.m	4. 990	4. 970	4. 995	4. 985
	臣 往	cm	4. 990	4. 975	5, 000	5. 005
初	平均直	$oxed{eta}_{ ext{i}}$ cm	4. 990	4. 995	4. 998	5. 005
,, -	平 均 但 1	径 $D_{ m i}$ cm	10. 000	10.000	10. 000	10. 000
	+ +					
期	高さ	cm	10. 000	10.000	10.000	10.000
	平均高	₹ 11 am	10. 000	10,000	10, 000	10. 000
		さ $H_{ m i}$ cm $\overline{ m d}$ $V_{ m i}$ cm 3				196, 74
状			195. 80	194. 78	196. 19	
100		比 w _i %	58. 1 322. 13	58. 0 323. 24	55. 8 326. 09	57. 9 325. 48
		量 m _i g				
態		度 $\rho_{\text{ti}}^{3)}$ g/cm ³	1.645	1. 660	1. 662	1.654
		度 ρ _{di} ³⁾ g/cm ³	1.041	1. 050	1.067	1. 048
		比 e _c 3)	1.592	1. 569	1. 528	1. 575
		度 S _{ri} 3) %	98. 4	99. 8	98. 4	99. 2
		度 D rc ³⁾ %		61 to at (4-21) -	1- 10 2001	
設	軸変位量の測			外部変位計に		
置	設置時の軸変位		0	0	0	0
	飽 和 過程の軸変位:		0	0	0	0
飽		量 ∠ <i>H</i> _i ⁵⁾ cm	0	0	0	0
和	体積変化量の		計算により算出した			
過	設 置 時の体積変化:		0	0	0	0
程	飽和過程の体積変化		0	0	0	0
,	体積 変化		0	0	0	0
圧		ප් $H_{ m 0}$ cm	10.000	10.000	10.000	10.000
密		径 $oldsymbol{D_0}$ cm	4. 993	4. 980	4. 998	5. 005
前(積 $oldsymbol{V}_0$ ${ m cm}^3$	195. 80	194. 78	196. 19	196. 74
試		度 ρ _{d0} ³⁾ g/cm ³	1.041	1.050	1. 067	1. 048
験 前		比 e ₀ 3)	1. 592	1. 569	1. 528	1. 575
前		度 D _{r0} ³⁾				
炉	容 器 N	о.				
乾	(炉乾燥供試体+容器)	質量 g				
燥	容 器 質	量 g				
後	炉 乾 燥 質	量 <i>m</i> _s g	203.77	204. 58	209. 35	206.11

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2)トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3)必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界,塑性限界,砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5)設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

ボーリング No. 5

土質試験結果一覧表(基礎地盤)

調査件名 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 整理年月日 2020年03月04日

整理担当者

内田昇一

						整理担当者	内 田	昇 一
· 结)		番号)	5P-3 (3.00-3.50m)	5P-6 (6. 00-6. 50m)	S5-1 (23. 90-24. 90m)	5P-26 (26. 00-26. 50m)	D5-1 (29. 00-29. 71m)	D5-2 (34. 00-34. 70m)
	湿潤密度	$\epsilon \rho_{\rm t} {\rm g/cm^3}$			1. 913		1. 726	1.630
_	乾燥密度	$\epsilon \rho_{\rm d} {\rm g/cm^3}$			1. 560		1. 197	1. 023
	土粒子の密度		2. 650	2. 651	2. 652	2. 646	2. 658	2. 670
	自然含水片	と w _n %	13. 2	15. 1	20. 2	39. 4	42. 0	59. 3
般		′_ e			0. 705		1. 231	1. 611
,,,,	飽 和 度	E $S_{ m r}$ %			85. 8		96. 2	98. 5
	石 分(78	5mm以上)%						
	礫 分 ¹⁾ (2 [/]	\sim 75mm) %	34. 3	41.6	10. 2	1.6	0. 7	0.3
粒	砂 分1)(0.	075~2mm)%	40. 1	38.3	83. 2	22. 1	12. 1	1. 2
	シルト分 ¹⁾ (o. c		19. 4	15. 1		37. 2	44. 4	39. 6
	粘 土 分100.	005mm未満)%	6. 2	5. 0	6,-6	39. 1	42.8	58. 9
	最大粒径		37. 50	37. 50	26. 50	9. 50	9. 50	4. 75
度	均等係数		71. 90	127. 01	3. 97	_		4. 28
	50%粒径 D 5		0.4413	1. 0510	0. 3706	0.0090	0. 0068	0. 0038
	10%粒径 D 1		0.0138	0. 0180	0. 1206			0.0012
コン	液性限界					60. 1	80. 5	105.8
コンシステンシ―特性	塑性限界					25. 4	31. 4	35. 1
ンシ	塑性指数					34. 7	49. 1	70. 7
特州								
分	地 盤 材 料 分 類 名		細粒分質礫質砂	細粒分質砂質礫	細粒分礫まじり砂	砂質粘土 (高液性限界)	砂まじり粘土 (高液性限界)	粘土 (高液性限界)
類	分類記号	 -	(SFG)	(GFS)	(S-FG)	(CHS)	(CH-S)	(CH)
	試験方法	<u> </u>					段階載荷	段階載荷
圧	圧縮指数	C C .					0. 65	0.82
/	圧密降伏応力						312	364
密								
_	一軸圧縮強さ	≤ q u kN/m²						
軸								
圧								
縮								
	試験条件	<u> </u>			CD		UU	UU
せ		c kN/m²			64	 	85	79
	全 応 カ	φ °			35. 5		0. 0	0.0
<i>h</i>	ا ما الم	c'kN/m²						
断	有 効 応 力	φ′°						

特記事項

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

¹⁾ 石分を除いた75mm未満の土質材料 に対する百分率で表す。

土質試験結果一覧表(基礎地盤)

調査件名 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 整理年月日 2020年03月04日

整理担当者

内田昇一

						整理担当者	内 田	昇 一
· 法	 大 料 ǎ ´深	番号)	D5-3 (40. 00-40. 70m)	D5-4 (47. 00-47. 70m)	5P-51 (51.00-51.34m)	5P-56 (56. 00-56. 27m)	S5-2 (60. 00-60. 90m)	
	湿潤密度	$\mathcal{E} \rho_+ g/cm^3$	1.614	1. 788			1.538	
_	乾燥密度		1.001	1. 266			0. 877	
	土粒子の密厚		2. 665	2. 700	2. 637	2. 639	2. 643	
	自然含水上		61. 0	41. 0	15. 3	10. 2	72. 3	
般		<u>"</u> Ł е	1. 663	1. 132			2. 015	
/1/		麦 S _r %	98. 2	98. 3			99. 0	
		5mm以上)%						
	礫 分 ¹⁾ (2	\sim 75mm) %	0. 0	0. 0	9. 7	48. 1	0. 4	
粒		075~2mm)%	0. 5	2. 5	78. 6	42. 5	1. 9	
·	シルト分 ¹⁾ (0.		46. 7	43. 1			44. 3	
	粘 土 分 ¹⁾ (0.		52. 8	54. 4	11:-7	9.4	53. 4	
	最大粒径		4. 75	2.00	9. 50	19. 00	4. 75	
度	均等係数		4. 37	<u> </u>	_	36. 47	4. 91	
	50%粒径 D 5		0.0047	0.0043	0. 3968	1. 7663	0.0045	
	10%粒径 D 1		0.0013			0. 0896	0.0013	
コン	液性限界	₹ w _L %	104. 5	67. 1			126. 5	
システ	塑性限界	₹ w , %	34. 3	25. 4			41. 2	
シシ	塑性指数	文 <i>I</i> p	70. 2	41.7			85. 3	
コンシステンシ―特性								
分	地 盤 材 料 分 類 名		粘土 (高液性限界)	粘土 (高液性限界)	細粒分礫まじり砂	細粒分まじり砂質礫	粘土 (高液性限界)	
類	分類記号	1. J	(CH)	(CH)	(S-FG)	(GS-F)	(CH)	
	試験方法	Ė	段階載荷	段階載荷			段階載荷	
圧	圧縮指数	女 C 。	0. 91	0.48			0. 97	
	圧密降伏応え	カ p 。kN/m²	419	567			534	
密								
_	一軸圧縮強さ	Ż q u kN/m²						
軸								
圧								
縮								
	試験条件	‡-	UU	UU			UU	
せ	△ ⊬ ±	c kN/m ²	122	109			91	
	全応力	φ °	0.0	0.0			0.0	
ん	+ # t +	c'kN/m²						
断	有効応力	φ'°						

特記事項

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

¹⁾ 石分を除いた75mm未満の土質材料 に対する百分率で表す。

土 粒 子 の 密 度 試 験 (測定)

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日 2020年02月21日

試 験 者 山口友紀

 試料番号(深さ)	5P-	-3 (3.00-3.50)m)	5P	-6 (6. 00-6. 5 ^o	()m)	
ピクノメーター No.	164	165	166	167	168	169	
	188, 791	184, 715	187. 155	187. 217	185, 067	184, 239	
m_b をはかったときの内容物の温度 T $^{\circ}$	17. 2	17. 2	17. 2	17. 2	17. 2	17. 2	
T $^{\circ}$ $^{\circ}$ における蒸留水の密度 $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$	0. 99874	0. 99874	0. 99874	0. 99874	0. 99874	0. 99874	
温度 <i>T</i> ℃の蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 <i>m</i> ¹⁾ g	176, 196	174. 156	175, 783	174, 456	173, 884	172, 428	
容 器 No.	164	165	166	167	168	169	
計 料 の (炉乾燥試料+容器)質量 g	68. 931	67. 285	64. 974	69. 190	64. 097	64. 427	
	48. 760	50.317	46. 712	48. 703	46. 142	45. 499	
<i>m</i> _s g	20. 171	16. 968	18. 262	20. 487	17. 955	18. 928	
土 粒 子 の 密 度 ρ _s g/cm³	2. 659	2. 644	2. 647	2. 648	2.648	2. 656	
平 均 値 ρ _s g/cm³		2. 650			2. 651		
試 料 番 号 (深 さ)	S5-1	(23. 90-24. 9	90m)	5P-2	26 (26. 00–26.	50m)	
ピクノメーター No.	198	199	200	170	171	172	
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m _b g	186. 543	192. 245	190. 570	187. 528	188. 185	184. 650	
m_b をはかったときの内容物の温度 T $^{\circ}$	16. 7	16. 7	16. 7	17. 2	17. 2	17. 2	
T $^{\circ}$ Cにおける蒸留水の密度 $ ho_{w}(T)$ g/cm 3	0. 99882	0. 99882	0.99882	0. 99874	0. 99874	0. 99874	
温度 T \mathbb{C} の蒸留水を満たしたときの $m_{a}^{(1)}$ g	173. 593	175. 271	174. 563	174. 454	174. 698	172. 221	
容 器 No.	198	199	200	170	171	172	
試 料 の (炉乾燥試料+容器)質量 g	67. 654	75. 413	73. 777	67. 215	68. 405	65. 627	
炉乾燥質量	46. 837	48. 209	48. 128	46. 238	46. 737	45. 649	
$m_{\rm s}$ g	20. 817	27. 204	25. 649	20. 977	21.668	19. 978	
土 粒 子 の 密 度 ρ _s g/cm ³	2. 643	2.656	2.657	2. 651	2.645	2. 643	
平 均 値 $ ho_{s}$ g/cm ³		2, 652		2. 646			
試料番号(深さ)	D5-1	(29. 00-29.	71m)	D5-	2 (34. 00-34.	70m)	
ピ ク ノ メ ー タ ー No.	179	180	182	183	184	187	
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m_b g	188. 214	191. 028	183. 256	186. 079	183. 786	186. 180	
m_{b} をはかったときの内容物の温度 T $^{\circ}$	17. 3	17.3	17. 3	17. 1	17. 1	17. 1	
T $^{\circ}$ Cにおける蒸留水の密度 $ ho_{w}(T)$ $\mathrm{g/cm^{3}}$	0. 99872	0. 99872	0. 99872	0. 99876	0. 99876	0. 99876	
温度 T $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ 0 蒸留水を満たしたときの $m_{\rm a}^{(1)}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$	174. 462	176. 420	171. 540	173. 145	170. 568	174. 935	
容 器 No.	179	180	182	183	184	187	
試 料 の (炉乾燥試料+容器)質量 g	71. 091	71.091	64. 392	67. 665	66.031	66. 864	
炉乾燥質量 容 器 質 量 g	49. 068	47. 679	45. 624	46. 995	44. 928	48. 897	
<i>m</i> _s g	22. 023	23, 412	18. 768	20. 670	21. 103	17. 967	
土 粒 子 の 密 度 ρ _s g/cm ³	2. 659	2. 656	2. 658	2. 669	2. 673	2. 670	
平 均 値 ρ _s g/cm³		2, 658			2. 670		

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_{\rm s} = \frac{m_{\rm s}}{m_{\rm s} + (m_{\rm a} - m_{\rm b})} \times \rho_{\rm w}(T)$$

土粒子の密度試験 (測 定)

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試 験 者 山口友紀

武 料 番 号 (深 さ)	D5-3	3 (40.00–40.7	70m)	D5-	4 (47. 00-47.	70m)	
ピクノメーター No.	188	189	190	192	193	194	
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_{\rm b}$ g	185. 851	185, 629	186, 771	187. 447	187. 158	183, 556	
m_b をはかったときの内容物の温度 T $^{ m C}$	17. 2	17. 2	17. 2	17. 0	17. 0	17. 0	
T \mathbb{C} における蒸留水の密度 $ ho_{w}(T)$ g/cm 3	0. 99874	0.99874	0.99874	0. 99877	0. 99877	0. 99877	
温度 T C $の 蒸留水 を満たしたときの (蒸留水 + ピクノメーター) 質量 m_{\rm a}^{(1)} g$	173. 104	173. 118	174. 727	174. 309	174. 657	171. 437	
容 器 No.	188	189	190	192	193	194	
試 料 の (炉乾燥試料+容器)質量 g	66. 266	65. 614	66. 174	70. 287	67. 141	61. 990	
炉乾燥質量 容 器 質 量 g	45. 867	45.602	46, 927	49. 424	47. 304	42. 764	
<i>m</i> _s g	20. 399	20. 012	19. 247	20. 863	19.837	19. 226	
土 粒 子 の 密 度 ρ _s g/cm³	2. 663	2. 665	2. 669	2. 697	2. 701	2.702	
平 均 値 ρ _s g/cm ³		2. 665			2. 700		
試料番号(深さ)	5P-5	1 (51.00-51.	34m)	5P-5	66 (56.00–56.	27m)	
ピクノメーター No.	173	174	175	176 177 178			
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m_b g	185. 581	187. 186	186. 596	185. 110	186. 465	186. 923	
m_b をはかったときの内容物の温度 T $^{\circ}$	17. 4	17. 4	17. 4	17. 2	17. 2	17. 2	
T \mathbb{C} における蒸留水の密度 $ ho_{w}(T)$ g/cm 3	0. 99870	0. 99870	0. 99870	0. 99874	0. 99874	0. 99874	
温度 T \mathbb{C} の蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター) 質量 $m_{\mathrm{a}}^{(1)}$ g	172. 594	173. 802	172. 938	172. 520	173. 913	174. 735	
容 器 No.	173	174	175	176	177	178	
試 料 の (炉乾燥試料+容器)質量 g	66. 154	69. 566	67. 287	63. 411	67. 161	66. 581	
炉乾燥質量 容 器 質 量 g	45, 233	48. 018	45. 329	43. 165	46. 947	46. 986	
<i>m</i> _s g	20. 921	21. 548	21. 958	20. 246	20. 214	19. 595	
土 粒 子 の 密 度 $ ho_{\rm s}$ g/cm 3	2. 633	2.636	2.642	2. 641 2. 635 2. 642			
平 均 値 $ ho_{\rm s}$ g/cm ³		2.637			2. 639		
試料番号(深さ)	S5-2	2 (60.00–60.9	90m)				
ピクノメーター No.	195	196	197				
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_{\rm b}$ g	190. 415	188. 354	186. 271				
$m_{\scriptscriptstyle b}$ をはかったときの内容物の温度 T $^{\circ}$	17. 0	17. 0	17. 0				
T $^{\circ}$ Cにおける蒸留水の密度 $ ho_{w}(T)$ g/cm 3	0. 99877	0. 99877	0. 99877				
温度 T \mathbb{C} の蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\mathrm{a}}^{(1)}$ g	177. 797	174. 337	174. 252				
容 器 No.	195	196	197				
試 料 の (炉乾燥試料+容器)質量 g	71. 285	70, 935	67. 239				
炉乾燥質量 容 器 質 量 g	51. 025	48. 374	47. 930				
<i>m</i> _s g	20. 260	22. 561	19. 309				
土 粒 子 の 密 度 ρ _s g/cm³	2. 648	2. 637	2. 645				
平 均 値 ρ _s g/cm³		2. 643					

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_{\rm s} = \frac{m_{\rm s}}{m_{\rm s} + (m_{\rm a} - m_{\rm b})} \times \rho_{\rm w}(T)$$

JIS A 1203 J G S 0121

土の含水比 試 験

調査件名	令和元年度	(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託
------	-------	--------------------

試験年月日

2020年02月20日

試験者 小林いづみ

試料番号(注	架 さ)	5	P-3 (3.00-3.50m))	5P-6 (6.00-6.50m)				
容器No		404	513 580		442	516	569		
$m_{\rm a}$	g	451. 91	441. 73	423. 61	349. 40	334. 36	347. 02		
т ь	g	419. 13	410. 74	394. 33	327. 11	311.92	323. 81		
т с	g	169. 86	169. 64	178. 04	168. 46	168. 20	175. 56		
w	%	13. 2	12. 9	13. 5	14.0	15.6	15. 7		
平均值 w %			13. 2			15. 1			
特記事項									

試料番号()	深 さ)	SE	5-1 (23, 90-24, 90	m)	5P-26 (26.00-26.50m)					
容器No.		450	580 563		181	242	133			
<i>m</i> _a	g	646. 40	692. 74	742.61	86. 45	78. 36	81. 41			
<i>m</i> _b	g	566. 56	605. 01	647. 70	70. 51	64. 05	66. 78			
т с	g	167. 90	178. 04	176. 29	30. 95	26. 87	29. 63			
w	%	20.0	20. 5	20. 1	40. 3	38.5	39. 4			
平均値 w%			20. 2			39. 4				
特記事項										

試料番号(深	さ)	D5	-1 (29. 00-29. 71)	m)	D5-2 (34.00-34.70m)					
容 器 No.		145	199	182	116	201	236			
$m_{\rm a}$	g	84. 79	76. 74	78. 43	74. 50	75. 83	72. 03			
$m_{\rm \ b}$	g	69. 72	63. 05	63. 76	58. 35	58. 28	55. 66			
<i>m</i> _c	g	32. 63	31. 61	28. 81	31. 07	28. 80	28. 03			
w	%	40. 6	43. 5	42. 0	59. 2	59. 5	59. 2			
平均值w	%		42. 0			59.3				
特記事工	頁									

試料番号(%	深 さ)	D5	5-3 (40.00-40.70	m)	D5	D5-4 (47.00-47.70m)				
容器No		111	129	110	155	203	101			
$m_{\rm a}$	g	64. 78	67. 12	68. 50	75. 17	78. 20	76. 33			
<i>m</i> _b	g	50.04	53. 60	53. 77	60. 78	63. 76	62. 89			
<i>m</i> _c	g	25, 93	31. 50	29. 51	25. 66	28. 39	30. 25			
w	%	61. 1	61. 2	60.7	41.0	40.8	41. 2			
平均值 w %			61. 0			41. 0				
特記事	項									

試料番号(注	深 さ)	5P-	-51 (51.00-51.34	m)	5P-56 (56.00-56.27m)				
容 器 No).	600	397 489		531	510	417		
<i>m</i> _a	g	254. 26	231. 39	234. 63	293. 01	275. 12	280. 24		
<i>m</i> _b	g	243.60	223. 03	226. 18	281.64	265. 32	270. 13		
<i>m</i> _c	g	176. 24	167. 78	169. 10	167. 40	169. 76	173. 67		
W	%	15.8	15. 1	14. 8	10.0	10.3	10. 5		
平均値	w %		15. 3			10. 2			
特記事	項								

 $w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$ m_a : (試料+容器)質量 m_b : (炉乾燥試料+容器 m_b : (炉乾燥試料+容器) 質量

 m_c : 容器質量

	203 121	土の含	水比	試験		
調査件名 ^{令和元年} 	年度(仮称)夢洲南高架橋 	新土質調査業務委託 		試験年月	日 2020年	02月20日
				試験	者 小林	いづみ
試料番号(深 さ)	S5-2	(60.00-60.90m)				
容 器 No.	126	122	186			
$m_{\scriptscriptstyle a}$ g	70. 42	74. 32	72. 43			
<i>т</i> _ь g	53. 59	56. 40	53. 45			
<i>m</i> _c g	30. 48	31. 60	27. 07			
w %	72.8	72. 3	71. 9			
平均值 w%		72. 3				
特記事項						
試料番号(深 さ)						
容 器 No.						
$m_{\rm a}$ g						
т _в g						
$m_{\scriptscriptstyle c}$ g						
w %						
平均值 w %		·				
特記事項						
試料番号(深 さ)						
容 器 No.						
$m_{\scriptscriptstyle a}$ g						
<i>т</i> _ь g						
<i>m</i> _c g						
w %						
平均值 w%						
特記事項						
			,			
試料番号(深 さ)						
容器 No.						
m _a g	1					
<i>т</i> _в g						
	† -					

<i>т</i> _b g			
<i>m</i> _c g			
w %			
平均値 w % 特 記 事 項			
特記事項			
試料番号(深 さ) 容器 No.			_
容 器 No.			
m _a g			
m, g			

平均值 w% 特 記 事 項

 $w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$ m_a : (試料+容器)質量 m_b : (炉乾燥試料+容器)質量 m_c : 容器質量

土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

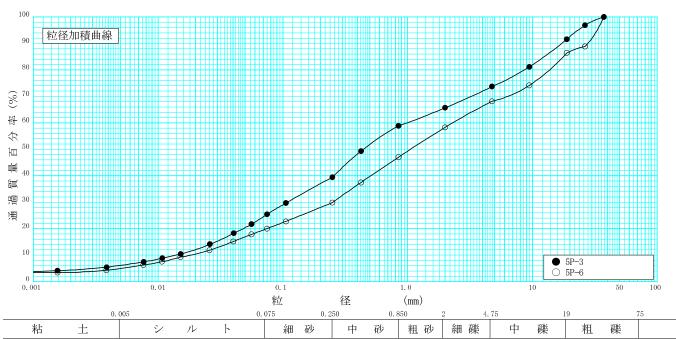
調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試 験 者

												111	± ,
試料番号 (深 さ)	-	P-3 -3.50m)	-	P-6 -6.50m)		辑 (t 深	料	番	号 さ)		5P-3 (3.00-3.50m)	5P-6 (6.00-6.50m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗		礫		分		%	8. 4	13. 5
	75		75		中		礫		分		%	17. 9	18. 2
\$	53		53		細		礫		分		%	8. 0	9. 9
	37. 5	100. 0	37. 5	100.0	粗		砂		分		%	6.8	11. 3
a	26. 5	96. 9	26. 5	88. 9	中		砂		分		%	19. 4	17. 2
9	19	91.6	19	86. 5	細		砂		分		%	13. 9	9.8
w [9. 5	81.3	9. 5	74. 2	シ	ル		<u>۲</u>	分		%	19. 4	15. 1
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	4. 75	73. 7	4. 75	68. 3	粘		土		分		%	6. 2	5.0
	2	65. 7	2	58. 4	2mr	nふる	V١	通過質	重量	百分率	%	65. 7	58. 4
分	0.850	58. 9	0.850	47. 1	425	5 μ m S	っる	い通道	過質量	百分	率 %	49. 4	37. 6
	0. 425	49. 4	0. 425	37. 6	75,	μms.	るレ	・通過	質量	百分率	%	25. 6	20. 1
析	0. 250	39. 5	0. 250	29. 9	最	大		粒	径		mm	37. 50	37. 50
	0. 106	29. 7	0. 106	22. 9	60	%)	粒	径	D_{60}	$^{ m mm}$	0. 9886	2. 2888
	0.075	25. 6	0. 075	20. 1	50	%)	粒	径	D_{50}	mm	0. 4413	1. 0510
	0.056	21.8	0. 056	17. 9	30	%)	粒	径	D_{30}	mm	0. 1083	0. 2513
沈	0.040	18. 4	0. 040	15. 3	10	%)	粒	径	D_{10}	$^{ m mm}$	0. 0138	0.0180
<i>i</i> L [0. 026	14. 1	0. 026	12. 0	均	等		係	数	$U_{ m c}$		71. 90	127. 01
降	0. 015	10. 5	0. 015	9. 3	曲	率		係	数	<i>U</i> ′ _c		0.86	1. 53
	0. 011	8. 9	0. 011	7. 6	土	粒	子 .	の密	度	ρ_{s}	g/cm	2.650	2. 651
分	0. 0077	7. 5	0. 0077	6. 4	使	用した	たら	分散剤]			ヘキサメタりん 酸ナトリウム	ヘキサメタりん 酸ナトリウム
析	0. 0039	5. 6	0. 0039	4. 4	溶	液濃原	叓,	溶液	添力	量		飽和溶液, 10cc	飽和溶液, 10cc
171	0. 0016	4. 2	0. 0016	3. 5				石	分 %	6			
-										$oldsymbol{D}_{20}$	$^{ m mm}$	0.048	0.074



土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

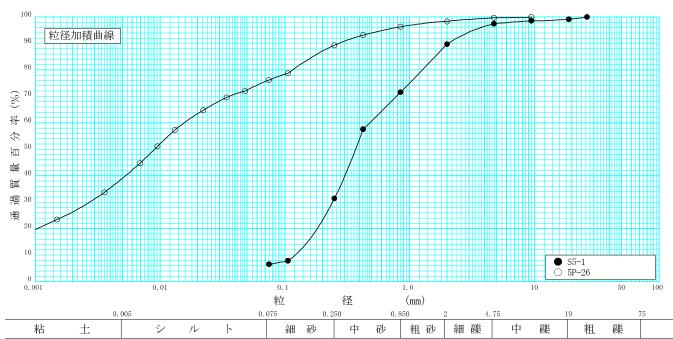
調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試 験 者

											TH 300	
試料番号	_	5-1 -24.90m)		2-26 -26.50m)		試	料	番			S5-1 (23. 90-24. 90m)	5P-26 (26, 00-26, 50m)
(深 さ)						(沒	Ė.		さ)			
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗	礴	<u> </u>	分		%	0.8	0.0
	75		75		中	礴	<u> </u>	分		%	1. 7	0.3
న్	53		53		細	礴	<u> </u>	分		%	7. 7	1.3
	37. 5		37. 5		粗	砂	>	分		%	18. 1	2.0
る	26. 5	100. 0	26. 5		中	砂	>	分		%	40.3	7. 0
	19	99. 2	19		細	砂	;	分		%	24.8	13. 1
w	9. 5	98. 6	9. 5	100.0	シ	ル	۲	分		%	6, -6	37. 2
V .	4. 75	97. 5	4. 75	99. 7	粘	±	:	分		%	0.0	39. 1
	2	89.8	2	98. 4	2mn	nふるい	通過	質量	百分率	%	89.8	98. 4
分	0.850	71. 7	0.850	96. 4	425	μmふる	い通	過質量	百分	率 %	57. 6	93. 2
	0. 425	57. 6	0. 425	93. 2	75 _/	μmふる	い通道	質量	百分率	%	6. 6	76. 3
析	0. 250	31.4	0. 250	89. 4	最	大	粒	径		mm	26. 50	9.50
	0. 106	7. 9	0. 106	78. 8	60	%	粒	径	D_{60}	mm	0. 4793	0.0155
	0. 075	6. 6	0.075	76. 3	50	%	粒	径	D_{50}	mm	0.3706	0.0090
			0.048	72. 1	30	%	粒	径	D_{30}	$_{ m mm}$	0. 2412	0.0027
沈			0. 034	69. 7	10	%	粒	径	D_{10}	$^{ m mm}$	0. 1206	_
<i>(</i> /L			0. 022	64. 7	均	等	係	数	$U_{ m c}$		3. 97	_
降			0.013	57. 4	曲	率	係	数	U^{\prime}_{c}		1.01	_
			0.0096	51. 2	土	粒 子	の箸	密度	ho s	g/cm ³		2. 646
分			0. 0069	44.8	使	用した。	分散產	钊				ヘキサメタりん 酸ナトリウム
析			0.0036	33. 9	溶剂	夜濃度,	溶剂	夜添力	量			飽和溶液, 10cc
νι [0.0015	23. 5			石	分 %	6			
									$m{D}_{20}$	$\mathrm{m}\mathrm{m}$	0. 18	0.0010



土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

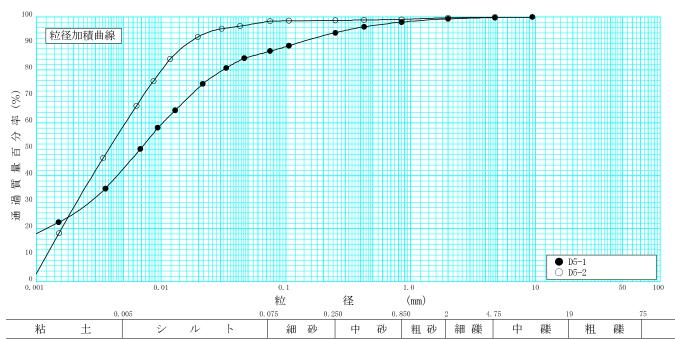
調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試 験 者

												[H 300	王 1
試料番号 (深 さ)		5-1 -29.71m)		5-2 -34.70m)		·章	t 深	——— 料	番	号 さ)		D5-1 (29.00-29.71m)	D5-2 (34. 00-34. 70m)
(IX C)	粒 径 mm	通過質量百分率%	 粒 径 mm	通過質量百分率%	粗		礫		分	<u> </u>	%	0.0	0.0
	75	ZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZ	75	ZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZ	: 中		一 礫		-: 分		% %	0. 2	0.0
Š	53		53		細		礫		 分		%	0. 5	0. 3
∞,	37. 5		37. 5		粗		砂		 分		%	1. 2	0.6
る	26. 5		26. 5		中		砂		 分		%	4. 0	0.3
<i>⊗</i>	19		19		細		砂		分		%	6. 9	0.3
1.5	9. 5	100. 0	9. 5		シ	ル			 分		%	44. 4	39.6
γ·	4. 75	99.8	4. 75	100.0	粘		土		分		%	42.8	58. 9
	2	99. 3	2	99. 7	2mi	mふる	(V)	通過質	量	百分率	%	99. 3	99. 7
分	0.850	98. 1	0.850	99. 1	428	5 5μm√s	5る	い通道	動質量	直百分	率 %	96. 4	98. 9
	0. 425	96. 4	0. 425	98. 9	75	μms>	るい	/通過	質量	百分率	%	87. 2	98. 5
析	0. 250	94. 1	0. 250	98.8	最	大		粒	径		mm	9. 50	4. 75
	0. 106	89. 2	0. 106	98. 6	60	%)	粒	径	D_{60}	mm	0.0103	0.0052
	0. 075	87. 2	0. 075	98. 5	50	%)	粒	径	D_{50}	mm	0.0068	0.0038
	0.047	84. 5	0.043	96. 6	30	%)	粒	径	D_{30}	mm	0.0027	0.0021
沈	0. 033	80.8	0. 031	95. 6	10	%)	粒	径	D_{10}	mm	_	0.0012
<i>(</i> /L	0.022	74.8	0. 020	92. 5	均	等		係	数	$U_{ m c}$		_	4. 28
降	0. 013	64.8	0. 012	84. 2	曲	率	: :	係	数	U^{\prime}_{c}		_	0.71
	0. 0094	58. 2	0. 0087	75. 9	土	粒 -	 子	の密	度	ho s	g/cm	2. 658	2. 670
分	0. 0069	50. 3	0.0064	66. 5	使	用した	たら	分散剤				ヘキサメタりん 酸ナトリウム	ヘキサメタりん 酸ナトリウム
析	0. 0036	35. 3	0.0034	46.8	溶	液濃	变,	溶液	添力	量		飽和溶液,10cc	飽和溶液, 10cc
וע	0. 0015	22. 5	0.0015	18. 3				石り	子 %	6			
										$m{D}_{20}$	$\mathrm{m}\mathrm{m}$	0.0012	0.0016



土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

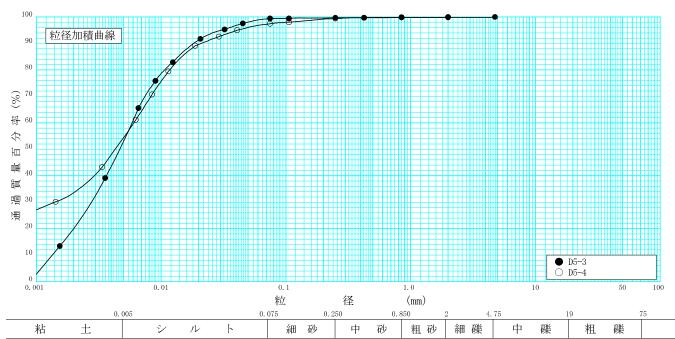
調查件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調查業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試 験 者

大きさい														
接	試料番号						言	t	料	番	号			
	(深 さ)	(10.00	10. 1011/	(11.00	11. 10111/		(深			さ)		(10.00 10.1011)	(11.00 11.1011)
あ 53 53 細 礫 分 % 0.0 0.0 37.5 37.5 粗 砂 分 % 0.1 0.0 26.5 26.5 中 砂 分 % 0.2 0.5 19 19 19 細 砂 分 % 0.2 2.0 4.75 100.0 4.75 塩 上 分 % 46.7 43.1 4.75 100.0 2 100.0 2mmふるい通過質量百分率 % 100.0 100.0 0.850 99.9 0.850 100.0 425 μ m.ふるい通過質量百分率 % 99.8 99.9 0.425 99.8 0.425 99.9 75 μ m.ふるい通過質量百分率 % 99.8 99.9 0.250 99.7 0.250 99.5 最 大 粒 径 mm 4.75 2.00 0.106 99.6 0.106 98.1 60 % 粒 径 D ₆₀ mm 0.0059 0.0060 0.075 99.5 0.075 97.5 50 % 粒 径 D ₆₀ mm 0.0047 0.0043 次 0.045 97.7 0.041 95.0 30 % 粒 径 D ₁₀ mm 0.0013 - 水 0.021 91.8 0.019 89.2 均 等 係 数 U'. 0.97 - 0.0		粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗		礫		分		%	0.0	0.0
37.5 37.5 粗 砂 分 % 0.1 0.0		75		75		中		礫		分		%	0.0	0.0
名 26.5 中 砂 分 % 0.2 0.5 19 19 細 砂 分 % 0.2 2.0 9.5 9.5 シルト分 % 46.7 43.1 4.75 100.0 4.75 粘 土 分 % 52.8 54.4 2 100.0 2 100.0 2mmふるい通過質量百分率 % 100.0 100.0 0.850 99.9 0.850 100.0 425 µmふるい通過質量百分率 % 99.8 99.9 0.425 99.8 0.425 99.9 75 µmふるい通過質量百分率 % 99.5 97.5 0.250 99.7 0.250 99.5 最大粒径 mm 4.75 2.00 0.106 99.6 0.106 98.1 60 % 粒径 D ₀ mm 0.0059 0.0060 0.075 99.5 0.075 97.5 50 % 粒径 D ₀ mm 0.0047 0.0043 次 0.032 95.3 0.029 92.7 10 % 粒径 D ₁₀ mm 0.0013 - 次 0.021 91.8 0.011 79.5 曲率係数 U _c 0.97 - 次 0.021 91.8 0.011 79.5 曲率係数 U _c 0.97 -	Š	53		53		細		礫		分		%	0.0	0.0
19		37.5		37. 5		粗		砂		分		%	0. 1	0.0
19	る	26. 5		26. 5		中		砂		分		%	0. 2	0.5
100.0 4.75 100.0 4.75 粘 土 分 % 52.8 54.4 2 100.0 2 100.0 2mmふるい通過質量百分率 % 100.0 100.0 0.850 99.9 0.850 100.0 425μmふるい通過質量百分率 % 99.8 99.9 0.425 99.8 0.425 99.9 75μmふるい通過質量百分率 % 99.5 97.5 0.250 99.7 0.250 99.5 最 大 粒 径 mm 4.75 2.00 0.106 99.6 0.106 98.1 60 % 粒 径 D ₆₀ mm 0.0059 0.0060 0.075 99.5 0.075 97.5 50 % 粒 径 D ₅₀ mm 0.0047 0.0043 0.045 97.7 0.041 95.0 30 % 粒 径 D ₅₀ mm 0.0028 0.0014 0.032 95.3 0.029 92.7 10 % 粒 径 D ₁₀ mm 0.0013 -	3	19		19		細		砂		分		%	0. 2	2. 0
## 生 分 % 52.8 54.4 2 100.0 2 100.0 2mmふるい通過質量百分率 % 100.0 100.0 0.850 99.9 0.850 100.0 425 μ mふるい通過質量百分率 % 99.8 99.9 0.425 99.8 0.425 99.9 75 μ mふるい通過質量百分率 % 99.5 97.5 0.250 99.7 0.250 99.5 最 大 粒 径 mm 4.75 2.00 0.106 99.6 0.106 98.1 60 % 粒 径 D ₅₀ mm 0.0059 0.0060 0.075 99.5 0.075 97.5 50 % 粒 径 D ₅₀ mm 0.0047 0.0043 0.045 97.7 0.041 95.0 30 % 粒 径 D ₅₀ mm 0.0028 0.0014 0.032 95.3 0.029 92.7 10 % 粒 径 D ₁₀ mm 0.0013 -	LA	9. 5		9. 5		シ	ル		ト	分		%	46. 7	43. 1
分 0.850 99.9 0.850 100.0 425 μ m ふるい通過質量百分率 % 99.8 99.9 0.425 99.8 0.425 99.9 75 μ m ふるい通過質量百分率 % 99.5 97.5 0.250 99.7 0.250 99.5 最 大 粒 径 mm 4.75 2.00 0.106 99.6 0.106 98.1 60 % 粒 径 D 60 mm 0.0059 0.0060 0.075 99.5 0.075 97.5 50 % 粒 径 D 50 mm 0.0047 0.0043 0.045 97.7 0.041 95.0 30 % 粒 径 D 50 mm 0.0028 0.0014 0.032 95.3 0.029 92.7 10 % 粒 径 D 10 mm 0.0013 - 0.021 91.8 0.019 89.2 均 等 係 数 U c 4.37 - 0.0012 82.9 0.011 79.5 曲 率 係 数 U c 4.37 - 0.0090 75.9 0.0085 70.7 土 粒子の密度 ρ g/cm 2.665 2.700 分 0.0066 65.6 0.0063 61.2 使用した分散剤 酸ナトリウム 飽和溶液、10cc 0.0015 13.6 0.0014 30.2 石 分 %	V.	4. 75	100. 0	4. 75		粘		土		分		%	52.8	54. 4
析	/\	2	100. 0	2	100.0	2mi	mふる	V \	通過質	重量 E	百分率	%	100.0	100.0
析 0.250 99.7 0.250 99.5 最大粒径 mm 4.75 2.00 0.106 99.6 0.106 98.1 60 %粒径 D ₆₀ mm 0.0059 0.0060 0.075 99.5 0.075 97.5 50 %粒径 D ₅₀ mm 0.0047 0.0043 0.045 97.7 0.041 95.0 30 %粒径 D ₃₀ mm 0.0028 0.0014 0.032 95.3 0.029 92.7 10 %粒径 D ₁₀ mm 0.0013 - 0.021 91.8 0.019 89.2 均等係数 U _c 4.37 - 0.012 82.9 0.011 79.5 曲率係数 U _c 0.97 - 0.0090 75.9 0.0085 70.7 土粒子の密度ρ _s g/cm² 2.665 2.700 分 0.0066 65.6 0.0063 61.2 使用した分散剤 ☆キサメタりん酸ナトリウムの0.0015 13.6 0.0014 30.2 石分%	ガ	0.850	99. 9	0.850	100.0	425	5 μ m &	ふる	い通道	過質量	量百分≅	≅ %	99.8	99. 9
0.250 99.7 0.250 99.5 最大粒径 mm 4.75 2.00 0.106 99.6 0.106 98.1 60 %粒径 D_{60} mm 0.0059 0.0060 0.075 99.5 0.075 97.5 50 %粒径 D_{50} mm 0.0047 0.0043 0.045 97.7 0.041 95.0 30 %粒径 D_{50} mm 0.0028 0.0014 0.032 95.3 0.029 92.7 10 %粒径 D_{10} mm 0.0013 $-$ 0.021 91.8 0.019 89.2 均等係数 U_c 4.37 $-$ 0.012 82.9 0.011 79.5 曲率係数 U'_c 0.97 $-$ 0.0090 75.9 0.0085 70.7 土粒子の密度 ρ_s g/cm 2.665 2.700 分 0.0066 65.6 0.0063 61.2 使用した分散剤 溶液流加量 かキナメタりん 酸ナトリウム 酸カ溶液、10cc 飽和溶液、10cc	1	0. 425	99.8	0. 425	99. 9	75	μms	るレ	/通過	質量	百分率	%	99. 5	97. 5
0.075 99.5 0.075 97.5 50 % 粒 径 D_{50} mm 0.0047 0.0043 0.045 97.7 0.041 95.0 30 % 粒 径 D_{30} mm 0.0028 0.0014 0.032 95.3 0.029 92.7 0.021 91.8 0.019 89.2 均 等 係 数 U_c 4.37 0.021 82.9 0.011 79.5 曲 率 係 数 U_c 0.97 0.0090 75.9 0.0085 70.7 土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm 0.097 2.665 0.0066 65.6 0.0063 61.2 使用した分散剤 ※ 液液派加量 0.0036 39.2 0.0034 43.3 溶液濃度、溶液添加量 0.0015 13.6 0.0014 30.2 0.0014 0.0015 0.0015 13.6 0.0014 30.2 0.0014 0.0015 0.0015 13.6 0.0014 30.2 0.0014 0.0015 $0.$	析	0. 250	99. 7	0. 250	99. 5	最	大	:	粒	径		mm	4. 75	2.00
0.045 97.7 0.041 95.0 30 % 粒 径 D_{30} mm 0.0028 0.0014 0.032 95.3 0.029 92.7 10 % 粒 径 D_{10} mm 0.0013 $-$ 0.021 91.8 0.019 89.2 均 等 係 数 U_c 4.37 $-$ 降 0.012 82.9 0.011 79.5 曲 率 係 数 U'_c 0.97 $-$ 0.0090 75.9 0.0085 70.7 土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm 2.665 2.700 分 0.0066 65.6 0.0063 61.2 使用した分散剤 検ナトリウム 飽和溶液、10cc 飽和溶液、10cc 飽和溶液、10cc		0. 106	99. 6	0. 106	98. 1	60	%)	粒	径	D_{60}	mm	0.0059	0.0060
0.032 95.3 0.029 92.7 10 % 粒 径 D ₁₀ mm 0.0013 -	_	0.075	99. 5	0.075	97. 5	50	%)	粒	径	D_{50}	$^{ m mm}$	0.0047	0.0043
沈 0.021 91.8 0.019 89.2 均 等 係 数 U_c 4.37 $ 0.012$ 82.9 0.011 79.5 曲 率 係 数 U'_c 0.97 $ 0.0090$ 75.9 0.0085 70.7 土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm³ 2.665 2.700 分 0.0066 65.6 0.0063 61.2 使用した分散剤 ϕ		0.045	97. 7	0.041	95. 0	30	%)	粒	径	D_{30}	mm	0.0028	0.0014
降 0.021 91.8 0.019 89.2 均 等 係 数 U_c 4.37 $-$ 0.012 82.9 0.011 79.5 曲 率 係 数 U'_c 0.97 $-$ 0.0090 75.9 0.0085 70.7 土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm³ 2.665 2.700 $-$ 0.0066 65.6 0.0063 61.2 使用した分散剤 $-$ 次キサメタりん 酸ナトリウム 飽和溶液、10cc 飽和溶液、10cc 飽和溶液、10cc	ù-t-	0. 032	95. 3	0. 029	92. 7	10	%)	粒	径	D_{10}	mm	0.0013	_
分 0.0090 75.9 0.0085 70.7 土 粒 子 の 密 度 ρ g / cm³ 2.665 2.700 分 0.0066 65.6 0.0063 61.2 使用した分散剤 ペキサメタりん酸ナトリウム酸ナトリウム酸カ溶液,10cc 酸ナトリウム酸カ溶液,10cc 析 0.0036 39.2 0.0034 43.3 溶液濃度,溶液添加量 カ分 %	₹/L	0. 021	91.8	0.019	89. 2	均	等	:	係	数	U_{c}		4. 37	_
分 0.0066 65.6 0.0063 61.2 使用した分散剤 ヘキサメタりん酸ナトリウム酸ナトリウム酸ナトリウム酸サトリウム酸和溶液,10cc が 0.0036 39.2 0.0034 43.3 溶液濃度,溶液添加量 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 <td>降</td> <td>0.012</td> <td>82. 9</td> <td>0.011</td> <td>79. 5</td> <td>曲</td> <td>率</td> <td>l </td> <td>係</td> <td>数</td> <td>U^{\prime}_{c}</td> <td></td> <td>0. 97</td> <td>-</td>	降	0.012	82. 9	0.011	79. 5	曲	率	l 	係	数	U^{\prime}_{c}		0. 97	-
析		0. 0090	75. 9	0.0085	70. 7	土	粒 -	子 .	の密	度	ho s	g/cm ³	2. 665	
析 0.0036 39.2 0.0034 43.3 溶液濃度,溶液添加量 飽和溶液,10cc 飽和溶液,10cc 0.0015 13.6 0.0014 30.2 石分%	分	0. 0066	65. 6	0.0063	61. 2	使	用し	たら	散剤					
0.0015 13.6 0.0014 30.2 石分%	析	0. 0036	39. 2	0.0034	43. 3	溶	液濃	变,	溶液	添力	量			
$D_{20} = 0.0020$	νι	0. 0015	13.6	0.0014	30. 2				石	分 %	6			
											$m{D}_{20}$	m m	0.0020	_



土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

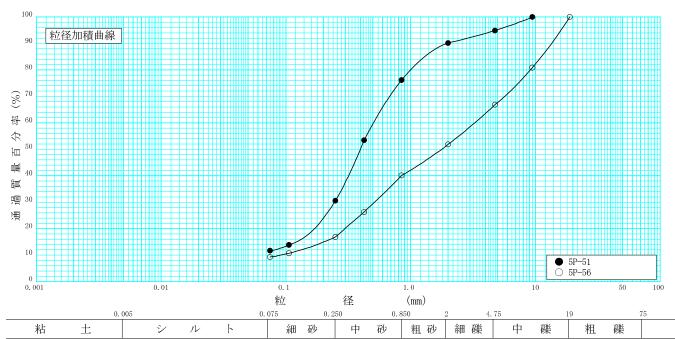
調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試 験 者

												T
試料番号		9-51 -51.34m)		9-56 -56. 27m)		試	料	番	号		5P-51	5P-56 (56. 00-56. 27m)
(深 さ)	(51.00	51. 54m/	(50.00	50. 21m)		(Ì	架		さ)		(51.00 51.5411)	(30.00 30.2711)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗	稻	終	分		%	0.0	0.0
	75		75		中	稻	終	分		%	5. 1	33. 1
\$	53		53		細	罹	終	分		%	4.6	15. 0
	37.5		37. 5		粗	石	少	分		%	14. 1	11. 7
る	26. 5		26. 5		中	石	少	分		%	45. 5	23. 2
	19		19	100.0	細	石	少	分		%	19. 0	7. 6
w	9. 5	100.0	9. 5	80. 9	シ	ル	1	分		%	1-1:-7	<u>9</u> 4
v · [4. 75	94. 9	4. 75	66. 9	粘	=	t.	分		%	11.7	9. 4
	2	90. 3	2	51. 9	2mm	ふるレ	/通過	質量	百分率	%	90.3	51. 9
分	0.850	76. 2	0.850	40. 2	425 ,	μms>?	るい通	過質量	量百分率	≅ %	53. 5	26. 4
	0. 425	53. 5	0. 425	26. 4	75μ	mふる	い通	過質量	百分率	%	11.7	9. 4
析	0. 250	30. 7	0. 250	17. 0	最	大	粒	径		mm	9. 50	19.00
	0. 106	14. 0	0. 106	10.8	60	%	粒	径	D_{60}	$^{ m mm}$	0. 5039	3. 2667
	0.075	11. 7	0. 075	9. 4	50	%	粒	径	$D_{\scriptscriptstyle{50}}$	$^{ m mm}$	0.3968	1. 7663
					30	%	粒	径	$oldsymbol{D}_{30}$	$_{ m mm}$	0. 2450	0. 5133
沈					10	%	粒	径	D_{10}	$^{ m mm}$	_	0. 0896
<i>(</i> /L					均	等	係	数	$U_{ m c}$		_	36. 47
降					曲	率	係	数	U^{\prime}_{c}		_	0. 90
					土業	粒子	の	密度	ho s	g/cm ³	3	
分					使用	した	分散	剤				
析					溶液	返濃度	,溶	液添力	量			
1/1							石	分 %	6			
									$m{D}_{20}$	$\mathrm{m}\mathrm{m}$	0. 17	0.30



土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

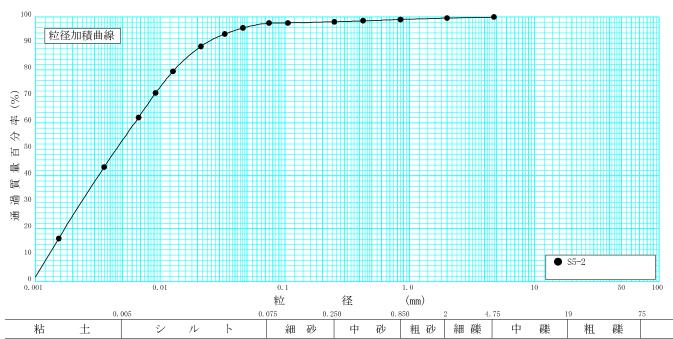
調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試 験 者

												TH 300	<u> </u>
試料番号		5-2 -60. 90m)						料	番			S5-2 (60.00-60.90m)	
(深 さ)							(深	1		さ)			
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗		礫		分		%	0.0	
	75		75		中		礫		分		%	0.0	
Š	53		53		細		礫		分		%	0.4	
	37. 5		37. 5		粗		砂		分		%	0. 5	
る	26. 5		26. 5		中		砂		分		%	0. 9	
3	19		19		細		砂		分		%	0. 5	
V	9. 5		9. 5		シ	<i>)</i> l	/	١	分		%	44. 3	
V.	4. 75	100.0	4. 75		粘		土		分		%	53. 4	
	2	99. 6	2		2mn	n Š č	5 V Y	通過質	質量 i	百分率	%	99. 6	
分	0.850	99. 1	0.850		425	ρμm	ふる	い通道	過質 量	直百分率	率 %	98.6	
	0. 425	98.6	0. 425		75 µ	u mS	ふるい	/通過	質量	百分率	%	97. 7	
析	0. 250	98. 2	0. 250		最	J	ζ.	粒	径		mm	4. 75	
	0. 106	97.8	0. 106		60	9/	6	粒	径	$oldsymbol{D}_{60}$	$^{ m mm}$	0. 0063	
	0.075	97. 7	0. 075		50	9/	6	粒	径	$D_{\scriptscriptstyle{50}}$	mm	0. 0045	
	0.046	96. 0			30	9	6	粒	径	D_{30}	mm	0. 0023	
沈	0. 033	93. 6			10	9	6	粒	径	D_{10}	mm	0. 0013	
1/L	0. 021	88. 9			均			係	数	$U_{ m c}$		4. 91	
降	0. 013	79. 6			曲	翠	区 	係	数	<i>U</i> ′ _c		0. 68	
	0. 0093	71. 4			土	粒	子	の密	度	ρ _s	g/cm ³	2. 643	
分	0. 0067	62. 0			使月	用し	たら	子散 斉]			ヘキサメタりん 酸ナトリウム	
析	0. 0036	43.3			溶剂	液濃	度,	溶液	添力	量		飽和溶液, 10cc	
VI	0. 0015	16. 4						石。	分 %	6			
										$m{D}_{20}$	$_{ m mm}$	0.0017	



J	Ι	S	A	1205
T	G	S		0141

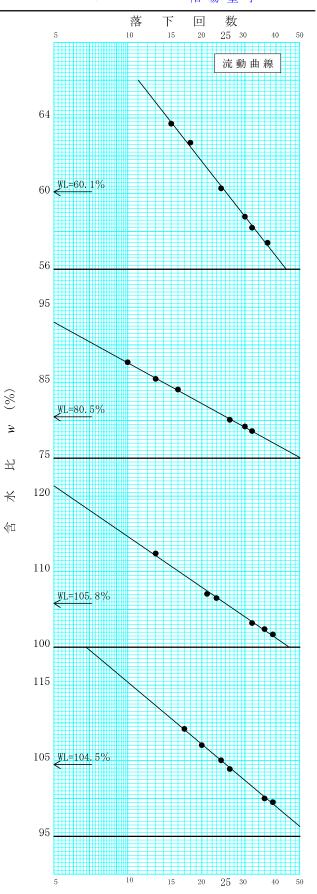
土の液性限界・塑性限界試験(試験結果)

試験年月日

2020年02月25日

試 験 者

		ED 06 (06 00	00.50
試料番号	(深 さ)	5P-26 (26.00-	-26.50m)
液性	上限界試験	塑性限界試験	液性限界 w 1 %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	60. 1
37	57. 4	25. 5	塑性限界 w 。 %
32	58. 2	25. 4	25. 4
30	58. 8	25. 3	塑性指数 1 P
24	60. 3	_	34. 7
18	62. 7	_	
15	63. 7		
試料番号	(深 さ)	D5-1 (29.00-	29. 71m)
液性	上限界試験	塑性限界試験	液性限界 W L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	80. 5
32	78. 6	31. 5	塑性限界 w 🛚 %
30	79. 2	31. 1	31.4
26	80. 1	31. 7	塑性指数 1 P
16	84. 1		49. 1
13	85. 5		
10	87. 7	-	
試料番号	(深 さ)	D5-2 (34.00-	·34.70m)
液性		塑性限界試験	液性限界 w 🖁 %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	105. 8
39	101.7	35. 5	塑性限界 w P %
36	102.4	34. 6	35. 1
32	103. 2	35. 1	塑性指数 I_{P}
23	106.5		70. 7
21	107. 1		
13	112.4	-	
試料番号	· (深 さ)	D5-3 (40.00-	·40.70m)
液性	 住限界試験	塑性限界試験	液性限界 w L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	104. 5
39	99. 5	34. 6	塑性限界 w %
	100. 0	33. 4	34. 3
36			-
36 26	103. 9	34.8	塑性指数 1 。
	103. 9 105. 1	34. 8	塑性指数 I _P 70.2
26		34. 8	-



J I S A 1205 I G S 0141

土の液性限界・塑性限界試験(試験結果)

JGS	0141	土の液性	E 限 界 · 型·	性限	界	試 験(試験 結	:果)
調査件名	令和元年度(仮	称) 夢洲南高架橋	土質調査業務委託			試験年月日	2020年02月25日
						試 験 者	相場聖子
試料番号	(深 さ)	D5-4 (47.00-	-47. 70m)			落	下 回 数
液性	生限界試験	塑性限界試験	液性限界 w μ %			5 10	15 20 25 30 40 50
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	67. 1				流動曲線
28	66. 0	25. 6	塑性限界 w № %				
25	67. 1	25. 0	25. 4		74		
22	68. 5	25. 6	塑性指数 1 P				
18	70. 3		41. 7				
15	72. 2				70		
13	73. 5				10		
試料番号	(深 さ)	S5-2 (60.00-	-60.90m)				
液性		塑性限界試験	液性限界 w μ %			WL=67.1%	
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	126. 5		66		
31	124. 4	41. 9	塑性限界 w , %		140		
26	126. 1	41. 2	41. 2		140		
23	127. 2	40. 5	塑性指数 1 P				
18	129. 6		85. 3				•
14	132.8				130		
10	135. 9			(%)		₩L=126. 5%	
試料番号	(深 さ)	1		Z			•
液性	上限界試験	塑性限界試験	液性限界 w 1 %	\1	120		
落下回数	含水比 w %	含水比 w %		丑			
			塑性限界 w P %	¥			
				√⊓			
			塑性指数 1 P	v-			
試料番号	(深 さ)						
	生限界試験 T	塑性限界試験	液性限界 W L %				
落下回数	含水比 w %	含水比 w %					
			塑性限界 w , %				
			塑性指数 1 P				
特記事項							

地盤材料の工学的分類

令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名

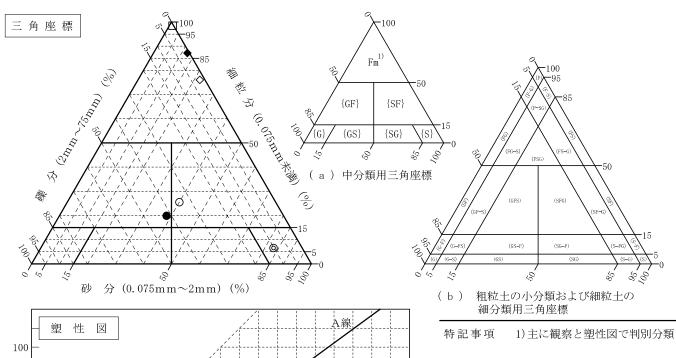
試験年月日

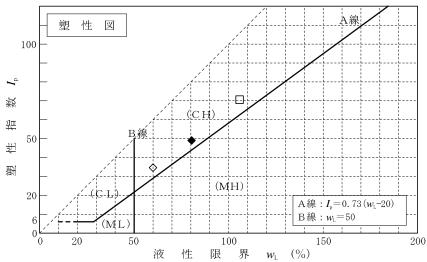
2020年03月04日

試 験 者

内田昇一

						1 4 1	<u> </u>
試 料 番	号	5P-3	5P-6	S5-1	5P-26	D5-1	D5-2
(深	さ)	(3.00-3.50m)	(6.00-6.50m)	(23. 90-24. 90m)	(26.00-26.50m)	(29. 00 - 29. 71m)	(34. 00-34. 70m)
石 分(75mm以)	E) %						
礫 分(2~75mm	ı) %	34. 3	41.6	10. 2	1.6	0. 7	0.3
砂 分(0.075~	2mm) %	40. 1	38.3	83. 2	22. 1	12. 1	1.2
細 粒 分(0.075mm	未満)%	25. 6	20. 1	6.6	76. 3	87. 2	98. 5
シルト分 (0.005~	0.075mm)%	19. 4	15. 1	6- -6	37. 2	44. 4	39.6
粘 土 分(0.005mm	未満) %	6. 2	5. 0	0.0	39. 1	42.8	58.9
最 大 粒 径	mm	37. 50	37. 50	26. 50	9. 50	9. 50	4. 75
均 等 係 数	U $_{\circ}$	71. 9	127. 0	4.0	_	_	4. 3
液性限界	w _L %				60. 1	80.5	105.8
塑性限界	w _p %				25. 4	31. 4	35. 1
塑 性 指 数	I p %				34. 7	49. 1	70. 7
地盤材料の分類名		細粒分質礫質砂	細粒分質砂質礫	細粒分礫まじり砂	砂質粘土 (高液性限界)	砂まじり粘土 (高液性限界)	粘土 (高液性限界)
分類 記号		(SFG)	(GFS)	(S-FG)	(CHS)	(CH-S)	(CH)
凡例記号		0	•	<u></u>	\Diamond	•	





地盤材料の工学的分類

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

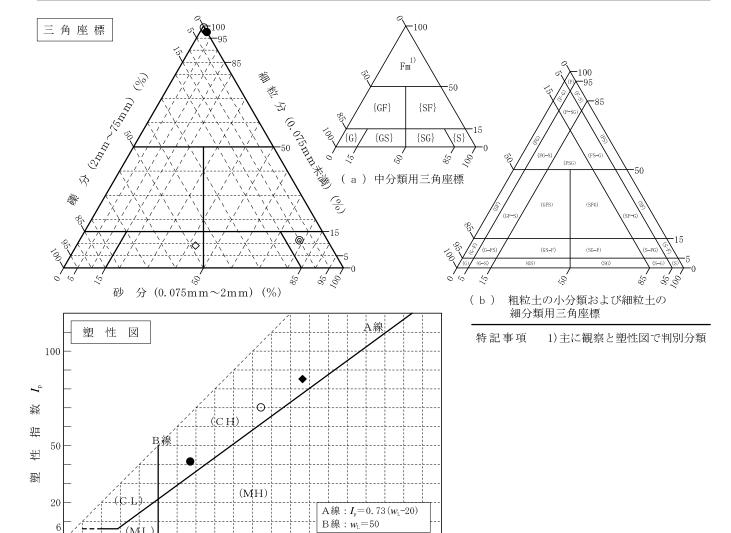
試験年月日

2020年03月04日

試 験 者

内田昇一

— 試料番号	D5-3	D5-4	5P-51	5P-56	S5-2
(深 さ)	(40.00-40.70m)	(47.00-47.70m)	(51.00-51.34m)	(56. 00-56. 27m)	(60, 00–60, 90m)
石 分(75mm以上) %					
礫 分(2~75mm) %	0.0	0.0	9. 7	48. 1	0. 4
砂 分(0.075~2mm) %	0.5	2. 5	78. 6	42. 5	1. 9
細 粒 分(0.075mm未満) %	99. 5	97. 5	11. 7	9. 4	97. 7
シルト分 (0.005~0.075mm)%	46. 7	43. 1		9-4	44. 3
粘 土 分(0.005mm未満) %	52.8	54. 4	11. 1	3. 4	53. 4
最大粒径 mm	4. 75	2. 00	9. 50	19. 00	4. 75
均 等 係 数 <i>U</i> 。	4. 4	_	_	36. 5	4. 9
液 性 限 界 w ₁ %	104. 5	67. 1			126. 5
塑 性 限 界 w p %	34. 3	25. 4			41. 2
塑 性 指 数 I _p %	70. 2	41.7			85. 3
地盤材料の分類名	粘土 (高液性限界)	粘土 (高液性限界)	細粒分礫まじり砂	細粒分まじり砂質礫	粘土 (高液性限界)
分類記号	(CH)	(CH)	(S-FG)	(GS-F)	(CH)
凡例記号	0	•	0	\Diamond	•



150

 $w_{\rm L}$ (%)

200

100

限

液

性

界

土の湿潤密度試験(ノギス法)

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 (深さ) 試 験 者 S5-1 (23.90-24.90m) 当間位江 試 1 2 3 供 体 No. 供試体の質量 390.24 375.73 361.09 mg 5.00 5.00 5.00 上 部 cm直 5.00 5.00 5.00 供 5.00 5.00 5.00 部 cm 5.00 5.00 5.00 試 5.00 5.00 5.00 部 下 cm5.00 5.00 5.00 体 径 5.000 平 均 値 D cm 5.000 5.000 10.00 10.00 10.00 高 10.00 10.00 10.00 さ 10.000 10.000 10.000 平 均 値 *H* cm 積 体 積 $V = (\pi D^2 / 4)H$ cm³ 196.35 196.35 196.35 375.73 390.24 361.09 含 283.80324.79310.49 $m_{\rm b}$ g % 20.2 21.0 27. 2 w 水 器 No. $m_{\rm a}$ g $m_{\rm b}$ g 比 W % 平 20.2 21.0 27. 2 均 値 w % 湿潤密度 $\rho_t = m / V$ 1.987 1.914 1.839 g/cm^3 1.654 1.581 1.445 乾燥密度 $\rho_d = \rho_t/(1+w/100)$ g/cm³ 0.603 0.677 0.835 間 隙 比 $e=(\rho_s/\rho_d)-1$ 82.3 88.6 86.5 飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ 土粒子の密度 ρ_s 2.652 22.8 1.913 $\rm g/cm^3$ 平均值 w % 平均値 ρ_tg/cm³ 平 均 値 ρ d 1.560 平均值e 0.705 平均值 S_r % 85.8 g/cm^3

土の湿潤密度試験 (ノギス法)

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 試験年月日 2020年02月21日 試料番号 (深さ) 試 験 者 D5-1 (29.00-29.71m) 当 間 位 江 試 1 2 3 供 体 No. 供試体の質量 343.98 351.79 331.52 324.93 mg 4.99 5.00 4.99 5.00 上 部 cm直 5.00 4.99 4.99 4.99 供 5.00 4.99 4.99 4.99 部 cm 4.99 4.99 4.99 5.00 試 5.00 4.99 4.99 5.00 部 下 cm5.00 5.00 4.99 5.00 体 径 平 均 値 **D** cm 4.997 4.993 4.992 4.995 10.00 10.00 10.00 10.00 高 10.00 10.00 10.00 10.00 さ 10.000 10.000 10.000 平 均 値 *H* cm 10.000 積 体 積 $V = (\pi D^2 / 4)H$ cm³ 196.09 195.83 195.70 195.96 343.98 351.79 331.52 324.93 含 243.80255.57 225.49 212.96 $m_{\rm b}$ g % 41.1 37.6 47.0 52.6 w 水 器 No. $m_{\rm a}$ g $m_{\rm b}$ g 比 W % 亚 41.1 37.6 47.0 52.6 均 値 w % 湿潤密度 $\rho_t = m / V$ 1.754 1.796 1.694 1.658 g/cm^3 1.243 1.305 1.152 1.087 乾燥密度 $\rho_d = \rho_t/(1+w/100)$ g/cm³ 1.138 1.036 1.306 1.445 間 隙 比 $e=(\rho_s/\rho_d)-1$ 96.0 96. 5 95.7 96.7 飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ 土粒子の密度 ρ_s 2.658 1.726 g/cm^3 平均值 w % 44.6 平均値 ρ_tg/cm³ 平 均 値 ρ d 1. 197 1.231 96. 2 g/cm^3 平均值e 平均值 S_r %

土の湿潤密度試験 (ノギス法)

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 試験年月日 2020年02月21日 試料番号 (深さ) 試 験 者 D5-2 (34.00-34.70m) 当 間 位 江 試 1 2 3 供 体 No. 供試体の質量 319.84 319.33 319.74 319.08 mg 5.00 4.99 5.00 4.99 上 部 cm直 5.00 4.99 5.00 4.99 供 4.99 4.99 5.00 4.99 部 cm 5.00 5.00 4.99 4.99 試 5.00 5.00 4.99 5.00 部 下 cm4.99 5.00 5.00 4.99 体 径 平 均 値 **D** cm 4.997 4.995 4.997 4.992 10.00 10.00 10.00 10.00 高 10.00 10.00 10.00 10.00 さ 10.000 10.000 10.000 平 均 値 *H* cm 10.000 積 体 積 $V = (\pi D^2 / 4)H$ cm³ 196.09 195.96 196.09 195.70 319.84 319.33 319.74 319.08 含 200.61 199.22 201.21 200.64 $m_{\rm b}$ g % 59.4 60.3 58.9 59.0 w 水 器 No. $m_{\rm a}$ g $m_{\rm b}$ g 比 W % 亚 59.4 60.3 58.9 59.0 均 値 w % 湿潤密度 $\rho_t = m / V$ 1.631 1.630 1.631 1.630 g/cm^3 1.023 1.017 1.026 1.025 乾燥密度 $\rho_d = \rho_t/(1+w/100)$ g/cm³ 1.610 1.602 1.605 間 隙 比 $e=(\rho_s/\rho_d)-1$ 1.627 98.6 99.0 98.2 98. 2 飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ 土粒子の密度 ρ_s 2.670 1.630 g/cm^3 平均值 w % 59.4 平均値 ρ_tg/cm³ 平 均 値 ρ d 1.023 1.611 98.5 g/cm^3 平均值e 平均值 S_r %

土の湿潤密度試験 (ノギス法)

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 試験年月日 2020年02月21日 試料番号 (深さ) 試 験 者 D5-3 (40.00-40.70m) 当 間 位 江 試 1 2 3 供 体 No. 供試体の質量 314. 28 316.49 317.44 317.56 mg 5.00 4.99 5.00 4.99 上 部 cm直 5.00 5.00 5.00 5.00 供 5.00 5.00 5.00 5.00 部 cm 4.99 4.99 4.99 4.99 試 4. 99 5.00 5.00 5.00 部 下 cm4.99 5.00 4.99 5.00 体 径 平 均 値 **D** cm 4.995 4.997 4.997 4.997 10.00 10.00 10.00 10.00 高 10.00 10.00 10.00 10.00 さ 10.000 10.000 10.000 10.000 平 均 値 *H* cm 積 体 積 $V = (\pi D^2 / 4)H$ cm³ 195.96 196.09 196.09 196.09 317.56 314. 28 316, 49 317.44 含 191.79196.49 198.79 198.05 $m_{\rm b}$ g % 63.9 61.1 59.7 60.3 w 水 器 No. $m_{\rm a}$ g $m_{\rm b}$ g 比 W % 亚 63.9 61.1 59.7 60.3 均 値 w % 湿潤密度 $\rho_t = m / V$ 1.604 1.614 1.619 1.619 g/cm^3 0.979 1.002 1.014 1.010 乾燥密度 $\rho_d = \rho_t/(1+w/100)$ g/cm³ 1.723 1.660 1.629 1.639 間 隙 比 $e=(\rho_s/\rho_d)-1$ 98.8 98. 1 97.7 98. 1 飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ 土粒子の密度 ρ_s 2.665 g/cm^3 平均值 w % 61.2 平均値 ρ_tg/cm³ 1.614 平 均 値 ρ d 1.001 1.663 平均値 **S** _r % 98. 2 g/cm^3 平均值e

土の湿潤密度試験 (ノギス法)

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 試験年月日 2020年02月21日 試料番号 (深さ) 試 験 者 D5-4 (47.00-47.70m) 当 間 位 江 試 1 3 供 体 No. 供試体の質量 350.37 349.14 350.02 350.24 mg 4.99 4.99 5.00 4.99 上 部 cm直 5.00 4.99 5.00 5.00 供 4.99 4.99 4.99 4.99 部 cm 4.99 4.99 4.99 4.99 試 4. 99 4.99 4. 98 4. 99 部 下 cm4.99 4.99 4.99 5.00 体 径 平 均 値 **D** cm 4.992 4.990 4.992 4.993 10.00 10.00 10.00 10.00 高 10.00 10.00 10.00 10.00 さ 10.000 10.000 10.000 平 均 値 *H* cm 10.000 積 体 積 $V = (\pi D^2 / 4)H$ cm³ 195.70 195.56 195.70 195.83 350.37 349.14 350.02 350.24 含 247.76 246.24248.32 248.97 $m_{\rm b}$ g % 41.4 41.8 41.0 40.7 w 水 器 No. $m_{\rm a}$ g $m_{\rm b}$ g 比 W % 亚 41.4 41.8 41.0 40.7 均 値 w % 湿潤密度 $\rho_t = m / V$ 1.790 1.785 1.789 1.789 g/cm^3 1.266 1.259 1.269 1.271 乾燥密度 $\rho_d = \rho_t/(1+w/100)$ g/cm³ 1.133 1. 144 1.128 1. 124 間 隙 比 $e=(\rho_s/\rho_d)-1$ 97.7 98.7 98.6 98.0 飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ 土粒子の密度 ρ_s 2.700 1.788 g/cm^3 平均值 w % 41.2 平均値 ρ_tg/cm³ 平 均 値 ρ d 1.266 1.132 98.3 g/cm^3 平均值e 平均值 S_r %

土の湿潤密度試験 (ノギス法)

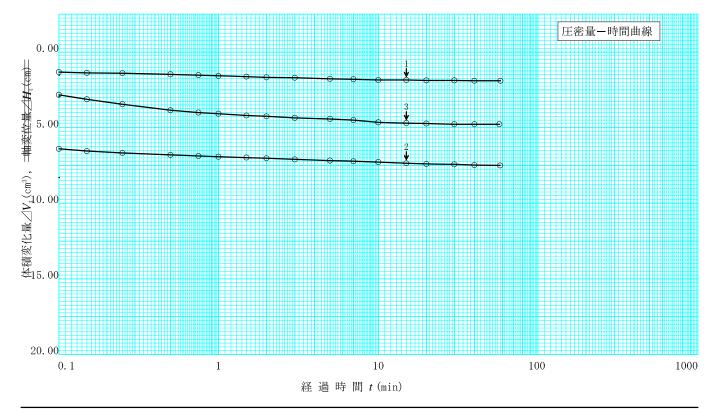
調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 試験年月日 2020年02月21日 試料番号 (深さ) 試 験 者 S5-2 (60.00-60.90m) 当 間 位 江 試 1 2 3 供 体 No. 供試体の質量 298.61 303.30 302.80 301.53 mg 5.00 5.00 4.99 5.00 上 部 cm直 5.00 4.99 5.00 5.00 供 4.99 5.00 4.99 5.00 部 cm 5.00 4.99 4.99 5.00 試 4. 99 4.99 5.00 4. 99 部 下 cm4.99 5.00 5.00 5.00 体 径 平 均 値 **D** cm 4.995 4.995 4.995 4.998 10.00 10.00 10.00 10.00 高 10.00 10.00 10.00 10.00 さ 10.000 10.000 10.000 平 均 値 *H* cm 10.000 積 体 積 $V = (\pi D^2 / 4)H$ cm³ 195.96 195.96 195.96 196.22 298, 61 303.30 302.80 301.53 含 168.76174.05173.35 171.44 $m_{\rm b}$ g % 76.9 74. 3 74.7 75.9 w 水 器 No. $m_{\rm a}$ g $m_{\rm b}$ g 比 W % 75.9 亚 76.9 74.3 74.7 均 値 w % 湿潤密度 $\rho_t = m / V$ 1.524 1.548 1.545 1.537 g/cm^3 0.861 0.888 0.885 0.874 乾燥密度 $\rho_d = \rho_t/(1+w/100)$ g/cm³ 2.070 1.976 1.988 2.026 間 隙 比 $e=(\rho_s/\rho_d)-1$ 99.0 98.3 99.3 99.3 飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ 土粒子の密度 ρ_s 2.643 1.538 g/cm^3 平均值 w % 75.4 平均値 ρ_tg/cm³ 平 均 値 ρ d 0.877 2.015 平均値 **S** _r % 99.0 g/cm^3 平均值e

三軸圧縮試験データ

J G S 0524

圧密前, 圧密後 土の三軸圧縮試験[CU, CU, CD]

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 (深さ) 試 験 者 S5-1 $(23.90 \sim 24.90 \text{m})$ 内田昇-試料の状態 乱さない 供試体の作製方法 トリミング法 4) 質 名 圧密中の排水方法 ペーパードレーン使用, 上下面より排水 土粒子の密度 2.652 $ho_{\rm s}^{3)}\,{\rm g/cm^3}$ 1 3 供 試 体 No. 100 600 300 セ ル圧 kN/m^2 験 0 0 0 kN/m^2 圧 条 100 600 300 圧密応力 kN/m^2 件 10.000 10.000 10.000 圧 さ 密 5.000 5.000 5.000 D_{0} 径 前 0.603 0.677 0.835 間 隙 比 58 58 57 圧密時間 min 1.88 体積変化量 7.50 4.77 圧 0. 222 0.147 0.148 $\triangle H$ 軸変位量 191.57 194.46 188.84 ${\rm cm}^3$ 密غ 9.853 9.778 9.852 高 ${\tt cm}$ 炉乾燥質量 324.79310.49 283.80後 1.670 1.644 1.481 乾燥密度 0.588 0.613 0.790 3) 間隙比 $e_{
m c}$ 等方応力増加量 $\triangle \sigma$ kN/m² 間隙水圧増加量 ⊿u kN/m² 圧 係 測定に要した時間 数



特記事項

- 試料の採取方法、試料の状態(塊状、凍結、ときほぐされた)等を記載する。

- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。 3) 必要に応じて記載する。 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

J G S 0524

土の三軸圧縮試験 [UU, CU, CU, CD] (応カーひずみ曲線)

料番号(深さ)	S5-1 $(23.90 \sim 24.90 \text{m})$	試	験 者	内 田 昇	
1) 1)	供 試 体 No. セル圧・ 圧密応力 kN/m² 背 圧 u _b kN/m²	1 100	2 600	3 300	
ずみ速度 %/min 0.3 記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界、塑性限界、砂質土の場合は最小乾燥密度、最大乾燥密度等を記載する。	E縮強さ(σ _s -σ _r) _{max} kN/m ²	471 6. 38 -2. 12 0. 621	1.81 0.584	1179 6. 50 -0. 66 0. 802	
2600			<u> </u>		-26. 00
$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3	2 y			-16. 00
600	<u>.</u>				1-6.00
0					0.0
-400					4. 00

JGS 0524 土の強度特性 土の三軸圧縮試験 [CD]

調査件名 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月19日

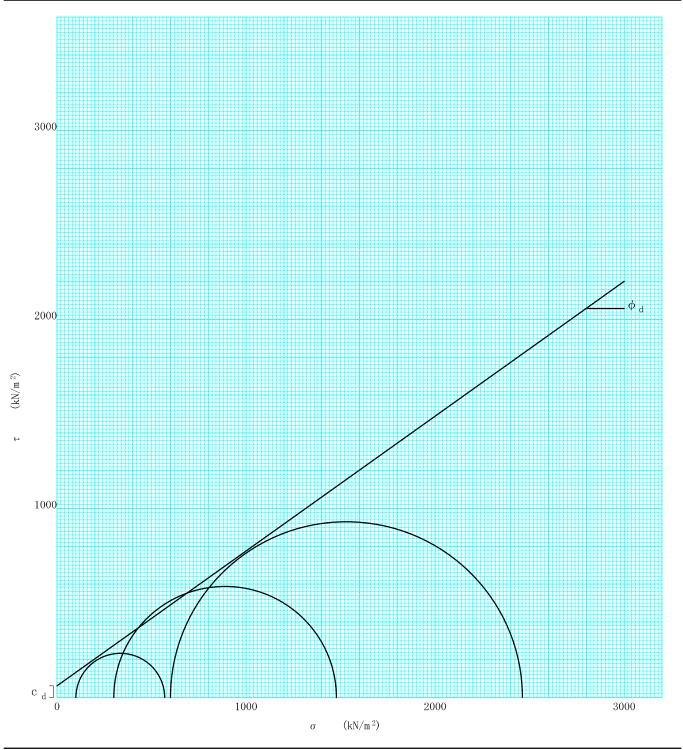
試料番号 (深さ)

S5-1 (23.90~24.90m)

試 験 者

内田昇一

強度定数	全	応	力	有 効	応 力
応力範囲	$c_{ m d}$ kN/m 2	φ _d °	tan ϕ_d	c' kN/m ²	φ' °
正規圧密領域					
過圧密領域					
	64. 0	35. 5	0. 7		



JGS 0520 土の三軸試験の供試体作製・設置

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月19日

試料番号 (深さ)

S5-1 $(23.90 \sim 24.90 \text{m})$

試 験 者

内田昇一

一一	すり (休で)		29. 30 24. 3011/		大 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	→ <i>স</i> T	
供試体	xを用いる試験の基準	番号と名称	JGS (0524-2000 土の圧密	游水(CD)三軸圧縮試	·····································	
試 >	——— 料 の 状 態 ¹) 舌	しさない	土粒子の密	度 $\rho_s^{3)}$ g/cm ³	2. 652	
	た 体 の 作 製 ²)	リミング法		4)		
土	質 名 称				4)		
	供 試	体 No.	1	2	3		
			5. 000	5. 000	5.000		
	直径	cm	5. 000	5. 000	5.000		
			5. 000	5. 000	5. 000		
初	平 均 直	径 $D_{ m i}$ cm	5. 000	5. 000	5.000		
			10.000	10.000	10.000		
	高 さ	cm	10.000	10.000	10.000		
期							
	平 均 高	$\stackrel{ ag{}_{\circ}}{=} H_{ ext{i}}$ cm	10.000	10.000	10.000		
	体	積 $V_{ m i}$ cm ³	196. 34	196. 34	196. 34		
状	含水	比 w _i %	20. 2	21.0	27. 2		
	質	量 <i>m</i> _i g	390. 24	375. 73	361. 09		
	湿 潤 密	度 ρ _{ti} ³)g/cm³	1. 988	1. 914	1.839		
態		度 ρ _{di} 3)g/cm³	1.654	1. 581	1. 445		
	間隙	比 $e_{\scriptscriptstyle c}$ 3)	0.603	0.677	0.835		
	飽和	度 S _{ri} ³⁾ %	88. 6	82. 3	86. 5		
	相 対 密	度 D rc ³⁾ %					
	軸変位量の測	定方法	外部変位計により測定した				
設	設置時の軸変位	量 cm	0	0	0		
置	飽 和 過程の軸変位	量 cm	0	0	0		
•	軸 変 位	量 ∠ <i>H</i> _i ⁵⁾ cm	0	0	0		
飽	体積変化量の	測定方法		計算により	り算出した		
和	設 置 時の体積変化	量 cm³	0	0	0		
過	飽和過程の体積変化	量 cm³	0	0	0		
程	体 積 変化	量 $\angle V_{ m i}$ $^{5)}$ cm 3	0	0	0		
圧	高	$\stackrel{{}_\circ}{\sim} H_0$ cm	10.000	10.000	10.000		
密	直	径 $oldsymbol{D_0}$ cm	5. 000	5. 000	5. 000		
前(体	積 $oldsymbol{V}_0$ cm 3	196. 34	196. 34	196. 34		
試	乾 燥 密	度 ρ _{d0} 3)g/cm³	1. 654	1. 581	1. 445		
験	間隙	比 $e_{\scriptscriptstyle 0}$ 3)	0.603	0. 677	0.835		
前	相 対 密	度 D r0 3)					
———— 炉	容 器 N	ο.					
乾	(炉乾燥供試体+容器)質量 g					
燥	容 器 質	量 g					
後	炉 乾 燥 質	量 m _s g	324. 79	310. 49	283. 80		

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2)トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3)必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界,塑性限界,砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5)設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

全件名	5架橋土質調査業務委託 	試!	験年月日 	2020年02	月21日
斗番号(深さ)	D5-1 (29.00~29.71m)	試	験 者	内田昇	ļ —
質 名 称	供 試 体 No. セル圧・ 圧密応力 kN/m ²	1 100	2 400	3 200	4 800
i) 1.0 ボみ速度 %/min 1.0 記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界、避性限界、砂質土の場合は最小乾燥密度最大乾燥密度等を記載する。	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	200 2. 01	231 4. 06	134 7. 41	117 11.76
	間 隙 比 e				
$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$			4		
100					

JGS 0521 土の強度特性 土の三軸圧縮試験 [UU]

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

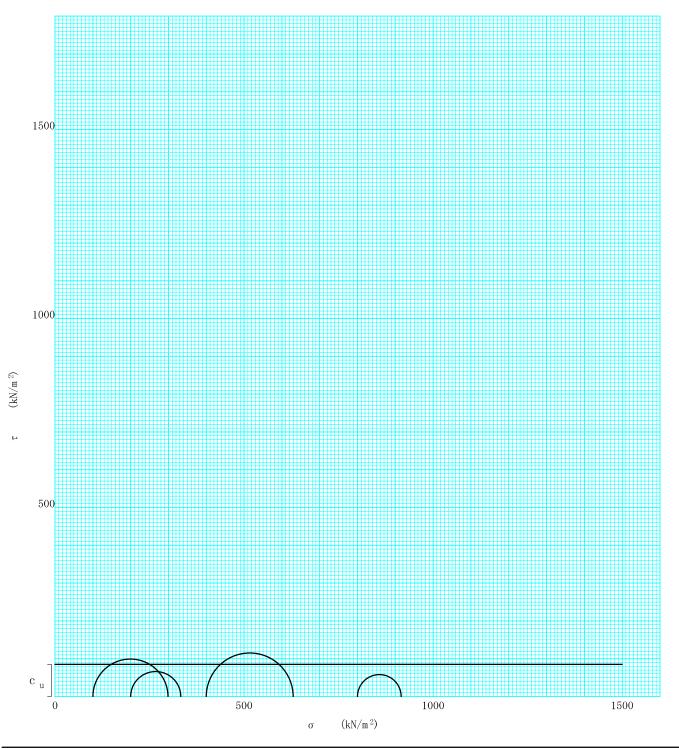
試料番号 (深さ)

D5-1 (29.00~29.71m)

試 験 者

内田昇一

強度定数	全	応	カ	有 効	応 力
応力範囲	$c_{ m u}$ kN/m ²	$\phi_{ m u}$ $^{\circ}$	tan ϕ_{u}	c' kN/m²	φ' °
正規圧密領域					
過圧密領域					
	85. 1	0.0	0. 0		



JGS 0520 土の三軸試験の供試体作製・設置

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試料番号 (深さ)

D5-1 (29.00 \sim 29.71m)

試 験 者

内田昇一

八个十百	まり (休 <i>さ)</i>	D0 1 (2	23.71111/	中人 例5	·	<u> </u>	
供試体	xを用いる試験の基準番			21-2000 土の非圧密			
式 >	料の状態1)	舌	しさない	土 粒 子 の 密	度 $ ho_{ m s}$ $^{3)}{ m g/cm}^{3}$	2. 658	
共 討	【体の作製2)	トリ	リミング法 		4)		
Ŀ	質 名 称				4)		
	供試	本 No.	1	2	3	4	
			4. 995	4. 995	4. 995	4. 990	
	直径	cm	4. 995	4. 990	4. 990	4. 995	
			5.000	4. 995	4. 990	5.000	
初	平 均 直 往	$ otin D_{ m i} = { m cm}$	4. 997	4. 993	4. 992	4. 995	
			10.000	10.000	10.000	10.000	
	高さ	cm	10.000	10.000	10.000	10.000	
期							
	平 均 高 る	\succeq $H_{ m i}$ cm	10.000	10.000	10.000	10.000	
	体	責 $oldsymbol{V}_{ m i}$ cm 3	196. 11	195. 80	195. 72	195. 95	
状	含 水 上	七 w _i %	41. 1	37.6	47. 0	52. 6	
	質	$m_{ m i}$ g	343. 98	351.79	331. 52	324. 93	
	湿潤密	度 $ ho_{ m ti}$ $^{3)}$ g/cm 3	1.754	1. 797	1. 694	1.658	
態		度 $ ho_{ m di}$ $^{3)}$ $ m g/cm^3$	1. 243	1. 305	1. 152	1. 087	
	間隙上	七 e _c 3)	1. 138	1. 036	1. 307	1. 446	
	飽 和 月	度 S _{ri} 3) %	96. 0	96.6	95. 6	96. 7	
	相対密	度 $D_{\rm rc}$ 3) %					
	軸変位量の測	定方法	外部変位計により測定した				
設	設置時の軸変位置	Ł cm	0	0	0	0	
置	飽 和 過程の軸変位量	走 cm	0	0	0	0	
•	軸 変 位 🖠	$\!$	0	0	0	0	
飽	体積変化量の	測定方法	計算により算出した				
和	設 置 時の体積変化量	d cm³	0	0	0	0	
過	飽和過程の体積変化量	₹ cm³	0	0	0	0	
程	体 積 変 化 量	$ lap{L} = lap{V_{ m i}}^{5)} m cm^3$	0	0	0	0	
圧	高	\succeq H_0 cm	10.000	10.000	10.000	10.000	
密	直	$\mathbf{E} = oldsymbol{D}_0$ cm	4. 997	4. 993	4. 992	4. 995	
前	体	責 $oldsymbol{V}_0$ cm 3	196. 11	195. 80	195. 72	195. 95	
試	乾 燥 密 月	度 ρ _{d0} ³⁾ g/cm ³	1. 243	1. 305	1. 152	1. 087	
験		七 e ₀ 3)	1. 138	1. 036	1. 307	1. 446	
前	相対密	更 $D_{{ m r}^{0}}{}^{3)}$					
炉	容器 No	ο.					
乾	(炉乾燥供試体+容器)	 質量 g					
燥	容器質量	E g					
後	炉 乾 燥 質	量 <i>m</i> _s g	243. 80	255. 57	225. 49	212. 96	
	1	, ,					

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2)トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3)必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界,塑性限界,砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5)設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

調査件名 ^{令和元年度(}	仮称)夢洲南高架橋土	質調査業務委託	試馬	倹年月日	2020年02月	121日
試料番号 (深さ)	D5-2	2 (34.00~34.70m)	試	験 者	内 田 昇	. —
土 質 名 称		試 体 No. 圧・ 圧密応力 kN/m ² 圧 u _b kN/m ²	1 100	2 200	3 400	4 800
の場合 塑性限 場合は	1.0 応じて粘性土 は液性限界, 界,砂質土の 最小乾燥密度, 燥密度等を記	圧縮強さ(σ _a -σ _r) _{max} kN/m² 軸ひずみ ε _{af} %	198 3. 97	177 4. 82	6.51	6. 88
		供試体の破壊状況				
300						
(σ _a	- σ _r) - ε _a 曲線 - ε _a 曲線 - ε _a 曲線					
kN/m²)						
# 正統に供う財物水圧塩分 π 。200 200 200 200 200 200 200 200 200 200		2				71 (6)
· ///		4 •				** ** ***
田松功寿 (0° 100 (0° 10 100 (100 100 100 100 100 100 100 100 100 100						
0.00		5.00	10.00			15. 00
$\alpha \alpha \alpha$		5.00	10.00			15 00

JGS 0521 土の強度特性 土の三軸圧縮試験 [UU]

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

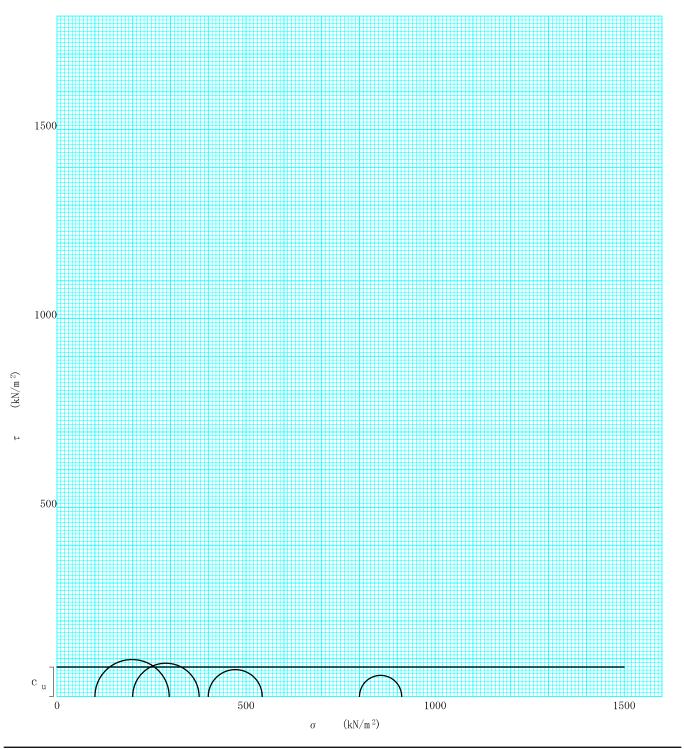
試料番号 (深さ)

D5-2 (34.00~34.70m)

試 験 者

内田昇一

強度定数	全	応	カ	有 効	応 力
応力範囲	$c_{ m u}$ kN/m ²	$\phi_{ m u}$ $^{\circ}$	tan ϕ_{u}	c' kN/m²	φ' °
正規圧密領域					
過圧密領域					
	78. 9	0.0	0. 0		



JGS 0520 土の三軸試験の供試体作製・設置

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試料番号 (深さ)

D5-2 $(34.00 \sim 34.70 \text{m})$

試 験 者

内田昇一

八个十年	すり(休 <i>さ)</i> 	D0 2 (c	94. 00				
	xを用いる試験の基準番			21-2000 土の非圧密			
₹ }	料の状態 1)		しさない	土 粒 子 の 密		2. 670	
、討	大体の作製 ²⁾	トリ	リミング法		4)		
Ė.	質 名 称				4)		
	供試	本 No.	1	2	3	4	
			5. 000	4. 990	5. 000	4. 990	
	直径	cm	4. 995	4. 995	4. 995	4. 990	
			4. 995	5.000	4. 995	4. 995	
初	平 均 直 往	$\mathbf{E} D_{\mathrm{i}} cm$	4. 997	4. 995	4. 997	4. 992	
			10.000	10.000	10.000	10.000	
	高さ	cm	10.000	10.000	10.000	10.000	
期							
	平 均 高 る	\succeq $H_{ m i}$ cm	10.000	10.000	10.000	10.000	
	体	責 $oldsymbol{V}_{ m i}$ cm 3	196. 11	195. 95	196. 11	195. 72	
状	含 水 」	七 w _i %	59. 4	60. 3	58. 9	59. 0	
	質	$oldsymbol{m}_{ m i}$ g	319. 84	319. 33	319. 74	319. 08	
	湿潤密		1.631	1. 630	1. 630	1.630	
態	乾 燥 密 月	度 $ ho_{ m di}$ $^{3)}$ ${ m g/cm^3}$	1.023	1. 017	1. 026	1. 025	
	間隙上	七 $e_{ m c}$ 3)	1.610	1. 626	1.602	1. 605	
	飽 和 月	度 S _{ri} ³⁾ %	98. 6	99. 0	98. 2	98. 2	
	相 対 密	更 $D_{\rm rc}^{-3)}$ %					
	軸変位量の測	定方法	外部変位計により測定した				
設	設置時の軸変位置	E CM	0	0	0	0	
置	飽 和 過程の軸変位	E CM	0	0	0	0	
• 64-	軸変位	$\!$	0	0	0	0	
飽	体積変化量の	測定方法		計算により算出した			
和	設 置 時の体積変化量	it cm³	0	0	0	0	
過	飽和過程の体積変化量	畫 cm³	0	0	0	0	
程	体 積 変 化 量	畫 $\angle V_{ m i}$ $^{5)}$ cm 3	0	0	0	0	
圧	高	\succeq H_0 cm	10.000	10.000	10.000	10.000	
密	直	$ otin oldsymbol{D}_0$ cm	4. 997	4. 995	4. 997	4. 992	
前(体	責 $oldsymbol{V}_0$ cm 3	196. 11	195. 95	196. 11	195. 72	
試	乾 燥 密 月	$g = \rho_{d0}^{3)} g/cm^3$	1.023	1. 017	1. 026	1. 025	
験	間隙	七 e ₀ 3)	1.610	1. 626	1.602	1. 605	
前	相対密	度 $D_{r0}^{(3)}$					
炉	容 器 No	Э.					
乾	(炉乾燥供試体+容器)	質量 g					
燥	容 器 質 量	d g					
後	炉 乾 燥 質	量 <i>m</i> _s g	200. 61	199. 22	201. 21	200. 64	
	I						

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2)トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3)必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界,塑性限界,砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5)設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

查件名 令和元年度(仮称)夢洲南高勢	架橋土質調査業務委託 	武馬) 6年月日 	2020年02月	21日
料番号(深さ)	D5-3 (40.00~40.70m)	試	験 者	内 田 昇	_
質 名 称 1)	供 試 体 No. セル圧・ 圧密応力 kN/m² 背 圧 u _b kN/m²	1 100	2 200	3 400	4 800
ずみ速度 %/min 1.0 記事項 1) 必要に応じて粘性土 の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の 場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記 載する。	背	180 4. 76	289 2. 36	283 2. 47	227 3. 83
300	供試体の破壊状況				N
(σ ₁ - σ ₁) 曲線 (σ ₁ - σ ₂) ・ 曲線					
200	4				
100					

10.00

15.00

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

0.00

5.00

軸

ひ ず み ε_a (%)

JGS 0521 土の強度特性 土の三軸圧縮試験 [UU]

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

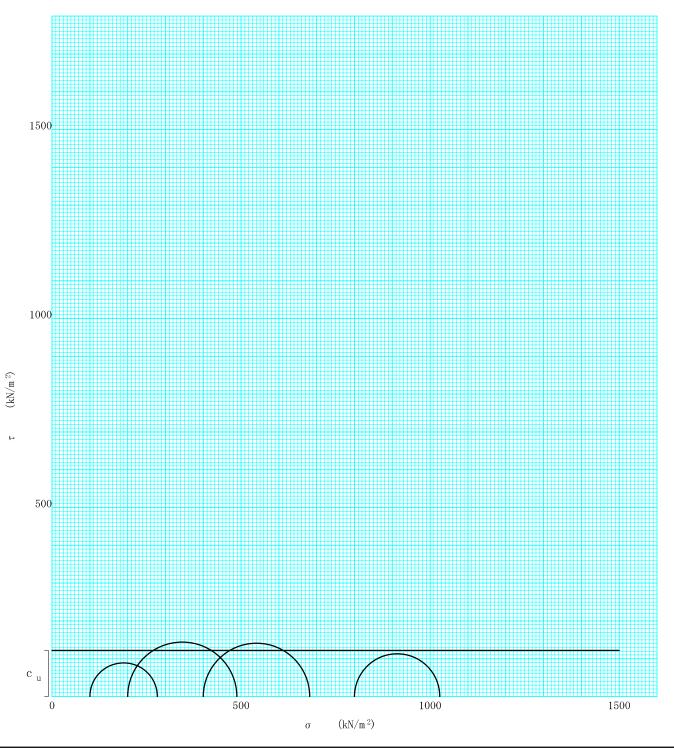
試料番号 (深さ)

D5-3 (40.00~40.70m)

試 験 者

内田昇一

強度定数	全	応	カ	有 効	応 力
応力範囲	$c_{ m u}$ kN/m 2	φ _u °	tan ϕ_{u}	c' kN/m²	φ', °
正規圧密領域					
過圧密領域					
	122. 3	0.0	0. 0		



JGS 0520 土の三軸試験の供試体作製・設置

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試料番号 (深さ)

D5-3 (40.00~40.70m)

試 験 者

内田昇一

	すり(休 <i>さ)</i> 		40.70m/				
	xを用いる試験の基準番			21-2000 土の非圧密			
大 >	料の状態 1)		しさない	土 粒 子 の 密		2. 665	
、討	大体の作製 ²⁾	トリ	リミング法		4)		
Ė.	質 名 称				4)		
	供試	本 No.	1	2	3	4	
			5. 000	4. 995	5. 000	4. 995	
	直径	cm	4. 995	4. 995	4. 995	4. 995	
			4. 990	5.000	4. 995	5. 000	
初	平 均 直 往		4. 995	4. 997	4. 997	4. 997	
			10.000	10.000	10.000	10.000	
	高さ	cm	10.000	10.000	10.000	10. 000	
期							
	平 均 高 る	\succeq $H_{ m i}$ cm	10.000	10.000	10.000	10.000	
	体	責 $oldsymbol{V}_{ m i}$ cm 3	195. 95	196. 11	196. 11	196. 11	
状	含 水 上	七 w _i %	63. 9	61. 1	59. 7	60. 3	
	質	$oldsymbol{m}_{ m i}$ g	314. 28	316. 49	317. 44	317. 56	
	湿潤密	$ \xi \qquad \rho_{\mathrm{ti}}^{3)}\mathrm{g/cm^3} $	1.604	1. 614	1. 619	1.619	
態	乾 燥 密 月	度 $ ho_{ m di}$ $^{3)}$ g/cm 3	0.979	1.002	1.014	1.010	
	間隙	七 $e_{ m c}$ 3)	1. 723	1. 660	1. 629	1. 639	
	飽 和 月	度 S _{ri} ³⁾ %	98.8	98. 1	97. 6	98. 1	
	相 対 密 月	更 $D_{\rm rc}^{-3)}$ %					
	軸変位量の測	定方法	外部変位計により測定した				
設	設置時の軸変位量	E cm	0	0	0	0	
置	飽 和 過程の軸変位量	E cm	0	0	0	0	
• 64-	軸 変 位 🖆	$\!$	0	0	0	0	
飽	体積変化量の	測定方法	計算により算出した				
和	設 置 時の体積変化量	t cm ³	0	0	0	0	
過	飽和過程の体積変化量	畫 cm ³	0	0	0	0	
程	体 積 変 化 量		0	0	0	0	
圧	高	\succeq H_0 cm	10.000	10.000	10.000	10.000	
密	直	$ otin oldsymbol{D}_0$ cm	4. 995	4. 997	4. 997	4. 997	
前(体	責 $oldsymbol{V}_0$ cm 3	195. 95	196. 11	196. 11	196. 11	
試	乾 燥 密 月	$g = \rho_{d0}^{3)} g/cm^3$	0. 979	1. 002	1. 014	1.010	
験	間隙	七 e ₀ 3)	1. 723	1. 660	1. 629	1. 639	
前	相 対 密 月	度 $D_{r0}^{(3)}$					
炉	容器No	Э.					
乾	(炉乾燥供試体+容器)	質量 g					
燥	容 器 質 量	E g					
後	炉 乾 燥 質	量 <i>m</i> _s g	191. 79	196. 49	198. 79	198. 05	
	I						

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2)トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3)必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界,塑性限界,砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5)設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

製造号 (深差) D5-4 (47.00~47.70a) 試験者 内田早一 - 質 名	質 名 称 供	<u> </u>	試	E. → →	_	
たいに 年本成立 100 200 400 800 107 100 1	1) セ	= h - 11	μЧ	験 者	内 田 昇	. —
100 200 400 800 107 540 108 201 109 200 108 800 109 10	1) セ	試体 No	1	2	3	4
1962 1973 1974 1975			100	200	400	800
200 20			100	054	0.40	107
の場合は強性限別。 の方面 () () () () () () () () () (記事項 1) 2 声に内じて牡肿工	E #h 1 \ - + 7 \ 0/				
部(日政 が 6 年)	の場合は液性限界, パ		0.10	0,00	1.00	0,01
放大乾湯密度等を記載する。 本文 本文 本文 本文 本文 本文 本文 本文	至压风炉, 形具工。	3 C				
5 CD 間 阪 比 e _c	最大乾燥密度等を記	表 有効側方向応力σ' _{rf} kN/m²				
(ロー・ロー・ 曲線 3 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1		阜 CD 1年7月0 - 9 ° / vf / 0				
200 200 200 100	<u> </u>	前	garony	germen.	75,755,000	paramon
200 200 200 100		 供試体の破壊状況			1	-
(oo_)ーε。曲線 				1 1	12.174	1
(oo_)ーε。曲線 				11		[]
200 100 100				1		1
200	300					
200						
	—— (σ _a —σ _r)—ε _a 曲線					
	$\left\{\begin{array}{c c} u_{c} & = \varepsilon_{a} \\ \hline \varepsilon_{v} & = \varepsilon_{a} \\ \hline \end{array}\right\}$					
		<u> </u>				
		3				
					_	
	200					
		1 4 				
	100					
•						
• •						
	•	5 00	10 00	***************************************		15 00

JGS 0521 土の強度特性 土の三軸圧縮試験 [UU]

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

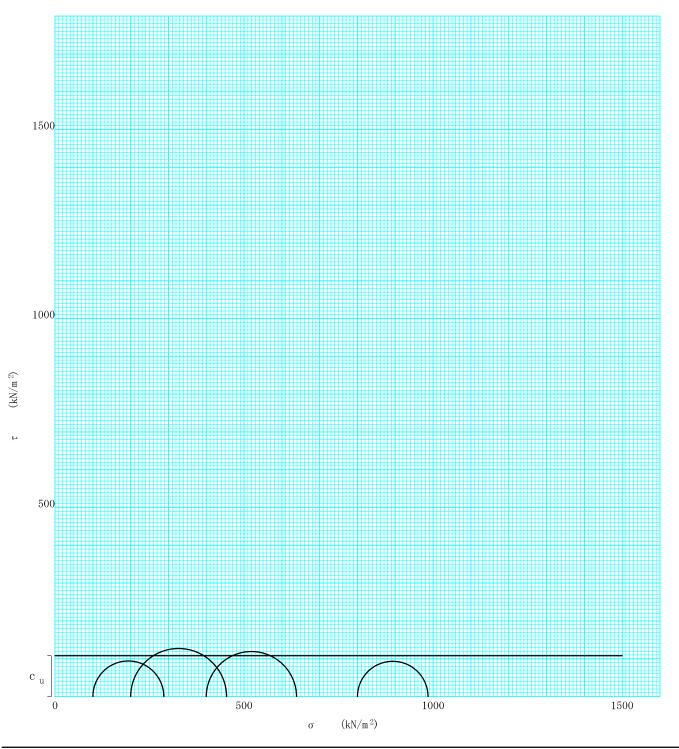
試料番号 (深さ)

D5-4 (47.00~47.70m)

試 験 者

内田昇一

強度定数	全	応	カ	有 効	応 力
応力範囲	$c_{ m u}$ kN/m ²	φ _u °	tan ϕ_{u}	c' kN/m²	φ' °
正規圧密領域					
過圧密領域					
	108. 6	0.0	0. 0		



JGS 0520 土の三軸試験の供試体作製・設置

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試料番号 (深さ)

D5-4 (47.00~47.70m)

試 験 者

内田昇一

供試体	本を用いる試験の基準番号。			21-2000 土の非圧密	非排水(UU)三軸圧縮	試験
式	料の状態1)	刮	」さない	土 粒 子 の 密	度 $ ho_{ m s}^{3)}{ m g/cm^3}$	2.700
共	式体の作製2)	トリ	ミング法		4)	
±	質 名 称				4)	
	供 試 体	No.	1	2	3	4
			4. 995	4. 990	5. 000	4. 995
	直径	cm	4. 990	4. 990	4. 990	4. 990
			4. 990	4. 990	4. 985	4. 995
初	平 均 直 径	$oldsymbol{D}_{ m i}$ cm	4. 992	4. 990	4. 992	4. 993
			10.000	10.000	10.000	10.000
	高 さ	cm	10.000	10.000	10. 000	10.000
期						
	平均高さ	$H_{ m i}$ cm	10.000	10.000	10.000	10.000
	体積	V_{i} cm ³	195. 72	195. 56	195. 72	195. 80
状	含 水 比	<i>w</i> _i %	41.4	41.8	41.0	40. 7
	質 量	<i>m</i> _i g	350.37	349. 14	350. 02	350. 24
	湿 潤 密 度	$\rho_{\rm ti}^{3)}{\rm g/cm^3}$	1. 790	1. 785	1. 788	1. 789
態	乾燥密度	$\rho_{\rm di}^{3)}{\rm g/cm^3}$	1. 266	1. 259	1. 269	1. 272
	間 隙 比	$e_{ m c}$ 3)	1. 133	1. 144	1. 128	1. 123
	飽 和 度	S _{ri} 3) %	98. 7	98.6	98. 0	97. 8
	相 対 密 度	D rc 3) %				
	軸変位量の測定力			外部変位計に	より測定した	
設	設 置 時 の 軸変位量	cm	0	0	0	0
置	飽 和 過程の軸変位量	cm	0	0	0	0
	軸 変 位 量	$\angle H_{i}^{5)}$ cm	0	0	0	0
飽	体積変化量の測定			計算により	算出した	
和	設 置 時の体積変化量	cm^3	0	0	0	0
過	飽和過程の体積変化量	${ m cm}^3$	0	0	0	0
程	体 積 変 化 量	$\angle V_{i}$ 5) cm ³	0	0	0	0
圧	高 さ	H_0 cm	10.000	10.000	10.000	10.000
密	直径	$oldsymbol{D}_0$ cm	4. 992	4. 990	4. 992	4. 993
前(体 積	V_0 cm ³	195. 72	195. 56	195. 72	195. 80
弒	乾 燥 密 度	$\rho_{d0}^{3)}\mathrm{g/cm^3}$	1. 266	1. 259	1. 269	1. 272
験	間 隙 比	e_0 3)	1. 133	1. 144	1. 128	1. 123
前	相 対 密 度	D r0 3)				
炉	容 器 No.					
乾	(炉乾燥供試体+容器)質量	g				
燥	容 器 質 量	g				
後	炉 乾 燥 質 量	<i>m</i> _s g	247. 76	246. 24	248. 32	248. 97

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2)トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3)必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界,塑性限界,砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5)設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

J G S 0521

土の三軸圧縮試験 [UU, CU, CU, CD] (応カーひずみ曲線)

全件名 令和元年度(仮称)夢洲南高。 	果橋土質調査業務委託 	試!	6年月日 	2020年02月	月21日
斗番号 (深さ)	S5-2 (60.00~60.90m)	試	験 者	内田昇	L —
質 名 称	供 試 体 No.	1	2	3	4
1)	セル圧・ 圧密応力 kN/m ²	200	400	600	1000
」) デみ速度 %/min 1.0	背 圧 u_b kN/m²	138	136	217	236
み速度 %/min 1.0 記事項 1) 必要に応じて粘性土	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ kN/m² 主 軸ひずみ ϵ_{af} %	14. 98	15. 00	13. 21	11. 84
の場合は液性限界,	心 - 間隙水圧 <i>u</i> 。kN/m ²				
塑性限界,砂質土の 場合は最小乾燥密度,	差 $\begin{bmatrix} \text{CU} \\ \text{有効軸方向応力} \ \sigma'_{\text{af}} \text{kN/m}^2 \end{bmatrix}$				
最大乾燥密度等を記	最 有効側方向応力 σ' _{rr} kN/m² 大 休積τトボス ε %				
載する。	所 CD 体積ひずみ $ε_{vf}$ % 間 隙 比 e_{f}				
		percent.			g
	供試体の破壊状況	1 1	1 0	1	6
		101	100	F 1	100
		11.3	1 1	1 1	100
		1 3	1	1	1
300					
—— (σ _a —σ _r)—ε _a 曲絼					
{ -u e = ε a 曲約 ε v = ε a 曲約					
			4		
			<u></u>	_	
				3	
			سر		
200					
		/			
					1
					*
100					
100					
0		10. 00			
0.00	5. 00	111 1111			15.00

JGS 0521 土の強度特性 土の三軸圧縮試験 [UU]

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

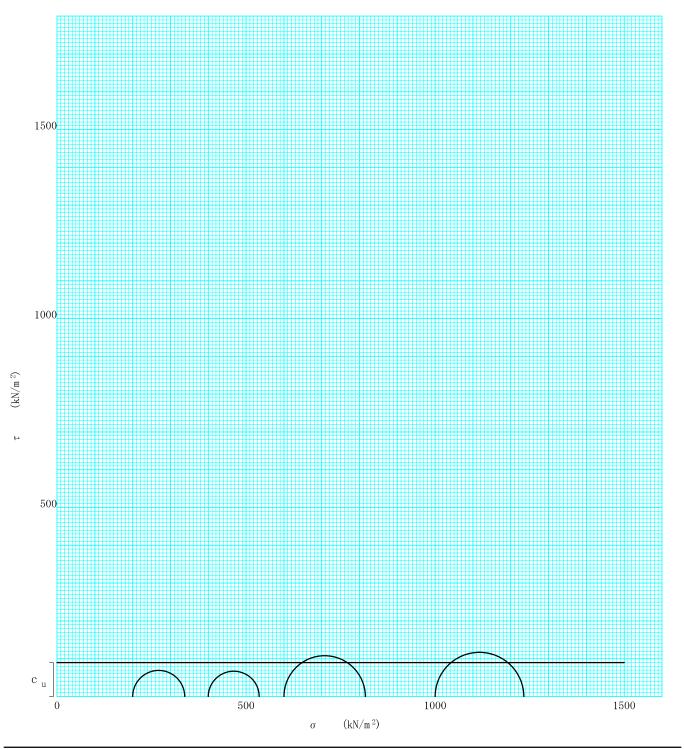
試料番号 (深さ)

S5-2 $(60.00\sim60.90\text{m})$

試 験 者

内田昇一

強度定数	全	応	カ	有 効	応 力
応力範囲	$c_{ m u}$ kN/m ²	φ _u °	tan ϕ_{u}	c' kN/m²	φ' °
正規圧密領域					
過圧密領域					
	90.8	0.0	0. 0		



JGS 0520 土の三軸試験の供試体作製・設置

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

試料番号 (深さ)

S5-2 $(60.00\sim60.90\text{m})$

試 験 者

内田昇一

四十年	子ク (杯 <i>色)</i> 	30 2 (0		四个 例5		
	xを用いる試験の基準番			21-2000 土の非圧密		
£ ;	料の状態1)		しさない	土 粒 子 の 密	度 $ ho_{ m s}$ $^{3)}$ g/cm 3	2. 643
、討	大体の作製 ²⁾	F.J.	リミング法		4)	
<u>t </u>	質 名 称				4)	
	供試	体 No.	1	2	3	4
			5. 000	4. 995	4. 995	5. 000
	直径	cm	4. 995	4. 995	4. 990	5. 000
			4. 990	4. 995	5.000	4. 995
初	平 均 直 往	怪 $D_{ m i}$ cm	4. 995	4. 995	4. 995	4. 998
			10.000	10.000	10.000	10.000
	高さ	cm	10.000	10.000	10.000	10. 000
期						
	平 均 高	ප් $H_{ m i}$ cm	10.000	10.000	10.000	10.000
	体	債 $oldsymbol{V}_{ m i}$ cm 3	195. 95	195. 95	195. 95	196. 19
状	含 水 」	比 w _i %	76. 9	74. 3	74. 7	75. 9
	質	量 <i>m</i> _i g	298. 61	303. 30	302. 80	301. 53
	湿潤密	度 $ ho_{ m ti}^{3)}{ m g/cm}^3$	1.524	1. 548	1. 545	1. 537
態	乾 燥 密	度 $ ho_{ m di}^{3)}{ m g/cm^3}$	0.861	0. 888	0.885	0.874
	間隙	比 $e_{ m c}$ 3)	2.069	1. 976	1. 988	2. 025
	飽和り	变 S _{ri} ³⁾ %	98. 3	99. 3	99. 3	99. 1
	相 対 密	变 D rc ³⁾ %				
	軸変位量の測	定方法		外部変位計に	より測定した	
設	設置時の軸変位	量 cm	0	0	0	0
置	飽 和 過程の軸変位	量 cm	0	0	0	0
•	軸 変 位	量 <i>△H</i> _i 5) cm	0	0	0	0
飽	体積変化量の	測定方法		計算により	算出した	
和	設 置 時の体積変化	量 cm³	0	0	0	0
過	飽和過程の体積変化	量 cm³	0	0	0	0
程	体 積 変 化	量 $\angle V_{ m i}$ $^{5)}$ cm 3	0	0	0	0
圧	高	$ \stackrel{>}{\succeq} H_0 \text{cm} $	10.000	10.000	10.000	10.000
密	直	怪 $oldsymbol{D}_0$ cm	4. 995	4. 995	4. 995	4. 998
前(体 1	債 $oldsymbol{V}_0$ ${ m cm}^3$	195. 95	195. 95	195. 95	196. 19
試	乾 燥 密	$g = \rho_{d0}^{3)} g/cm^3$	0.861	0. 888	0.885	0.874
験		比 e ₀ 3)	2.069	1. 976	1. 988	2. 025
前	相対密	要 $D_{r0}^{3)}$				
炉	容 器 N					
乾	(炉乾燥供試体+容器)	 質量 g				
燥		量 g				
後	炉 乾 燥 質	量 <i>m</i> _s g	168. 76	174. 05	173. 35	171. 44
	1 -					

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2)トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3)必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界,塑性限界,砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5)設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

圧密試験データ

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

試料番号 (深さ)

D5-1 (29.00~29.71m)

試 験 者

内田昇一

試料	番号	(深さ)		D5-	1 (29.0	0~29	9. 71m)			試	験者	1		内田	昇 一	-
4.5	就!	験 機 No)	3	載荷段	· 階	1	压力 p 1	kN/m²	10. 0	載荷段	······································	2	圧力p	kN/m²	20.0
試験				1	試験		2, 18	室温		23-25	試験		2, 19	室温		23-25
機	L	/ <u>・</u> ///////////////////////////////////		136. 90	時	刻		<u> </u>		<u> 20 20</u> 計の読み <i>d</i> mm	時	刻		」 <u>上</u> 過時間		<u> </u>
	/1411 .	試	<u> </u>	前	11.0		755.00	0	久(三)	0.037	11.0	>/1	//===	0	久匹	0. 094
	高		H o cm	2.00	+		4S	s		0. 045			4S	s		0. 104
	直		$\leq D$ cm				6S			0.048						0. 104
供				231. 86			9S			0.048			6S			0. 106
		s+リング)質量					15S						9S			0. 100
		体質量		94. 96						0.054			15S			
試	例 期	含水片			 		30S			0.060			30S			0. 109
		炉					60S			0.066			60S			0.111
44.	容 	器 No		0			90S	1min		0.069			90S	1min		0. 112
体		本+容器) 質量		61. 76				1.5		0.071			2M			0. 114
		器 質 量		0.00			3M	2		0.074			3M	2		0. 115
		体質量			4		5M	3		0.078			5M	3		0. 118
				ドにする)			7M	5		0. 081			7M	5		0. 119
容器		464		59 486			10M	7		0. 083			10M	7		0. 121
	_a g	71. 68		. 45 71. 84			15M	10		0.086			15M	10		0. 123
m	_b g	57. 70		. 65 58. 00			20M	15		0. 087			20M	15		0. 125
m	_c g	26. 19		. 28 25. 63			30M	20		0. 089			30M	20		0. 127
w		44. 4	44	1. 4 42. 8			40M	30		0.090			40M	30		0. 128
平均個	直ω%		43	3. 8			60M	40		0.090			60M	40		0. 131
特記	事項	1)	$m_0 = n$	$n_{\mathrm{T}}-m_{\mathrm{R}}$	T		90M	1h		0.091			90M	1h		0. 134
							2H	1.5		0.091			2H	1. 5		0. 136
		2)	$w_0 = -$	$\frac{m_0 - m_S}{m_S} \times 100$			4H	2		0.092			4H	2		0. 141
				m s			6H	3		0. 092			6H	3		0. 144
							8H	6		0. 093			8H	6		0. 146
							10H	13		0. 093			10H	13		0. 148
		Г	1kN/m²≒	0.0102kgf/cm ²]			12H	24		0. 093			12H	24		0. 149
載荷耳	沙階	3	圧力 p kl		載荷段	:階	4	压力 p 1	kN/m²	80. 0	載荷段	·階	5	圧力p	kN/m²	
試 験		2, 20	室 温		試 験		2, 21	室 温		24-25	試 験		2, 22	室 温		24-25
時	刻	経	過時間	変位計の読みdmm	時	刻	経道	B 時間	変位	計の読み <i>d</i> mm	時	刻	経過	時間	変位	計の読み <i>d</i> mm
			0	0. 153				0		0. 261				0		0. 478
		4S	S	0. 179			4S	S		0. 305			4S	s		0. 542
		6S		0. 181			6S			0. 309			6S			0. 549
		9S		0. 182			9S			0. 314			9S			0. 558
		15S		0. 185			15S			0. 323			15S			0. 571
		30S		0. 189			30S			0. 335			30S			0. 594
		60S		0. 195			60S			0. 351			60S			0. 623
		908	 1min	0. 199			908	lmin		0. 362			90S	lmin		0. 643
		2M	1. 5	0. 199			2M	1. 5		0. 369				1. 5		0. 657
		3M	1. 5 2	0. 202				2		0. 381			3M	2		0.678
			3	0. 210			 5M	3		0. 394			 5M	3		0. 703
		5M		0. 210												0. 703
		7M	5 7				7M	5		0.402			7M	5		
		10M	7	0. 217			10M	7		0.409			10M	7		0.727
		15M	10	0. 221			15M	10		0.417			15M	10		0. 738
		20M	15	0. 224			20M	15		0. 422			20M	15	ļ	0. 745
		30M	20	0. 227			30M	20		0. 428			30M	20		0. 753
		40M	30	0. 229			40M	30	ļ	0. 432			40M	30	ļ	0. 758
													60M	40	1	0.766
		60M	40	0. 233			60M	40		0. 439			OOM	40		
		60M 90M					60M 90M	40 1h		0. 439 0. 445			90M	1h		0. 773
			40	0. 233												
		90M	40 1h	0. 233 0. 237			90M	1h		0.445			90M	1h		0.773
		90M 2H	40 1h 1. 5	0. 233 0. 237 0. 240			90M 2H	1h 1. 5		0. 445 0. 448			90M 2H	1h 1. 5		0. 773 0. 778
		90M 2H 4H	40 1h 1. 5 2	0. 233 0. 237 0. 240 0. 247 0. 250			90M 2H 4H	1h 1. 5 2		0. 445 0. 448 0. 457 0. 463			90M 2H 4H	1h 1. 5 2		0. 773 0. 778 0. 790
		90M 2H 4H 6H 8H	40 1h 1. 5 2 3 6	0. 233 0. 237 0. 240 0. 247 0. 250 0. 252			90M 2H 4H 6H 8H	1h 1.5 2 3 6		0. 445 0. 448 0. 457 0. 463 0. 466			90M 2H 4H 6H 8H	1h 1. 5 2 3 6		0. 773 0. 778 0. 790 0. 796 0. 801
		90M 2H 4H 6H	40 1h 1. 5 2 3	0. 233 0. 237 0. 240 0. 247 0. 250			90M 2H 4H 6H	1h 1.5 2 3		0. 445 0. 448 0. 457 0. 463			90M 2H 4H 6H	1h 1. 5 2 3		0. 773 0. 778 0. 790 0. 796

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 (深さ) D5-1 (29.00~29.71m) 試 験 者 内田昇一 試 験 機 No. 載荷段階 压力p kN/m² 載荷段階 压力p kN/m² 10.0 20.0 圧密リング No. 試験日 2,19 室温℃ 1 試験日 2, 18 室温℃ 23-25 23-25 機 圧密リング質量 m_R g 136.90 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 14H $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 14H 0.093 0.149 0.094 0.150 径 D cm 6.00 16H 16H 231.86 17H 18H 0.151 (供試体+リング)質量 **m** _T g 0.094 供 試 体 質 量 m 01 g 94.96 20H 0.151 53.8 22H 0.152 初期含水比٧゚²% 24H 炉乾 0.152 器 0 24H $1 \min$ 1min 0.153 1.5 1.5 (供試体+容器)質量 61.76 容器質量 0.00 2 供 試 体 質 量 m s g 61.76 初期含水比(削 り く ず に する) 容器 No. 459 486 46471.68 71.45 71.84 10 10 m_a g 57. 70 56.65 58.00 15 15 m_b g 23.28 25.63 26. 19 20 20 m_c g w % 42.8 44.4 44.4 30 30 平均値ω% 43.8 1h 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 1.5 1.5 2 2 3 3 6 6 13 13 24 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 24 載荷段階 載荷段階 圧力p kN/m² 40.0 压力p kN/m² 80.0 載荷段階 压力**p** kN/m² 160.0 2, 21 室 温 試 験 日 室温℃ 24-25 室温℃ 試験日 $^{\circ}\! C$ 23-25 試 験 日 24 - 252, 20 時 経過時間 経過時間 経過時間 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 時 変位計の読みdmm 0.472 14H 0.808 14H 0.258 0.809 16H 16H 0.473 16H 18H 0.259 18H 0.474 18H 0.811 20H 0.259 20H 0.475 20H 0.812 22H 22H 0. 260 22H 0.476 0.813 24H 24H 0.261 24H 0.4780.814 0.478 24H 0.814 1min 1min 1min 1. 5 1. 5 1. 5 2 2 2 3 3 3 5 10 10 10 15 15 15 20 20 20 30 30 30 40 40 40 1h 1h 1.5 1.5 1.5 2 2 2 3 3 3 6 6 6 12 12 12

24

24

24

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

試		· 機 N		3	載何段階	6	上刀 p	KIN/m°	320. 0	載何段階		7	上力p	kN/m ² 640	
験	圧密リ	ング N	0.	1	試験日	2, 23	室 温	°C	23-25	試験日	2	2, 24	室 温	°C 23-	- 25
機	圧密リ	ング質量	$m_R g$	136. 90	時 刻	経過	時間	変位	:計の読み <i>d</i> mm	時 亥	(I	経過	時間	変位計の読	みdmm
		試	験	前			0		0. 814				0	1. 379	
-	+				+	40						4C			
-	高		H_0 cm	2.00		4S	S		0. 911			4S	S	1. 483	3
供		往	$\stackrel{ extsf{E}}{=} D$ cm	6.00		6S			0. 923			6S		1. 503	
	(供試体+	リング)質量	$\mathbf{E} m_{\mathrm{T}} \mathbf{g}$	231.86		9S			0. 935			9S		1. 526	6
	供試	体質量	匙 m ₀¹) g	94. 96		15S			0. 954			15S		1. 562	
試			Ŀw₀²)%	53. 8		30S			0. 989			30S		1. 625	
ET/	1/1 291	<u>- </u>	乾燥		+							60S		1. 713)
-						60S			1. 032					1. 713	
	容	器 N	0.	0		90S	1min		1. 061			90S	1min	1. 778	
体 [(供試体-	+容器)質量	it g	61. 76		2M	1.5		1. 083			2M	1.5	1. 831	1
	容 器	質 量	t g	0.00		3M	2		1. 113			3M	2	1. 915	5
İ			t <i>m</i> _s g			5M	3		1. 148			5M	3	2. 034	4
				* に す る)	+	7M						7M			
							<u>5</u>		1. 169				5	2. 120	
容器	No.	464		59 486		10M	7		1. 188			10M	7	2. 210	
m_a	, g	71.68	71.	. 45 71. 84		15M	10		1. 208			15M	10	2. 310)
m_b	, g	57. 70	56.	. 65 58. 00		20M	15		1. 221]:	20M	15	2. 378	8
	. g	26. 19		. 28 25. 63		30M	20		1. 237		1	30M	20	2. 462	2
	%	44. 4		. 4 42. 8		40M						40M		2. 514	
w		44. 4			<u> </u>		30		1. 249				30	2, 514	±
平均值				. 8	_	60M	40		1. 264	ļ		60M	40	2. 580	
特 記	事 項	1	$m_0 = m$	$n_{\mathrm{T}}-m_{\mathrm{R}}$		90M	1h		1. 279			90M	1h	2. 637	
			. <i>n</i>	$n_0 - m_s$		2H	1.5		1. 289			2H	1.5	2. 674	4
		2	$) w_0 = -$	$\frac{m_0 - m_S}{m_S} \times 100$		4H	2		1. 314			4H	2	2. 752	
				$m_{\rm S}$		6H	3		1. 328			6H	3	2. 793	3
						8H	6		1. 339			8H	6	2. 822	
						10H	13		1. 347			10H	13	2. 843	3
		[$1 \text{kN/m}^2 =$	0.0102kgf/cm ²]		12H	24		1. 353			12H	24	2.859	9
載荷具	ひか ひかい ひかい ひかい ひかい ひかい ひかい ひかい ひかい ひかい ひ	8	圧力p kN	J/m ² 1280.0	載荷段階	9	圧力p1	kN/m²	2560.0	載荷段階		10	圧力p	kN/m ² 10	0.0
→及1円 七															
試験	日	2, 25	室 温	°C 23−25	試験日	2, 26	室 温	$^{\circ}$	23-25	試験日		2, 27	室 温	°C 23-	- 25
		2, 25	室 温過時間			2, 26	室 温時間	$^{\circ}$	23-25 計の読み <i>d</i> mm			2, 27	室 温時間		-25 みdmm
試験	日	2, 25 経	室 温	で 23-25 変位計の読み d mm 2. 915	試験日	2, 26	室 温	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527	試験日		2, 27 経過	室 温	℃ 23- 変位計の読 5.928	-25 み d mm 8
試験	日	2, 25	室 温過時間		試験日	2, 26	室 温時間	$^{\circ}$	23-25 計の読み <i>d</i> mm	試験日		2, 27	室 温時間		-25 み d mm 8
試験	日	2, 25 経	室 温 過時間 0	で 23-25 変位計の読み d mm 2. 915	試験日	2, 26	室 温 時間 0	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527	試験日		2, 27 経過	室 温 B時間 0	℃ 23- 変位計の読 5.928	-25 <i>み d</i> mm 8
試験	日	2, 25 経 4S	室 温 過時間 0	℃ 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045	試験日	2, 26 経過 4S	室 温 時間 0	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4. 527 4. 638 4. 656	試験日		2, 27 経造 4S	室 温 B時間 0	で 23- 変位計の読 5.928 5.764 5.718	-25 み d mm 8 4
試験	日	2, 25 経 48 68 98	室 温 過時間 0	で 23-25 変位計の読み d mm 2. 915 3. 026 3. 045 3. 067	試験日	2, 26 経過 4S 6S 9S	室 温 時間 0	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4. 527 4. 638 4. 656 4. 679	試験日		2, 27 経道 4S 6S 9S	室 温 B時間 0	で 23- 変位計の読 5. 928 5. 764 5. 718 5. 673	-25 み d mm 8 4 8 3
試験	日	2, 25 経 48 6S 9S 15S	室 温 過時間 0	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.067 3.105	試験日	2, 26 経過 4S 6S 9S 15S	室 温 時間 0	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4. 527 4. 638 4. 656 4. 679 4. 713	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158	室 温 B時間 0	で 23- 変位計の読 5. 928 5. 764 5. 673 5. 673	-25 み d mm 8 4 8 3
試験	日	2, 25 経 4S 6S 9S 15S 30S	室 温 過時間 0	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.067 3.105 3.174	試験日	2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S	室 温 時間 0	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4. 527 4. 638 4. 656 4. 679 4. 713 4. 778	試験日		2, 27 経過 4S 6S 9S 15S 30S	室 温 B時間 0	で 23- 変位計の読 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559	-25 み d mm 8 4 8 3 6
試験	日	2, 25 経 48 6S 9S 15S	室 温 過時間 0	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.067 3.105	試験日	2, 26 経過 4S 6S 9S 15S	室 温 時間 0	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4. 527 4. 638 4. 656 4. 679 4. 713	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158	室 温 B時間 0	で 23- 変位計の読 5. 928 5. 764 5. 673 5. 673	-25 み d mm 8 4 8 3 6
試験	日	2, 25 経 4S 6S 9S 15S 30S	室 温 過時間 0	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.067 3.105 3.174	試験日	2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S	室 温 時間 0	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4. 527 4. 638 4. 656 4. 679 4. 713 4. 778	試験日		2, 27 経過 4S 6S 9S 15S 30S	室 温 B時間 0	で 23- 変位計の読 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559	-25 み d mm 8 4 8 8 3 6 9
試験	日	2, 25 経 4S 6S 9S 15S 30S 60S	室 温 過時間 0 s	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.067 3.105 3.174 3.271	試験日	2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S	室 温 塾時間 0 s	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867	試験日		2, 27 経道 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S	室 温	で 23- 変位計の読 5. 928 5. 764 5. 718 5. 673 5. 616 5. 559 5. 476	-25 み d mm 8 4 8 3 6 9 6
試験	日	2, 25	室温 過時間 0 s	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M	室温 B時間 0 s	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867 4.934 4.990	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M	室温 B時間 0 S Imin	で 23- 変位計の読 5. 928 5. 764 5. 673 5. 616 5. 559 5. 476 5. 418	-25 み d mm 8 4 8 3 6 9 6 5
試験	日	2, 25	室 温 過時間 0 s 1min 1.5 2	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505	試験日	2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M	室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4. 527 4. 638 4. 656 4. 679 4. 713 4. 778 4. 867 4. 934 4. 990 5. 081	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M	室温 	で 23- 変位計の読 5. 928 5. 764 5. 718 5. 616 5. 559 5. 476 5. 418 5. 366 5. 286	-25 み d mm 8 4 8 3 6 9 6 6 6
試験	日	2, 25	室 温 過時間 0 s lmin 1.5 2 3	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.653	試験日	2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M	室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867 4.934 4.990 5.081 5.213	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	室温 時間 0 s lmin 1.5 2 3	で 23- 変位計の読 5. 928 5. 764 5. 718 5. 673 5. 616 5. 559 5. 476 5. 415 5. 366 5. 286 5. 163	-25
試験	日	2, 25 経 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	室 温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3	で 23-25 変位計の読み d mm 2. 915 3. 026 3. 045 3. 105 3. 174 3. 271 3. 345 3. 405 3. 653 3. 759	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	室 温 B時間 0 s lmin 1.5 2 3 5	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867 4.934 4.990 5.081 5.213 5.305	試験日		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	室温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5	で 23- 変位計の読 5. 928 5. 764 5. 718 5. 673 5. 616 5. 559 5. 476 5. 415 5. 366 5. 163 5. 067	-25
試験	日	2, 25	室 温 過時間 0 s lmin 1.5 2 3	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.653	試験日	2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M	室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867 4.934 4.990 5.081 5.213	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	室温 時間 0 s lmin 1.5 2 3	で 23- 変位計の読 5. 928 5. 764 5. 718 5. 673 5. 616 5. 559 5. 476 5. 415 5. 366 5. 286 5. 163	-25
試験	日	2, 25 経 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	室 温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3	で 23-25 変位計の読み d mm 2. 915 3. 026 3. 045 3. 105 3. 174 3. 271 3. 345 3. 405 3. 653 3. 759	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	室 温 B時間 0 s lmin 1.5 2 3 5	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867 4.934 4.990 5.081 5.213 5.305	試験日		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	室温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5	で 23- 変位計の読 5. 928 5. 764 5. 718 5. 673 5. 616 5. 559 5. 476 5. 415 5. 366 5. 163 5. 067	-25
試験	日	2, 25	室 温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.067 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M	室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4, 527 4, 638 4, 656 4, 679 4, 713 4, 778 4, 867 4, 934 4, 990 5, 081 5, 213 5, 305 5, 401 5, 498	試験日		2, 27 経道 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	室温 室温 S S Imin 1.5 2 3 5 7	で 23- 変位計の読 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559 5.476 5.415 5.366 5.286 5.163 5.067 4.954 4.812	-25 -25 -24 d mm 8 8 4 8 3 3 6 9 6 6 6 6 7 4 4 2
試験	日	2, 25	室 温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M	室温 B時間 0 S 1min 1.5 2 3 5 7 10 15	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867 4.934 4.990 5.081 5.213 5.305 5.401 5.498 5.555	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158 808 608 908 2M 5M 7M 110M 115M	室温 時間 0 s lmin 1.5 2 3 5 7 10	で 23- 変位計の読 5. 928 5. 764 5. 718 5. 673 5. 616 5. 559 5. 476 5. 418 5. 366 5. 286 5. 163 5. 067 4. 954 4. 812 4. 704	-25 -25 -24 d mm 8 8 8 8 3 6 6 6 6 6 6 6 7 4 4 4
試験	日	2, 25	室 温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058 4.142	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M	室温 B時間 0 S 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4. 527 4. 638 4. 656 4. 679 4. 713 4. 778 4. 867 4. 934 4. 990 5. 081 5. 213 5. 305 5. 401 5. 498 5. 555 5. 621	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 7M 110M 115M 220M 330M	室温 時間 0 s lmin 1.5 2 3 5 7 10 15 20	で 23- 変位計の読 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559 5.476 5.415 5.366 5.286 5.163 5.067 4.954 4.812 4.704 4.548	-2525
試験	日	2, 25	室 温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058 4.142 4.191	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4. 527 4. 638 4. 656 4. 679 4. 713 4. 778 4. 867 4. 934 4. 990 5. 081 5. 213 5. 305 5. 401 5. 498 5. 555 5. 621 5. 660	試験日		2, 27 経逝 48 68 98 158 308 608 908 2M 5M 7M 110M 115M 220M 40M	室温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	で 23- 変位計の読 5.928 5.764 5.673 5.616 5.559 5.415 5.366 5.286 5.163 5.067 4.954 4.812 4.704 4.548 4.437	-25 -25 -24 d mm 8 4 8 3 3 3 5 5 6 6 6 3 7 4 2 4 8 7
試験	日	2, 25	室 温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058 4.142	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M	室温 B時間 0 S 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4. 527 4. 638 4. 656 4. 679 4. 713 4. 778 4. 867 4. 934 4. 990 5. 081 5. 213 5. 305 5. 401 5. 498 5. 555 5. 621	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 7M 110M 115M 220M 330M	室温 時間 0 s lmin 1.5 2 3 5 7 10 15 20	で 23- 変位計の読 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559 5.476 5.415 5.366 5.286 5.163 5.067 4.954 4.812 4.704 4.548	-25 -25 -24 d mm 8 4 8 3 3 3 5 5 6 6 6 3 7 4 2 4 8 7
試験	日	2, 25	室 温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058 4.142 4.191	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4. 527 4. 638 4. 656 4. 679 4. 713 4. 778 4. 867 4. 934 4. 990 5. 081 5. 213 5. 305 5. 401 5. 498 5. 555 5. 621 5. 660	試験日		2, 27 経逝 48 68 98 158 308 608 908 2M 5M 7M 110M 115M 220M 40M	室温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	で 23- 変位計の読 5.928 5.764 5.673 5.616 5.559 5.415 5.366 5.286 5.163 5.067 4.954 4.812 4.704 4.548 4.437	-2525
試験	日	2, 25	室温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.067 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058 4.142 4.191 4.249 4.299	試験日	2, 26	室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4, 527 4, 638 4, 656 4, 679 4, 713 4, 778 4, 867 4, 934 4, 990 5, 081 5, 213 5, 305 5, 401 5, 498 5, 555 5, 621 5, 660 5, 706 5, 745	試験日		2, 27 経述 48 68 98 158 168 908 168 908 2M 3M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 40M 60M 99M	室温	で 23- 変位計の読. 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559 5.476 5.415 5.366 5.286 5.163 4.954 4.812 4.704 4.548 4.437 4.283 4.133	-2525
試験	日	2, 25	室 温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.067 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058 4.142 4.191 4.249 4.299 4.330	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H	室温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4、527 4、638 4、656 4、679 4、713 4、778 4、867 4、934 4、990 5、081 5、213 5、305 5、401 5、498 5、555 5、621 5、660 5、706 5、745 5、770	試験日		2, 27 経述 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 7M 15M 15M 15M 40M 40M 40M 90M 2H	室温	で 23- 変位計の読. 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559 5.476 5.415 5.366 5.286 5.163 5.067 4.954 4.812 4.704 4.548 4.437 4.283 4.040	-25 -25 -24 d mm 8 8 4 8 3 3 6 5 5 6 6 6 7 4 2 4 8 7 3 3 3 6 7 7 3 3 6 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8
試験	日	2, 25	室温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058 4.142 4.191 4.249 4.299 4.330 4.397	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	室温 B時間 0 S 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867 4.934 4.990 5.081 5.213 5.305 5.401 5.498 5.555 5.621 5.660 5.706 5.745 5.770 5.824	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158 808 608 908 2M 7M 110M 15M 20M 40M 60M 99M 2H 4H	室温	で 23- 変位計の読。 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559 5.476 5.418 5.366 5.286 5.163 5.067 4.954 4.812 4.704 4.548 4.437 4.283 4.133 4.040 3.857	-2525
試験	日	2, 25	室温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.067 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058 4.142 4.191 4.249 4.299 4.330 4.397 4.431	試験日	2, 26 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H	室温 S S S S S S S S S S	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867 4.934 4.990 5.081 5.213 5.305 5.401 5.498 5.555 5.621 5.660 5.706 5.745 5.770 5.824 5.851	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158 808 808 608 2M 5M 7M 10M 115M 220M 330M 440M 660M 990M 2H 4H 66H	室温	で 23- 変位計の読 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559 5.476 5.418 5.366 5.286 5.163 5.067 4.954 4.812 4.704 4.548 4.437 4.283 4.133 4.040 3.857 3.786	-2525
試験	日	2, 25	室温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058 4.142 4.191 4.249 4.299 4.330 4.397	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	室温 B時間 0 S 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867 4.934 4.990 5.081 5.213 5.305 5.401 5.498 5.555 5.621 5.660 5.706 5.745 5.770 5.824	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158 808 608 908 2M 7M 110M 15M 20M 40M 60M 99M 2H 4H	室温	で 23- 変位計の読。 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559 5.476 5.418 5.366 5.286 5.163 5.067 4.954 4.812 4.704 4.548 4.437 4.283 4.133 4.040 3.857	-2525
試験	日	2, 25	室温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.067 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058 4.142 4.191 4.249 4.299 4.330 4.397 4.431	試験日	2, 26 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H	室温 S S S S S S S S S S	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867 4.934 4.990 5.081 5.213 5.305 5.401 5.498 5.555 5.621 5.660 5.706 5.745 5.770 5.824 5.851	試験日		2, 27 経過 48 68 98 158 808 808 608 2M 5M 7M 10M 115M 220M 330M 440M 660M 990M 2H 4H 66H	室温	で 23- 変位計の読 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559 5.476 5.418 5.366 5.286 5.163 5.067 4.954 4.812 4.704 4.548 4.437 4.283 4.133 4.040 3.857 3.786	-2525
試験	日	2, 25	室温 過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	で 23-25 変位計の読み d mm 2.915 3.026 3.045 3.105 3.174 3.271 3.345 3.405 3.505 3.653 3.759 3.871 3.987 4.058 4.142 4.191 4.249 4.299 4.330 4.337 4.431 4.454	試験日	2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H 8H	室温 B時間 0 S 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	$^{\circ}$	23-25 計の読み d mm 4.527 4.638 4.656 4.679 4.713 4.778 4.867 4.934 4.990 5.081 5.213 5.305 5.401 5.498 5.555 5.621 5.660 5.706 5.745 5.770 5.824 5.851 5.870	試験日		2, 27 経逝 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 110M 115M 220M 440M 460M 990M 2H 4H 6H 8H	室温	で 23- 変位計の読 5.928 5.764 5.718 5.673 5.616 5.559 5.476 5.415 5.366 5.286 5.163 5.067 4.954 4.812 4.704 4.548 4.437 4.283 4.133 4.040 3.857 3.786 3.743	-2525

J I S A 1217

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

JGS 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 (深さ) D5-1 (29.00~29.71m) 試 験 者 内田昇一 試 験 機 No. 載荷段階 压力p kN/m² 320.0 載荷段階 压力p kN/m² 640.0 圧密リング No. 試験日 2,24 室温℃ 1 試験日 2, 23 室温℃ 23-25 23-25 機 圧密リング質量 m_R g 136.90 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 1.359 14H $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 14H 2.872 1. 364 2.883 径 D cm 6.00 16H 16H 231.86 18H 1. 368 18H 2.891 (供試体+リング)質量 **m** _T g 2. 900 供 試 体 質 量 m 01 g 94.96 20H 1.372 20H 53.8 22H 2.907 1.375 22H 初期含水比٧゚²% 24H 炉乾 24H 2.914 0 器 24H 2.915 1min 1min 1.5 1.5 体 (供試体+容器)質量 61.76 容器質量 0.00 2 供 試 体 質 量 m s g 61.76 初期含水比(削 り く ず に する) 容器 No. 459 486 46471.68 71.45 71.84 10 10 m_a g 57. 70 56.65 58.00 15 15 m_b g 23.28 25.63 26. 19 20 20 m_c g w % 42.8 44.4 44.4 30 30 平均値ω% 43.8 1h 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 1.5 1.5 2 2 3 3 6 6 13 13 24 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 24 載荷段階 載荷段階 圧力p kN/m² 1280.0 压力p kN/m² 2560.0 載荷段階 10 压力p kN/m² 10.0 室温 ℃ 試 験 日 2, 26 室温℃ 23-25 2, 27 試験日 2, 25 23-25 試 験 日 室温℃ 23-25 時 経過時間 経過時間 経過時間 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 時 変位計の読みdmm 4. 493 5. 903 14H 14H 3.687 14H 5. 909 4. 503 3.676 16H 16H 16H 18H 4. 509 18H 18H 3.667 5.915 20H 4. 516 20H 5. 920 20H 3.660 22H 4. 522 22H 5. 925 22H 3.653 4. 527 24H 24H 24H 5. 928 3.648 1min 1min 1min 1.5 1. 5 1. 5 2 2 2 3 3 3 5 10 10 10 15 15 15 20 20 20 30 30 30 40 40 40 1h 1h 1.5 1.5 1.5 2 2 2 3 3 3 6 6 6

12

24

12

24

12

24

JIS 1217 土の段階載荷による圧密試験 (*d* −√*t* 曲 線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月18日 試験年月日 試料番号 試 験 者 D5-1 (29.00 \sim 29.71m) 内田昇一 110 100 90 80 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 压密度100%読み 压密度90%読み 載 正密圧 20 (min) 噩 业 (2m/N) 00.0 $\stackrel{\circ}{0}$ =q 克里舒 王密田力 *p*= 20.00 (kN/m²) 0.01 0.07 0.09 E電圧力 p= 10.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

JIS 1217 土の段階載荷による圧密試験 $(d-\sqrt{t}$ 曲線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 試 験 者 D5-1 (29.00 \sim 29.71m) 内田昇一 110 100 90 80 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 圧密度100%読み 压密度90%読み 荷圧 90 世 田 殿 业 正落压力 p= 320.00 (kN/m²) 0.54 0.84 正案王 160.00 (kN/m²) 0.35 0.25 0.50 E電圧力 p= 80.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

JIS 1217 土の段階載荷による圧密試験 $(d-\sqrt{t}$ 曲線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 試 験 者 D5-1 (29.00 \sim 29.71m) 内田昇一 110 100 90 80 20 $p ext{ kN/m}^2$ $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 載荷直前読み 圧密度0%読み 最終読み 压密度100%読み 圧密度90%読み 載 正密圧 90 噩 业 滋 (如人) 0.0052 = 4 公田魯里 4.50 3.00 王密王力 p= 1280.0(kN/m²) 0.90 3.40 1.90 2.90 平海田分 *p*= 640.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

土の段階載荷による圧密試験 J I S 1217 (*d* -√*t* 曲 線) J G S 0411 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 試 験 者 D5-1 (29.00 \sim 29.71m) 内田昇一 100 90 80 10.0 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 載 荷压密压 20 业 喣 滋 ≡4 代丑魯丑 $(\mathbb{K}\mathbb{N}/\mathbb{W}_{5})$ $(\text{KM}/\text{IM}_{\text{S}})$ =q 代丑密丑 2.60 5.60 6.60 7.60 E電圧力 p= 10.00 (kN/m²) (mm)b 代読の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ JIS A 1217 JGS 0411 土の段階載荷による圧密試験 (圧密量-時間曲線)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月18日 試験年月日 試料番号 試 験 者 D5-1 (29.00 \sim 29.71m) 内田昇一 2000 3000 1000 $\triangle H_1 = (d_{100} - d_0) / 10$ 500 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i})/10$
 載
 荷
 段

 圧密圧力
 サイン

 軟件直前売み

 圧密度0%読み

 最終読み

 圧密度100%読み
 100 50 (min) $d_{100} = 0.207$ 滋 $t_{90} = 2.08$ $d_{90} = 0.202$ $t_{90} = 1.24$ $d_{90} = 0.112$ $t_{90} = 1.06$ $d_{90} = 0.066$ 0. E電压力 p= 20.00 (KN/m²) 正常压力 p= 10.00 (kN/m²) (mm)b 名蓋の指型変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

 JIS A 1217
 1217

 JGS 0411
 土の段階載荷による圧密試験 (圧密量-時間曲線)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月18日 試験年月日 試料番号 試 験 者 D5-1 (29.00 \sim 29.71m) 内田昇一 2000 3000 1000 0. 478 0. 478 0. 814 $\triangle H_1 = \left(d_{100} - d_0 \right) / 10$
 正 名 量 △H cm

 一次圧密量 △H, cm

 圧密度90, 50%時間 t₀o tạmin
 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i})/10$
 載
 荷
 段

 圧密圧力
 サイン

 軟件直前売み

 圧密度0%読み

 最終読み

 圧密度100%読み
 100 50 (min) 箈 $\frac{2.49}{0.668}$ 0.70 (如/m/m²) 00 .00<u>ද</u> = q <u>汽</u>五密五 (KN/m²) 00.00(KN/m²) 0.50 王家王力 p=80.00 (KN/m²) (mm)b 名蓋の指型変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

 JIS A 1217
 1217

 JGS 0411
 土の段階載荷による圧密試験 (圧密量-時間曲線)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月18日 試験年月日 試料番号 試 験 者 D5-1 (29.00 \sim 29.71m) 内田昇 2000 3000 1000 $\triangle H_1 = (d_{100} - d_0) / 10$
 正 名 量 △H cm

 一次圧密量 △H, cm

 圧密度90, 50%時間 t₀o tạmin
 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i})/10$
 載
 荷
 段

 圧密圧力
 サイン

 軟件直前売み

 圧密度0%読み

 最終読み

 圧密度100%読み
 100 50 = 2.242(min) 箈 2.915 $d_0 = 1.379$ (如/My) 0.0825 =q 克里魯里 4.50 3.00 正常压力 p=1280.0 (KN/m²) 1.90 (kN/m²) 00 (kN/m²) = 640.00 (kN/m²) (mm)b 名蓋の指型変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験(圧密量-時間曲線) J G S 0411 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 試 験 者 D5-1 (29.00 \sim 29.71m) 内田昇一 2000 3000 $\triangle H_1 = (d_{100} - d_0) / 10$
 压 密 量 △H cm

 一次压密量 △H, cm

 E密度90, 50%時間 tso ta=min
 200 $\triangle H = \left(d_{\mathrm{f}} - d_{\mathrm{i}} \right) / 10$ 載 荷 段 圧密圧力 載荷直前読み 圧密度0%読み 最終読み 圧密度100%読み 100 20

土の段階載荷による圧密試験 (計算書)

0411 J G S 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 (深さ) 試 験 者 D5-1 (29.00 \sim 29.71m) 内田昇一 試 験 機 No. 6.00 含水比 w₀ 直 径 D cm 53.8 初 23-25 最低~最高室温 $^{\circ}$ C 積 28.27 間隙比 e_0 , 体積比 f_0 1.432 断面 A cm² 供 期 湿潤密度 ρ _τ g/cm³ 土質名称 さ 2.00 状 1.679 $H_{\rm o}$ cm 試 態 土粒子の密度 ρ。 g/cm³ 2.658 質 量 94.96 飽和度 S_{r0} % 99.7 m_0 g 体 圧縮指数 C。 0.65 80.5 炉乾燥質量 液性限界ル 61.76 $m_{\rm s}$ g 圧密降伏応力 p_c kN/m² 塑性限界水。 31.4 $H_{\rm s}$ cm 0.8222 312.4 実 質 高さ 載荷 圧密圧力 p |圧力増分 $\triangle p$ | 圧 密 量 $\triangle H$ 平均供試体高さ \bar{H} 圧 縮 ひ ず み 供試体高さ H 体積圧縮係数m。 間隙比e=H/H。-1 段階 kN/m² kN/m^2 cm \triangle $\epsilon = \triangle H/\overline{H} \times 100\%$ m^2/kN 体積比*f=H/H*。 1.432 0 0.0 2.0000 10.0 0.0057 1.9972 0.283 2.83×10^{-4} 10.0 1.9943 1.426 10.0 0.0059 2.96×10^{-4} 1.9885 20.0 1.418 20.0 0.0108 1.9831 0.545 2.72×10^{-4} 1.9777 1.405 40.0 3 40.0 0.0217 1.96681.103 2.76×10^{-4} 1.379 80.0 1.9560 1.9392 $2.17x10^{-4}$ 80.0 0.0336 1.733 5 160.0 1.338 1.9224160.0 0.0565 1.8941 2.983 1.86×10^{-4} 1. 269 1. 8659 320.0 6 1.7891 0.1536 8.586 2. 68x10⁻⁴ 320.0 1.083 640.01.7123 640.0 0.1612 1.6317 9.880 1. 54x10⁻⁴ 1280.0 1.5511 0.886 1.4810 1280.0 0.1401 9.460 7. $39x10^{-5}$ 0.716 2560.0 1.4110 **-**2550. 0 -0.2280 1.5250 -14. 951 5.86×10^{-5} 1.6390 10 10.0 0.993 載荷 平均圧密圧力 万 ·次圧密量 $\triangle H_1$ 透水係数 k'圧密係数 c_v 透水係数 k 一次圧密比 補正圧密係数 t_{90} , $= t_{50}$ 段階 $c_{\mathrm{v}}' = rc_{\mathrm{v}} \, \mathrm{cm}^2/\mathrm{d}$ kN/m^2 \min cm^2/d m/s cm $r = \triangle H_1 / \triangle H$ m/s - 0 5.00 1.06 1150.9 3. 70x10⁻⁹ 0.0032 0.559 643.9 2.07×10^{-9} 976.2 14.14 1.24 3.28×10^{-9} 0.0020 0.338 329.6 1. 11x10⁻⁹ 28.28 2.08 577.5 1. 78x10⁻⁹ 0.0054 0.504 291.1 9. 00×10^{-10} 56.57 2.08 568.3 1. 78x10⁻⁹ 0.0121 0.558 317.2 9. $93x10^{-10}$ 289. 3 113.14 2.49 460.4 1. 13x10⁻⁹ 0.0211 0.628 7. 11x10⁻¹⁰ 5 226.27 2.51 435.9 9. 23×10^{-10} 0.0318 0.562 245.2 5.19×10^{-10} 452.55 67.9 $2.07x10^{-10}$ 8.09 120.7 3.68×10^{-10} 0.0863 0.562 905.10 1.25×10^{-10} 0.1106 0.686 48.9 8.57×10^{-11} 11.38 71.3 5. $62x10^{-11}$ 3.90×10^{-11} 1810.19 9.98 67.0 0.0971 0.693 46.5

特記事項

-10

160.00

 $H_{s}=m_{s}/(\rho_{s}A)$ $H=H'-\Delta H$ $\overline{H}=(H+H')/2$ $m_{v}=(\Delta \varepsilon/100)/\Delta p$ $S_{r0}=w_{0}\rho_{s}/(e_{0}\rho_{w})$

 $\overline{p} = \sqrt{p \cdot p'}$ \sqrt{t} 法: $c_v = 305 \times \overline{H}^2/t_{90}$ 曲線定規法: $c_v = 70.9 \times \overline{H}^2/t_{50}$ $k = c_v m_v \gamma_w/(8.64 \times 10^8)$ $k' = c_v m_v \gamma_w/(8.64 \times 10^8)$ ただし, $\gamma_w = 9.81 \mathrm{kN/m}^3$

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

JIS	A	1217)	40	(段	階	載	荷)	たとて圧を針験	(正然出始)	J G S	0411
JІS	A	1227	エの	定ひ	ずみ	速度載	请	による圧密試験	(圧縮曲線)	J G S	0412

調本供名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月18日

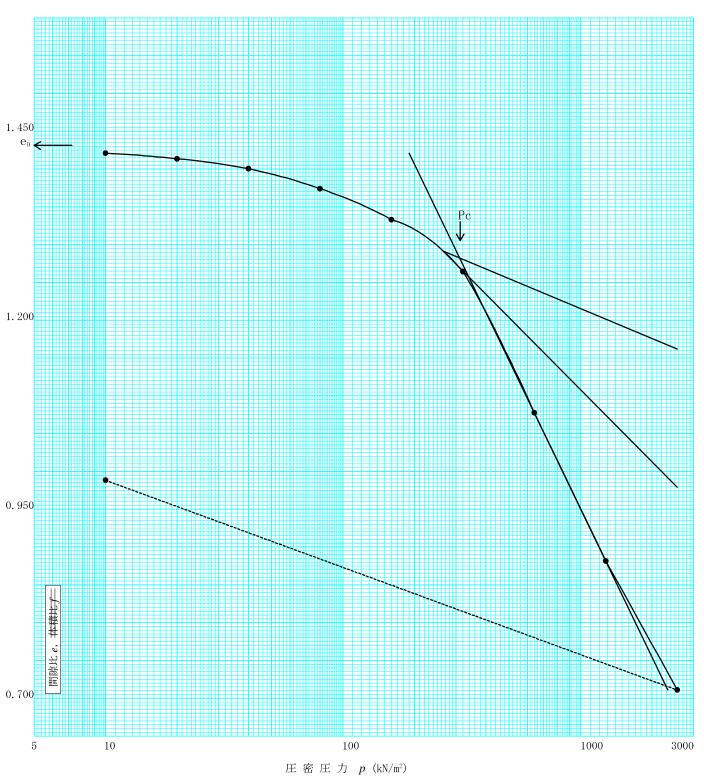
試料番号 (深さ)

D5-1 (29.00~29.71m)

試 験 者

内田昇一

土粒子の密度	液性限界	塑性限界	初期含水比	初期間隙比 e ₀ 初期体積比 f ₀	圧縮指数	圧密降伏応力	ひずみ速度 ¹⁾
ρ _s g/cm³	w _L %	w _p %	w。%		C。	p _c kN/m²	%/min
2.658	80.5	31. 4	53.8	1. 432	0.65	312.4	



特記事項

1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。

JIS	A	1217)	10(段 階	載	荷	たとフロウシー	/ — BB (元)	JGS	0411
JIS	A	1227	主の定ひず	み速度	載荷	による圧鉛試験	$(c_{v}, m_{v}-\bar{p}$ 関係)	J G S	0412

試料番号 (深さ)

D5-1 (29.00~29.71m)

試 験 者

内田昇一



土の段階載荷による圧密試験(初期状態、圧密量測定)

令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 内田昇一 試料番号 (深さ) D5-2 (34.00 \sim 34.70m) 試 験 者 機 No. 試 験 5 載荷段階 压力p kN/m2 10.0 載荷段階 压力p kN/m² 20.0 圧密リング No. 4 試験日 2, 18 室温℃ 23-25 試 験 日 2, 19 室温℃ 23-25 機 圧密リング質量 **m**_Rg 137.87 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 0.0470.100 $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 0.054 **4**S 0.156 径 D cm 6.00 6S 0.055 6S 0.157 (供試体+リング)質量 **m** g 98 0.057 231. 13 9S 0.158 93.26 15S 0.060 0.160 供 試 体 質 量 m ₀ l) g 15S 初期含水比٧020% 59.9 0.063 30S 30S 0.162 試 60S 0.066 60S 0.164 90S 器 90S 0.068 0 1min 0.165 1min 1.5 体 (供試体+容器)質量 2M0.070 2M 1.5 0.166 58. 33 容器質量 0.00 3M2 0.072 3M 2 0.167 供試体質量加g 58.33 5M 5M 0.074 0.169 初期含水比(削 り < ずに する) 7M 0.076 7M 0.170 468 0.078 容器 No. 10M 0.171 482 481 10M 71.39 71.50 72.07 15M 10 0.081 15M 10 0.173 m_a g 54. 80 55.00 55.08 20M 15 0.082 20M 0.173 15 m_b g 30M 30M 25.96 26.08 25.78 0.085 0.175 20 20 m_c g 57.5 57.1 58.0 40M 0.088 40M 0.175 W 30 30 平均値ω% 57.5 60M 0.090 60M 0.177 90M 0.092 90M 1h 0.178 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 2H2H 1.5 0.093 1.5 0.179 4H 2 0.095 4H 2 0.182 6H 3 0.096 6H 3 0. 183 8H 0.097 8H 0.183 6 6 13 10H 13 0.184 10H 0.097 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 12H 24 0.098 12H 24 0.184 載荷段階 圧力p kN/m² 40.0 80.0 載荷段階 5 圧力p kN/m² 160.0 載荷段階 圧力p kN/m² 2, 21 2, 22 試験日 室 温 23-25 試験日 室温℃ 24-25 試 験 日 室 温 24-25 2, 20 経過時間 経過時間 経過時間 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 時 変位計の読みdmm 0.1840.287 0.476 0. 533 0.225 0.337 4S 0.227 6S 6S 0.3406S0.538 9S 0.229 9S 9S 0.344 0.546 15S 0.231 15S 0.349 15S 0.556 30S 0.234 30S 0.357 30S 0.575 60S 30S 0.238 0.369 60S 0.599 90S 0.241 90S 0.376 90S 0.617 1min 1min 1min 1. 5 1.5 1.5 2M 0.243 2M 0.382 2M 0.631 2 3M2 0.246 3M0.391 3M2 0.653 3 3 5M 0.249 5M 0.401 5M 3 0.680 7M 5 0.251 7M 0.408 7M 0.697 0. 253 10M 10M 10M 0.414 0.712 10 0.256 15M 15M 10 15M 10 0.421 0.725 15 20M 0.258 20M 15 0.425 20M 15 0.733 30M 20 30M 20 30M 20 0.261 0.430 0.742 40M 30 0.263 40M 30 40M 30 0.434 0.747 40 40 60M 40 30M 0.265 60M 0.439 0.755 90M 0.268 90M 0.444 90M 0.763 1h 1h 1h 1.5 1.5 1.5 2H 0.270 2H 0.448 2H 0.767 2 2 2 4H 0.276 4H0.456 4H 0.779 6H 3 0.2786H 3 0.461 6H 3 0.786

8H

10H

12H

6

12

24

0.464

0.467

0.469

8H

10H

12H

6

12

24

0.790

0.794

0.796

8H

10H

12H

6

12

24

0.281

0.282

0. 283

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 (深さ) D5-2 (34.00~34.70m) 試 験 者 内田昇一 試 験 機 No. 載荷段階 載荷段階 压力p kN/m² 5 压力p kN/m2 10.0 20.0 圧密リング No. 試験日 2,19 室温℃ 4 試験日 2, 18 室温℃ 23-25 23-25 機 圧密リング質量 m_R g 137.87 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 14H $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 14H 0.098 0.184 0.099 0.184 径 D cm 6.00 16H 16H 231. 13 17H 18H 0.184 (供試体+リング)質量 **m** _T g 0.100 供 試 体 質 量 m 01 g 93.26 20H 0.184 59. 9 22H 0.184 初期含水比٧゚²% 炉乾 24H 0.184 0 器 $1 \min$ 1min 1.5 1.5 (供試体+容器)質量 58.33 容器質量 g 0.00 2 供 試 体 質 量 m s g 58.33 初期含水比(削 り く ず に する) 容器 No. 468 481 482 71.39 71.50 72.07 10 10 m_a g 54.80 55.00 55.08 15 15 m_b g 25.96 26.08 25. 78 20 20 m_c g w % 57.5 58.0 57. 1 30 30 平均値ω% 57.5 1h 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 1.5 1.5 2 2 3 3 6 6 13 13 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 24 24 載荷段階 載荷段階 圧力p kN/m² 40.0 压力p kN/m² 80.0 載荷段階 压力**p** kN/m² 160.0 2, 21 室温 ℃ 試 験 日 室温℃ 24-25 試験日 23-25 試 験 日 室温℃ 24 - 252, 20 経過時間 経過時間 経過時間 時 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 時 変位計の読みdmm 0.470 0. 284 14H 14H 0.285 0.800 16H 16H 0.47216H 18H 0.286 18H 18H 0.801 0.473 20H 0.286 20H 0.474 20H 0.802 22H 22H 0. 286 22H 0.804 0.475 24H 24H 0.287 24H 0.4760.805 24H 0.287 24H 0.476 1min 1min 1min 1. 5 1. 5 1. 5 2 2 2 3 3 3 5 10 10 10 15 15 15 20 20 20 30 30 30 40 40 40 1h 1h 1.5 1.5 1.5 2 2 2 3 3 3 6 6 6 12 12 12 24 24 24

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

試料番号 (深さ)

内田县 —

h	1/2	験 機	No		5	載荷段	性	6	圧力pl	7N/m2	320. 0	載荷段階	4	7	圧力p	kN/m2	640.0
試験		# 199 リング			5 4	試験		2, 23	室温		23-25	試験日		2, 24	室温		23-25
機			量 m _R g			時	<u> </u>		世 価 時間				刻		 過時間		23-23 †の読み <i>d</i>
	八五	シンフ貝 試	単 <i>m</i> _R 8	前	137. 87	H.ZL	Ø1	作主儿			計の読み d mm	нД	// 1	作主儿			
	<u> </u>							4C	0		0.805			40	0		1. 316
	高		さ H o cm		2.00			4S	S		0.870			4S	S		1. 391
供	直 		径 <i>D</i> cm		6. 00			6S			0.879			6S			1. 404
			重量 <i>m</i> ⊤ g		231. 13			9S			0. 890			9S			1. 419
			量 m ₀ 1) g		93. 26			15S			0. 907			15S			1. 444
試	初期		比 w 0 ²⁾ %		59. 9			30S			0. 937			30S			1. 492
			乾炒	製 後				60S			0. 977			60S			1. 560
	容	器	No.		0			90S	1min		1.004			90S	1min		1. 613
体	(供試作	本+容器)質	t量 g		58. 33			2M	1.5		1.028			2M	1.5		1. 656
	容岩	器質	量 g		0.00			3M	2		1.061			3M	2		1. 728
	供討	体 質	量 m _s g		58. 33			5M	3		1. 103			5M	3		1.835
	初期電	含水比(肖	削りくっ	ずにす	する)			7M	5		1. 128			7M	5		1. 915
容器	No.	482	. 4	68	481			10M	7		1. 150			10M	7		2.006
	_a g	t		. 50	72. 07			15M	10		1. 170			15M	10		2. 115
	<i>b</i> g	t		. 00	55. 08			20M	15		1. 182			20M	15	1	2. 193
	, g	05.6		5. 08	25. 78			30M	20		1. 197			30M	20		2. 301
w	_ ,	+		7. 1	58. 0			40M	30		1. 207			40M	30		2. 374
	<u>/°</u> 直ω%	01.		7. 5	1 30.0	 		60M	40		1. 220			60M	40		2. 469
	事項					 		90M	1h		1. 233			90M	1h		2. 556
付 記	事 垻		1) $m_0 = n$														
			2) $w_0 = -$	m_0-m	<u>'s</u> ×100			2H	1. 5		1. 242			2H	1. 5		2. 612
				$m_{\rm S}$				4H	2		1. 262			4H	2		2. 733
								6H	3		1. 274			6H	3		2. 796
								8H	6		1. 283			8H	6		2. 839
								10H	13		1. 289			10H	13		2. 871
					2kgf/cm²]			12H	13 24		1. 289 1. 295			12H	13 24		2. 871 2. 895
載荷口		8	圧力 p k	N/m²	1280. 0	載荷段		12H 9	13 24 圧力 p l	κN/ m ²	1. 289 1. 295 2560. 0	載荷段階		12H 10	24 圧力 p	kN/m²	2. 871 2. 895 10. 0
試 駿	注目	2, 25	圧力 p k 室 温	N/m² °C	1280. 0 23 - 25	試 験	日	12H 9 2, 26	13 24 圧力 p l 室 温	κΝ/m² °C	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25	試 験 日		12Н 10 2, 27	24 圧力 p 室 温	kN/m² ℃	2. 871 2. 895 10. 0 23–25
	注目	2, 25	圧力 p k	N/m² ℃ 変位言	1280.0 23-25 計の読み d mm			12H 9 2, 26	13 24 圧力 p l	«N/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm	試験日		12Н 10 2, 27	24 圧力 p	kN/m² ℃ 変位i	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d
試 駿	注目	2, 25	圧力 p k 室 温	N/m² ℃ 変位計	1280.0 23-25 計の読み d mm 2.978	試 験	日	12H 9 2, 26	13 24 圧力 p l 室 温	sN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882	試 験 日		12Н 10 2, 27	24 圧力 p 室 温	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465
試 駿	注目	2, 25	圧力 p k 室 温 圣過時間 0	N/m² ℃ 変位計	1280.0 23-25 計の読み d mm	試 験	日	12H 9 2, 26	13 24 圧力pl 室 温 時間	sN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm	試 験 日		12Н 10 2, 27	24 圧力 p 室 温 時間	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d
試 駿	注目	2, 25 	圧力 p k 室 温 圣過時間 0	N/m² ℃ 変位言	1280.0 23-25 計の読み d mm 2.978	試 験	日	12H 9 2, 26 経進	13 24 圧力p k 室 温 時間 0	sN/m² ℃ 変位言	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882	試 験 日		12H 10 2, 27 経過	24 圧力 <i>p</i> 室温 時間 0	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465
試 駿	注目	2, 25 新 48	圧力 p k 室 温 圣過時間 0 s	N/m² ℃ 変位言	1280.0 23-25 計の読み d mm 2.978 3.068	試 験	日	12H 9 2, 26 経遊 4S	13 24 圧力p k 室 温 時間 0	«N/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990	試 験 日		12H 10 2, 27 経道 4S	24 圧力 <i>p</i> 室温 時間 0	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294
試 駿	注目	2, 25 	E 力p k 室 温 軽過時間 0 s	N/m² ℃ 変位言	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082	試 験	日	12H 9 2, 26 経遊 4S 6S	13 24 圧力p k 室 温 時間 0	kN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004	試 験 日		12H 10 2, 27 経過 4S 6S	24 圧力 <i>p</i> 室温 時間 0	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260
試 駿	注目	2, 25 48 68 98	压力p k 室 温 圣過時間 0 s	N/m² ℃ 変位言	1280.0 23-25 計の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129	試 験	日	12H 9 2, 26 経進 4S 6S 9S 15S	13 24 圧力p k 室 温 時間 0	kN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049	試 験 日		12H 10 2,27 経道 4S 6S 9S	24 圧力 <i>p</i> 室温 時間 0	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.155
試 駿	注目	2, 25 # 48 68 98 158	田力pk 室温 室温 の s	N/m² ℃ 変位言	1280.0 23-25 計の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186	試 験	日	12H 9 2, 26 経進 4S 6S 9S	13 24 圧力p k 室 温 時間 0	kN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104	試 験 日		12H 10 2,27 経過 4S 6S 9S 15S	24 圧力 <i>p</i> 室温 時間 0	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.155 6.079
試 駿	注目	2, 25 48 68 98 158 308 608	<u>圧力p</u> k 室温 経過時間 0 s	N/m² ℃ 変位言	1280.0 23-25 計の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271	試 験	日	9 2, 26 経過 48 6S 9S 15S 30S 60S	13 24 圧力p l 室 温 B時間 0 s	kN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182	試 験 日		12H 10 2,27 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S	24 圧力p 室 温 動時間 0 s	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.155 6.079 5.995
試 駿	注目	2, 25 48 68 98 155 308 608 908	田力p k 室 温 室 温	N/m² ℃ 変位言	1280.0 23-25 計の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337	試 験	日	9 2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908	13 24 圧力pト 室 温 時間 0 s	kN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244	試 験 日		12H 10 2, 27 経過 48 68 98 158 308 608	24 圧力p 室 温 動時間 0 s	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.155 6.079 5.995 5.934
試 駿	注目	2, 25 48 68 98 158 308 608 908	E 力p k 室 温	N/m² ℃ 変位言	1280.0 23-25 計の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395	試 験	日	9 2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M	13 24 圧力pk 室 温 B時間 0 s	kN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295	試 験 日		12H 10 2,27 経過 48 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M	24 圧力p 室 温 動時間 0 s 1min 1.5	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.155 6.079 5.995 5.934 5.882
試 駿	注目	2, 25 45 48 68 98 158 308 608 908 2M	田力pk 室温 番過時間 0 s i Imin 1.5	N/m² °C 変位言	1280.0 23-25 井の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491	試 験	日	12H 9 2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M	13 24 圧力pl 室 温 B時間 0 S 1min 1.5 2	kN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382	試 験 日		12H 10 2,27 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M	24 圧力p 室 温 動時間 0 s 1min 1.5	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796
試 駿	注目	2, 25 48 48 68 98 158 308 600 908 2M 3M 5M	田力pk 室温 る場時間 0 s lmin 1.5 2	N/m² °C 変位言	1280.0 23-25 計の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641	試 験	日	12H 9 2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	13 24 圧力pk 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3	xN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513	試 験 日		12H 10 2,27 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M	24 圧力p 室 温 時間 0 s 1min 1.5 2 3	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665
試 駿	注目	2, 25 48 48 68 98 155 308 608 908 2M 5M	田力pk 室温 室温時間 0 s s s s s s s s s s s s s s s s s s	N/m² °C 変位言	1280.0 23-25 件の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757	試 験	日	12H 9 2, 26 経避 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M	13 24 圧力pl 室 温 の s Imin 1.5 2 3 5	xN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612	試 験 日		12H 10 2,27 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	24 圧力p 室 温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.155 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665 5.562
試 駿	注目	2, 25 48 68 98 158 308 608 908 2h 5h 10h	圧力pk 室 温 3 1 1 5 5 7 7	N/m² °C 変位言	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895	試 験	日	12H 9 2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M	13 24 圧力pl 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7	xN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725	試 験 日		12H 10 2, 27 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M	24 圧力p 室 温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7	kN/m² °C 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665 5.562 5.438
試 駿	注目	2, 25 48 68 98 158 309 608 908 2M 5M 7M 10M	圧力p k 室 温 3 1min 1.5 2 3 1 7 10	N/m²	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895 4.059	試 験	日	9 2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M	13 24 医力pk 室温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10	xN/m² ℃ 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725 5. 854	試 験 日		12H 10 2, 27 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M	24 圧力p 室 温 動時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.155 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665 5.562 5.438 5.280
試 駿	注目	2, 25 48 48 68 98 158 309 20 30 70 100 150 200	田力pk 室温 室温時間 0 s s in	N/m² ℃ 変位言	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895 4.059 4.173	試 験	日	12H 9 2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M	13 24 E 力p l 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15	xN/m² ℃ 変位言	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725 5. 854 5. 938	試 験 日		12H 10 2,27 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M	24 圧力p 室 温 動時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.155 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665 5.562 5.438 5.280 5.156
試 駿	注目	2, 25 48 68 98 158 309 608 908 2M 5M 7M 10M	田力pk 室温 室温時間 0 s s in	N/m² °C 変位言	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895 4.059 4.173 4.314	試 験	日	9 2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M	13 24 医力pk 室温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10	xN/m² ℃ 変位言	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725 5. 854	試 験 日		12H 10 2,27 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 5M 7M 10M 15M 20M 30M	24 圧力p 室 温 動時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665 5.562 5.438 5.280 5.156 4.968
試 駿	注目	2, 25 48 48 68 98 158 309 20 30 70 100 150 200	圧力p k 室 温	N/m² °C 変位言	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895 4.059 4.173 4.314 4.397	試 験	日	12H 9 2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M	13 24 E 力p l 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15	xN/m² ℃ 変位言	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725 5. 854 5. 938	試 験 日		12H 10 2,27 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M	24 圧力p 室 温 動時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.155 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665 5.562 5.438 5.280 5.156 4.968 4.827
式 駿	注目	2, 25 48 48 68 98 158 308 608 908 2M 100 15M 20M 30M	圧力p k 室 温 2 温 3 3 1	N/m² °C 変位言	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895 4.059 4.173 4.314	試 験	日	12H 9 2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M	13 24 E 力 p l 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15	xN/m² ℃ 変位言	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725 5. 854 5. 938 6. 042	試 験 日		12H 10 2,27 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 5M 7M 10M 15M 20M 30M	24 圧力p 室 温 動時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665 5.562 5.438 5.280 5.156 4.968
式 駿	注目	2, 25 48 48 68 98 155 308 608 908 2M 7M 100 15M 200 30M 40M	圧力p k 室 温 3 1 15 10 15 20 1 30 40 40 1 1 1 1 1 1 1 1 1	N/m² °C 変位言	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895 4.059 4.173 4.314 4.397	試 験	日	12H 9 2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	13 24 圧力pl 室温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	«N/m² °C 変位言	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725 5. 854 5. 938 6. 042 6. 102	試 験 日		12H 10 2,27 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	E	kN/m² ℃ 変位言	2. 871 2. 895 10. 0 23-25 +の読み d 6. 465 6. 294 6. 260 6. 215 6. 155 6. 079 5. 995 5. 934 5. 882 5. 796 5. 665 5. 562 5. 438 5. 280 5. 156 4. 968 4. 827
試 駿	注目	2, 25 48 48 68 98 158 308 608 908 2h 100 15h 20h 30h 40h 60h	圧力p k 室 温 3 1min	N/m² °C 変位言	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895 4.059 4.173 4.314 4.397 4.493 4.568	試 験	日	12H 9 2, 26 経避 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M	13 24 E 力 p l 室 温 B 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	«N/m² ℃ 変位言	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725 5. 854 5. 938 6. 042 6. 102 6. 172 6. 227	試 験 日		12H 10 2,27 48 68 98 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M	E	kN/m² °C 変位言	2. 871 2. 895 10. 0 23-25 +の読み d 6. 465 6. 294 6. 260 6. 215 6. 155 6. 079 5. 995 5. 934 5. 882 5. 796 5. 665 5. 665 5. 562 5. 438 5. 280 5. 156 4. 968 4. 827 4. 625 4. 426
試 駿	注目	2, 25 48 68 98 158 308 608 908 2h 10h 15h 20h 40h 90h 2t	圧力p k 室 温 3 1min 1.5 2 3 15 10 15 20 30 40 1.5	N/m² ℃	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895 4.059 4.173 4.314 4.397 4.493 4.568 4.614	試 験	日	12H 9 2, 26 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H	13 24 E 力p L 全	《N/m² °C 数位言	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725 5. 854 5. 938 6. 042 6. 172 6. 227 6. 262	試 験 日		12H 10 2, 27 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M	24 圧力p 室 温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h	kN/m² °C 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.155 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665 5.562 5.438 5.280 5.156 4.968 4.827 4.625 4.426 4.294
試 駿	注目	2, 25 48 68 98 158 309 608 2N 10N 10N 15M 40N 90N 21 41	圧力p k 室 温 3 1min	N/m² ℃	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895 4.059 4.173 4.314 4.397 4.493 4.568 4.614 4.707	試 験	日	12H 9 2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	13 24 E 力p l 室 温 B時間 0 s 	xN/m² ℃ 変位言	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725 5. 854 5. 938 6. 042 6. 102 6. 172 6. 262 6. 332	試 験 日		12H 10 2,27 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	E	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.155 6.155 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665 5.562 5.438 5.280 5.156 4.968 4.827 4.625 4.426 4.294 4.032
試 駿	注目	2, 25 48 48 68 98 158 308 608 908 2h 15h 10h 15h 20h 40h 60h 90h 2l- 4l- 6l-	圧力p k 室 温 3 1min 1.5 2 3 15 10 15 20 1.5 20 1.5 20 1.5 20 1.5 20 30 40 1.5 2 3 3 3 40 1.5 2 3 3 3 4 3 4 4 4 4 4	N/m² ℃ 変位言	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895 4.059 4.173 4.314 4.397 4.493 4.568 4.614 4.707 4.754	試 験	日	12H 9 2, 26 経達 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H	13 24 E 力 p l 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2 3	xN/m² ℃ 変位言	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725 5. 854 5. 938 6. 042 6. 102 6. 172 6. 262 6. 332 6. 367	試 験 日		12H 10 2,27 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H	E	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.215 6.155 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665 5.562 5.438 5.280 5.156 4.968 4.827 4.625 4.426 4.294 4.032 3.921
試 駿	注目	2, 25 48 68 98 158 309 608 2N 10N 10N 15M 40N 90N 21 41	圧力p k 室 温 3 30 40 1.5 2 3 40 1.5 2 3 3 6 6 6 6 6 6 6 6	N/m² °C 変位言	1280.0 23-25 中の読み d mm 2.978 3.068 3.082 3.100 3.129 3.186 3.271 3.337 3.395 3.491 3.641 3.757 3.895 4.059 4.173 4.314 4.397 4.493 4.568 4.614 4.707	試 験	日	12H 9 2, 26 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	13 24 E 力p l 室 温 B時間 0 s 	«N/m² °C 変位i	1. 289 1. 295 2560. 0 23-25 計の読み d mm 4. 882 4. 990 5. 004 5. 021 5. 049 5. 104 5. 182 5. 244 5. 295 5. 382 5. 513 5. 612 5. 725 5. 854 5. 938 6. 042 6. 102 6. 172 6. 262 6. 332	試 験 日		12H 10 2,27 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	E	kN/m² ℃ 変位言	2.871 2.895 10.0 23-25 +の読み d 6.465 6.294 6.260 6.155 6.079 5.995 5.934 5.882 5.796 5.665 5.562 5.438 5.280 5.156 4.968 4.827 4.625 4.426 4.294 4.032

J I S A 1217

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

JGS 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 (深さ) D5-2 (34.00~34.70m) 試 験 者 内田昇一 試 験 機 No. 載荷段階 压力p kN/m² 320.0 載荷段階 压力p kN/m² 640.0 5 圧密リング No. 試験日 2,24 室温℃ 4 試験日 2, 23 室温℃ 23-25 23-25 機 圧密リング質量 m_R g 137.87 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 1. 299 14H $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 14H 2.915 2. 932 1. 304 径 D cm 6.00 16H 16H 231. 13 18H 1. 307 18H 2. 945 (供試体+リング)質量 **m** _T g 2. 957 供 試 体 質 量 m 01 g 93.26 20H 1.310 20H 59. 9 22H 2. 967 1.313 22H 初期含水比٧゚²% 24H 1. 316 炉乾 24H 2.977 0 器 24H 2.978 1min 1min 1.5 1.5 体 (供試体+容器)質量 58.33 容器質量 0.00 2 供 試 体 質 量 m s g 58.33 初期含水比(削 り く ず に する) 5 容器 No. 482 468 481 71.39 71.50 72.07 10 10 m_a g 54.80 55.00 55.08 15 15 m_b g 25.96 26.08 25.78 m_c g 20 20 w % 57.5 58.0 57.1 30 30 平均値ω% 57.5 1h 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 1.5 1.5 2 2 3 3 6 6 13 13 24 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 24 載荷段階 載荷段階 圧力p kN/m² 1280.0 压力p kN/m² 2560.0 載荷段階 10 压力p kN/m² 10.0 室温 ℃ 試 験 日 2, 26 室温℃ 23-25 2, 27 23-25 試験日 2, 25 23-25 試 験 日 室温℃ 時 経過時間 変位計の読み d mm 経過時間 経過時間 変位計の読み d mm 時 変位計の読みdmm 4.837 14H 14H 14H 6.432 4.849 3. 757 16H 16H 6.440 16H 18H 4. 859 18H 18H 3.744 6.447 20H 4.867 20H 6.454 20H 3.733 3. 724 22H 22H 6. 459 22H 4. 875 24H 24H 4.882 24H 6.465 3.715 24H 1min 3.714 1min 1min 1.5 1. 5 1. 5 2 2 2 3 3 3 5 10 10 10 15 15 15 20 20 20 30 30 30 40 40 40 1h 1h 1.5 1.5 1.5 2 2 2 3 3 3 6 6 6 12 12 12

24

24

24

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 $(d-\sqrt{t}$ 曲線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月18日 試験年月日 試料番号 試 験 者 D5-2 (34.00 \sim 34.70m) 内田昇一 110 100 90 80 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 載荷直前読み 圧密度0%読み 最終競み 圧密度100%読み 压密度90%読み 荷圧 90 彻 (min) 噩 业 (2m/N) 00.0 $\stackrel{\circ}{0}$ =q 克里舒 0.18 王密王力 p= 20.00 (kN/m²) 0.02 0.04 0.10 0.06 0.08 E電圧力 p= 10.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 (*d* -√*t* 曲 線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 試 験 者 内田昇一 D5-2 (34.00 \sim 34.70m) 110 100 90 80 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 圧密度100%読み 压密度90%読み 載 正密圧 90 业 \vec{k} 工工工工 \vec{k} \vec{k} \vec{k} \vec{k} \vec{k} \vec{k} \vec{k} \vec{k} \vec{k} \vec{k} 0.83 0.53 正案王 160.00 (kN/m²) 0.28 0.53 E電圧分 p= 80.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 (*d* −√*t* 曲 線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 試 験 者 D5-2 $(34.00 \sim 34.70 \text{m})$ 内田昇 110 100 90 80 20 $p ext{ kN/m}^2$ $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 載荷直前読み 圧密度0%読み 最終読み 压密度100%読み 压密度90%読み 載 正密圧 20 (min) $d_{100} = 2.220$ 噩 业 喣 滋 (sm/M/) 0.0052 =q 公田密五 3.00 4.50 3.50 王密王力 p= 1280.0(kN/m²) 3.30 1.30 1.80 0.80 2.30 2.80 平海田分 *p*= 640.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

土の段階載荷による圧密試験 J I S 1217 (*d* -√*t* 曲 線) J G S 0411 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 試 験 者 D5-2 (34.00 \sim 34.70m) 内田昇一 110 100 90 80 10.0 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 載 荷压密压 20 业 喣 滋 =4 代王黎王 $(\mathbb{K}\mathbb{N}/\mathbb{W}_{5})$ $(\text{KM}/\text{IM}_{\text{S}})$ =q 代丑密丑 6.70 7.70-5.70 E電圧力 p= 10.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ JIS A 1217 JGS 0411 土の段階載荷による圧密試験 (圧密量-時間曲線)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月18日 試験年月日 試料番号 試 験 者 D5-2 (34.00 \sim 34.70m) 内田昇一 2000 3000 1000 $\triangle H_1 = (d_{100} - d_0) / 10$ 500
 正 名 量 △H cm

 一次圧密量 △H, cm

 圧密度90, 50%時間 t₀o tạmin
 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i})/10$
 載
 荷
 段

 圧密圧力
 サイン

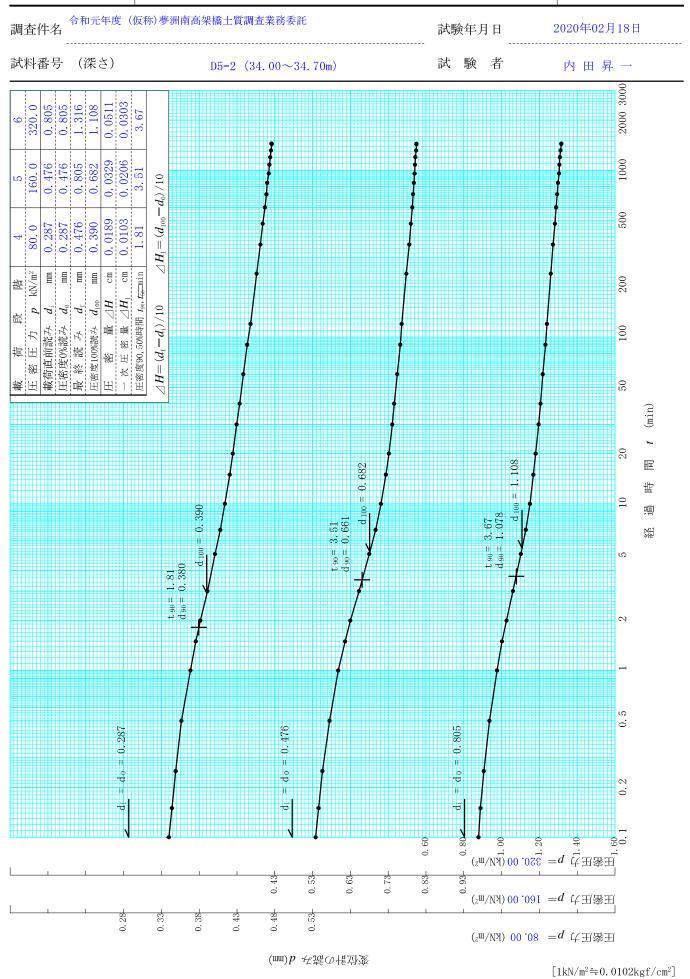
 軟件直前売み

 圧密度0%読み

 最終読み

 圧密度100%読み
 100 50 (min) 箈 0.047 0.20 E電压力 p= 20.00 (kN/m²) 正常压力 p= 10.00 (kN/m²) (mm)b 名蓋の指型変 $[1kN/m^2 \doteq 0.0102kgf/cm^2]$

土の段階載荷による圧密試験(圧密量-時間曲線)



JIS A 1217 JGS 0411 土の段階載荷による圧密試験 (圧密量-時間曲線)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月18日 試験年月日 試料番号 試 験 者 D5-2 (34.00 \sim 34.70m) 内田昇 2000 3000 1000 $\triangle H_1 = \left(d_{100} - d_0 \right) / 10$
 正 名 量 △H cm

 一次圧密量 △H, cm

 圧密度90, 50%時間 t₀o tạmin
 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i})/10$ 載 荷 段 圧密圧力 載荷直前読み 圧密度0%読み 最終読み 圧密度100%読み 100 50 $t_{90} = 18.38$ $d_{90} = 5.914$ (min) 滋 2.978 **d** 0 $(k_N/m^2) = 4$ 4.50 3.00 王密压力 p= 1280.0 (KN/m²) 1.80 2.80 正容压力 *p*= 640.00 (kN/m²) (mm)b 名蓋の指型変 $[1kN/m^2 \doteq 0.0102kgf/cm^2]$

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験(圧密量-時間曲線) J G S 0411 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月18日 試料番号 試 験 者 D5-2 (34.00 \sim 34.70m) 内田昇一 2000 3000 $\triangle H_1 = (d_{100} - d_0) / 10$
 压 密 量 △H cm

 一次压密量 △H, cm

 E密度90, 50%時間 tso ta=min
 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i})/10$ 載 荷 段 圧密圧力 載荷直前読み 圧密度0%読み 最終読み 圧密度100%読み 100 50

(mm)b 名蓋①指型変

 (KN/M_3)

 $(\mathrm{K}\mathrm{M}/\mathrm{IM}_{\mathrm{S}})$

=q 代丑魯丑

=4 代王豫王

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

E電圧力 p= 10.00 (kN/m²)

土の段階載荷による圧密試験 (計算書)

J G	S 0	411			<u> </u>	12 pg (= 00	٠, ــــــ	т н ч	. , , ,		H /			
調査	今和元 ⁴ 件名 	年度(1	仮称) 夢	州南高架橋	上質調:	查業務委託			試験	:年月	日	2020年	≡ 02,	月18日
試料	番号(深さ)		DS	5-2 (3	34. 00~34. 70ı	m)		試	験	者	内日	田 昇	7 —
試験	¢機 No.					直 径	D cm	6. 00)	初	含水	比 w ₀ %		59. 9
最低	~最高室温	$^{\circ}$	2	23-25	- 供	断 面 積	A cm ²	28. 2	7	期	間隙	比 <i>e</i> ₀ , 体積比<i>f</i>₀	:	1. 587
土質	名 称				4.€	高 さ	H_0 cm	2. 00		状	湿潤	密度ρ _t g/cm³		1.649
土粒子	 子の密度 ρ s	g/cm ³	2	2. 670	試	質 量	<i>m</i> ₀ g	93. 2		態	飽和	度 S _{r0} %		100. 7
液性	E 限 界 w _L	%	1	05.8	- 体	炉乾燥質量	$m_{\rm s}$ g	58. 3	3	圧 綃	計指	数 <i>C</i> 。		0.82
塑性	E 限 界 w _p	%		35. 1		実 質 高さ	$H_{ m s}$ cm	0. 773		圧密		カ p 。 kN/m²		363.8
載荷	圧密圧力 p	圧力堆	曽分⊿p	圧 密 量	$\triangle H$	供試体高さ 1	H 平均	供試体高さ $ar{H}$	圧縮	ひず	み	体積圧縮係数	文 $m_{_{\scriptscriptstyle \mathrm{V}}}$	 間隙比 <i>e=H/H</i> ₅−1
段階	$\mathrm{kN/m^2}$		N/m^2	cm		cm		cm	Δ ε = ∠	$H/ar{H} imes$		m^2/kN		<u>体積比ƒ=H/H。</u>
0	0.0					2. 0000								1. 587
		10	0. 0	0.005	3			1. 9974	0	. 265		2. 65x10 ⁻⁴		
1	10. 0					1. 9947								1. 580
		10). 0	0.008	 34			1. 9905	0	. 422		4. 22x10 ⁻⁴		
2	20. 0					1. 9863								1. 569
		20). 0	0.010)3			1. 9812	0	. 520		2. 60x10 ⁻⁴		
3	40. 0					1. 9760								1. 556
		4(). 0	0.018	 89			 1. 9666	0	. 961		2. 40x10 ⁻⁴		
4	80. 0					1. 9571								1. 532
		80), 0	0. 032	 99	1.0011		 1. 9407	1	. 695		2. 12x10 ⁻⁴		1.002
5	160. 0			0.002		1. 9242			1	. 050		2. 12X10		1. 489
	100.0	16	0. 0	0. 051	1	1.3242		1. 8987	9	. 691		1. 68x10 ⁻⁴		1.403
6	320. 0	10		0.001	. 1	1. 8731		1.0301		. 031		1.00x10		1. 423
	320.0	20	0 0	0 166		1.0731		 1. 7900		. 285		2. 90x10 ⁻⁴		1. 423
7	640 O	32	0.0	0. 166)	1 7000		1. 7900	9	. 200		2. 90x10 °		1 900
7	640. 0	C A		0.100		1. 7069		1 6117	1 1			1 0510-4		1. 208
	1000 0	04	0.0	0. 190) 4 	1 5105		1.6117	11	1.814		1. 85x10 ⁻⁴		0.000
8	1280. 0	1.00		0.150		1. 5165		1 4074				0 00 10-5		0. 962
9	0500.0	128	30. 0	0. 158		1 0500		1. 4374	I J	1. 013		8. 60x10 ⁻⁵		0.757
	2560. 0	0.5		0.07		1. 3582						7 01 10-5		0. 757
		-25	50. 0	-0. 27	51			1. 4958	-1	8. 392		7. 21x10 ⁻⁵		
10	10. 0					1. 6333								1. 113
段階	平均圧密圧力 \overline{p} kN/m^2		in = 1	圧密係数 cm²/d		透水係数 <i>k</i> m/s	一次	圧密量⊿ H ₁ cm		:圧密比 1 H 1/∠		補正圧密係 $c_v' = rc_v \text{ cm}^2$		透水係数 <i>k'</i> m/s
-0-	5. 00	0.	63	1931.	4	5. 81x10 ⁻⁹	(0. 0020	0	. 376		726. 1		2. 18x10 ⁻⁹
1	14. 14	0.	66	1845.	0	8.84x10 ⁻⁹	(0. 0070	0	. 833		1537. 5		7. 36x10 ⁻⁹
2	28. 28	1.	30	918.	0	2. 71x10 ⁻⁹	(0. 0062	0	. 604		554.6		1. 64x10 ⁻⁹
3	56. 57	1.	81	651.	0	1. 78x10 ⁻⁹	(0. 0103	0	. 547		355. 9		9. 71x10 ⁻¹⁰
4	113. 14		51	327.		7. 88x10 ⁻¹⁰		0. 0206		. 625		204. 6		4. 92x10 ⁻¹⁰
5	226. 27		67	299.		5. 72x10 ⁻¹⁰		0. 0303	0	. 594		178. 0		3.40×10^{-10}
6	452. 55		. 84	61. 7		2. 03x10 ⁻¹⁰		0. 0904		. 544		33. 6		1. 11x10 ⁻¹⁰
7	905. 10		. 71	33. 4		7. 00x10 ⁻¹¹		0. 1398		. 734		24. 5		5. 14x10 ⁻¹¹
8	1810. 19		. 38	34. 3		3. 35×10^{-11}		0. 1147		. 724		24. 8		2. 43x10 ⁻¹¹
9	160. 00													
—10—	持記事項	1		I		<u> </u>		$H_{\rm s}=m_{\rm s}$	/(()		$\overline{p} = \sqrt{p \cdot p'}$		
1								···s	, \P S Z1	-/		r 'P P		

 $H_{s} = m_{s} / (\rho_{s} A)$ $H = H' - \triangle H$ $\overline{H} = (H + H') / 2$ $m_{v} = (\triangle \epsilon / 100) / \triangle p$ $S_{r0} = w_{0} \rho_{s} / (e_{0} \rho_{w})$

 $\overline{p} = \sqrt{p \cdot p'}$ \sqrt{t} 法: $c_v = 305 \times \overline{H}^2/t_{90}$ 曲線定規法: $c_v = 70.9 \times \overline{H}^2/t_{50}$ $k = c_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$ $k' = c_v ' m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$ ただし、 $\gamma_w = 9.81 \text{kN/m}^3$

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

JIS	A	1217)	40	(段	階	載	荷)	たとて圧を針験	(正经出纳)	J G S	0411
JІS	A	1227	エの	定ひ	ずみ	速度載	请	による圧密試験	(圧縮曲線)	J G S	0412

調本件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月18日

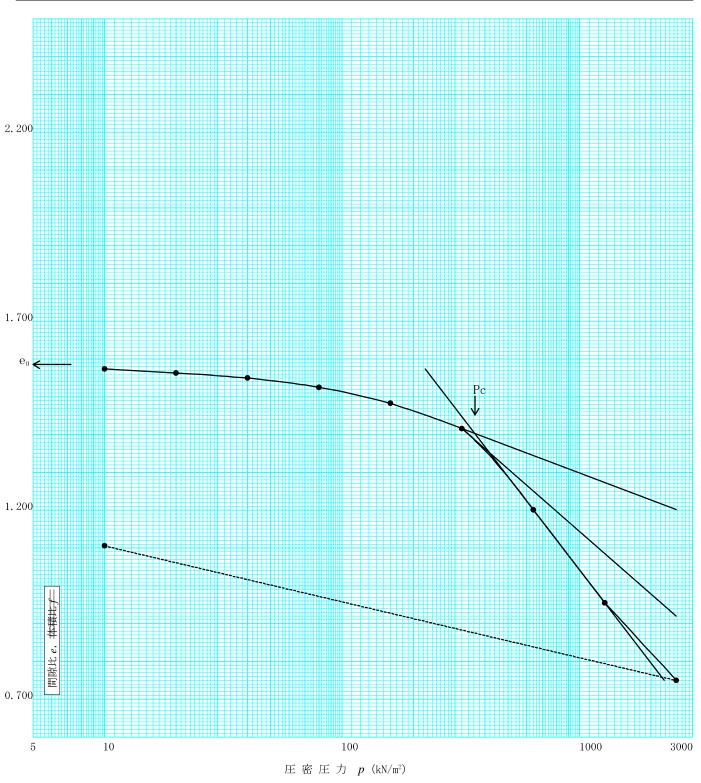
試料番号 (深さ)

D5-2 (34.00~34.70m)

試 験 者

内田昇一

土粒子の密度	液性限界	塑性限界	初期含水比	初期間隙比 e_0 初期体積比 f_0	圧縮指数	圧密降伏応力	ひずみ速度 ¹⁾
ρ _s g/cm³	w _L %	w _p %	w ₀ %		C。	p _c kN/m²	%/min
2. 670	105.8	35. 1	59. 9	1. 587	0.82	363.8	



特記事項

1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。

JIS	A	1217)	上の段	階	載	荷),	ァトフロ索針験	(= 田広)	J G S	0411
JІS	A	1227		ずみ	速度載	荷(こよる圧密試験	$(c_{v}, m_{v}-\overline{p}$ 関係)	J G S	0412

調査件名 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 試験年月日 2020年02月18日

試料番号 (深さ)

D5-2 $(34.00 \sim 34.70 \text{m})$

試 験 者

内田昇一



特記事項

J I S A 1217

土の段階載荷による圧密試験(初期状態、圧密量測定)

JGS 0411 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 内田昇一 試料番号 (深さ) D5-3 (40.00 \sim 40.70m) 試 験 者 機 No. 試 験 6 載荷段階 压力p kN/m2 20.0 載荷段階 压力p kN/m² 40.0 圧密リング No. 5 試験日 2, 19 室温℃ 23-25 試 験 日 2, 20 室温℃ 23-25 機 圧密リング質量 **m**_Rg 136.90 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 0.083 0.037 $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 0.042 **4**S 0.094 径 D cm 6.00 6S 0.044 6S 0.095 (供試体+リング)質量 **m** g 228. 35 98 0.096 0.046 9S 15S 0.048 0.098 供 試 体 質 量 m ₀ l) g 91.4515S 初期含水比٧020% 62. 7 0.053 30S 30S 0.100 試 60S 0.057 60S 0.103 0.060 90S 器 90S 0.105 0 1min 1mir 1.5 体 (供試体+容器)質量 56.21 2M0.062 2M1.5 0.106 容器質量 0.00 3M2 0.064 3M 2 0.108 供試体質量加g 56.21 5M 5M 0.067 0.112 0.069 初期含水比(削 り < ずに する) 7M 7M 0.114 容器 No. 489 0.070 10M 0.116 485 492 10M 64.69 67.96 77.27 15M 10 0.072 15M 10 0.117 m_a g 50.32 52.42 58.12 20M 15 0.073 20M 0.119 15 m_b g 30M 30M 0.120 26.4227.05 26.460.074 20 20 m_c g 60.5 60.1 61.3 40M 0.075 40M 0.122 W 30 30 平均値ω% 60.6 60M 0.076 60M 0.124 90M 0.077 90M 1h 0.126 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 2H 2H1.5 0.078 1.5 0.128 4H 2 0.079 4H 2 0.131 6H 3 0.080 6H 3 0. 133 8H 8H 6 0.081 6 0.134 13 10H 13 0.136 10H 0.081 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 12H 24 0.082 12H 24 0.137 載荷段階 圧力p kN/m² 80.0 160.0 載荷段階 5 圧力p kN/m² 320.0 載荷段階 圧力p kN/m² 2, 22 2, 23 試験日 2, 21 室 温 24-25 試験日 室温℃ 24-26 試験日 室 温 23-25 経過時間 経過時間 経過時間 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 時 変位計の読みdmm 0.140 0.267 0.525 0.163 0.316 0.589 4S 0.320 0.597 6S 0.1656S 6S 9S 9S 9S 0.168 0.325 0.606 15S 0.173 15S 0.335 15S 0.621 0.180 30S 0.350 30S 0.647 30S 60S 30S 0.369 60S 0.682 0.190 90S 0.196 90S 0.383 90S 0.706 1min 1min 1min 1. 5 1.5 0.394 1.5 2M 0.201 2M 2M 0.725 2 0.753 3M2 0.207 3M0.410 3M2 3 3 5M 0.214 5M 0.430 5M 3 0.783 7M 0.219 7M 0.441 7M 0.800 10M 10M 0.222 10M 0.452 0.813 0.226 10 15M 15M 0.824 15M 10 0.461 10 15 20M 0.229 20M 15 0.466 20M 15 0.832 30M 20 30M 20 30M 20 0.233 0.473 0.841 40M 30 0.236 40M 30 40M 30 0.846 0.478 40 40 60M 40 0.239 60M 0.855 30M 0.483 90M 0.242 90M 0.490 90M 0.862 1h 1h 1h 1.5 1.5 0.867 2H 0.245 2H 0.494 2H 1.5 2 2 2 4H 0.252 4H0.504 4H 0.881 6H 3 0.255 6H 3 0.509 6H 3 0.887 8H 6 0.258 8H 6 0.513 8H 6 0.893

10H

12H

12

24

0.516

0.518

10H

12H

12

24

0.897

0.900

10H

12H

12

24

0.260

0.262

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 (深さ) D5-3 (40.00~40.70m) 試 験 者 内田昇一 試 験 機 No. 压力p kN/m² 6 載荷段階 圧力p kN/m² 20.0 載荷段階 40.0 圧密リング No. 試験日 試験日 2,20 室温℃ 5 2, 19 室温℃ 23-25 23-25 機 圧密リング質量 $m_{\scriptscriptstyle R}$ g 136.90 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 14H 0.138 $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 14H 0.082 0.083 0.138 径 D cm 6.00 16H 16H 228. 35 18H 18H 0.139 (供試体+リング)質量 **m** _T g 0.083 供 試 体 質 量 m 01 g 91.45 20H 0.139 62. 7 22H 0.139 初期含水比٧゚²% 炉乾 24H 0.140 器 0 1min 1min 56. 21 1.5 1.5 (供試体+容器)質量 容器質量 g 0.00 2 供 試 体 質 量 m s g 56. 21 初期含水比(削 り く ず に する) 容器 No. 489 492 485 77. 27 64.69 67.96 10 10 m_a g 50.32 52.42 58.12 15 15 m_b g 26.42 27.05 26.46 20 20 m_c g <u>w</u> % 60.5 60.1 61.3 30 30 平均値ω% 60.6 1h 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 1.5 1.5 2 2 3 3 6 6 13 13 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 24 24 載荷段階 載荷段階 圧力p kN/m² 80.0 压力p kN/m² 160.0 載荷段階 压力**p** kN/m² 320.0 室温 ℃ 試 験 日 2, 22 室温℃ 2, 23 室温℃ 試 験 日 2, 21 24-25 24 - 26試 験 日 経過時間 経過時間 経過時間 時 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 時 変位計の読みdmm 0. 263 14H 0.902 14H 0.519 0.264 0.905 16H 16H 0.52116H 18H 0.264 18H 0.522 18H 0.906 20H 0.265 20H 0.523 20H 0.908 0. 524 22H 0. 266 22H 22H 0. 910 24H 24H 0.267 24H 0.525 0.912 1min 1min 1min 1. 5 1. 5 1. 5 2 2 2 3 3 3 5 10 10 10 15 15 15 20 20 20 30 30 30 40 40 40 1h 1h 1.5 1.5 1.5 2 2 2 3 3 3 6 6 6 12 12 12

24

24

24

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日

試料看	番号(注	深さ)		D5-3	$3 (40.00 \sim 40)$). 70m)		討	大 験 者		内 田	昇 一
試		機 No.		6	載荷段階	6	圧力 p l			7	圧力p	
	圧密リン			5	試験日	2, 24	室 温			2, 25		
機	圧密リン	ング質量		136. 90	時 刻	経過	過時間	変位計の読み d	mm 時刻	経	過時間	変位計の読み d m
		試	験	前			0	0. 912			0	2. 350
	高	さ	$\boldsymbol{H}_{\scriptscriptstyle{0}}$ cm	2.00		4S	S	0. 994		4S	s	2, 445
供[直	径	D cm	6. 00		6S		1. 006		6S		2. 463
	(供試体+リ	リング)質量		228. 35	1	9S		1. 023		9S		2. 483
İ		本 質 量		91. 45		15S		1. 048		15S		2. 518
試		含水比		62. 7		30S		1. 095		30S		2. 585
- F	D4 791 E		乾燥		†	60S		1. 158		60S		2. 683
F	容 器	器 No.	, _	0	 	908	 1min	1. 204		908	1min	2. 760
体		-容器)質量		56. 21		2M	1. 5	1. 241		2M	1. 5	2. 825
				0.00				1. 299		3M		2. 935
-		質量				3M	2				2	
		本質量		56. 21	 	5M	3	1. 380		5M	3	3. 105
				`にする)		7M	5	1. 437		7M	5	3. 236
容器		485	48			10M	7	1. 498		10M	7	3. 386
		64. 69	67.			15M	10	1. 571		15M	10	3, 561
m_b	+	50. 32	52.			20M	15	1. 623		20M	15	3. 676
		26. 42	27.	05 26.46		30M	20	1. 698		30M	20	3.815
w	%	60. 1	61	. 3 60. 5		40M	30	1. 751		40M	30	3. 896
平均値	Ι ω%		60	. 6	T	60M	40	1. 826		60M	40	3. 987
特記	事項	1)	$m_0 = m$!m _	T	90M	1h	1. 901		90M	1h	4.062
	• • •					2H	1. 5	1. 953		2H	1. 5	4. 108
		2)	$w_0 = \frac{n}{2}$	$\frac{m_0-m_S}{m_S} \times 100$		4H	2	2. 077		 4H	2	4. 205
				$m_{\rm S}$		6H	3	2. 145		6H	3	4. 255
						8H	6	2. 193			6	4. 287
						10H	13	2. 227		10H	13	4. 312
		E1	1. NI /2 •	0.0102kgf/cm ²]		12H	24	2. 256		12H	24	4. 330
±12-44-01	п. ты				±1.71: cn.7H				±5.75 cn.764	1211		
載荷段			圧力p kN		載荷段階 試験 日	9	圧力p1		載荷段階		圧力p	
試 験												
			室温 "			2, 27	室温			474	室温	
時	刻		時間	変位計の読み d mm			時間	変位計の読みd		経	過時間	
		経過	B時間 0	変位計の読み d mm 4.393		経過	過時間 0	変位計の読み d 6.035		経	過時間	
— 		経過 4S	時間	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493		経道 4S	時間	変位計の読み a 6.035 5.866		経	過時間	
 		経遊 4S 6S	B時間 0	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510		経過 4S 6S	過時間 0	変位計の読み d 6.035 5.866 5.843		—————————————————————————————————————	過時間	
— 時 		経遊 4S 6S 9S	B時間 0	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531		経道 4S 6S 9S	過時間 0	変位計の読み d 6.035 5.866 5.843 5.798		—————————————————————————————————————	過時間	
		経遊 4S 6S	B時間 0	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510		経過 4S 6S	過時間 0	変位計の読み d 6.035 5.866 5.843		経	過時間	
		経遊 4S 6S 9S	B時間 0	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531		経道 4S 6S 9S	過時間 0	変位計の読み d 6.035 5.866 5.843 5.798		経	過時間	
		経過 48 68 98 158	B時間 0	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564		4S 6S 9S 15S	過時間 0	変位計の読み a 6.035 5.866 5.843 5.798 5.757		経	過時間	
		4S 6S 9S 15S 30S	B時間 0	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626		4S 6S 9S 15S 30S	過時間 0	変位計の読み a 6. 035 5. 866 5. 843 5. 798 5. 757 5. 674		· 経	過時間	
		4S 6S 9S 15S 30S 60S	品時間 0 s	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716		4S 6S 9S 15S 30S 60S	3時間 0 s	変位計の読み a 6. 035 5. 866 5. 843 5. 798 5. 757 5. 674 5. 585		—————————————————————————————————————	過時間 0 s	
		4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S	B時間 0 s Imin	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785		4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S	B時間 0 s 	変位計の読み a 6. 035 5. 866 5. 843 5. 798 5. 757 5. 674 5. 585 5. 522		経	過時間 0 s	
		経過 48 68 98 158 308 608 908 2M	1min 1.5	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938		4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M	回時間 0 s lmin 1.5	変位計の読み a 6. 035 5. 866 5. 843 5. 798 5. 757 5. 674 5. 585 5. 522 5. 468 5. 382		経	過時間 0 s s	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	1min 1.5 2 3	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	1min 1.5 2 3	変位計の読み a 6. 035 5. 866 5. 843 5. 798 5. 757 5. 674 5. 585 5. 522 5. 468 5. 382 5. 251		経	過時間 0 s 	
- F		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	1min 1.5 2 3 5	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	1min 1.5 2 3 5	変位計の読み a 6. 035 5. 866 5. 843 5. 798 5. 757 5. 674 5. 585 5. 522 5. 468 5. 382 5. 251 5. 149		経	過時間 0 s lmin 1.5 2 3	
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M	1min 1.5 2 3 5	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188 5. 305		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	1min 1.5 2 3 5	変位計の読み a 6. 035 5. 866 5. 843 5. 798 5. 757 5. 674 5. 585 5. 522 5. 468 5. 382 5. 251 5. 149 5. 030		AE	過時間 0 s lmin 1.5 2 3 5	
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M	1min 1.5 2 3 5 7	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188 5. 305 5. 434		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M	1min 1.5 2 3 5 7	変位計の読み a 6. 035 5. 866 5. 843 5. 798 5. 757 5. 674 5. 585 5. 522 5. 468 5. 382 5. 251 5. 149 5. 030 4. 879		AE	過時間 0 s Imin 1.5 2 3 5 7	
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M	1min 1.5 2 3 5 7 10	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188 5. 305 5. 434 5. 515		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M	1min 1.5 2 3 5 7 10	変位計の読み a 6. 035 5. 866 5. 843 5. 798 5. 757 5. 674 5. 585 5. 522 5. 468 5. 382 5. 251 5. 149 5. 030 4. 879 4. 763		AE	過時間 0 s lmin 1.5 2 3 5 7 10	
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188 5. 305 5. 434 5. 515 5. 610		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	変位計の読み a 6.035 5.866 5.843 5.798 5.757 5.674 5.585 5.522 5.468 5.382 5.251 5.149 5.030 4.879 4.763 4.595		AE	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	変位計の読み d mm 4、393 4、493 4、510 4、531 4、564 4、626 4、716 4、785 4、843 4、938 5、082 5、188 5、305 5、434 5、515 5、610 5、665		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	変位計の読み a 6.035 5.866 5.843 5.798 5.757 5.674 5.585 5.522 5.468 5.382 5.251 5.149 5.030 4.879 4.763 4.595 4.476		AE	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188 5. 305 5. 434 5. 515 5. 610 5. 665 5. 731		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	変位計の読み a 6. 035 5. 866 5. 843 5. 798 5. 757 5. 674 5. 585 5. 522 5. 468 5. 382 5. 251 5. 149 5. 030 4. 879 4. 763 4. 595 4. 476 4. 308		AE	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	S	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188 5. 305 5. 434 5. 515 5. 610 5. 665 5. 731 5. 785		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	変位計の読み a 6.035 5.866 5.843 5.798 5.757 5.674 5.585 5.522 5.468 5.382 5.251 5.149 5.030 4.879 4.763 4.595 4.476		AE	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188 5. 305 5. 434 5. 515 5. 610 5. 665 5. 731		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	変位計の読み a 6. 035 5. 866 5. 843 5. 798 5. 757 5. 674 5. 585 5. 522 5. 468 5. 382 5. 251 5. 149 5. 030 4. 879 4. 763 4. 595 4. 476 4. 308		AE	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M	S	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188 5. 305 5. 434 5. 515 5. 610 5. 665 5. 731 5. 785		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	変位計の読み a 6.035 5.866 5.843 5.798 5.757 5.674 5.585 5.522 5.468 5.382 5.251 5.149 5.030 4.879 4.763 4.595 4.476 4.308 4.155		AE	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h	
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H	S	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188 5. 305 5. 434 5. 515 5. 610 5. 665 5. 731 5. 785 5. 820		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5	変位計の読み a 6.035 5.866 5.843 5.798 5.757 5.674 5.585 5.522 5.468 5.382 5.251 5.149 5.030 4.879 4.763 4.595 4.476 4.308 4.155 4.059		AE	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5	
		4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188 5. 305 5. 434 5. 515 5. 610 5. 665 5. 731 5. 785 5. 820 5. 892		48 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	変位計の読み a 6.035 5.866 5.843 5.798 5.757 5.674 5.585 5.522 5.468 5.382 5.251 5.149 5.030 4.879 4.763 4.595 4.476 4.308 4.155 4.059 3.885 3.812		AE	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	変位計の読み d mm 4、393 4、493 4、493 4、510 4、531 4、564 4、626 4、716 4、785 4、843 4、938 5、082 5、188 5、305 5、434 5、515 5、610 5、665 5、731 5、785 5、820 5、892 5、929 5、955		4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H 8H	S	変位計の読み a 6.035 5.866 5.843 5.798 5.757 5.674 5.585 5.522 5.468 5.382 5.251 5.149 5.030 4.879 4.763 4.763 4.476 4.308 4.155 4.059 3.885 3.812 3.769		AE	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2 3 6	
		4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	変位計の読み d mm 4. 393 4. 493 4. 510 4. 531 4. 564 4. 626 4. 716 4. 785 4. 843 4. 938 5. 082 5. 188 5. 305 5. 434 5. 515 5. 610 5. 665 5. 731 5. 785 5. 820 5. 892 5. 929		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	変位計の読み a 6.035 5.866 5.843 5.798 5.757 5.674 5.585 5.522 5.468 5.382 5.251 5.149 5.030 4.879 4.763 4.595 4.476 4.308 4.155 4.059 3.885 3.812		AE	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2 3	変位計の読みは聞

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 (深さ) D5-3 (40.00~40.70m) 試 験 者 内田昇一 試 験 機 No. 載荷段階 压力p kN/m² 640.0 載荷段階 圧力**p** kN/m² 1280.0 6 圧密リング No. 試験日 試験日 室 温 ℃ 5 2, 24 室温℃ 23-25 2, 25 23-25 機 圧密リング質量 m_R g 136.90 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 2.278 14H $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 14H 4.345 4. 358 2, 297 径 D cm 6.00 16H 16H 228. 35 18H 2. 313 18H 4. 368 (供試体+リング)質量 **m** _T g 供 試 体 質 量 m 01 g 91.45 20H 2, 326 20H 4.378 62. 7 2. 339 22H 22H 4.385 初期含水比٧゚²% 炉乾 24H 2.349 24H 4. 393 器 0 24H 2.350 1min 1min 56. 21 1.5 1.5 (供試体+容器)質量 容器質量 g 0.00 2 供 試 体 質 量 m s g 56. 21 3 初期含水比(削 り く ず に する) 489 容器 No. 492 485 77. 27 64.69 67.96 10 10 m_a g 50.32 52. 42 58.12 15 15 m_b g 26.42 27.05 26.46 20 20 m_c g w % 60.5 60.1 61.3 30 30 平均値ω% 60.6 1h 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 1.5 1.5 2 2 3 3 6 6 13 13 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 24 24 載荷段階 載荷段階 圧力p kN/m² 2560.0 压力p kN/m² 20.0 載荷段階 压力p kN/m² 23-25 室温 ℃ 23-25 試 験 日 2, 27 室温℃ 試験日 試 験 日 室温℃ 2, 26 時 経過時間 経過時間 時 経過時間 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 14H 14H 3. 703 6.008 3. 690 16H 16H 18H 6.016 18H 3.680 20H 6.023 20H 3.670 22H 22H 6.029 3.662 24H 6.035 24H 3. 655 24H 3.655 1min 1min 1min 1. 5 1. 5 1. 5 2 2 2 3 3 3 5 10 10 10 15 15 15 20 20 20 30 30 30 40 40 40 1h 1h 1.5 1.5 1.5 2 2 2 ...3 3 3 6 6 6 12 12 12

24

24

24

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 (*d* −√*t* 曲 線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 試 験 者 D5-3 $(40.00 \sim 40.70 \text{m})$ 内田昇一 110 100 90 80 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 圧密度100%読み 載 正密圧 90 业 (kN/m²) 00.00。 =q 戊丑密丑 0.11 0.15 正容压力 p= 40.00 (kN/m²) 0.01 0.07 0.09 田客田分 p= 20.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 (*d* -√*t* 曲 線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 試 験 者 内田昇一 D5-3 $(40.00 \sim 40.70 \text{m})$ 110 100 90 80 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 圧密度100%読み 压密度90%読み 載 正密圧 90 噩 业 (編/四元) 00.04点 =4 点型密型 0.88 王密压力 p=320.00 (kN/m²) 0.21 0.51 0.71 0.31 0.61 平海田分 p= 160.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 (*d* −√*t* 曲 線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 試 験 者 D5-3 $(40.00 \sim 40.70 \text{m})$ 内田昇 110 20.0 100 90 80 20 $p ext{ kN/m}^2$ $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 压密度100%読み 压密度90%読み 載 正密圧 90 = 3.846 业 。 (km/km, 00.00 = q 点田常丑。 5.90 王黎王力 b= 2560.0 (kN/m²) 2.90 1.90 3.90 王客王分 p= 1280.0(kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

 JIS A 1217
 1217

 JGS 0411
 土の段階載荷による圧密試験 (圧密量-時間曲線)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月19日 試験年月日 試料番号 試 験 者 D5-3 $(40.00 \sim 40.70 \text{m})$ 内田昇 2000 3000 1000 $\triangle H_1 = (d_{100} - d_0) / 10$ 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i}) / 10$ 正 密 量 △」一 次 圧 密 量 △」圧密度90, 50%時間 t₀
 載
 荷
 段

 圧密圧力
 サイン

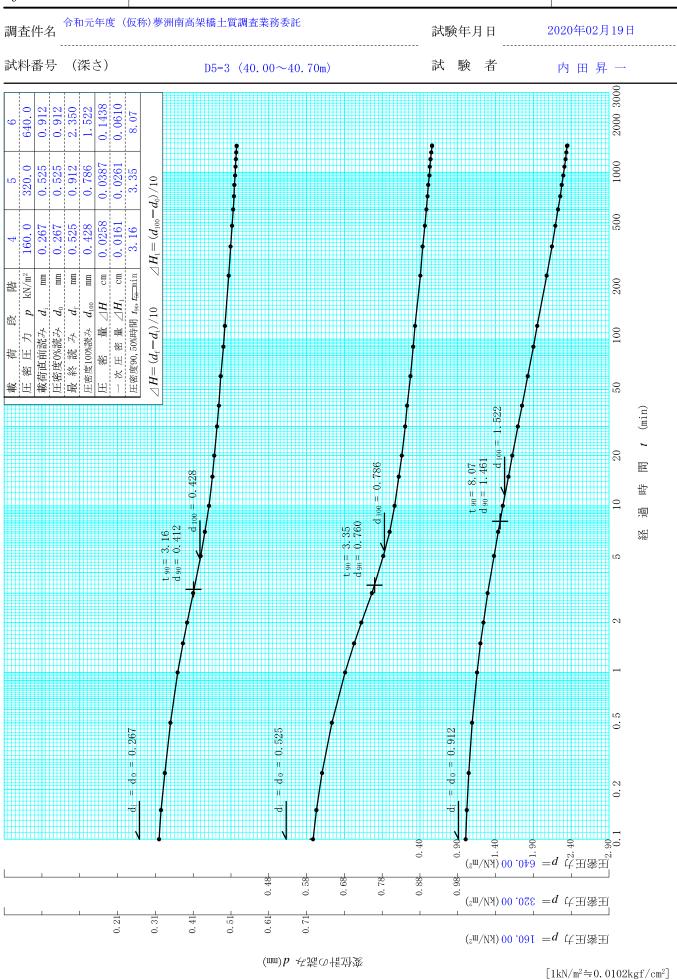
 軟件直前売み

 圧密度0%読み

 最終読み

 圧密度100%読み
 100 50 (min) 箈 0.083 0.1 (KN/m²) 00.00 (KN/m²) 正常压力 p= 20.00 (kN/m²) (mm)b 名蓋の指型変 $[1kN/m^2 \doteq 0.0102kgf/cm^2]$

土の段階載荷による圧密試験(圧密量-時間曲線)



 JIS A 1217
 1217

 JGS 0411
 土の段階載荷による圧密試験 (圧密量-時間曲線)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月19日 試験年月日 試料番号 試 験 者 D5-3 $(40.00 \sim 40.70 \text{m})$ 内田昇 2000 3000 20.0 $\triangle H_1 = \left(d_{100} - d_0 \right) / 10$ 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i})/10$
 載
 荷
 段

 圧密圧力
 軟荷直前読み

 圧密度0%読み
 最終 読み

 圧密度100%読み

 圧密度100%読み
 100 正 裕 二 50 (min) 箈 ςi 0 (2 M/M) 00.0 $\frac{2}{10}$ = q 克里茅草 王密田力 p= 2560.0 (KN/m²) 正客王分 *p*= 1280.0 (kN/m²) (mm)b 名蓋の指型変 $[1kN/m^2 \doteq 0.0102kgf/cm^2]$ JIS 1217 Α J G S 0411

土の段階載荷による圧密試験 (計 算 書)

周査化	午名 								試験	:年月		2020年0	2月19日
式料者	番号(深さ)		D	5-3 (4	$40.00\sim40.70$ m)		試	験	者	内 田	昇 一
試 験	i 機 No.					直 径	D cm	6.00)	初	含水.	比 w ₀ %	62. 7
最低~	~最高室温	$^{\circ}$	2	3-25	供	断面積 .	A cm ²	28. 2	7	期	間隙」	北e ₀ , 体積比f₀	1.680
土 質	名 称				試	高さ	Н 0 ст	2. 00) 	状態		密度ρ _t g/cm³	1.617
	子の密度 ρ s		2.	. 665			<i>m</i> ₀ g	91. 4		態		度 S _{r0} %	99. 5
	限 界 w _L	<u></u> %		04. 5	体	ļ	$m_{\rm s}$ g	56. 2				数 <i>C</i> 。	0. 91
	: 限 界 w _p	%		34. 3			H _s cm	0.746				カ p _c kN/m²	418. 5
載荷 没階	圧密圧力 p kN/m ²	圧力増分 kN/m	- 1	圧密量 cm	$\triangle H$	供試体高さ H cm	平均	供試体高さ <i>Ā</i> cm	圧縮 ⊿ε=∠			体積圧縮係数n m ² /kN	n _v 間隙比 <i>e=H/H</i> 体積比<i>f=H/H</i>
0	0.0	KIV/ II	.1	CIII		2. 0000		CIII	ZJ E = Z	J1/11 ^	100/0	III / KIV	1. 680
	0.0	20. (0. 004	16	2.0000		 L. 9977	ا م	. 231		1. 15x10 ⁻⁴	1.000
1	20. 0	20.0		0.00		1. 9954				. 201		1, 10X10	1. 674
		20. ()	0. 00	 57	1. 0001		 L. 9925	0	. 286		1. 43x10 ⁻⁴	
2	40. 0					1. 9897			<u>-</u>				1. 666
		40. ()	0. 012	 27			 L. 9833	0	. 640		1. 60x10 ⁻⁴	
3	80. 0					1. 9770							1. 649
		80. ()	0. 02	58			 1. 9641	1	. 314		1. 64x10 ⁻⁴	
4	160. 0					1. 9512							1. 614
		160.	0	0. 038	37			 1. 9318	2	. 003		1. 25x10 ⁻⁴	
5	320. 0					1. 9125							1. 562
		320.	0	0. 14	38			 1.8406	7	. 813		2. 44x10 ⁻⁴	
6	640. 0					1. 7687							1. 370
		640.	0	0. 20	13			1.6665	12	2. 259		1. 92x10 ⁻⁴	
7	1280. 0					1. 5644							1. 096
		1280.	0	0. 16	12			1.4823	1	l. 077		8. 65x10 ⁻⁵	
8	2560.0					1. 4002							0.876
		-2540	. 0	-0. 23	80			1.5192	-1	5. 666		6. 17x10 ⁻⁵	
9	20.0					1. 6382							1. 195
10 載荷	平均圧密圧力 p	t 90 , =	t	圧密係数	. с		一次	 圧密量 ⊿H _		:圧密り		補正圧密係数	
設階	トミルエエハア kN/m²	min		cm ² /c		m/s		cm		$H_1/_{oxed}$		$c_{\rm v}' = rc_{\rm v} {\rm cm}^2/{\rm c}$	
0	10.00	1. 34	4	909.		1. 19x10 ⁻⁹		0. 0026		. 557		506. 5	6. 63x10 ⁻¹⁰
1	28. 28	1. 78	3	681.	4	1. 11x10 ⁻⁹		0. 0016	0	. 279		190. 0	3. 08x10 ⁻¹⁰
2	56. 57	2. 03		591.	0	1. 07x10 ⁻⁹		0. 0068	0	. 534		315. 4	5. 73x10 ⁻¹⁰
3	113. 14	3. 16	3	372.	8	6. 95x10 ⁻¹⁰		0.0161	0	. 624		232. 8	4. 34x10 ⁻¹⁰
4	226. 27	3. 35	5	339.	4	4. 82x10 ⁻¹⁰	(0. 0261	0	. 675		229. 0	3. 25x10 ⁻¹⁰
5	452. 55	8. 07	7	128.	0	3. 55x10 ⁻¹⁰		0.0610	0	. 424		54. 3	1. 50x10 ⁻¹⁰
6 7	905. 10	21.0	8	40. 2	2	8. 74x10 ⁻¹¹). 1496	0	. 732		29.4	6. 40x10 ⁻¹¹
8	1810. 19	14. 5	7	46. ()	4. 52x10 ⁻¹¹). 1147	0	. 698		32. 1	3. 15x10 ⁻¹¹
9	226, 27												
10													

 $H=H'-\triangle H$ $\overline{H} = (H+H')/2$ $m_{\rm v} = \left(\angle \epsilon / 100 \right) / \angle p$ $S_{r0}=w_0 \rho_s/(e_0 \rho_w)$

 \sqrt{t} 法: c_v =305× \overline{H}^2/t_{90} 曲線定規法: c_v =70.9× \overline{H}^2/t_{50} $k = c_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$ $k' = c_v' m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$ ただし, γ_w≒9.81kN/m³

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

JIS	A	1217)	40	(段	階	載	荷)	たとて圧を針験	(正经出纳)	J G S	0411
JІS	A	1227	エの	定ひ	ずみ	速度載	请	による圧密試験	(圧縮曲線)	J G S	0412

調本件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月19日

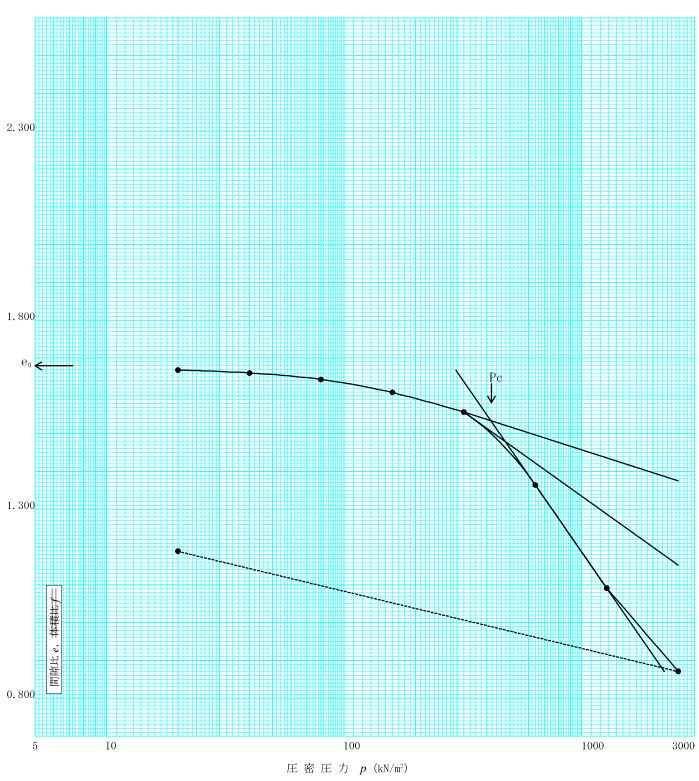
試料番号 (深さ)

D5-3 (40.00~40.70m)

試 験 者

内田昇一

土粒子の密度	液性限界	塑性限界	初期含水比	初期間隙比 e ₀ 初期体積比 f ₀	圧縮指数	圧密降伏応力	ひずみ速度 ¹⁾
ρ _s g/cm³	w _L %	w _p %	w ₀ %		<i>C</i> 。	p _c kN/m²	%/min
2.665	104. 5	34. 3	62. 7	1.680	0. 91	418.5	



特記事項

1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

調杏件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

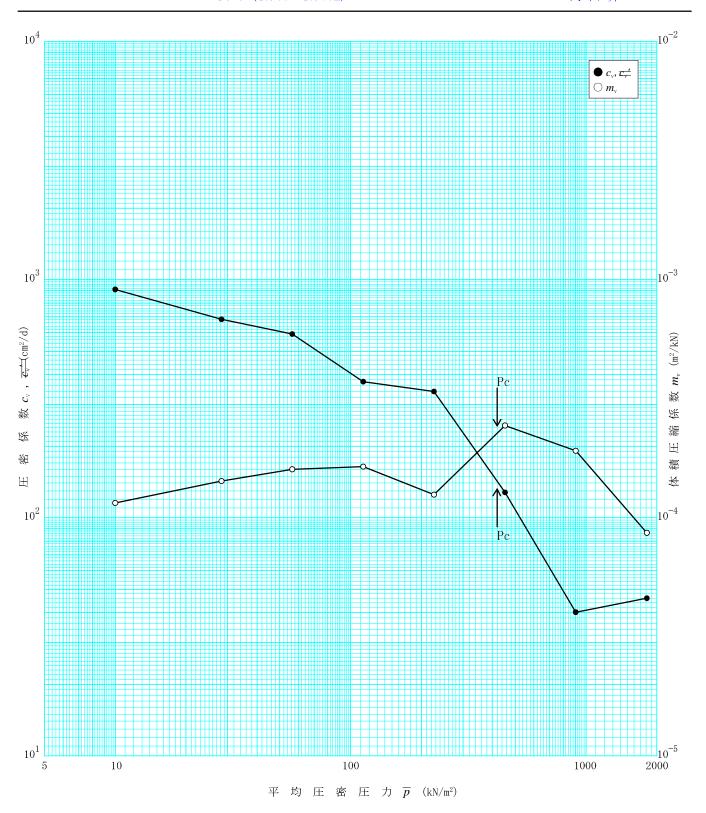
2020年02月19日

試料番号 (深さ)

D5-3 $(40.00 \sim 40.70 \text{m})$

試 験 者

内田昇一



特記事項

J I S A 1217

土の段階載荷による圧密試験(初期状態、圧密量測定)

JGS 0411 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 D5-4 (47.00~47.70m) 内田昇一 試料番号 (深さ) 試 験 者 試 験 機 No. 載荷段階 压力p kN/m2 20.0 載荷段階 压力p kN/m² 40.0 圧密リング No. 6 試験日 2, 19 室温℃ 23-25 試 験 日 2, 20 室温℃ 24-25 機 圧密リング質量 **m**_Rg 137.88 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 0. 142 0.071 $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 0.081 **4**S 0.160 径 D cm 6.00 6S 0.083 6S 0.161 (供試体+リング)質量 **m** g 239, 41 98 0.087 9S 0.162 101.53 15S 0.092 0.165 供 試 体 質 量 m ₀ l) g 15S 初期含水比٧゚²% 41.5 0.098 30S 30S 0.170 試 60S 0.105 60S 0.175 90S 器 90S 0.110 0 1min 0.178 1mir 1.5 体 (供試体+容器)質量 2M2M 1.5 0.181 71.740.113 容器質量 0.00 3M 2 0.1173M 2 0.185 供試体質量msg 71.74 5M 5M 0.121 0.190 初期含水比(削 り < ずに する) 7M 0.124 7M 0.193 容器 No. 483 10M 0.127 10M 0.196 490 477 72.30 76.31 69.90 15M 10 0.130 15M 10 0.199 m_a g 58.91 61.98 57.30 20M 15 0.132 20M 0.201 15 m_b g 0.204 30M 30M 25.51 26.31 26.13 0.135 20 20 m_c g 40.1 40.2 40.4 40M 0.137 40M 0.207 W 30 30 平均値ω% 40.2 60M 0.138 60M 0.210 0.139 0. 214 90M 90M 1h 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 2H 2H1.5 0.140 1.5 0.216 4H 2 0.141 4H 2 0.222 6H 3 6H 3 0. 225 0.141 8H 8H 6 6 0.228 0.141 0. 230 13 10H 13 10H 0.141 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 12H 24 0.141 12H 24 0.231 160. 0 載荷段階 圧力p kN/m² 80.0 載荷段階 5 圧力p kN/m² 320.0 載荷段階 圧力p kN/m² 2, 22 2, 23 試験日 2, 21 室 温 24-25 試験日 室温℃ 24-26 試験日 室 温 23-25 経過時間 経過時間 経過時間 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 時 変位計の読みdmm 0.235 0.442 0.727 0.271 0.485 0.789 4S 6S 0.2746S 0.4926S0.797 9S 9S 0.498 9S 0.2780.806 15S 0.284 15S 0.508 15S 0.820 30S 0.296 30S 0.525 30S 0.845 60S 30S 0.310 0.549 60S 0.879 90S 0.319 90S 0.564 90S 0.901 1min 1min 1min 1. 5 1.5 1.5 2M 0.326 2M 0.578 2M 0.919 2 0.597 3M2 0.338 3M3M2 0.944 3 3 5M 0.354 5M 0.622 5M 3 0.974 7M 5 0.362 7M 0.638 7M 0.990 10M 10M 0.373 10M 0.652 1.002 10 15M 0.662 15M 10 1.016 15M 0.381 10 15 20M 0.387 20M 15 0.670 20M 15 1.022 30M 20 30M 20 30M 20 1.032 0.395 0.678 1.037 40M 30 0.398 40M 30 0.682 40M 30 40 40 60M 40 30M 0.403 60M 0.689 1.044 90M 0.409 90M 0.695 90M 1.052 1h 1h 1h 1.5 1.5 2H 2H 0.699 2H 1.5 1.057 0.414 2 2 2 4H 0.421 4H0.708 4H 1.067 6H 3 0.425 6H 3 0.7146H 3 1.074 8H 6 0.429 8H 6 0.717 8H 6 1.078

10H

12H

12

24

0.719

0.721

10H

12H

12

24

1. 080 1. 082

10H

12H

12

24

0.433

0.435

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 (深さ) D5-4 (47.00~47.70m) 試 験 者 内田昇一 試 験 機 No. 載荷段階 載荷段階 压力p kN/m² 圧力p kN/m² 20.0 40.0 圧密リング No. 試験日 2,20 室温℃ 6 試験日 2, 19 室温℃ 23-25 24-25 機 圧密リング質量 m_R g 137.88 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 0.232 14H $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 14H 0.141 0. 233 径 D cm 6.00 16H 0.141 16H 239, 41 18H 0.142 18H 0.234 (供試体+リング)質量 **m** _T g 0. 234 供 試 体 質 量 m 01 g 101.53 19H 0.142 20H 41.5 0. 235 22H 初期含水比٧゚²% 24H 0. 235 炉乾 器 0 24H 0.235 1min 1min 1.5 1.5 (供試体+容器)質量 71.74容器質量 g 0.00 2 供 試 体 質 量 m s g 71.74 初期含水比(削 り く ず に する) 容器 No. 483 490 477 72.30 76.31 69.90 10 10 m_a g 58.91 61.98 57.30 15 15 m_b g 25.51 26.31 26.13 20 20 m_c g w % 40.4 40.1 40.2 30 30 平均値ω% 40.2 1h 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 1.5 1.5 2 2 3 3 6 6 13 13 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 24 24 載荷段階 載荷段階 圧力p kN/m² 80.0 压力p kN/m² 160.0 載荷段階 压力p kN/m² 320.0 室温 ℃ 試 験 日 2, 22 室温℃ 2, 23 試験日 2, 21 24-25 24 - 26試 験 日 室温℃ 経過時間 経過時間 経過時間 時 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 時 変位計の読みdmm 0. 436 14H 14H 14H 1.086 16H 0.43716H 0.72316H 18H 0.438 18H 0.724 18H 1.088 20H 0.439 20H 0.725 20H 1.090 22H 0. 440 22H 0.726 22H 1.091 24H 24H 0.442 24H 0.7271.092 1min 1min 1min 1. 5 1. 5 1. 5 2 2 2 3 3 3 5 10 10 10 15 15 15 20 20 20 30 30 30 40 40 40 1h 1h 1.5 1.5 1.5 2 2 2 3 3 3 6 6 6 12 12 12

24

24

24

土の段階載荷による圧密試験(初期状態、圧密量測定)

令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 (深さ) D5-4 (47.00~47.70m) 内田昇一 試 験 者 試 験 機 No. 1280.0 載荷段階 压力p kN/m2 640.0載荷段階 压力p kN/m² 圧密リング No. 6 試験日 2, 24 室温℃ 23-25 試 験 日 2, 25 室温℃ 23-25 機 圧密リング質量 m_R g 137.88 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 1.092 1.792 $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 1.163 **4**S 1.888 径 D cm 6.00 6S 1.176 6S 1.902 供 (供試体+リング)質量 **m** g 239, 41 98 1. 190 1.920 9S 101.53 15S 1.211 1.951 供 試 体 質 量 m ₀ l) g 15S 41.5 30S 1.248 2.008 初期含水比水。20% 30S 60S 1.298 60S 2.090 90S 1.334 90S 器 2.153 0 1min 1min 1.5 1.361 体 (供試体+容器)質量 2M2M 1.5 2.205 71.74容器質量 0.00 3M 2 1.403 3M 2 2.292 供試体質量msg 71.74 5M 1. 456 5M 2.416 2. 503 初期含水比(削 り < ずに する) 7M 7M 1.489 2.596 容器 No. 483 10M 1.520 10M 490 477 72.30 76.31 69.90 15M 10 1.553 15M 10 2.691 m_a g 58.91 61.98 57.30 20M 15 1.573 20M 15 2.747 m_b g 30M 1. 599 30M 2.814 25.51 26.31 26.13 20 20 m_c g 40.1 40.2 40.4 40M 1.616 40M 2.853 W 30 30 平均値ω% 40.2 60M 1.639 60M 2.899 90M 1.660 90M 1h 2.939 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 2H2H 1.5 1.675 1.5 2.964 4H 2 1.710 4H 2 3.019 6H 3 1. 730 6H 3 3. 048 3.067 8H 6 1.743 8H 6 13 10H 13 10H 1.754 3.081 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 12H 24 1. 762 12H 24 3.093 圧力p kN/m² 20.0 載荷段階 圧力p kN/m² 2560.0 載荷段階 圧力p kN/m² 載荷段階 室 温 2, 27 23-25 試験日 23-24 試験日 室温℃ 試 験 日 室温℃ 2, 26 $^{\circ}$ C 経過時間 経過時間 時 経過時間 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 時 変位計の読み d mm 3. 130 4.478 3.242 4. 282 4S 3. 259 6S 6S 4. 237 9S 3. 278 9S 4. 180 15S 3.312 15S 4. 126 30S 3.375 30S 4.054 60S 30S 3.976 3.465 90S 3.535 90S 3.923 1min 1min 1min 1. 5 1. 5 1.5 2M 3.594 2M 3.882 3.686 2 2 2 3M3M3.818 3 3 3.724 5M 3.819 5M 3 7M 3.911 7M 3.654 10M 4.002 10M 3.572 10 4.094 15M 10 15M 10 3.467 15 15 15 20M 4. 145 20M 3. 385 30M 20 30M 20 20 4. 205 3.264 30 40M 30 4. 239 40M 30 3.174 40 40 40 30M 4. 280 60M 3.045

90M

2H

4H

6H

8H

10H

12H

1h

1.5

2

3

6

12

24

2.932

2.862

2.744

2.699

2.675

2,658

2.646

1h

1.5

2

3

6

12

24

90M

2H

4H

6H

8H

10H

12H

1h

1.5

2

3

6

12

24

4.315

4.337

4.383

4.408

4.424

4.437

4.446

J I S A 1217

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

JGS 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 (深さ) D5-4 (47.00~47.70m) 試 験 者 内田昇一 試 験 機 No. 載荷段階 压力p kN/m² 640.0 載荷段階 圧力**p** kN/m² 1280.0 圧密リング No. 試験日 室 温 ℃ 6 試験日 2, 24 室温℃ 23-25 2, 25 23-25 機 圧密リング質量 m_R g 137.88 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 1.769 14H 3.101 $\stackrel{>}{\sim} H_{\scriptscriptstyle 0}$ cm 2.00 14H 1. 775 3. 109 径 D cm 6.00 16H 16H 239, 41 18H 1. 779 18H 3. 115 (供試体+リング)質量 **m** _T g 供 試 体 質 量 m 01 g 101.53 20H 1.783 20H 3. 120 41.5 22H 1.787 22H 3. 125 初期含水比٧゚²% 炉乾 24H 1.791 24H 3.130 器 0 24H 1. 792 1min 1min 1.5 1.5 (供試体+容器)質量 71.74容器質量 g 0.00 2 供試体質量加g 71.74 初期含水比(削 り く ず に する) 容器 No. 483 490 477 72.30 76.31 69.90 10 10 m_a g 58.91 61.98 57.30 15 15 m_b g 25.51 26.31 26.13 20 20 m_c g w % 40.4 40.1 40.2 30 30 平均値ω% 40.2 1h 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 1.5 1.5 2 2 3 3 6 6 13 13 24 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 24 載荷段階 載荷段階 圧力p kN/m² 2560.0 压力p kN/m² 20.0 載荷段階 压力p kN/m² 23-25 室温 ℃ 23-24 試 験 日 室温℃ 試験日 試 験 日 室温℃ 2, 26 時 経過時間 変位計の読み d mm 経過時間 時 経過時間 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 4. 454 14H 4. 460 2. 630 16H 16H 18H 4. 465 18H 2.623 20H 4. 470 20H 2.619 22H 22H 4. 475 2.614 24H 4. 478 24H 2.610 24H 2.609 1min 1min 1min 1. 5 1. 5 1.5 2 2 2 3 3 3 5 10 10 10 15 15 15 20 20 20 30 30 30 40 40 40 1h 1h 1.5 1.5 1.5 2 2 2 3 3 3 6 6 6

12

24

12

24

12

24

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 $(d-\sqrt{t}$ 曲線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月19日 試験年月日 試料番号 試 験 者 内田昇一 D5-4 (47.00 \sim 47.70m) 110 100 90 80 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 压密度100%読み 压密度90%読み 載 正密圧 20 噩 业 (2個/N州) 00.08。 = 4 戊丑密丑 0.22 正窓压力 p= 40.00 (kN/m²) 0.00 0.05 0.07 田客田分 p= 20.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 $(d-\sqrt{t}$ 曲線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 試 験 者 D5-4 (47.00 \sim 47.70m) 内田昇一 110 100 90 80 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 圧密度100%読み 压密度90%読み 載 正密圧 20 (min) 噩 业 (M/M) 00 .046 = 4 公田密五 1.08 王黎王分 $p=350.00 \, (k\text{N}/\text{m}^2)$ 0.38 0.88 0.68 平海田分 p= 160.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 (*d* −√*t* 曲 線) 0411 J G S 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月19日 試料番号 試 験 者 D5-4 (47.00 \sim 47.70m) 内田昇 110 20.0 100 90 80 20 $p ext{ kN/m}^2$ $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 載荷直前読み 圧密度0%読み 最終競み 压密度100%読み 圧密度90%読み 載 正密圧 90 业 3.20 王密压力 p=2560.0 (kN/m²) 3.80 1.30 1.80 2.80 3.30 王客王分 p= 1280.0(kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

 JIS A 1217
 1217

 JGS 0411
 土の段階載荷による圧密試験 (圧密量-時間曲線)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月19日 試験年月日 試料番号 試 験 者 D5-4 (47.00 \sim 47.70m) 内田昇一 2000 3000 1000 $\triangle H_1 = (d_{100} - d_0) / 10$ 500
 正 名 量 △H cm

 一次圧密量 △H, cm

 圧密度90, 50%時間 t₀o tạmin
 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i})/10$
 載
 荷
 段

 圧密圧力
 サイン

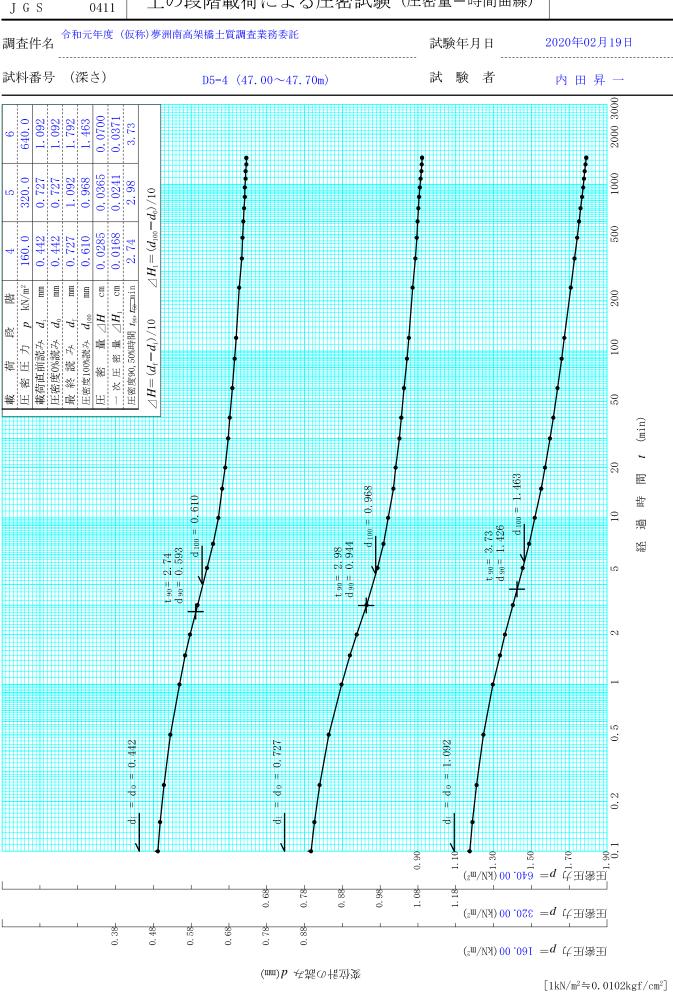
 軟件直前売み

 圧密度0%読み

 最終読み

 圧密度100%読み
 100 50 (min) 箈 $t_{90} = 2.46$ $d_{90} = 0.332$ $t_{90} = 1.93$ $d_{90} = 0.181$ 0.22 (KN/m²) 00.08。=q 点型器型 正露田升 *p* → 10.00 (kN/m²) 正常压力 p= 20.00 (kN/m²) (mm)b 名蓋の指型変 $[1kN/m^2 \doteq 0.0102kgf/cm^2]$

土の段階載荷による圧密試験(圧密量-時間曲線)



JIS A 1217 JGS 0411 土の段階載荷による圧密試験 (圧密量-時間曲線)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月19日 試験年月日 試料番号 試 験 者 D5-4 (47.00 \sim 47.70m) 内田昇 2000 3000 20.0 $\triangle H_1 = \left(d_{100} - d_0 \right) / 10$
 正 名 量 △H cm

 一次圧密量 △H, cm

 圧密度90, 50%時間 t₀o tạmin
 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i})/10$
 載
 荷
 段

 圧密圧力
 サイン

 軟件直前売み

 圧密度0%読み

 最終読み

 圧密度100%読み
 100 20 (min) 箈 3, 130 | 0 p | | q 0 (2m/M) 00.00 $\stackrel{\circ}{\sim}$ =q 点型落型 3.20 王密田力 p= 2560.0 (KN/m²) 3.80-王容压力 p= 1280.0(kN/m²) (mm)b 名蓋の指型変 $[1kN/m^2 \doteq 0.0102kgf/cm^2]$ J I S A 1217 I G S 0411

土の段階載荷による圧密試験 (計算書)

JG	S 0	411		上いた	マトラ	戦物によ			. (p	一升	百	,		
調査	今和元 ⁴ 件名 	丰度(作	仮称) 夢 	州南高架橋士	_質調	查業務委託			試験	:年月	日	202	:0年02	2月19日
試料	番号(深さ)		D5·	-4 (4	17.00~47.70m	1)		試	験	者	Þ	引田:	昇 一
試験	き機 No.					直 径	D cm	6. 00)	初	含水	比 W ₀	%	41.5
最低~	~最高室温	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	2	23-25	供	断 面 積	A cm ²	28. 2	7	期	間隙	: (比 <i>e₀, 体積)</i>	₹ ∫0	1. 127
土質	名 称			粘土	試	高 さ	H_0 cm	2. 00)	状	湿潤	密度ρ _t g/	cm ³	1. 795
土粒	子の密度 ρ ѕ	g/cm ³	2	2. 700	一元	質 量	m_0 g	101. 5	53	態	飽和	D度 S _{r0} 9	%	99. 5
液性	E 限 界 w _L	%		6 7. 1	体	炉乾燥質量	$m_{\rm s}$ g	71. 7	4	圧縮	指	数 <i>C</i> 。		0.48
塑性	E 限 界 w _p	%		25. 4		実 質 高さ	$H_{ m s}$ cm	0.940)2	圧密障	&伏応	カ p 。 kN/	m ²	566. 8
載荷	圧密圧力 p	圧力堆	曽分⊿p	圧密量』	$\triangle H$	供試体高さ H	平均	供試体高さ $ar{H}$	圧縮	ひず	み	体積圧縮	係数m、	v 間隙比e=H/H _s -1
段階	${ m kN/m^2}$	kl	N/m^2	cm		cm		cm	⊿ ε = ∠	$H/\overline{H} imes$	100%	m^2/k	N	体積比<i>f=H/H</i>。
0	0.0					2. 0000								1. 127
		20	0.0	0.007	1			1. 9965	0	. 355		1. 78x1	0^{-4}	
1	20.0					1. 9929								1. 120
		20	0.0	0.009	3			1. 9883	0	. 466		2. 33x1	0^{-4}	
2	40.0					1. 9836								1. 110
		40	0. 0	0. 020	7			1. 9733	1	. 049		2. 62x1	0^{-4}	
3	80.0					1. 9630								1. 088
		80	0. 0	0. 028	5			1. 9487	1	. 463		1. 83x1	0^{-4}	
4	160. 0					1. 9345								1.057
		16	0. 0	0. 036	5			1. 9162	1	. 905		1. 19x1	0^{-4}	
5	320. 0					1.8980								1. 019
		32	0. 0	0. 070	0			1. 8630	3	. 757		1. 17x1	.0-4	
6	640. 0					1. 8280								0. 944
		64	0. 0	0. 133	8			1. 7611	7	. 598		1. 19x1	.0-4	
7	1280. 0					1. 6942								0.802
		128	30. 0	0. 134	8			1. 6267	8	. 286		6. 47x1	.0-5	
8	2560. 0					1. 5594								0.659
		- 25	40. 0	-0. 186	9			1. 6528	-1	1. 308		4. 45x1	0-5	
9	20. 0					1. 7463								0.857
10														
載荷	平均圧密圧力 p	t 90,	. 1 50	圧密係数	$c_{\scriptscriptstyle extsf{v}}$	透水係数 k	一次	圧密量⊿H₁	一次	:圧密と	Ł	補正圧密	係数	透水係数 k'
段階	${ m kN/m^2}$	m	nin	cm ² /d		m/s		cm	r=∠	$1H_1/_{\angle}$	1 <i>H</i>	$c_{v}' = rc_{v}$	cm^2/d	m/s
-0-	10.00	0.	88	1384.	6	2. 79x10 ⁻⁹	(0. 0036	0	. 509		705.	2	1. 42x10 ⁻⁹
1	28. 28	1.	93	623. 8		1. 65x10 ⁻⁹		0.0043	0	. 463		288.	9	7. 64x10 ⁻¹⁰
2	56. 57	2.	46	482.0)	1. 43x10 ⁻⁹		0.0108	0	. 521		251.	0	7. 47x10 ⁻¹⁰
3	113. 14	2.	74	423.0)	8. 78x10 ⁻¹⁰	(0. 0168	0	. 589		249.	0	5. 17x10 ⁻¹⁰
4	226. 27	2.	98	376. 2		5. 08x10 ⁻¹⁰		0. 0241	0	. 661		248.	5	3. 36x10 ⁻¹⁰
5	452. 55	3.	73	283. 6		3. 78x10 ⁻¹⁰		0. 0371	0	. 530		150.	3	2. 00x10 ⁻¹⁰
6 7	905. 10	11	. 32	83. 5		1. 13x10 ⁻¹⁰		0. 0928	0	. 693		57.	9	7. 80x10 ⁻¹¹
7 8	1810. 19	9.	82	82. 2		6. 04x10 ⁻¹¹		0. 0964	0	. 715		58.	8	4. 32x10 ⁻¹¹
8 9	226. 27													
— 10 —														
	持記事項							$H_{\rm s}=m_{\rm s}$	$/(\rho_s A$	1)		$\overline{p} = \sqrt{p \cdot p}$	p'	

 $H_{s} = m_{s} / (\rho_{s} A)$ $H = H' - \triangle H$ $\overline{H} = (H + H') / 2$ $m_{v} = (\triangle \epsilon / 100) / \triangle p$ $S_{r0} = w_{0} \rho_{s} / (e_{0} \rho_{w})$

 $\overline{p} = \sqrt{p \cdot p'}$ \sqrt{t} 法: $c_v = 305 \times \overline{H}^2/t_{90}$ 曲線定規法: $c_v = 70.9 \times \overline{H}^2/t_{50}$ $k = c_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$ $k' = c_v ' m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$ ただし, $\gamma_w = 9.81 \mathrm{kN/m}^3$

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

JIS	A	1217)	40	(段	階	載	荷)	たとて圧を針験	(正经出纳)	J G S	0411
JІS	A	1227	エの	定ひ	ずみ	速度載	请	による圧密試験	(圧縮曲線)	J G S	0412

調本件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月19日

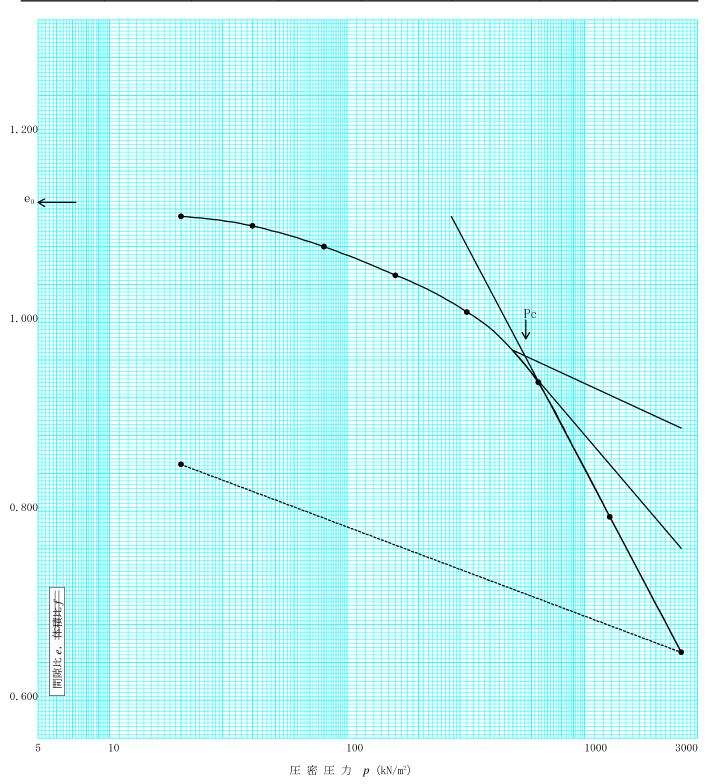
試料番号 (深さ)

D5-4 (47.00~47.70m)

試 験 者

内田昇一

土粒子の密度	液性限界	塑性限界	初期含水比	初期間隙比 e_0 初期体積比 f_0	圧縮指数	圧密降伏応力	ひずみ速度 ¹⁾
ρ _s g/cm³	w _L %	w _p %	w ₀ %		<i>C。</i>	p _c kN/m²	%/min
2.700	67. 1	25. 4	41.5	1. 127	0.48	566.8	



特記事項

1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。

JIS	A	1217)	上の段	階	載	荷	アトフロ索針段	(一二甲烷)	JGS	0411
JΙS	A	1227	エの定ひ	ずみ	速度車	战 荷	による圧密試験	$(c_{v}, m_{v}-p$ 関係)	J G S	0412

調査件名 令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 試験年月日 2020年02月19日

試料番号(深さ) D5-4 (47.00~47.70m) 試験者 内田昇一



特記事項

JΙS A 1217 JGS 0411

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名

試験年月日

2020年02月21日

試	試 験	機 No.		8	載荷段階	1	圧力 p l	κN/m²	20.0	載荷段階	í	2	圧力p	kN/m²	40.0
験	圧密リン	ング No.		7	試験日	2, 21	室 温		24-26	試験日		2, 22	室 温		24 – 26
機一	圧密リン	/グ質量	m_R g	138. 03	時 刻	経過	時間	変位記	計の読み <i>d</i> mm	時	刻	経i	過時間	変位計の	読み d r
		試	験	前			0		0. 075				0	0. 2	206
i	高	さん	H _o cm	2.00		48	s		0.088			4S	s	0. 2	245
供し	直	径	D cm	6.00		6S			0.092			6S		0. 2	247
	(供試体+リ	ング)質量		225. 58		9S			0. 096			9S		0. 2	249
		本質量1		87. 55		15S			0. 102			15S		0. 2	252
		3 水 比 ı		74. 6		30S			0. 112			30S		0. 2	 258
jr \			吃 燥		†	60S			0. 123			60S		0. 2	
	容器	뭄 No.		0		90S	1min		0. 130			90S	 1min	0. 2	
体		~ 容器)質量	g	50. 13		2M	1.5		0. 135			2M	1. 5	0. 2	
		質 量	g	0, 00		3M	2		0. 143			3M	2	0. 2	
- 1		^ 本 質 量		50. 13		5M	3		0. 152			5M	3	0. 2	
				にする)	 	7M	5		0. 157			7M	5	0. 2	
字器 N		484	47		+	10M	- 7		0. 163			10M	- 7	0. 2	
		59. 33	74.		-	15M	10		0. 168			15M	<u>:</u> 10	0. 3	
		45. 62	54.		-	20M	15		0. 171			20M	 15	0. 3	
		25. 76	26.		-	30M			0. 171			30M		0. 3	
m_c_	g %	69. 0	72.		-	40M	20 30		0.178			40M	<u>20</u> 30		312 315
w ^Z 均值。		03.0	70.		+	60M	40		0. 178			60M	 40	0. 3	
		1)			+	90M	 1h		0. 183			90M	 1h	0. 3	
寺記 事	尹 垻		$m_0 = m$			2H						2H		0. 3	
		2) 1	$w_0 = \frac{m}{2}$	$\frac{10-m_{\rm S}}{100}$ ×100			1.5		0. 190				1. 5		
			-	$m_{\scriptscriptstyle S}$		4H	2		0. 196			4H	2	0. 3	
						6H	3		0. 199			6H	3	0. 3	
							6		0.201			8H	6	l (), ;	347
						8H			0. 201						
		Fa.t.	NI / 9	27 27 27 27		10H	13		0. 202			10H	13	0. 3	350
-N -##- EII.	mile			0.0102kgf/cm ²]	+1>+++ <11.044	10H 12H	13 24		0. 202 0. 204	+1-++		10H 12H	13	0. 3	350 352
		3 月	E力 p kN/	/m² 80.0	載荷段階	10H 12H 4	13 24 圧力 p l	κN/m²	0. 202 0. 204 160. 0	載荷段階		10Н 12Н 5	13 24 圧力p	0. 3 0. 3 kN/m ²	350 352 320. 0
式 験	日 2,	3 月 3 第	E力 p kN/ を温 で	/m ² 80.0 C 23-25	試験日	10H 12H 4 2, 24	13 24 圧力 p l 室 温	kN/m² ℃	0. 202 0. 204 160. 0 23-25	試 験 日		10H 12H 5 2, 25	13 24 圧力 p 室 温	0. 5 0. 5 kN/m ² °C	350 352 320. 0 23 – 25
或荷段 式 験 時		3 月	E力p kN/ 医温 °(時間	/m² 80.0 C 23-25 変位計の読み <i>d</i> mm	試験日	10H 12H 4 2, 24	13 24 圧力pl 室 温 時間	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm	試験日		10H 12H 5 2, 25	13 24 圧力p 室 温 過時間	0.0 0.0 kN/m² ℃ 変位計の	350 352 320.0 23 - 25 読み d
式 験	日 2,	3 , 23	E力 p kN/ 医温 % 時間 0	/m² 80.0 C 23-25 変位計の読み <i>d</i> mm 0.367	試験日	10H 12H 4 2,24 経道	13 24 圧力pl 室 温 時間 0	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経〕	13 24 圧力 p 室 温 過時間 0	0.5 0.5 kN/m² : ℃ : 変位計の 0.5	350 352 320.0 23 - 25 読み <i>d</i> 983
式 験	日 2,	3 月 5,23 室 経過 48	E力p kN/ 医温 °(時間	/m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 4S	13 24 圧力pl 室 温 時間	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経〕 4S	13 24 圧力p 室 温 過時間	0. (0. (kN/m² °C 変位計の 0. (350 352 320, 0 23-25 読み <i>d</i> 983 065
式 験	日 2,	3 月 3、23 室 経過 4S 6S	E力 p kN/ 医温 % 時間 0	(m ² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411	試験日	10H 12H 4 2, 24 経道 4S 6S	13 24 圧力pl 室 温 時間 0	«N/m² ℃ 変位i	0.202 0.204 160.0 23-25 計の読み d mm 0.633 0.683 0.689	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経道 4S 6S	13 24 圧力 p 室 温 過時間 0	0. € 0. € kN/m² °C 変位計の 0. € 1. €	350 352 320.0 23-25 読み d 983 965)75
式 験	日 2,	3 月 , 23 室 経過 48 68 98	E力 p kN/ 医温 % 時間 0	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 4S 6S 9S	13 24 圧力pl 室 温 時間 0	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683 0. 689 0. 696	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経道 4S 6S 9S	13 24 圧力 p 室 温 過時間 0	0. (0. (kN/m² で 変位計の 0. (1. (350 352 320.0 23-25 読み <i>d</i> 983 065 075
式 験	日 2,	3 月 , 23 室 経過 48 68 98 158	E力 p kN/ 医温 % 時間 0	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 4S 6S 9S 15S	13 24 圧力pl 室 温 時間 0	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683 0. 689 0. 696 0. 709	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経道 4S 6S 9S 15S	13 24 圧力 p 室 温 過時間 0	0. (0. (kN/m² ℃ 変位計の 0. (1. (1. (350 352 320. 0 323-25 読み d 983 965 975 988
式 験	日 2,	3 月 , 23 室 経過 48 68 98 158 308	E力 p kN/ 医温 % 時間 0	(m ² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 4S 6S 9S 15S 30S	13 24 圧力pl 室 温 時間 0	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683 0. 689 0. 696 0. 709 0. 729	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経道 48 68 98 158 308	13 24 圧力 p 室 温 過時間 0	0. (kN/m² ℃ 変位計の 0. (1. (1. (350 352 320. 0 23-25 読み d 983 065 075 088 108
弋 験	日 2,	3 月 , 23 雪	E力p kN/ 管温 ℃ 時間 0 s	(m ² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S	13 24 圧力pl 室 温 B時間 0 s	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683 0. 689 0. 696 0. 709 0. 729 0. 757	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S	13 24 圧力p 室 温 B時間 0 s	0.5 kN/m² ℃ 変位計の 0.5 1.0 1.0	350 352 320.0 23-25 読み <i>a</i> 983 965 975 988 108 144
弋験	日 2,	3 月 , 23 雪	E力p kN/ 室温。管 時間 0 s	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 68 98 158 308 608 908	13 24 圧力pl 室 温 B時間 0 s	«N/m² ℃ 変位i	0.202 0.204 160.0 23-25 計の読み d mm 0.633 0.683 0.689 0.696 0.709 0.729 0.757 0.777	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経道 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S	13 24 圧力p 室 温 B時間 0 s	0. (kN/m² : *** **C : ** 変位計の	350 352 320. 0 23-25 読み d 983 065 075 088 108 144 191
以	日 2,	3 月 - , 23 雪 - 経過 - 48 - 68 - 98 - 158 - 308 - 608 - 908 - 2M	E力p kN/ 医温 ℃ 時間 0 s lmin 1.5	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 68 98 158 308 608 908 2M	13 24 圧力pl 室 温 B時間 0 s 1min 1.5	«N/m² ℃ 変位i	0.202 0.204 160.0 23-25 計の読み d mm 0.633 0.683 0.689 0.696 0.709 0.729 0.757 0.777	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経第 48 68 98 158 308 608 908	13 24 圧力p 室 温 B時間 0 s	0.5 kN/m² で 3 変位計の 0.9 1.0 1.0 1.1 1.1 1.2	350 352 320.0 23-25 読み。 983 065 075 088 144 191 225
弋験	日 2,	3 月 3 月 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M	E力p kN/ 管温 管 時間 0 s lmin 1.5	(m ² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.487	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M	13 24 圧力p1 室温 B時間 0 S 	«N/m² ℃ 変位i	0.202 0.204 160.0 23-25 計の読み d mm 0.633 0.683 0.689 0.709 0.729 0.757 0.777 0.777	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M	13 24 圧力p 室 温 尚時間 0 s	0.5 kN/m ² 空 3 変位計の 1.6 1.6 1.7 1.7 1.2 1.2	350 352 320, 0 323-25 読み a 983 365 775 888 108 444 191 225 250 287
以	日 2,	3 月 , 23 雪	E 力p kN/ 管 温 °(時間 0 s s s s s s s s s s s s s s s s s s	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.487 0.505	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	13 24 E 力p1 室 温 B 時間 0 S I min 1.5 2 3 3	«N/m² ℃ 変位i	0.202 0.204 160.0 23-25 計の読み d mm 0.633 0.683 0.689 0.696 0.709 0.729 0.757 0.777 0.792 0.815 0.842	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	13 24 压力p 室 温	0.5 kN/m² ℃ 2 変位計の 1.0 1.1 1.1 1.1 1.2 1.2	350 352 320.0 323-25 読み 6 3983 3065 775 888 108 144 91 225 250 287 328
弋験	日 2,	3 月 3 月 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M	E 力p kN/ 管温 () 時間 0 s 1 lmin 1.5 2 3	(m ² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.487 0.505 0.515	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M	13 24 圧力p1 室 温 B時間 0 s Imin 1.5 2 3 5	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683 0. 689 0. 696 0. 709 0. 729 0. 757 0. 777 0. 792 0. 815 0. 842 0. 858	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M	13 24 压力p 室 温 压力p	0. (kN/m² 変位計の 0. (1. (1. (1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	550 352 320.0 323-25 読み 6 983 665 775 988 108 444 191 1225 250 287 328 352
弋験	日 2,	3 月 , 23 雪	E 力p kN/ 管温	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.487 0.505	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	13 24 圧力p1 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7	«N/m² ℃ 変位i	0.202 0.204 160.0 23-25 計の読み d mm 0.633 0.683 0.689 0.696 0.709 0.729 0.757 0.777 0.792 0.815 0.842	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	13 24 压力p 室 温 压力p 室 温	0.5 kN/m² ℃ 2 変位計の 1.0 1.1 1.1 1.1 1.2 1.2	550 352 320.0 323-25 読み 4 983 665 775 988 108 444 191 1225 250 287 328 352
験	日 2,	3 月 , 23 雪 , 23 雪 , 23 雪 , 23 雪 , 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	E 力p kN/ 管温 () 時間 0 s 1 lmin 1.5 2 3	(m ² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.487 0.505 0.515	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M	13 24 圧力p1 室 温 B時間 0 s Imin 1.5 2 3 5	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683 0. 689 0. 696 0. 709 0. 729 0. 757 0. 777 0. 792 0. 815 0. 842 0. 858	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M	13 24 压力p 室 温 压力p	0. (kN/m² 変位計の 0. (1. (1. (1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	550 352 320.0 323-25 読み 6 983 1065 175 1088 108 144 191 1225 150 187 328 352 372
験	日 2,	3 月 , 23 雪 , 23 雪 , 23 雪 , 23 雪 , 48 68 98 , 158 308 , 608 908 , 2M 3M 5M 7M 10M	E 力p kN/ 管温	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.487 0.505 0.526	試験日	10H 12H 4 2, 24 経過 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	13 24 圧力p1 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683 0. 689 0. 696 0. 709 0. 729 0. 757 0. 777 0. 777 0. 792 0. 815 0. 842 0. 858 0. 872	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経済 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M	13 24 圧力p 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10	0. (kN/m² ②	350 352 320.0 23-25 読み 6 575 888 108 444 191 1225 250 287 328 352 372 392
・験	日 2,	3 月 , 23 写 , 23 写 , 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M	E 力p kN/ 管温 0 時間 0 s lmin 1.5 2 3 5 7 10	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.487 0.505 0.515 0.526 0.535	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 68 98 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M	13 24 圧力pl 室温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10	«N/m² ℃ 変位i	0.202 0.204 160.0 23-25 計の読み d mm 0.633 0.683 0.689 0.696 0.709 0.729 0.757 0.777 0.792 0.815 0.842 0.858 0.872 0.886	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M	13 24 圧力p 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7	0.5 0.5 kN/m² で 3 変位計の 0.9 1.0 1.0 1.1 1.1 1.2 1.5 1.5 1.5 1.5	550 352 320.0 23-25 読み a 983 665 775 988 444 191 225 250 287 328 328 352 372 404
以	日 2,	3 月 , 23 写 , 23 写 , 48 68 98 155 308 608 908 2M 5M 7M 10M 15M 20M	E 力p kN/ 管温	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.452 0.463 0.472 0.505 0.515 0.526 0.535 0.542	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M	13 24 压力p1 室温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10	«N/m² ℃ 変位i	0.202 0.204 160.0 23-25 計の読み d mm 0.633 0.683 0.689 0.696 0.709 0.729 0.757 0.777 0.777 0.842 0.858 0.872 0.886 0.894	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M	13 24 圧力p 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10	(0.5 kN/m² con con con con con con con con con con	350 352 320.0 323-25 読み 6 388 3065 775 388 108 144 191 225 225 225 225 237 247 247 247 247 247 247 247 24
以	日 2,	S	E 力p kN/ 管 温 °(時間 0 s s s s s s s s s s s s s s s s s s	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.487 0.505 0.515 0.526 0.535 0.542 0.550	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M	13 24 E 力p1 室 温 B 時間 0 S S S S S S S S S S S S S S S S S S	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 689 0. 696 0. 709 0. 729 0. 757 0. 777 0. 792 0. 815 0. 842 0. 858 0. 872 0. 886 0. 905	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M	13 24 压力p 室 温 岛時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	0.5 kN/m² で 3.5 変位計の 0.5 in in in in in in in in in in in in in	350 352 320.0 323-25 読み 6 388 3065 775 888 108 144 191 225 225 225 225 227 228 372 392 404 419 419 41
以	日 2,	3 月	E 力p kN/ 管温 % 時間 0 s limin 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.505 0.515 0.526 0.535 0.542 0.550 0.556	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	13 24 E 力p1 室 温 B 時間 0 s S S S S S S S S S S S S S S S S S S	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 689 0. 696 0. 709 0. 729 0. 757 0. 777 0. 792 0. 815 0. 842 0. 858 0. 872 0. 886 0. 894 0. 905 0. 912	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	13 24 压力p 室 温	0.5 kN/m² で の.9 変位計の 0.9 1.0 1.0 1.1 1.1 1.2 1.3 1.4 1.4 1.4	350 352 320.0 23-25 読みで 983 983 965 775 988 108 144 191 1225 250 287 328 352 372 494 411 415
弋験	日 2,	3 月	E 力p kN/ 管温 () 時間 0 s 1 min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.487 0.505 0.515 0.526 0.535 0.542 0.550 0.564 0.571	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M	13 24 E 力p 1 室 温 B時間 0 s S S S S S S S S S S S S S S S S S S	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683 0. 689 0. 696 0. 709 0. 729 0. 757 0. 777 0. 792 0. 815 0. 842 0. 858 0. 872 0. 886 0. 872 0. 886 0. 894 0. 905 0. 912 0. 930	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経第 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M	13 24 压力p 室 温	0. (kN/m² で 変位計の 1. (1.	550 352 320.0 3320.0 3320.0 3320.0 3320.0 3320.0 383 383 383 388 388 388 388 38
弋験	日 2,	3 月	E 力p kN/	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.487 0.505 0.515 0.526 0.526 0.535 0.542 0.550 0.564 0.571 0.576	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 68 98 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H	13 24 E 力p 1 室 温 B 時間 0 s	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683 0. 689 0. 696 0. 709 0. 729 0. 757 0. 777 0. 777 0. 792 0. 815 0. 842 0. 858 0. 872 0. 886 0. 894 0. 905 0. 912 0. 930 0. 935	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経 4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H	13 24 压力p 室 温	0. (kN/m² ②	150
弋験	日 2,	3 月 3 月 48 68 98 158 308 608 908 2M 15M 10M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	E 力p kN/	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.505 0.515 0.526 0.535 0.542 0.550 0.556 0.571 0.576 0.590	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	13 24 E 力p1 室 温 B 時間 0 s s s s s s s s s s s s s s s s s s	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683 0. 689 0. 696 0. 709 0. 729 0. 757 0. 777 0. 792 0. 815 0. 842 0. 858 0. 872 0. 886 0. 894 0. 905 0. 912 0. 921 0. 930 0. 935 0. 950	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	13 24 压力p 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	0.5 kN/m² で 3 変位計の 0.9 1.0 1.0 1.1 1.1 1.2 1.3 1.5 1.6 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7	350 352 320.0 23-25 読み d 983 665 775 888 108 444 191 225 250 287 328 352 372 399 104 119 131 1445 145 148 148 149 149 149 149 149 149 149 149
弋験	日 2,	3 月 3 月 48 68 98 155 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H	E 力p kN/ 管温。 6 時間 0 s s limin 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2 3 3	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.505 0.515 0.526 0.535 0.542 0.550 0.556 0.564 0.571 0.576 0.590 0.597	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	13 24 E 力p1 室 温 B 時間 0 s s s s s s s s s s s s s s s s s s	«N/m² ℃ 変位i	0、202 0、204 160、0 23-25 計の読み d mm 0、633 0、689 0、696 0、709 0、729 0、757 0、777 0、792 0、815 0、842 0、858 0、872 0、886 0、894 0、905 0、912 0、921 0、930 0、935 0、950 0、958	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H	13 24 E力p 室 温	0.5 kN/m² で 3.7 変位計の 0.9 1.0 1.0 1.1 1.1 1.2 1.3 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4	350 352 320.0 23-25 読み d 983 665 775 888 108 144 191 225 250 287 328 352 372 392 404 419 419 419 419 419 419 419 41
弋 験	日 2,	3 月 3 月 48 68 98 158 308 608 908 2M 15M 10M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	E 力p kN/	(m² 80.0 C 23-25 変位計の読み d mm 0.367 0.407 0.411 0.415 0.423 0.435 0.452 0.463 0.472 0.505 0.515 0.526 0.535 0.542 0.550 0.556 0.571 0.576 0.590	試験日	10H 12H 4 2,24 経過 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	13 24 E 力p1 室 温 B 時間 0 s s s s s s s s s s s s s s s s s s	«N/m² ℃ 変位i	0. 202 0. 204 160. 0 23-25 計の読み d mm 0. 633 0. 683 0. 689 0. 696 0. 709 0. 729 0. 757 0. 777 0. 792 0. 815 0. 842 0. 858 0. 872 0. 886 0. 894 0. 905 0. 912 0. 921 0. 930 0. 935 0. 950	試 験 日		10H 12H 5 2, 25 経過 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	13 24 压力p 室 温 B時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	0.5 kN/m² で 3 変位計の 0.9 1.0 1.0 1.1 1.1 1.2 1.3 1.5 1.6 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7	350 352 320.0 23-25 読み d 983 165 175 188 108 144 191 1225 225 225 225 225 372 392 404 419 419 419 419 419 419 419 41

J I S A 1217

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

JGS 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月21日 試料番号 (深さ) S5-2 (60.00 \sim 60.90m) 試 験 者 内田昇一 試 験 機 No. 載荷段階 压力p kN/m² 載荷段階 圧力p kN/m² 20.0 40.0 圧密リング No. 試験日 試験日 2,22 室温℃ 2, 21 室温℃ 24-26 24-26 圧密リング質量 m_R g 138.03 時 経過時間 変位計の読み d mm 時 経過時間 変位計の読み d mm 前 0.205 14H $\stackrel{>}{\sim} H_0$ cm 2.00 14H 0.354 0.356 径 D cm 6.00 0.206 16H 225. 58 18H 0.359 (供試体+リング)質量 **m** _T g 87. 55 供 試 体 質 量 m 01 g 20H 0.361 74. 6 22H 0.365 初期含水比٧゚²% 炉乾 24H 0.367 器 0 1min 1min 1. 5 1.5 (供試体+容器)質量 50.13 容器質量 g 0.00 2 供 試 体 質 量 m s g 50.13 初期含水比(削 り く ず に する) 容器 No. 470 480 48459.33 74. 27 58.33 10 10 m_a g 45.62 54.09 45.11 15 15 m_b g 25. 76 26. 16 26.05 20 20 m_c g 72.0 w % 69.0 69.8 30 30 平均値ω% 70.3 1h 特記事項 1) $m_0 = m_T - m_R$ 11 2) $w_0 = \frac{m_0 - m_S}{} \times 100$ 1.5 1.5 2 2 3 3 6 6 13 13 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$ 24 24 載荷段階 載荷段階 圧力p kN/m² 80.0 压力p kN/m² 160.0 載荷段階 压力p kN/m² 320.0 2, 24 2, 25 室温 ℃ 試 験 日 室温℃ 23-25 室温℃ 試 験 日 23-25 試 験 日 経過時間 経過時間 経過時間 時 変位計の読み d mm 変位計の読み d mm 時 変位計の読みdmm 0.614 0.97314H 1.527 14H 0.6181.531 16H 16H 0.976 16H 0.622 18H 18H 0.977 18H 1. 533 20H 0.625 20H 0.979 20H 1.535 22H 0.629 22H 0. 980 22H 1. 539 24H 24H 0.633 24H 0.983 1.541 1min 1min 1min 1. 5 1. 5 1. 5 2 2 2 3 3 3 5 10 10 10 15 15 15 20 20 20 30 30 30

40

1.5

2

...3

6

12

24

40

1h

1.5

2

3

6

12

24

40

1h

1.5

2

3

6

12

24

J I S A 1217 J G S 0411

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

令和元年度 (仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

試料	番号	(深さ)		S5-	2 (60.00~60	O. 90m)			試	験者	ŕ		内 田	昇 一	
試		魚 機 N		8	載荷段階	6	圧力 p l		640. 0	載荷段		7	圧力p		1280. 0
		リング N		7	試験日	2, 26	室 温		23-25	試 験	日	2, 27	室 温		23-25
機	圧密リ	リング質量		138. 03	時 刻	経過	時間		の読み d mm	時	刻	経ì	過時間		計の読み d mm
		試	験	前			0		. 541				0		2. 611
	高		$H_{\scriptscriptstyle 0}$ cm	2.00		4S	S		. 647			4S	S	L	2. 735
供	直		$\stackrel{Z}{=} D$ cm	6. 00		6S			. 663			6S			2. 758
		+リング)質		225. 58		9S			. 683			9S			2. 787
		体質量		87. 55		15S			. 713			15S			2, 832
試	初期	含水上		74. 6		30S			. 770			30S			2. 916
		炉	乾 煿			60S			. 847			60S			3. 037
	·容 	器 N		0		90S	1min		. 900			90S	1min		3. 129
体		(十容器)質量		50. 13		2M	1.5		. 942			2M	1. 5	L	3. 203
		品質 量		0.00		3M	2		. 002			3M	2		3. 323
		体質量		50. 13		5M	3		. 078			5M	3		3. 495
				"にする)		7M	5		. 124			7M	5		3. 615
容器		484		70 480		10M	7		. 169			10M	7		3. 740
	_a g	59. 33		. 27 58. 33		15M	10		. 215			15M	10		3. 870
m		45. 62		. 09 45. 11	-	20M	15		. 246			20M	15		3. 950
	g g	25. 76		. 05 26. 16		30M	20		. 286			30M	20		4. 048
w		69. 0		2. 0 69. 8		40M	30		. 312			40M	30		4. 108
平均値). 3		60M	40		. 350			60M	40		4. 182
特記	事 項	1	$m_0 = m$	$n_{\mathrm{T}}-m_{\mathrm{R}}$		90M	1h		. 386			90M	1h		4. 248
		9	$w = \frac{1}{2}$	$\frac{m_0 - m_S}{100} \times 100$		2H	1.5		. 411			2H	1. 5		4. 291
		2	, w ₀ —	$\frac{m_0 - m_S}{m_S} \times 100$		4H	2		. 471			4H	2		4. 384
						6H	3		. 505			6H	3		4. 433
						8H	6		. 529			8H	6		4. 466
						10H	13		. 547			10H	13		4. 490
				0.0102kgf/cm ²]		12H	24		. 560			12H	24		4. 510
載荷具		8	圧力 p kl		載荷段階	9	圧力 p l		20. 0	載荷段			压力 p		
試 験	. 🗆 📗	0 00			24 EA □				23-24	-A# 44€					
		2, 28		℃ 23-25	試 験 日	2, 29	室 温			試 験	P		室 温	_	
時	刻		室 温 過時間	変位計の読み d mm			当時間	変位計	の読み <i>d</i> mm	時	刻	経i	至 温 過時間	_	計の読み <i>d</i> mm
<u></u> 時		経		変位計の読み d mm 4.576		経過		変位計6	の読み <i>d</i> mm . 437			経		_	計の読み <i>d</i> mm
 		経 4S	過時間	変位計の読み d mm 4.576 4.706		経遊 4S	時間	変位計 6 6	の読み d mm . 437 . 216			経〕	過時間	_	計の読み d mm
<u></u> <u></u>		経 4S 6S	過時間	変位計の読み d mm 4.576 4.706 4.731		経道 4S 6S	B時間 0	変位計 6 6	の読み d mm . 437 . 216 . 183			経i	過時間 0	_	計の読み <i>d</i> mm
<u></u> 時		4S 6S 9S	過時間	変位計の読み d mm 4.576 4.706 4.731 4.760		経遊 4S 6S 9S	B時間 0	変位計 6 6 6 6	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137			経i	過時間 0	_	計の読み <i>d</i> mm
— 時 		4S 6S 9S 15S	過時間	変位計の読み d mm 4.576 4.706 4.731 4.760 4.809		4S 4S 6S 9S 15S	B時間 0	変位計 6 6 6 6	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091			経ì	過時間 0	_	計の読み <i>d</i> mm
— 時 		4S 6S 9S	過時間	変位計の読み d mm 4.576 4.706 4.731 4.760 4.809 4.897		経遊 4S 6S 9S	B時間 0	変位計 6 6 6 6 6	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000			経 i	過時間 0	_	計の読み d mm
時		4S 6S 9S 15S	過時間	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025		4S 4S 6S 9S 15S	B時間 0	変位計 6 6 6 6 6 6	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000			経〕	過時間 0	_	計の読み d mm
		48 68 98 158 308	過時間	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119		4S 6S 9S 15S 30S	B時間 0	変位計 6 6 6 6 6 6 5 5	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891			経ì	過時間 0	_	計の読み d mm
		4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M	過時間 0 s 	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119 5. 197		経道 48 68 98 158 308 608 908 2M	1min 1.5	変位計 6 6 6 6 6 6 5 5	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750			経 ì	過時間 0 s 	_	計の読み d mm
		48 68 98 158 308 608 908	過時間 0 s Imin 1.5 2	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119 5. 197 5. 320		48 68 98 158 308 608 908	1min 1.5 2	変位計 6 6 6 6 6 6 5 5 5	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750			経〕	過時間 0 s 	_	計の読み d mm
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	過時間 0 s Imin 1.5 2	変位計の読み d mm 4.576 4.706 4.731 4.760 4.809 4.897 5.025 5.119 5.197 5.320 5.496		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	1min 1.5 2 3	変位計 6666666555555555555555555555555555555	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651			経)	過時間 0 s 1min 1.5 2 3	_	計の読み d mm
— 時 		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	過時間 0 s Imin 1. 5 2 3 5	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119 5. 197 5. 320 5. 496 5. 615		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M	1min 1.5 2 3	変位計 6666665555555555555555555555555555555	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510			経)	過時間 0 s lmin 1.5 2 3 5	_	計の読み d mm
— 時 		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	過時間 0 s lmin 1.5 2 3 5	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119 5. 197 5. 320 5. 496 5. 615 5. 736		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	1min 1.5 2 3 5	変位計 6666665555555555555555555555555555555	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288			経〕	過時間 0 s lmin 1.5 2 3 5	_	計の読み d mm
— 時 		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M	過時間 0 s lmin 1.5 2 3 5 7	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119 5. 197 5. 320 5. 496 5. 615 5. 736 5. 854		48 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M	1min 1.5 2 3 5 7	変位計 6 6 6 6 6 5 5 5 5 5 5	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148			経〕	過時間 0 s Imin 1.5 2 3 5 7	_	計の読み d mm
— 時 		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	過時間 0 s lmin 1.5 2 3 5 7 10	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119 5. 197 5. 320 5. 496 5. 615 5. 736 5. 854 5. 926		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M	1min 1.5 2 3 5 7 10	変位計 6 6 6 6 6 6 5 5 5 5 5 5 5	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148			経)	過時間 0 s lmin 1.5 2 3 5 7 10	_	計の読み d mm
		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M	過時間 0 s Imin 1.5 2 3 5 7 10 15 20	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119 5. 197 5. 320 5. 496 5. 615 5. 736 5. 854 5. 926 6. 009		48 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	変位計 66666655555555555544	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148 . 048			経〕	過時間 0 s lmin 1.5 2 3 5 7 10 15 20	_	計の読み d mm
		4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M	過時間 0 s lmin 1.5 2 3 5 7 10	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119 5. 197 5. 320 5. 496 5. 615 5. 736 5. 854 5. 926 6. 009 6. 058		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M	1min 1.5 2 3 5 7 10	変位計 66666655 555555544444	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148 . 048 . 912 . 821			経 〕	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	_	計の読み d mm
<u></u> - 時		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M	過時間 0 s Imin 1.5 2 3 5 7 10 15 20	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119 5. 197 5. 320 5. 496 5. 615 5. 736 5. 854 5. 926 6. 009 6. 058 6. 120		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20	変位計 6666665555555555544444444	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148 . 048 . 912 . 821 . 698			経 〕	過時間 0 s lmin 1.5 2 3 5 7 10 15 20	_	計の読み d mm
<u></u>		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119 5. 197 5. 320 5. 496 5. 615 5. 736 5. 854 5. 926 6. 009 6. 058		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	変位計 6666665555555555544444444	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148 . 048 . 912 . 821			経 〕	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	_	計の読み d mm
— 時 		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	変位計の読み d mm 4. 576 4. 706 4. 731 4. 760 4. 809 4. 897 5. 025 5. 119 5. 197 5. 320 5. 496 5. 615 5. 736 5. 854 5. 926 6. 009 6. 058 6. 120		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	変位計 666666555555555444444444444	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148 . 048 . 912 . 821 . 698			経 〕	過時間 0 s Imin 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	_	計の読み d mm
— 時 		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M	回時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	変位計の読み d mm 4.576 4.706 4.731 4.760 4.809 4.897 5.025 5.119 5.197 5.320 5.496 5.615 5.736 5.854 5.926 6.009 6.058 6.120 6.174 6.210 6.286		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	変位計 666666655555555554444444444444	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148 . 048 . 912 . 821 . 698 . 591			経1	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40	_	計の読み d mm
<u></u>		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 40M 60M 90M 2H	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5	変位計の読み d mm 4.576 4.706 4.731 4.760 4.809 4.897 5.025 5.119 5.197 5.320 5.496 5.615 5.736 5.854 5.926 6.009 6.058 6.120 6.174 6.210		48 48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5	変位計 6 6 6 6 6 5 5 5 5 5 5 4 4 4 4 4 4	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148 . 048 . 912 . 821 . 698 . 591 . 528			経1	回時間 0 s Imin 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5	_	計の読み d mm
<u></u> - 一		4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	変位計の読み d mm 4.576 4.706 4.731 4.760 4.809 4.897 5.025 5.119 5.197 5.320 5.496 5.615 5.736 5.854 5.926 6.009 6.058 6.120 6.174 6.210 6.286		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	変位計 66666665555555555444444444444444444444	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148 . 048 . 912 . 821 . 698 . 591 . 528 . 422			経)	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	_	計の読み d mm
<u></u>		4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H	過時間 0 s Imin 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	変位計の読み d mm 4.576 4.706 4.731 4.760 4.809 4.897 5.025 5.119 5.197 5.320 5.496 5.615 5.736 5.854 5.926 6.009 6.058 6.120 6.174 6.210 6.286 6.326		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	変位計 666666655 5555555544444444444444444444	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148 . 048 . 912 . 821 . 698 . 591 . 528 . 422 . 378			経 〕	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	_	計の読み d mm
<u></u> - 時		48 68 98 158 308 608 908 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H 8H	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	変位計の読み d mm 4.576 4.706 4.731 4.760 4.809 4.897 5.025 5.119 5.197 5.320 5.496 5.615 5.736 5.854 5.926 6.009 6.058 6.120 6.174 6.210 6.286 6.326 6.352		4S 6S 9S 15S 30S 60S 90S 2M 3M 5M 7M 10M 15M 20M 30M 40M 60M 90M 2H 4H 6H	1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	変位計 666666655 5555555444444444444444444444	の読み d mm . 437 . 216 . 183 . 137 . 091 . 000 . 891 . 812 . 750 . 651 . 510 . 406 . 288 . 148 . 048 . 912 . 821 . 698 . 591 . 528 . 422 . 378 . 353			経 〕	過時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5 2	_	計の読み d mm

J I S A 1217 J G S 0411

土の段階載荷による圧密試験(初期状態,圧密量測定)

調査件名 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 試験年月日 2020年02月21日

試料番号 (深さ)

内田县 —

試料						1 .				-,							
試		験機			8	載荷段		6	圧力 p k		640.0	載荷段隊		7	圧力p		1280. 0
験機	L	リング			7	試験		2, 26	室温		23-25	試験		2, 27	室 温	_	23-25
17改	圧密		重量 m R §	_	138. 03	時	刻	経過	時間	変位記	計の読み d mm	時	刻	経過	時間	変位	計の読み d
		括			ήί				0						0		
	高		さ <i>H</i> o c		2.00			14H	s		2. 572			14H	S		4. 525
供	直		径 D c	n	6.00			16H			2. 582			16H			4. 538
	(供試体	体+リング)	質量 m _T §	5	225. 58			18H			2. 590			18H			4. 550
	供討	体 質	量 m 0 8	<u>, </u>	87. 55			20H			2. 597			20H			4. 559
試	初期	月含 水	比w 0 ²⁾ 9	, D	74. 6			22H			2.605			22H			4. 568
		炉	乾	燥 後	ž			24H			2.610			24H			4. 576
	容	器	No.		0			24H	1min		2.611			24H	1min		4. 576
体	(供試作	本+容器)	質量 g		50. 13				1.5						1.5		
	容岩	器質	量 g		0.00				2						2		
	供討	体 質	量 加 8	5	50. 13				3						3		
	初期1	含水比(削りく	ずに・	する)				5						5		
容器	No.	48	4	470	480				7					1	7		
m	_a g	59.	33 7	4. 27	58. 33				10					1	10		
	_b g	1	62 5	4. 09	45. 11				15					1	15		
	_c g	1		6. 05	26. 16			·	20					1	20		
w	- /	+		72. 0	69.8				30						30		
	直ω%			70.3					40					1	40		
	事項		1) m ₀ =		<i>l</i> n				1h						1h		
	•								1. 5					1	1. 5		
			2) $w_0 =$		$\frac{n_{s}}{\sim} \times 100$				2						2		
				$m_{\rm S}$				-	3					1	3		
									6					1	6		
														1	-	1	
														1	13		
			「1kN/m²∶	≒ 0. 010)2kgf/cm²]				13						13 24		
載荷.	シ階	8			02kgf/cm ²] 2560.0	載荷段[9	13 24	:N/m²	20. 0	載荷段隊			24	kN/m²	
		8 2, 28	圧力p	κN/m²	2560.0	載荷段		9 2, 29	13 24 圧力 p k		20. 0	載荷段降武 験			24 圧力 p		
	注目	2, 28	圧力 p 室 温	KN/m² ℃	2560. 0 23–25	試 験		2, 29	13 24 圧力 p k 室 温	$^{\circ}$	23-24	試験			24 圧力 p 室 温	$^{\circ}$	計の読み <i>d</i>
試 翳		2, 28	E力p 室 温 経過時間	KN/m² ℃	2560.0			2, 29	13 24 圧力pk 室 温 時間	$^{\circ}$			3	経過	24 圧力 p 室 温 時間	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28	E力 p 室温 経過時間 0	KN/m² ℃	2560.0 23-25 計の読み d mm	試 験		2, 29 経過	13 24 圧力pk 室温 時間 0	℃ [変位i	23-24 計の読み <i>d</i> mm	試験	3	経過	24 圧力 p 室 温 時間 0	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28	E力p 室温 経過時間 0 H s	KN/m² ℃	2560. 0 23-25 計の読み d mm 6. 398	試 験		2, 29 経過 14H	13 24 圧力pk 室 温 時間	変位記	23-24 計の読み d mm 4.313	試験	3	経過	24 圧力 p 室 温 時間	$^{\circ}$	計の読み <i>d</i>
試 翳	注目	2, 28 14 16	E力p 室温 経過時間 0 H s	KN/m² ℃	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409	試 験		2, 29 経過 14H 16H	13 24 圧力pk 室温 時間 0	変位言	23-24 計の読み d mm 4. 313 4. 305	試験	3	経過	24 圧力 p 室 温 時間 0	$^{\circ}$	計の読み <i>d</i>
試 翳	注目	2, 28 14 16 18	E力p 室温 経過時間 0 H s	KN/m² ℃	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417	試 験		2,29 経過 14H 16H 18H	13 24 圧力pk 室温 時間 0	変位言	23-24 計の読み d mm 4. 313 4. 305 4. 298	試験	3	経過	24 圧力 p 室 温 時間 0	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20	E力p 室温 経過時間 0 H s H	KN/m² ℃	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425	試 験		2,29 経道 14H 16H 18H 20H	13 24 圧力pk 室温 時間 0	変位言	23-24 計の読み d mm 4. 313 4. 305 4. 298 4. 293	試験	3	経過	24 圧力 p 室 温 時間 0	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22	医力p 室温 経過時間 0 H s H	KN/m² ℃	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H	13 24 圧力pk 室温 時間 0	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288	試験	3	経過	24 圧力 p 室 温 時間 0	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	E 力p 室 温 経過時間 0 H s H H H H H H H H H H H H H H H H H	xN/m² ℃ 変位i	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 圧力pk 室温 時間 0 s	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3	経過	24 圧力p 室 温 時間 0 s	$^{\circ}$	計の読み <i>d</i>
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22	E 力p 室 温 経過時間 0 H s H H H H H H H H H H H H H H H I I mi	xN/m² ℃ 変位i	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H	13 24 圧力p k 室 温 の s Imin	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288	試験	3		24 圧力p 室 温 時間 0 s	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	E力p 室温 経過時間 0 H s H H H H H 1mi	xN/m² ℃ 変位i	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 圧力pk 室 温 時間 0 s 1min 1.5	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		24 圧力p 室 温 時間 0 s 1min 1.5	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	E力p 室温 経過時間 0 H s H H H H H 1mi 1.5 2	xN/m² ℃ 変位i	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 圧力pk 室温 時間 0 s 1min 1.5 2	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		24 圧力p 室温 時間 0 s 1min 1.5 2	$^{\circ}$	計の読み <i>d</i>
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	E力p 室温 経過時間 0 H s H H H H H 1mi 1.5 2 3	xN/m² ℃ 変位i	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 圧力pk 室温 時間 0 s	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		24 圧力p 室温 時間 0 s 1min 1.5 2 3	$^{\circ}$	計の読み <i>d</i>
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	圧力p 室 温	xN/m² ℃ 変位i	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E力pk 室温 時間 0 s Imin 1.5 2 3 5 5	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		24 圧力p 室 温 時間 0 s lmin 1.5 2 3 5	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	E 力p 室 温	xN/m² ℃ 変位i	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E 力p k 室 温 B 時間 0 s Imin 1.5 2 3 5 7	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		24 圧力p 室 温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7	$^{\circ}$	計の読み <i>d</i>
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	E 力p 室 温 経過時間 0 H s H H H H H 1 I I I I I I I I I I I I I I	xN/m² ℃ 変位i	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E 力p k 室 温 B 時間 0 s l l min 1.5 2 3 5 7 10	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		24 圧力p 室 温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7	$^{\circ}$	計の読み <i>d</i>
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	E 力p 室 温 経過時間 0 H S H H H H H I I I I I I I I I I I I I	xN/m² ℃ 変位i	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E 力p k 室 温 B 時間 0 s l l min 1.5 2 3 5 7 10 15	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		24 圧力p 室温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	E力p 室温 経過時間 0 H S H H H H 1mi 1.5 2 3 5 7 10 15 20	xN/m² ℃ 変位i	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E 力p k 室 温 B 時間 0 s S S S S S S S S S S S S S S S S S S	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		EDP EDP	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	E力p 室 温	xN/m² ℃ 変位i	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E 力p k 室 温 B 時間 0 s S S S S S S S S S S S S S S S S S S	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		24 圧力p 室 温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	E力p 室 温	CN/m² © 変位:	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E 力p k 室 温 B 時間 0 s S S S S S S S S S S S S S S S S S S	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		E	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	圧力p 室 温 経過時間 0 H s H H H H H H 1 mi 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1	CN/m² © 変位:	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E 力p k 室 温 B 時間 0 s s s s s s s s s s s s s s s s s s	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		E	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	圧力p 室 温 経過時間 0 H s H H H H H H 1 mi 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1 1.5	CN/m² © 変位:	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E力pk 室 温 B時間 0 s s s s s s s s s s s s s s s s s s	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		24 压力p 室 温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	圧力p 室 温 経過時間 0 H s H H H H H H 1 mi 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1	CN/m² © 変位:	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E 力p k 室 温 B 時間 0 s s s s s s s s s s s s s s s s s s	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		E	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	圧力p 室 温 経過時間 0 H s H H H H H H 1 mi 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1 1.5	CN/m² © 変位:	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E力pk 室 温 B時間 0 s s s s s s s s s s s s s s s s s s	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		24 压力p 室 温 時間 0 s 1min 1.5 2 3 5 7 10 15 20 30 40 1h 1.5	$^{\circ}$	計の読み d
載	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	圧力p 室 温 経過時間 0 H s H H H H H H H H	CN/m² © 変位:	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		E	$^{\circ}$	計の読み d
試 翳	注目	2, 28 14 16 18 20 22 24	E力p 室 温 経過時間 0	CN/m² © 変位:	2560.0 23-25 計の読み d mm 6.398 6.409 6.417 6.425 6.431 6.436	試 験		2, 29 経過 14H 16H 18H 20H 22H 24H	13 24 E 力p k 室 温 B 時間 0 s S S S S S S S S S S S S S S S S S S	変位言	23-24 計の読み d mm 4.313 4.305 4.298 4.293 4.288 4.284	試験	3		EDP EDP	$^{\circ}$	計の読み d

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 $(d-\sqrt{t}$ 曲線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月21日 試料番号 試 験 者 S5-2 $(60.00\sim60.90\text{m})$ 内田昇一 110 100 90 80 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 圧密度100%読み 压密度90%読み 載 正密圧 90 业 0.30 (2m/N세) 00.08 = q 克里魯里 0.39 0.24 (KN/m²) 00.00 (KN/m²) 0.02 0.22 0.27 0.07 田客田分 p= 20.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 (*d* −√*t* 曲 線) J G S 0411 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月21日 試料番号 試 験 者 S5-2 $(60.00\sim60.90\text{m})$ 内田昇 110 1. 541 1. 541 2. 611 2. 063 2. 121 4. 518 100 90 80 20 kN/m^2 $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 压密度100%読み 圧密度90%読み 載 正密圧 90 噩 业 $(2m/N_{\odot})$ 00 0.04 = q 公里要到 1.60 1.00 1.20 王密压力 p=320.00 (kN/m²) 0.58 0.98 0.88 平海田分 p= 160.00 (kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

J I S 1217 土の段階載荷による圧密試験 (d -√t 曲 線) 0411 J G S 令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 試験年月日 2020年02月21日 試料番号 試 験 者 S5-2 $(60.00\sim60.90\text{m})$ 内田昇一 110 9 20.0 100 90 80 20 $p ext{ kN/m}^2$ $= 10 \left(d_{90} - d_0 \right) / 9 + d_0$ 09 圧密度90%読み 圧密度100%読み 載 正密圧 90 业 20.00 (ku√n²) (ku√n² 6.20 王黎王力 b= 2560.0 (kN/m²) 3.20 4.20 4.70 2.20 王客王分 p= 1280.0(kN/m²) (mm)b 代請の情効変 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

 JIS A 1217
 1217

 JGS 0411
 土の段階載荷による圧密試験 (圧密量-時間曲線)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月21日 試験年月日 試料番号 試 験 者 S5-2 $(60.00\sim60.90\text{m})$ 内田昇 2000 3000 1000 $\triangle H_1 = (d_{100} - d_0) / 10$
 正 名 量 △H cm

 一次圧密量 △H, cm

 圧密度90, 50%時間 t₀o tạmin
 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i})/10$
 載
 荷
 段

 圧密圧力
 サイン

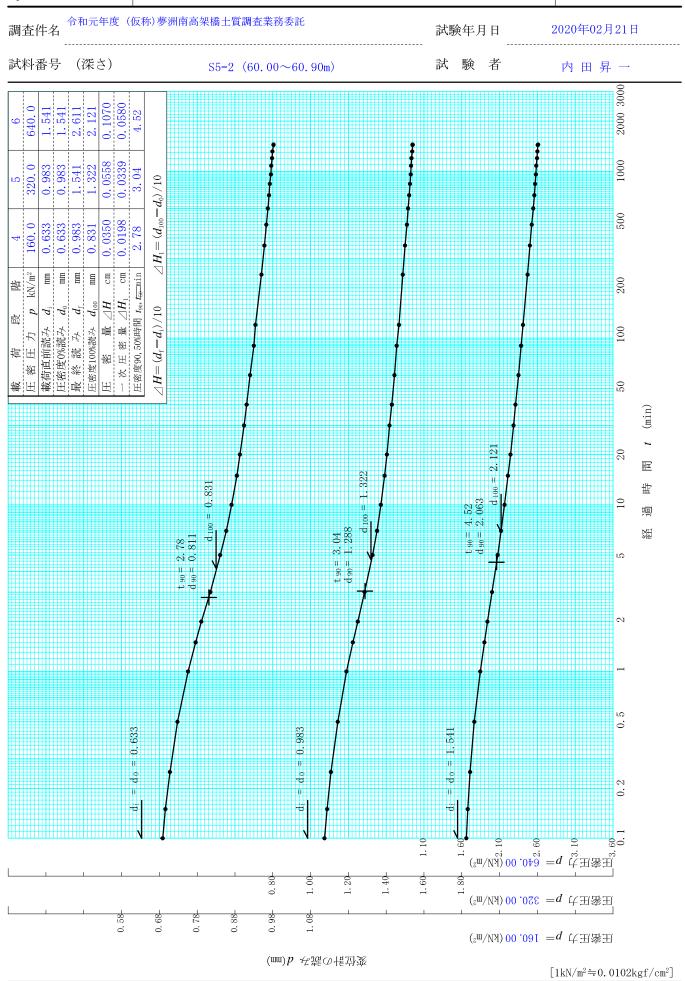
 軟件直前売み

 圧密度0%読み

 最終読み

 圧密度100%読み
 100 20 (min) 箈 $t_{90} = 2.39$ $d_{90} = 0.478$ $= d_0 = 0.206$ 0.30 (編/N型) 00 .08。 =q 点型密型 0.24 (KN/m²) 00.00 (KN/m²) 0.27 正常压力 p= 20.00 (kN/m²) (mm)b 名蓋の指型変 $[1kN/m^2 \doteq 0.0102kgf/cm^2]$ JIS A 1217 JGS 0411 土の段階載荷による圧

土の段階載荷による圧密試験(圧密量-時間曲線)



 JIS A 1217
 1217

 JGS 0411
 土の段階載荷による圧密試験 (圧密量-時間曲線)

令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託 調査件名 2020年02月21日 試験年月日 試料番号 試 験 者 S5-2 $(60.00\sim60.90\text{m})$ 内田昇 2000 3000 20. $\triangle H_1 = (d_{100} - d_0) / 10$ 200 $\triangle H = (d_{\rm f} - d_{\rm i})/10$
 載
 荷
 段

 圧密圧力
 軟荷直前読み

 圧密度0%読み
 最終 読み

 圧密度100%読み

 圧密度100%読み
 100 正 裕 二 20 $t_{90} = 9.68$ $d_{90} = 3.729$ 2.611 = 0**p** $(2\pi N_{\text{M}})^2 = 0.00$ 王密田力 p= 2560.0 (KN/m²) 正客压力 p= 1280.0 (kN/m²) (mm)b 名蓋の指型変 $[1kN/m^2 \doteq 0.0102kgf/cm^2]$ J I S A 1217 I G S 0411

土の段階載荷による圧密試験 (計算書)

式料看	番号(深さ)	S5-	2 (6	60.00~60.90m)			試	験	者	内田	昇 一
試 験	機 No.				直 径 1	Ост	6. 00)	初	含水	比 w ₀ %	74. 6
最低~	-最高室温	°C 2	4-26	供	断面積 4	1 cm ²	28. 2	7	期	間隙	比e ₀ , 体積比f。	1. 980
土 質	名 称			試	高 さ 1	1 ₀ cm	2. 00)	状	湿潤	密度ρ _t g/cm³	1. 548
土粒子	·の密度 $ ho$ 。	g/cm ³ 2	. 643	p-v	質 量 n	n ₀ g	87. 5	5	態	飽和	l度 S _{r0} %	99. 6
液 性	限 界 WL	% 1	26. 5	体		n _s g	50. 1	3	圧縮	指	数 <i>C</i> 。	0. 97
	限 界 w _p	%	41. 2		実質高さ 1	$I_{\rm s}$ cm	0.671				力 p_c kN/m ²	534. 4
載荷 段階	圧密圧力 <i>p</i> kN/m²	圧力増分⊿p kN/m²	圧 密 量 / cm	H	供試体高さ H cm	平均包	共試体高さ $ar{H}$ cm	圧縮			体積圧縮係数 m_v m^2/kN	間隙比e=H/H _s 体積比f=H/H s
0	0.0				2. 0000							1. 980
		20. 0	0.0131			1	. 9935	0.	655		3. 27x10 ⁻⁴	
1	20. 0				1. 9870	ļ						1. 960
		20.0	0.0161			1	. 9789	0.	814		4. 07x10 ⁻⁴	
2	40.0				1. 9709							1. 936
		40.0	0. 0266			1	. 9575	1.	359		3. 40x10 ⁻⁴	
3	80.0				1. 9443							1. 897
		80. 0	0. 0350			1	. 9268	1.	817		2. 27x10 ⁻⁴	
4	160. 0				1. 9093							1.845
		160.0	0. 0558			1	. 8814	2.	966		1.85x10 ⁻⁴	
5	320.0				1. 8535							1. 762
		320.0	0. 1070			1	. 7999	5.	945		1.86x10 ⁻⁴	
6	640. 0				1. 7465			 				1.602
		640.0	0. 1965			1	. 6482	11	. 922		1.86x10 ⁻⁴	
7	1280. 0				1. 5500							1. 309
		1280. 0	0. 1861			. I	. 4569	12	. 774		9. 98x10 ⁻⁵	4 000
8	2560. 0	0540.0	0.015		1. 3639		4710		4 600		T 70 10-5	1.032
		-2540.0	-0. 2154	<u> </u>	1 5709	<u>1</u>	. 4716	-1	4. 638		5. 76x10 ⁻⁵	1 050
9	20. 0				1. 5793							1. 353
10												
	平均圧密圧力 p		圧密係数。	C _v	透水係数 k	一次几	E密量⊿ H ₁		圧密り		補正圧密係数	透水係数 k'
没階 - 0 十	kN/m²	min	cm ² /d		m/s		cm		$\frac{ H_1 /\angle}{4.47}$	1 <i>H</i>	$c_{\rm v}' = rc_{\rm v} \rm cm^2/d$	m/s
1	10.00	1. 35	900. 5		3. 35x10 ⁻⁹		. 0058		447		402. 5	1. 50x10 ⁻⁹
2	28. 28	1.92	620. 8		2. 87x10 ⁻⁹		. 0076		469		291. 3	1. 35x10 ⁻⁹
3	56. 57 113. 14	2. 39	489. 4		1. 89x10 ⁻⁹ 1. 05x10 ⁻⁹	-	. 0123 . 0198		464 565		226. 9 230. 0	$\begin{array}{c c} 8.75 \times 10^{-10} \\ \hline 5.93 \times 10^{-10} \end{array}$
4	226. 27	3. 04	355. 1		7. 47×10^{-10}		. 0198		607		215. 7	4.54×10^{-10}
5	452. 55	4. 52	218. 7		4.61×10^{-10}		. 0539 . 0580		542		118. 6	$\begin{array}{c} 4.54 \times 10^{-10} \\ 2.50 \times 10^{-10} \end{array}$
6	905. 10	9. 68	85. 6		1. 81x10 ⁻¹⁰		. 1242		632		54. 1	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
7	1810. 19	9.06	71. 5		8. 09x10 ⁻¹¹		. 1252		673		48. 1	5. 45x10 ⁻¹¹
0	1010.10	J	11.0		O. OUAIU	1	. 1000	L	010		10. 1	U. IUAIU
9	226.27											

特記事項

 $H_{s} = m_{s} / (\rho_{s} A)$ $H = H' - \triangle H$ $\overline{H} = (H + H') / 2$ $m_{v} = (\triangle \epsilon / 100) / \triangle p$ $S_{r0} = w_{0} \rho_{s} / (e_{0} \rho_{w})$

 $\overline{p} = \sqrt{p \cdot p'}$ \sqrt{t} 法: $c_v = 305 \times \overline{H}^2/t_{90}$ 曲線定規法: $c_v = 70.9 \times \overline{H}^2/t_{50}$ $k = c_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$ $k' = c_v ' m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$ ただし、 $\gamma_w = 9.81 \mathrm{kN/m}^3$

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

(J I S	A	1217)	10	段	階	載	荷		(JGS	0411
JIS	A	1227	土の	定ひ	ずみ	速度載		による圧密試験	(圧縮曲線)	J G S	0412

帝和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

試験年月日

2020年02月21日

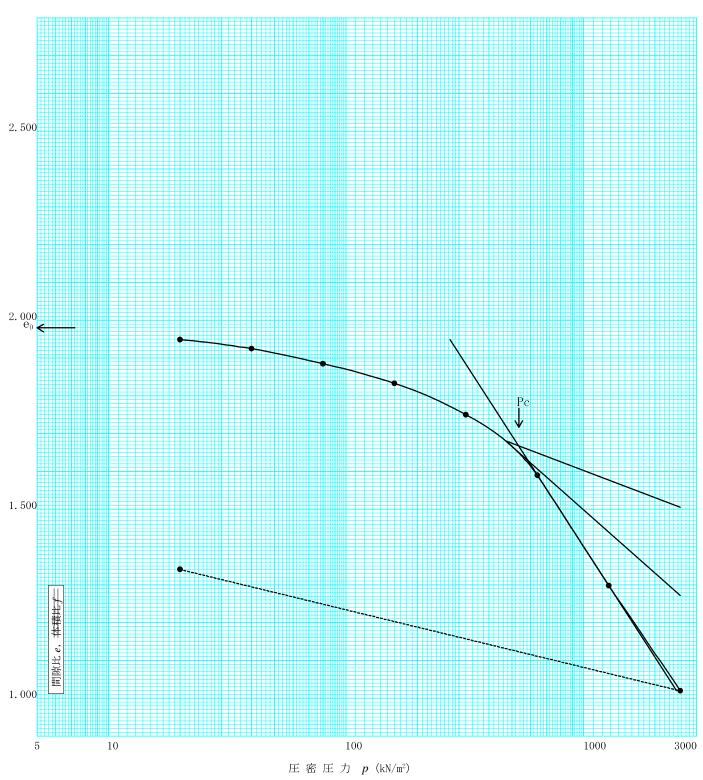
試料番号 (深さ)

S5-2 $(60.00\sim60.90\text{m})$

試 験 者

内田昇一

土粒子の密度	液性限界	塑性限界	初期含水比	初期間隙比 e ₀ 初期体積比 f ₀	圧縮指数	圧密降伏応力	ひずみ速度 ¹⁾
ρ _s g/cm³	w _L %	w _p %	w ₀ %		<i>C</i> 。	$p_{\rm c}$ kN/m²	%/min
2.643	126. 5	41. 2	74.6	1. 980	0.97	534. 4	



特記事項

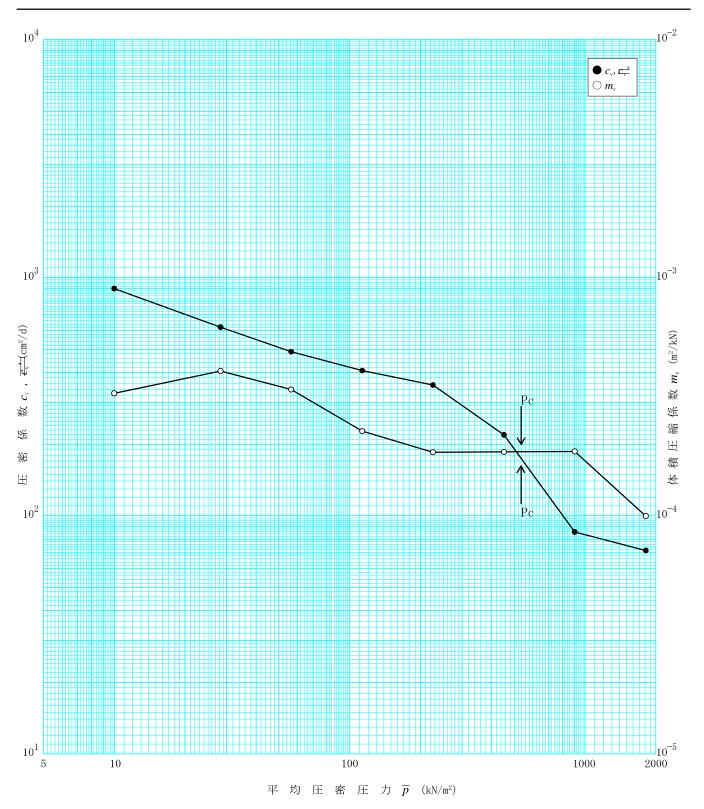
1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

JIS	A	1217)	上の段	階	載	荷	たって 一分学験	(日目伝)	J G S	0411
JΙS	A	1227	エの 定 ひ	ずみ	速 度	載荷	による圧密試験	$(c_{v}, m_{v}-\overline{p}$ 関係)	J G S	0412

試料番号(深さ) S5-2 (60.00~60.90m)

試験者 内田昇一



特記事項



ボーリング調査 施工状況・復旧写真

①ボーリング No.1 施工状況写真

((仮称)夢洲北高架橋からのボーリング連番は、No.5)

1) 着手前









②ボーリング No.2 施工状況写真

((仮称)夢洲北高架橋からのボーリング連番は、No.6)

1) 着手前











③ボーリング No.3 施工状況写真

((仮称)夢洲北高架橋からのボーリング連番は、No.7)

1) 着手前







3) 完了後





④ボーリング No.4 施工状況写真

((仮称)夢洲北高架橋からのボーリング連番は、No.8)

1) 着手前







3) 完了後





⑤ボーリング No.5 施工状況写真

((仮称)夢洲北高架橋からのボーリング連番は、No.9)

1) 着手前







3) 定了後







No. 1 着手前





No. 1 着手前

No.1 足場仮設 0.3m超





No. 1 資機材運搬 (クレーン)

No. 1 全景



No. 1 標準貫入試験



No.1 掘進状況



Mo. 1 残尺 立会者:矢野氏_R1. 12. 16

No. 1 残尺(黑板拡大) 立会者:矢野氏_R1. 12. 16



No. 1 残尺(近景) 立会者:矢野氏_R1. 12. 16

No. 1 残尺(近景) 立会者:矢野氏_R1. 12. 16





No. 1 検尺 立会者:矢野氏_R1, 12, 16

No.1 検尺(黒板拡大) 立会者:矢野氏_R1.12.16



No. 1 検尺(近景)



No.1 検尺(近景)



No. 1

|| | 検尺(近景)

No. 1 調査孔閉塞 (砂充填)



両宣礼明器 (砂充填完了 GL-0.75m)

制査孔閉塞 (モルタル充填)



Na, 1 作業後



No. 1 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-4. 00m



No.1 孔内水平戴荷試験 測定状況 GL-4.00m



No. 1 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-8, 50m



No. 1 孔内水平载荷試験 測定状況 GL-8, 50m



No. 1 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-14.50m 立会者: 矢野氏



No.1 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-14.50m 立会者:矢野氏



No.1 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-20.00m



No. 1 孔内水平軟荷試験 測定状況 GL-20. 00m



No. 1 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-26. 50m



No.1 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-26.60m



No.1 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-31,50m



No. 1 孔内水平载荷試験 測定状況 GL-31, 50m



No. 1 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-36. 50m



No.1 孔内水平戴荷試験 測定状況 GL-36,50m



No.1 孔内水平载荷試験 位置残尺 GL-14.50m



No. 1 孔内水平载荷試験 位置残尺(近景) GL-14.50m



No. 1 孔内水平载荷試験 位置検尺 GL-14.50m



No.1 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング)

No.1 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング)





No. 1 乱れの少ない試料採取 (トリブルサンブリング) GL-6, 50~7, 50m

No. 1 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンブリング) GL-9、50~10、40m



No. 1 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンブリング) GL-15, 50~16, 40m



No.1 乱れの少ない試料探取 (トリブルサンブリング) GL-18.50~19.50m



No.1 乱れの少ない試料採取 (トリブルサンブリング) GL-23.50~24.40m

No. 1 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-27. 50~28. 40m



No.1 乱れの少ない試料採取 (トリブルサンブリング) GL-34,00~35,00m



No.1 乱れの少ない試料採取 (トリブルサンブリング) GL-39.50~40.40m



No.1 乱れの少ない試料採取 (トリブルサンブリング) GL-45.50~46.50m



No.1 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-60.50~61.50m



No.1 乱れの少ない試料採取 (トリブルサンブリング) GL-61.50~62.50m



No.1 乱れの少ない試料採取 (トリブルサンブリング) GL-62.50~63.50m



No.1 乱れの少ない試料採取 (トリブルサンブリング) GL-63.50~64.50m



No.1 KY活動状況



No. 2 着手前



No. 2 着手前



No. 2 資機材運搬 (ユニック)



No. 2

No. 2 足場仮設 0. 3m超

No. 2 標準貫入試験



No. 2 掘進状況



No. 2 全景



No. 2 **残尺** 立会者: 矢野氏_R1, 12, 5



No. 2 残尺(近景) 立会者:矢野氏_R1, 12, 5



No. 2 残尺(近景) 立会者:矢野氏_R1. 12. 5



No. 2 検尺 立会者:矢野氏_R1. 12. 5



No. 2 検尺(近景) 立会者:矢野氏_R1, 12, 5



No. 2 検尺(近景) 立会者:矢野氏_R1. 12. 5



No. 2 調查孔閉塞 (砂充填)



No.2 調査孔閉塞 (砂充填 GL-0.75mまで)



No. 2 調査孔閉塞 (セメントモルタル埋め戻し)



No. 2 作業後



No. 2 作業後



No. 2 KY活動状況



No. 2 孔内水平載荷試験 ゾンデ揮入状況 GL-6. 00m



No. 2 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-6. 00m



No. 2 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-11, 00m



No. 2 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-11, 00m



No. 2 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-11, 00m



No. 2 孔内水平載荷試験 ゾンデ揮入状況 GL-17, 00m



No. 2 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-17, 00m



No. 2 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-20, 50m



No. 2 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-20, 50m



No. 2 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-27, 50m



No. 2 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-27, 50m



No. 2 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-33, 50m



No. 2 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-33, 50m



No. 2 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-39, 50m



No. 2 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-39, 50m



No. 2 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング)



No.2 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング)



No. 2 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング)



No.2 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-4,00~4,90m

No. 2 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング) GL-7, 50~8, 40m



No.2 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-15.50~16.40m



No.2 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング) GL-19.00~19.90m



No. 2 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング) GL-32, 00~32, 70m 立会者:矢野氏_R1, 11, 22



No. 2 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング) GL-38, 00~38, 75m





No.2 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング) GL-26,00~26,75m

No. 2 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング) GL-32,00 立会者:矢野氏_R1,11.22



No.2 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-45,00~45,90m

No. 2 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング) GL-59, 70~60, 20m



No.2 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-60、20~61,05m



No.2 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-66.00~66.90m



No. 2 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-72, 00~72, 70m

No.2 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンブリング) GL-89,00~89,75m



No.2 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-89、75~90,60m





No. 3 着手前

No. 3 資機材運搬 (クレーン)



No.3 足場仮設 0.3m超



No. 3 全景



No. 3 掘進状況

No.3 標準貫入試験



No. 3 残尺 立会者:矢野氏_R1. 12. 23



No.3 残尺(近景) 立会者:矢野氏_R1.12.23



No. 3 残尺(近景) 立会者:矢野氏_R1. 12. 23



No. 3 検尺 立会者:矢野氏_R1. 12. 23



No. 3 検尺(近景) 立会者:矢野氏_R1. 12. 23





No. 3 調査孔閉塞 (砂充填)



No.3 調査孔閉塞 (砂充填 GL-0.75mまで)

No. 3 調査孔閉塞 砕石充填 0. 75m



No. 3 作業後



No. 3 作業後



No. 3 孔内水平載荷試験 (LLT)



No.3 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-6.00m



No.3 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-6.00m



No.3 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-12.00m



No.3 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-12.00m



No.3 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-28.50m



No.3 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-28.50m



No.3 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-33.50m



No. 3 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-33. 50m



No. 3 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-39. 50m



No.3 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-39.50m



No. 3 玉石採取 GL-14. 70~21. 70m



No. 3 玉石採取 GL-87. 00~88. 75m



No.3 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング)



No.3 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング)



No.3 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング)



No.3 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-3.80~4.80m



No.3 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング) GL-7.00~7.90m

No.3 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング) GL-13.00~13.90m



No.3 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-23.00~23.80m



No.3 乱れの少ない試料採取 (シンウォールサンプリング)GL-26.00~26.50m (デニソンサンプリング)GL-26.50~27.20m



No.3 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-32.00~32.90m

No.3 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-37.50~38.30m GL-38.30~39.20m



No.3 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-46.00~46.90m



No.3 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-60.00~60.80m



No.3 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-66.00~66.85m



No.3 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-71.80~72.65m



No.3 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-90.00~90.90m



No.3 KY活動状況





No. 4 着手前

No. 4 足場仮設 0. 3m超



No. 4 資機材運搬 (クレーン)



No. 4 全景



No. 4 掘進状況



No. 4 標準貫入試験



No. 4 残尺 立会者: 矢野氏_R2. 1. 30



No. 4 残尺(近景) 立会者:矢野氏_R2. 1. 30



No. 4 残尺(近景) 立会者: 矢野氏_R2. 1, 30



No. 4 残尺(近景)



No. 4 検尺 立会者: 矢野氏_R2. 1. 30



No. 4 検尺(黒板拡大) 立会者:矢野氏_R2. 1. 30



No. 4 検尺(近景) 立会者: 矢野氏_R2. 1, 30



No. 4 調查孔閉塞 (砂充填)



No. 4 調査孔開塞 (砂充填完了 GL-0. 75m)



No. 4 調査孔開塞 (モルタル充填)



No. 4 調査孔開塞 (セメントモルタル充填)



No. 4 作業後



No. 4 作業後



No. 4 搬入時車線規制状況



No. 4 車両給水



Na. 4 車両給水





No. 4 保安状況



No. 4 採取玉石 GL-3, 00~4, 80m



No.4 採取玉石 GL-19.05~19.35m



探取玉石 GL-6,70~21,70m



No. 4 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-4, 40m



No. 4 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-4, 40m



No. 4 孔内水平載荷試験 ゾンデ揮入状況 GL-11, 40m



No. 4 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-11, 40m



No. 4 孔内水平載荷試験 ソンデ揮入状況 GL-23. 40m



No. 4 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-23, 40m



No. 4 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状強 GL-26. 40m



No. 4 孔内水平载荷試験 測定状況 GL-26, 40m



No. 4 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-31, 40m



No. 4 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-31, 40m



No. 4 孔内水平載荷試験 ゾンデ揮入状況 GL-37, 40m



No. 4 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-37, 40m



No.4 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-23,90~24,90m



No. 4 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-27, 00~28, 10m



No. 4 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-31. 90~32. 95m



No. 4 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-37. 90~39. 00m



No.4 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-43,70~44,30m



No. 4 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-46, 90~48, 00m



No.4 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-60.90~62.00m



No. 4 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-62.00~63.00m



No.4 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-66.00~67.00m



No. 4 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-71, 00~72, 00m



No. 4 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-90, 00~91, 00m



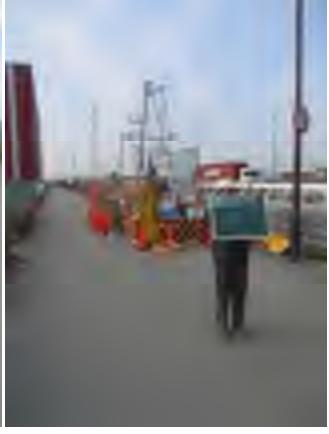


No. 5 着手前

No. 5 資機材運搬 (クレーン)







No. 5 全景



No.5 掘進状況



No. 5 標準貫入試験



No. 5 残尺 立会者: 矢野氏_R02. 2. 20



No. 5 残尺(近景) 立会者:矢野氏_R02. 2. 20



No. 5 残尺(近景) 立会者:矢野氏_R02. 2. 20



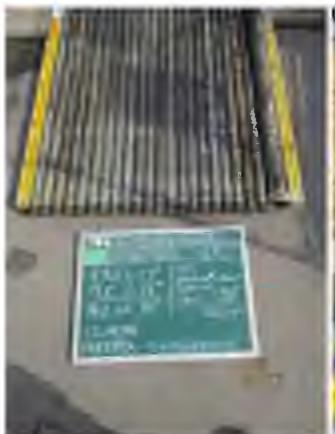
No. 5 残尺(近景) 立会者:矢野氏_R02. 2. 20



No. 5 検尺 立会者:矢野氏_R02. 2. 20



No. 5 検尺(黒板拡大) 立会者:矢野氏_R02. 2. 20



No. 5 検尺(近景) 立会者: 矢野氏_R02. 2, 20



No. 5 検尺(近景) 立会者:矢野氏_R02. 2. 20



No. 5 調査孔閉塞 (砂充填)



No.5 調査孔閉塞 (砂充填完了 GL-0.75m)



No. 5 調査孔開塞 (モルタル充填)



No. 5 調査孔閉塞 (モルタル充填)

No.5 作業後



Na. 5 作業後



No. 5 資材搬出



No. 5 採取玉石 GL-6. 50~21. 50m



No. 5 採取玉石 GL-6. 50~21. 50m



No. 5

No.5 保安状況

No. 5 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-4, 40m



No.5 孔内水平戴荷試験 測定状況 GL-4.40m



No. 5 孔内水平載荷試験 ゾンデ揮入状況 GL-23, 40m



No. 5 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-23, 40m



No. 5 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-28, 40m



No.5 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-28.40m



No. 5 孔内水平載荷試験 ゾンデ揮入状況 GL-33. 40m



No.5 孔内水平載荷試験 測定状況 GL-33,40m



No. 5 孔内水平載荷試験 ゾンデ挿入状況 GL-38, 40m



No.5 孔内水平戴荷試験 測定状況 GL-38,40m



No.5 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング)



No.5 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング)



No. 5 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-23, 90~24, 90m



No.5 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-29,00~29,71m



No.5 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-34.00~34.70m



No.5 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-40,00~40,70m



No.5 乱れの少ない試料採取 (デニソンサンプリング) GL-47,00~47,70m



No.5 乱れの少ない試料採取 (トリプルサンプリング) GL-60,00~60,90m



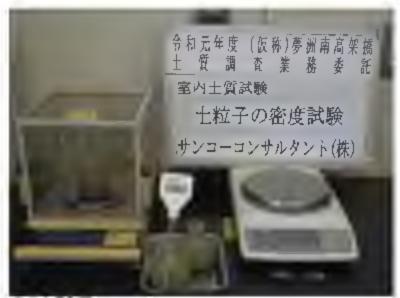
泥水処理 バキューム車規制





泥水処理 パキューム車搬出

5. 室内土質試験状況写真



至四土貫試販 土粒子の密度試験



室内土質試験 土の含水比試験



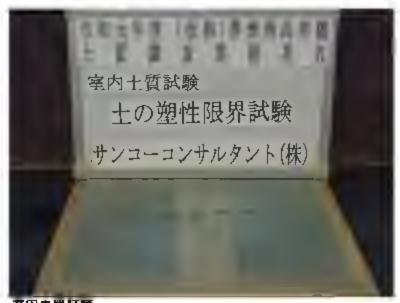
室内土質。 生の粒度試験(沈降分析)



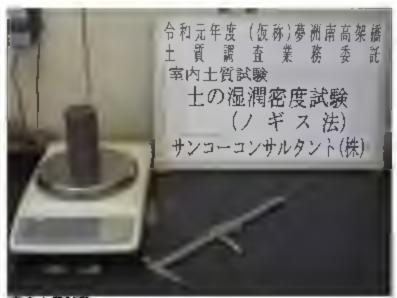
室内+曾試験 土の粒度試験(フルイ分析)



室内土質試験 土の液性限界試験



室内土質拡腰 土の塑性限界試験



參試管十内室 土の湿潤密度試験(ノギス法)



土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験





室内土質試験 土の繰り返し非排水三軸試験



室内土質試験 土の段階載荷による圧密試験



室内土質試験

土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体

No. 1:81-1 GL-6, 50~7, 50m



室内土質試験 土の非圧密非排水(UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 1:T1-1 GL-9. 50~10. 45m



室内土質試験 土の非圧密非排水(JU) 三軸圧縮試験供試体 No. 1: T1-2 GL-15, 50~16, 40m



GL-18, 50~19, 50m



室内土質試験 土の圧密排水(CD) 三軸圧縮試験供試体 No. 1:81-3 GL-23,50~24,40m



室内土質試験 土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 1:\$1-4 GL-27, 50~28, 40m



室内土質試験 土の非圧密非排水(UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 1∶S1-5 GL-34, 00~35, 00m

室内土質試験 土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 1:S1-7 GL-45. 50~46. 50m



至四工資訊駅 土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 1:81-11 GL-63,50~64,50m



室内土質試験 土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 1:S1-6 GL-39. 50~40. 40m





室内主質試験 土の圧密排水(CD)三軸圧縮試験供試体 No. 2:S2-1 GL-4.00~4.90m



室内土質試験 土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 2: T2-1 GL-7, 50~8, 40m



土の圧密排水 (CD) 三軸圧縮試験供試体 No. 2: \$2-2 GL-15, 50~16, 40m

里内土質試験

土の非圧密非排水(UU) 三軸圧縮試験供試体

No. 2: T2-3

GL-26, 00~26, 75m



全 工具四級

土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体

No. 2: T2-4

GL-32, 00~32, 70m



室内土質試験 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験供試体 No. 2∶T2−2 GL-19, 00~19, 40m



土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体

No. 2:52-3

GL-45, 00~45, 90m



室内土質試験

土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 2:02-1

GL-60, 20~61, 05m



土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 2: T2-5 GL-38, 00~38, 75m





室内士質試験 土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 2: D2-2 GL-66. 00~66. 90m



室内土質試験 土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 2:D2-3 GL-72, 00~72, 70m



至四工資訊験 土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 2:D2-5 GL-89. 75~90. 60m



主の工資訊級 土の圧密排水(CD)三軸圧縮試験供試体 No.3:83-1

GL-3.80~4.80m



主の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 Na. 3: T3-1 GL-7, 00~7, 90m



土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 3: T3-2 GL-13. 00~13. 90m

土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験供試体

No. 3:D3-1

GL-26, 50~27, 20m



土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 3:D3-2

GL-32.00~32.90m



土の圧密排水(CD) 三軸圧縮試験供試体 No. 3: S3-2 GL-23, 00~23, 80m



土の非圧密非排水(UU) 三帕圧縮試験供試体

No. 3: \$3-3

GL-46, 00~46, 90m



土の非圧密非排水(UU) 三軸圧縮試験供試体

No. 3:D3-5

GL-60.00~60.80m



土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮は No. 3∶D3−4 GL−38, 30~39, 20m



土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験供試体

No. 3:D3-7

GL-71.80~72.65m



室内土質試験

土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体

No. 3: D3-8

GL-90, 00~90, 90m



土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 3 'D3-6

GL-66, 00~66, 85m



室内土質試験 土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体

No. 4: \$4-2

GL-27, 00~28, 00m



室内土質試験

土の非圧密非排水(UII)三軸圧縮試験供試体 No. 4:54-3

GL-31, 90~32, 95m



室内土賃試 土の圧密排水(CD) 三軸圧縮試験供試体 No. 4: \$4-1 GL-23, 90~24, 90m





室内土質試験 土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 4: \$4-4 GL-37, 90~39, 00m



土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体

No. 4 - \$4-6

GL-46, 90~48, 00m



土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験供試体 No. 4:84-7

GL-60, 90~63, 00m

土の非圧密非排水(UU) 三軸圧縮試験供試体

No. 4: \$4-9

GL-71, 00~72, 00m



室内土質試験

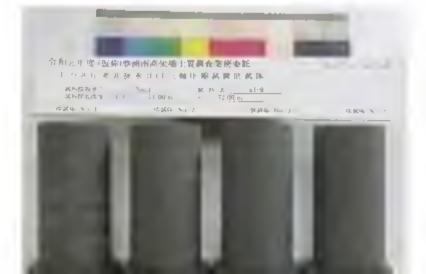
土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体

No. 4: \$4-10

GL-90, 00~91, 00m



室内土質試験 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験供試体 No. 4: \$4-8 GL-66, 00~67, 00m





室内土質試験 土の圧密排水(CD) 三軸圧縮試験供試体 No. 5: S5-1 GL-23. 90~24. 90m



土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験供試体

No. 5:D5-1

GL-29.00~29.71m



室内土質試験

土の非圧密非排水(UU) 三軸圧縮試験供試体

No. 5:D5-2

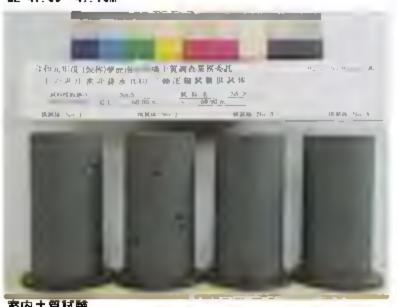
GL-34, 00~34, 70m



土の非圧密非排水 (UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 5:D5-3 GL-40, 00~40, 70m



室内土質試験 土の非圧密非排水 (UII) 三軸圧縮試験供試体 No. 5: D5-4 GL-47, 00~47, 70m



室内土質試験 土の非圧密非排水(UU) 三軸圧縮試験供試体 No. 5: S5-2 GL-60. 00~60. 90m

室内+質試験 土の繰り返し非排水三軸試験 No.2:82-1 GL-4,00~4,90m



室内土質試験 土の繰り返し非排水三軸試験 No. 2:82-2 GL-15, 50~16, 40m



室内十曾試験 土の繰り返し非排水三軸試験 No. 2: S2-1 GL-4, 00~4, 90m





室内+普試験 土の繰り返し非排水三軸試験 Na.3:S3-1 GL-3.80~4.80m



室内土質試験 土の繰り返し非排水三軸試験 No.3:\$3-1



目 次

- 1. 観測手簿
- 2. 多角点計算書
- 3. 座標変換計算書
- 4. ボーリング点計算書
- 5. 観測図
- 6. 成果表
- 7. 水準測量

1. 観測手簿

測点 2-26y-202	観測年月日 2019/10/02 天 候 晴 風力無風
観測状況 B=C=P	観測者 笹部
測 器 名 FlexLineTSO6Plus 器械番号 1400485 標石番号 柱 石 長	記録方法 自動 埋 石 差
器 械 高 1.635 m 器械定数	
気 温 28.0°C 気 圧 1013 hPa 開始時刻 10∶21 終了時刻 10∶22	気象補正 +13.0 PPM
目 望 番 視 準 点 水 平 角 遠 (4)	· ±÷
盛 鏡 号 名称 • 番号 (観 測 角) 結 果)	音 較 角 差 平 均 値 ″ ″ (゜, ″)
r 1 2-26y-204 0-00-00 0-00-00	0-00-00
2 T. 1 247–31–00 247–31–00	247–31–00
望 視 準 点 鉛 直 角 距 遠 名称・番号 観測角 ()α 測定値(1)	離 較 目標高 反射鏡 (2) 差 定数
遠 名称 • 番号 観測角 ()α 測定値(1) 鏡 (゜'″)(゜'″) m	(2) 差 定数 m mm m mm
r 2-26y-204 90-09-45 -0-09-45 r T. 1 89-09-10 0-50-50 36. 314	.314 0 1.570
1 1.1 03-03-10 0-30-30 30.314	.014 0 1.070

測点 T. 1	観測年月日 2019/10/02 天 候 晴 風力無風
観測状況 B=C=P	観測者 笹部
測器名 FlexLineTSO6Plus 器械番号 1400485 標石番号 柱石長	記録方法 自動 埋 石 差
器 械 高 1.570 m 器械定数 気 温 28.0°C 気 圧 1013 hPa 開始時刻 10∶36 終了時刻 10∶38	気象補正 +13.0 PPM
目 望 番 視 準 点 水 平 角 遠 倍	. • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
遠	
r 1 2-26y-202 0-00-00 0-00-00 2 T. 2 202-08-20 202-08-20	0-00-00 202-08-20
望 視 準 点 鉛 直 角 距 遠 名称•番号 観測角 ()α 測定値(1)	離 較 目標高 反射鏡 (2) 差 定数
•	m mm m mm .315 0 1.635 .533 1 1.505

測点 T. 2	観測年月日 2019/10/02 天 候 晴 風力無風
観測状況 B=C=P	観測者 笹部
測器名 FlexLineTS06Plus 器械番号 14004標石番号 柱石長	85 記録方法 自動 埋 石 差
器 械 高 1.505 m 器械定数 気 温 28.0°C 気 圧 101 開始時刻 10:41 終了時刻 10:43	13 hPa
目 望 番 視 準 点 水 平 角 遠	倍 較
盛 鏡 号 名称 • 番号 観 測 角 結 (゜′″)(゜′°	倍 較 果 角 差 平均 値 ″) ″ ″ (゜' ″)
r 1 T.1 0-00-00 0-0 2 DM-203 188-27-25 188-2	0-00 0-00-00 7-25 188-27-25
望 視 準 点 鉛 直 角 遠 名称•番号 観測角 ()α 測況 鏡 (゜′″)(゜′″)	距 離 較 目標高 反射鏡 定値(1) (2) 差 定数 m m mm m
r T. 1 90–10–05 –0–10–05 1	m m mm m mm 135.534 .533 1 1.570 117.109 .109 0 1.515

測点 HT.2	観測年月日 2019/10/02
観測状況 B=C=P	天 候 晴 風力無風 観測者 笹部
測 器 名 FlexLineTSO6Plus 器械番号 1400485 標石番号 柱 石 長 器 械 高 1.505 m 器械定数	記録方法 自動 埋 石 差
気 温 28.0°C 気 圧 1013 hPa	気象補正 +13.0 PPM
開始時刻 11∶09 終了時刻 11∶19	
目 望 番 視 準 点 水 平 角 遠 倍	r
遠 倍 盛 鏡 号 名称 • 番号 観 測 角 結 果 角 (° ' ") (° ' ") "	f
r 1 HT.1 0-00-00 0-00-00	0-00-00
2 R1-No. 5-1 197-11-05 197-11-05	197–11–05
3 R1-No. 6-1 352-12-35 352-12-35	352-12-35
	離 較 目標高 反射鏡 (2) 差 定数
	m mm m mm .533 1 1.570
	. 968 1 0. 523
	. 965 0 0. 523
7 10 00 20.000	

測点 2-2	6y-202			観測年月 天 候	日 2019/10/晴 風 カ 🦸	
観測状況	B=C=P			観測者	笹部	無風
測 器 名標石番号器 械 高	FlexLineTSO6Plus	器械番号 柱 石 長 器械定数	1400485	記録方法理 石 差		
気 温	28.0 °C	気 圧	1013 hPa	気象補፲	E +13.0 PP	M
開始時刻	12:09	終了時刻	12:23			
目 望 番 遠鏡 号 r 1 2 3	視 準 点 名称•番号 HT.1 R1-No.8-1 R1-No.9-1	水 平 観測角 (* ' ") 0-00-00 294-11-25 293-34-35	角 結果(***********) 0-00-00 294-11-25 293-34-35	倍 較 角 差 : ″ ″	平 均 値 (゜ ′ ″) 0-00-00 294-11-25 293-34-35	
		角 () ") (° ' -10 0-50 -20 -0-19	-20 97. 314	離 較 (2) 差 m mm .315 1 .314 0 .187 0		射鏡 数 mm

測点 HT. 1	観測年月日 2020/01/10 天 候 晴 風力無風
観測状況 B=C=P	観測者 笹部
測 器 名 FlexLineTSO6Plus 器械番号 1400485 標石番号 柱 石 長	記録方法 自動 埋 石 差
器 械 高 1.547 m 器 械 定 数 気 温 10.0°C 気 圧 1013 hPa	気象補正 -5.0 PPM
開始時刻 9:29 終了時刻 9:32	XX 3X 1111 E
目 望 番 視 準 点 水 平 角 遠	5 · • • • • • • • • • • • • • • • • • •
遠	
r 1 HT. 2 0-00-00 0-00-00	0-00-00
2 R1-No. 7-1 317-44-40 317-44-40	317–44–40
望 視 準 点 鉛 直 角 距 遠 名称•番号 観測角 ()α 測定値(1) 鏡 (゜′″)(゜′″) m	離 較 目標高 反射鏡 (2) 差 定数
鏡 (゜′″)(゜′″) m r HT.2 90-14-25 -0-14-25 135.541	m mm m mm 0.530
	. 423 0 0. 530

2. 多角点計算書

<u>距離補正計算書</u>

路線名: 1	區	至標系: 6	平均標高:	7. 000) 平均縮尺·	係数: 0.9	99938		
測点	視準点	測定距離	高低角	平均標高	水平距離	投影補正	球面距離	縮尺補正	平面距離
2-26y-202	T. 1	36. 314	0-50-50		36. 310	0.000	36. 310	-0.002	36, 308
T. 1	T. 2	135. 534	0-09-50		135. 533	0.000	135. 533	-0.008	135. 525
T. 2	DM-203	117. 109	0-12-50		117. 108	0.000	117. 108	-0.007	117. 101
	•								

開放トラバース計算書

路線名:	1										
器械点	視準点	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高		測点名	逆算方向角	逆算距离
2-26y-202	2-26y-204		39-57-11		-149506.510	-55680.187		8. 423	2-26y-202		

36. 308 2-26y-202 T. 1 247-31-00 287-28-11 36. 308 | -149495. 610 | -55714. 820 | 0.602 9. 025 T. 1 287-28-11 202-08-20 309-36-31 135. 525 -149409. 208 9. 479 T. 2 135. 525 T. 2 -55819. 231 0. 454 309-36-31 T. 1 318-03-56 T. 2 DM-203 188-27-25 318-03-56 117. 101 -149322. 095 -55897.487 0. 428 9.907 DM-203 117. 101

合 計 638-06-45 288.934

3. 座標変換計算書

ヘ ル マ ー ト 変 換 計 算 書

• 変換係数

回転角 -0-18-42

距離比率 1.000014

▪誤差

平均二乗誤差 MX=

0.000 標準偏差

0.000

MY = 0.000

▪参照点列

2 /////// 2								
参照点 1	X座標	Y座標		参照点 2	X座標	Y座標	誤差X	誤差Y
2-26y-202	-149506. 510	-55680. 187	====>	2-26y-202	-149506. 510	- 55680. 187	0.000	0.000
DM-203	-149322.095	-55897. 487	====>	2-26y-203	-149323. 277	-55898. 490	0.000	0.000

• 変換点列

変換前	X座標	Y座標		変換後	X座標	Y座標
T. 1	-149495. 610	-55714.820	====>	HT. 1	-149495. 798	- 5571 4 . 879
T. 2	-149409. 208	-55819. 231	====>	HT. 2	-149409. 964	-55819. 760

4. ボーリング点計算書

<u>距離補正計算書</u>

路線名: 2	卢	至標系: 6	平均標高:	7. 000) 平均縮尺	係数: 0.9	999938		
測点	視準点	測定距離	高低角	平均標高	水平距離	投影補正	球面距離	縮尺補正	平面距離
HT. 2	R1-No. 5-1	13. 969	-4-04-50		13. 934	0.000	13. 934	-0. 001	13. 933
HT. 2	R1-No. 6-1	29. 965	-2-16-35		29. 941	0.000	29. 941	-0.002	29. 939
2-26y-202	R1-No. 8-1	97. 314	-0-19-20		97. 312	0.000	97. 312	-0.006	97. 306
2-26y-202	R1-No. 9-1	146. 187	-0-03-55		146. 187	0.000	146. 187	-0.009	146. 178
	•	'							

<u>放射 トラバース計算書</u>

路線名:	2										
	15°# 			n= +//	\. \. \. \. \. \. \. \. \. \. \. \. \. \	\ 		1 = -	70.1 L A	34 kg 1 4 67	₩ ₩ n= ±#
器械点	視準点	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標局	測点名	逆算方向角	逆算距離
HT. 2	HT. 1		129-17-48		-149409.964	-55819.760		9. 479	HT. 2		
HT. 2	R1-No. 5-1	197–11–05	326-28-53	13.933	-149398. 348	-55827. 454	-0.012	9. 467	R1-No. 5-1	326-28-53	13. 933
HT. 2	R1-No. 6-1	352-12-35	121-30-23	29. 939	-149425. 610	-55794. 235	-0. 208	9. 271	R1-No. 6-1	121-30-23	29. 939
器械点	視準点	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標高	測点名	逆算方向角	逆算距離
2-26y-202	HT. 1		287-09-31		-149506. 510	- 55680. 187		8. 423	2-26y-202		
2-26y-202	R1-No. 8-1	294-11-25	221-20-56	97. 306	-149579. 558	-55744. 472	0. 565	8. 988	R1-No. 8-1	221-20-56	97. 306
2-26y-202	R1-No. 9-1	293-34-35	220-44-06	146. 178	-149617. 274	-55775. 577	0. 447	8. 870	R1-No. 9-1	220-44-06	146. 178

距離補正計算書

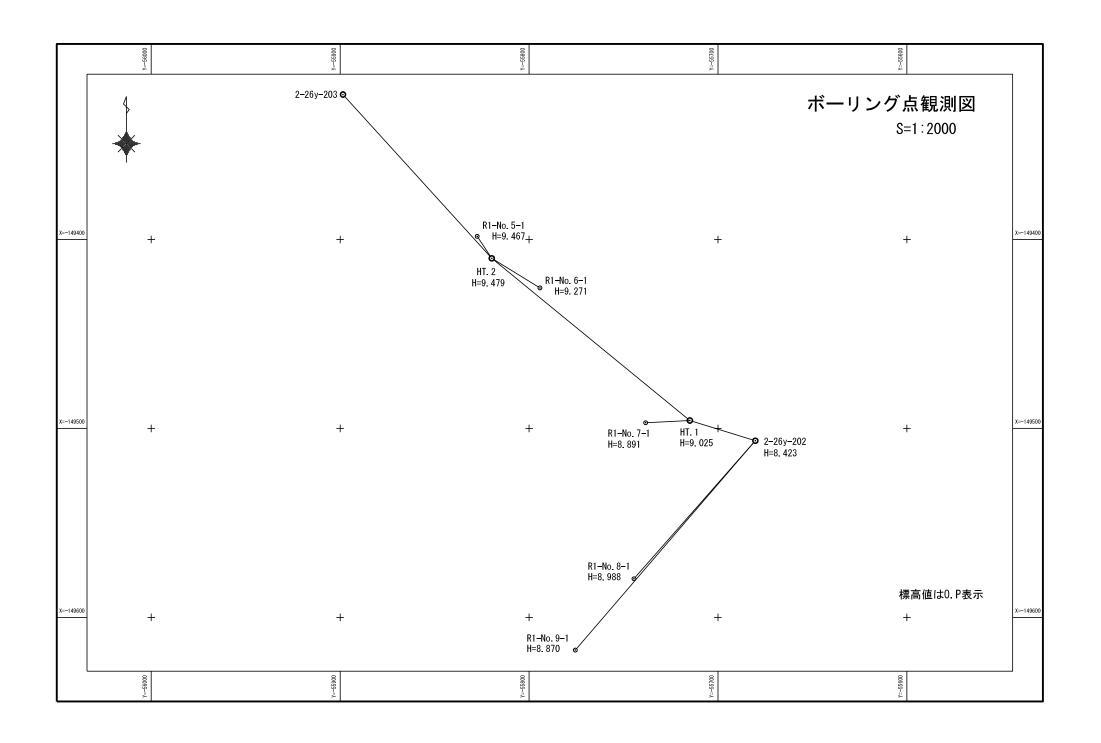
路線名: 2020.1	1.10	至標系: 6	平均標高:	7. 000) 平均縮尺	係数: 0.5	999938		
測点	視準点	測定距離	高低角	平均標高	水平距離	投影補正	球面距離	縮尺補正	平面距離
HT. 1	R1-No. 7-1	23. 423	-2-49-00		23. 395	0.000	23. 395	-0.001	23. 394
			.						

<u>放射 トラバース計算書</u>

路線名:	2020.	1.	10
------	-------	----	----

器械点	視準点	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標高	測点名	逆算方向角	逆算距離
HT. 1	HT. 2		309-17-48		-149495. 798	-55714.879		9. 025	HT. 1		
HT. 1	R1-No. 7-1	317-44-40	267-02-28	23. 394	-149497. 006	-55738. 242	-0. 134	8. 891	R1-No. 7-1	267-02-28	23. 394

5. 観測図



6. 成果表

ボーリング点成果表

業務名:令和元年度(仮称)夢洲南高架橋土質調査業務委託

点 名	В	L	X 座 標	Y座標	標高(T. P値)	標高(0. P値)	備考
R1-No. 5-1	34-39-06. 3550	135–23–27. 4560	-149398. 348	-55827. 454	8. 167	9. 467	ボーリング No. 1
R1-No. 6-1	34–39–05. 4768	135–23–28. 7670	-149425. 610	-55794. 235	7. 971	9. 271	ボーリング No. 2
R1-No. 7-1	34-39-03. 1708	135–23–30. 9829	-149497. 006	-55738. 242	7. 591	8. 891	ボーリング No. 3
R1-No. 8-1	34-39-00. 4905	135–23–30. 7578	-149579. 558	-55744. 472	7. 688	8. 988	ボーリング No. 4
R1-No. 9-1	34-38-59. 2604	135–23–29. 5452	-149617. 274	-55775. 577	7. 570	8. 870	ボーリング No. 5

(0.P値=T.P値+1.300m)

基準点成果表

(AREA 6) 6

現準点の名称

2級基準点 2-26y-202

柱石長 縮尺係数 D.999938彡

級部 11.4万

平均方向角

1888スタティッグ店を

この測量成果は、国土地理院長の承認を得て同院所管の測量成果を使用して得たものである。シ (承認番号) 平30近公第44号 シ 平成26年4月1日付 標高改定対応済 ジ

基準点成果表

(AREA 6) 🐔

2級基準点 2-26y-203

-149323.277≥ 34 39 8,7774 / 135 23 24,6485 / -55898, 490 € fi 20 48, 30 🗐 H 8.691 柱石長 縮尺係数 0,999938シ 視準点の名称

平均方向角

驰 雛

2-26y-201

38 39 52.7%

679, 365 %

埋標形式 地 E

金属標

GNSSスタティック法 彡

この測量成果は、国土地理院長の承認を得て同院所管の測量成果を使用して得たものである。シ (承認番号)平30近公第44号 🗐 平成26年4月1日付 標高改定対応済 デ



測点ID	3600020	1					
測点名称	夢水	2	所在地	此花区	夢洲		摘要
測定年度	O. P. 標高(m)		備考		O.P.標高(m)	 変動量(mm)	備考
1956				1996			
1957				1997			
1958				1998			
1959				1999			
1960				2000			
1961 1962				2001 2002			
1962				2002			
1964				2003			
1965				2004			
1966				2006			
1967				2007			
1968				2008			
1969				2009			
1970				2010	8. 0051		新 設
1971				2011			
1972				2012	7. 8398	<i>-165. 3</i>	
1973				2013			
1974				2014	7. 6731	-1 <i>66. 7</i>	
1975				2015			
1976				2016	7. 5066	<i>−166. 5</i>	
1977				2017			
1978				2018	7. 4264	-80. <i>2</i>	
1979				2019			
1980				2020			
1981				2021			
1982				2022			
1983				2023			
1984 1985				2024 2025			
1985				2025			
1987				2020			
1988				2027			
1989				2029			
1990				2030			
1991				2031			
1992				2032			
1993				2033			
1994				2034			
1995				2035			
見取図		Гс		詳細図			
4		<u> </u>	G	4			
1+							
<i>()</i>		ī ₇				.1.7	
		/~ [}]		b			•:
ц	# *k2				^ -	* t	.
`	y 34.1				*2		
				ļ			

水 準 測 量 成 果 表

自 夢水2 至 2-26y-202 ()

高低差					<u> </u>		結 果	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
測点	I	<u>I</u>	平	均	観測の標高	補正数	結 果 O.P+	備	考
夢水2							7. 426	2018年	度成果
2-26y-202	+0.998	996	+0.	997	8. 423	0	8. 423		
2 20y 202					0.420		0. 420		
					-				
					-				

水 準 測 量 手 簿

自 標石 夢水2

至 標石 2-26y-202

(I)

令和 1 年 10 月 2 日

天候 晴

無風

器械 ソキア B20 標尺 アルミスタッフ N0.1,2 観測者 笹部

											則者 笹部		
番	号	距	離	後	視	前	視	高	+	<u>低</u> 	<u>差</u>	備	考
				n	n	r	m		m		m	夢水2	
	1		50		1. 123		1. 327			+-	0. 204	多小亿	
	2		52		1. 686		0. 792	<u> </u>	0.894	\vdash	0. 201	1	
	3		52		1. 734		1 398		0.336	T		1	
	4		51		1. 594		1. 622				0. 028	2-26y-202	
	_												
										<u> </u>			
		ļ								<u> </u>			
		<u> </u>								-			
										\vdash		1	
										+-		1	
										 		1	
												1	
]	
]	
												,	
										<u> </u>			
<u></u>								<u> </u>		<u> </u>			
_													
<u> </u>		-								-			
\vdash										1		•	
\vdash		-						<u> </u>		+		•	
						<u> </u>				+		1	
										\dagger		1	
										T		1	
]	
]	
										<u> </u>			
<u> </u>		<u> </u>				·		·		<u> </u>			
<u> </u>										 			
										-		-	
\vdash	₹⊓	-	205		6. 137		5. 139		1. 230	 	0. 232	•	
点	和 検		205 205	-	0. 10/		-0. 998		+0. 998	1	0. 232	-	
結結	<u>快</u> 果		410			<u> </u>	0. 990		0. 330		+0. 998	(Ⅱ)S.P.	
中口	木	<u>'</u>	110			+2				<u> </u>	- 0. 000	1	
		_			+	0.998				_			
		<u> </u>				0. 996				— •			
	夢	水2				J. 000				2-26	y-202		

水 準 測 量 手 簿

<u>自 標石 2-26y-202</u>

<u>至 標石 夢水2</u>

(II)

令和 1 年 10 月 2 日

天候 晴

無風

器械 ソキア B20 標尺 アルミスタッフ N0.1,2

観測者 笹部

						観測者 笹部		
番	号	距 離	後視	前 視	高 (<u>差</u>	備	考
			m	m	m	m		
							夢水2	
	1	51	1. 593	1. 565	0. 028			
	2	52	1.368	1. 705		0.337		
	3	52	0. 759	1. 651	0 005	0. 892	0.00000	
	4	50	1. 349	1. 144	0. 205		2-26y-202	
	和	205	5. 069	6. 065	0. 233	1. 229		
点結	検			-0. 996	-0. 996			
結	果					-0. 996	(I)S.P.	
<u> </u>								

Timeline for Construction of Type A Pavilion

< Previous description>

- The following dates, which were indicated in the construction and demolition guidelines, etc. have been communicated to the Official Participants to be considered as a guide. The deadline is only to be met at the opening of the Expo, and the following is a timeline as a guide to the opening of the Expo.
 - The 13th of July, 2024: Completion of constructions (construction of the structural framework of the building using large construction vehicles).
 - The 13th of January, 2025: Completion of renovation and interior work (completion inspection pursuant to Building Standards Act).

< Details of changes>

- As a result of a close examination of the installation process for each overseas pavilion, taking into account the increased efficiency of work through improvements to the construction environment, the following timelines as a guide are provided to supplement the 'Construction and Demolition Work Guidelines for Self-Built Pavilions (Type A)' and other guidelines.
 - By mid-January 2025 at the latest, completion of renovation and interior work (completion inspection pursuant to Building Standards Act).
 - Prior to this, the structural frame work (construction work) of the building should be completed by mid-October 2024 at the latest, using large construction vehicles, in view of the congestion caused by the installation work of parkways and other works in the Expo site planned for 2024 and the interior work expected to go into full swing to start in October of the same year.

However, timelines may vary depending on site conditions, and unavoidable restrictions on construction vehicle access times may apply due to installation work of parkways and other works in the Expo site. Access to each pavilion plot will be secured so that construction work can continue in each pavilion, but individual specific construction processes will be discussed and coordinated individually for each construction section.

Please be aware that, in principle, construction work should be carried out on each plot, and that there will be periods when it will be difficult to implement construction work in space outside the plot.

O In addition to the above works, we also request the exhibition works to be completed by
the time of the opening of the Expo in April 2025.
O It should be noted that renovation/interior work can be conducted in parallel with
exhibition work under the condition of obtaining temporary building use approval from the
City of Osaka.
(However, it is recommended that individual consultation with Osaka City be pursued at
an early stage to ensure a smooth procedure.)

Guideline for Lighting Design concerning Facility Implementation

< Abridged version >

GL5-2-1 June 2023



This Guideline has been prepared in view of the creation of 'New Night' in order to enable the Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan to represent a model vision for 2025 and beyond through its nightscape in keeping with the overall harmony of the Expo site intact during the evening and night hours in alignment with its theme 'Designing Future Society for Our Lives'. Lighting can influence people's moods with calming, exciting, and other effects. The year 2025 should mark a time when lighting evolves from just being a means to provide luminosity and become a purpose of carefully creating a light environment that facilitates sustainability for people and other forms of life, as well as the global environment, with a sense of gratitude for having this invaluable energy. The 'New Night' as a concept to be realised entails the creation of light environments that express universal respect for not only human beings but also the entire biodiversity and represent the hope for future society, by making artificial lights change through time like natural light does, and by carefully coordinating illuminated environments according to the time of the day. In order to attain this goal, detailed and easy-to-follow rules are provided as guidelines, addressing individual matters concerning lighting arrangements.

Areas to which this Guideline applies

Where Pavilion Plots are concerned, this Guideline applies to the setback zone and, where there is an opening, the internal area within 3 metres from the building's external wall line. Note, however, that the section on measures against light pollution, 'Preventing light leakage into the sky' applies to the entire Pavilion Plot area.



Control

Lighting equipment relevant to the exterior vertical luminance (illuminance), as well as digital signage, projection mapping, and other arrangements, must not emit the light that 'may adversely affects the flight' of an aircraft, as stipulated in the Civil Aeronautics Act (Act No. 231 of 1952). Similarly, light must not be emitted in such ways as it disturbs the considerations for visitors' physical needs and, also, uninterrupted visits at, and exhibition designs of, adjacent Pavilions. Lighting equipment shall be designed to keep in harmony with the adjacent environment by installing luminance (illuminance) adjusters or adopting dismountable lights so that brightness can be controlled in response to the Organiser's request in such cases as an excessive amount of light crosses the border with the adjacent plots or illuminates the sky, or the luminance (illuminance) level is deemed excessively high.

Guide1

- 1. Zero-% luminous flux *1 in the up direction (to protect the beautiful starry sky and eliminate energy wastage)
- 2. Control of the direct light that crosses the Plot border lines (control the cut-off line *2)
- 3. Full control over discomfort glare *3 (international-standard light etiquette)
- 4. Adoption of colour temperature *4 (up to 3,000 K, with some zones up to 2,800 K)
- *1 Luminous flux: a measure of psychologically registered physical quantity (perceived power) of light that expresses the brightness of entire light emitted from a light source in a given direction.
- *2 Cut-off line: the line along which the light emitted from lighting equipment is blocked

physically. This can be a cut-off line of the equipment itself or one created by installing a hood, louvre, board, etc.

- *3 Glare: the 'brightness' that interferes with clear vision, causing discomfort and difficulty of seeing.
- *4 Colour temperature: a parameter to describe the light appearance, where high colour temperatures designate white to blue-hued light appearance, and low colour temperatures refer to warm colours such as the light appearance of an incandescent light bulb.



Guide2

- 1. Brighten up the vertical surfaces and building walls facing the public zones (dramatically welcome visitors)
- 2. Control the lighting arrangements in expansive time slots (never fast-changing, extreme light effects)
- 3. Proactively introduce solar-powered lighting systems, especially ones with integrated lighting equipment (keeping sustainable future in mind)

4. Express radiant and dynamic life coherently with the buildings (enliven the Expo 2025 theme)



Recommended lig	Recommended lighting parameters by zones										
Zone	Colour temperatu	ıre	Average floor illuminance	Maximum average vertical luminance	Colour rendering						
Emotional zone	3,000 K lower	C or	150 lx or lower	400 cd/m ² or below	Ra 80 or above (except self-contained solar lighting*)						
Natural zone	3,000 K lower	C or	30 lx or lower	400 cd/m ² or below	Ra 80 or above (except self-contained solar lighting*)						
Backyard zone	3,000 K lower	C or	20 lx or lower	50 cd/m ² or below	Ra 80 or above (except self-contained solar lighting*)						
Quiet zone	2,800 K lower	C or	5 lx or lower	50 cd/m ² or below	Ra 80 or above (except self- contained solar lighting*)						

^{*}Self-contained solar lighting: lighting equipment with a solar generator and power storage device, requiring no external power source.

Lignes directrices relatives à la conception d'éclairage dans le cadre

de l'aménagement des installations

<Version extrait>

GL5-2-1 Juin 2023



Les présentes Lignes directrices ont pour objectif de favoriser l'harmonisation paysagère de l'ensemble du Site même durant la nuit et de proposer ainsi un « nouveau paysage nocturne » dans le cadre de l'Expo 2025 Osaka, Kansaï, Japon tenue sous le thème « Concevoir la société du futur, Imaginer notre vie de demain », qui pourrait être un exemple à suivre au-delà de 2025. En effet, l'éclairage a le pouvoir d'apaiser l'esprit des gens et de les encourager. En 2025, l'éclairage ne sera plus un simple moyen de distribution de la lumière : afin que les hommes, les autres êtres vivants et l'environnement planétaire soient durables, nous devons prendre soin de créer un environnement lumineux, tout en prenant conscience du caractère précieux de l'énergie. Le « nouveau paysage nocturne » que nous souhaitons créer est un environnement lumineux qui donne l'espoir pour une société du futur et témoigne le respect à l'ensemble de l'écosystème y compris les être humains, à travers une mise en scène soigneusement orchestrée par la lumière artificielle qui évolue dans le temps comme la lumière naturelle. Pour atteindre cet objectif, les présentes Lignes directrices définissent de manière détaillée des règles faciles à mettre en œuvre relatives aux éléments spécifiques sur l'éclairage.

Champ d'application des présentes Lignes directrices

Pour la Parcelle où se trouve le Pavillon, le champ d'application des présentes Lignes directrices couvre, en plus de la marge de recul, un espace allant jusqu'à 3 mètres vers l'intérieur à partir de la ligne du mur extérieur du bâtiment, s'il y a une ou des ouverture(s). Cependant, dans la section de la « Lutte contre la pollution lumineuse : réduction des fuites de lumière vers le ciel », toute la Parcelle entre dans le champ d'application des présentes Lignes directrices.



Contrôle

En ce qui concerne l'éclairage, l'affichage dynamique numérique et le mapping vidéo, etc., affectant la luminance (éclairement) verticale extérieure, aucune lumière « peuvant avoir un impact sur le vol » d'un aéronef visée par la Loi sur l'aviation civile (Loi n° 231 de 1952) ne doit être émise. De plus, aucune lumière nocive pour la santé physique des visiteurs, ou perturbant le bon déroulement de visite, ou encore affectant la présentation dans les Pavillons voisins ne doit être émise. Un éclairage réglable doit être choisi, notamment un appareil muni d'un équipement de réglage de la luminance (d'éclairement) ou une lampe amovible qui peut assurer l'harmonie avec l'environnement, afin d'être en mesure de régler, le cas échéant, la luminosité suivant la demande par l'Organisateur, lorsque celui-ci juge que ces obligations ne sont pas respectées notamment en raison d'une fuite de lumière trop importante vers le ciel ou les Parcelles voisines ou une luminance (un éclairement) trop forte.

Recommandation 1

- 1. Flux lumineux *1 ascendant 0% (préserver un beau ciel étoilé et éviter les pertes d'énergie)
- 2. Réduire la lumière directe qui dépasse la limite séparative de la Parcelle (régler la ligne de démarcation *2)
- 3. Réduire au maximum les éblouissements *3 gênants (pratique reconnue au niveau international en matière de lumière)
- Utiliser une température de couleur *4 relativement basse (inférieure ou égale à 3000 K ou, dans certaines zones, inférieure ou égale à 2800 K)

^{*1} Flux lumineux ··· Quantité physique (perçue par l'œil humain comme lumière) exprimant la luminosité de toutes les lumières émises par une source dans une direction.

- *2 Ligne de démarcation · · · Ligne délimitant physiquement la lumière émise par un appareil d'éclairage, qui peut être propre à l'appareil ou créée par la mise en place d'une hotte, persienne ou écran.
- *3 Éblouissements · · · Lumière aveuglante pouvant perturber la vision et provoquer une gêne.
- *4 Température de couleur · · · Une méthode pour caractériser la couleur de la lumière. Une température de couleur élevée correspond à une lumière blanche ou bleue ; une température de couleur basse correspond à une lumière perçue comme « chaude » telle que celle de l'ampoule.



Recommandation 2

1. Illuminer les surfaces verticales des installations et des bâtiments donnant sur la zone publique (accueillir les visiteurs de manière spectaculaire)

- 2. Régler l'illumination dans un laps de temps suffisamment long (une mise en scène excessive et trop rapide est strictement interdite)
- 3. Adopter autant que possible un système d'éclairage solaire, notamment un système intégré d'éclairage (dans la perspective d'un avenir durable)
- 4. Exprimer une vie rayonnante et dynamique avec des bâtiments illuminés (mettre l' accent sur le thème de l'Expo)



	ndée pour l'éclairag	ge par zone		
Nom de zone	Température de	Éclairement au	Luminance	Propriété de
	couleur	sol (valeur	verticale (valeur	rendu des
		moyenne)	maximale	couleurs
			moyenne)	
Zone émotionnelle	≤ 3000 K	≤ 150 lx	$\leq 400 \text{ cd/m}^2$	≥ Ra 80 (excepté l'éclairage solaire autonome*)
Zone naturelle	≤ 3000 K	≤ 30 lx	$\leq 400 \text{ cd/m}^2$	≥ Ra 80 (excepté l'éclairage solaire autonome*)
Zone BoH	≤ 3000 K	≤ 20 lx	$\leq 50 \text{ cd/m}^2$	≥ Ra 80 (excepté l'éclairage solaire autonome*)
Zone tranquille	≤ 2800 K	≤ 5 lx	$\leq 50 \text{ cd/m}^2$	≥ Ra 80 (excepté l'éclairage solaire autonome*)

^{*}Éclairage solaire autonome · · · appareil d'éclairage muni des dispositifs de production et de stockage d'énergie solaire qui ne nécessite pas d'alimentation électrique.

Guideline for Lighting Design concerning Facility Implementation



Table of Contents

1. Intro	duction		1			
1-1	Purpos	se of this Guideline	1			
1-2	2 About the Lighting of 2025					
1-3	3 Electric energy overview					
1-4	World	standards and conventions concerning lighting practices	6			
2. Arra	ngemer	nts of this Guideline	6			
2-1	Guide	and Control	6			
2-2	Lightin	g design zoning on Expo site	7			
2-3	Ensuring responsible outdoor lighting					
	2-3-1	Light pollution [Preventing light leakage into the sky]	8			
	2-3-2	Light pollution [Preventing light from crossing into adjacent plots]	11			
	2-3-3	Colour temperature	12			
	2-3-4	Control over discomfort glare	12			
2-4	Aiming	to create nightscapes of higher degrees of perfection	12			
	2-4-1	Recommendation on illuminating vertical surfaces	12			
	2-4-2	Approaches to illumination shows on facades	13			
	2-4-3	Recommendation on time-programmed lighting arrangements	14			
	2-4-4	Recommendation on proactive use of the self-contained solar lighting system	14			
	2-4-5	Paying attention both to light and shadow	14			
3. F	Referen	ces	15			
Cor	ntact		16			

Definitions of abbreviations, acronyms, and units

Abbreviation/acronym	Full form			
CIE	International Commission on Illumination (Commission Internationale			
	de l'Eclairage)			
Unit symbol	Unit name			
K	Kelvin			
lx	Lux			
cd/m2	Candela per square metre			
Ra	Ra			
m	Metre			
Term	Definition			
Expo 2025	Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan (Expo 2025 for short)			
Illuminance	Par-unit-area proportion of luminous flux incident (from all directions)			
	on a minute area that includes a given point defined on a surface. Unit:			
	lux (lx)			
Luminance	Proportion of the amount of luminous flux which passes through a			
Lammanoo	minute area that includes a given point on a light-emitting surface, light-			
	receiving surface, or a section plane of the light's projection path			
	against the unit area on an orthogonal projection plane perpendicular to			
	the direction of the projection or the unit solid angle. Unit: candela per			
	square metre (cd/m2)			
Luminous flux	A measure of psychologically registered physical quantity (perceived			
	power) of light that expresses the brightness of entire light emitted from			
	a light source in a given direction. Unit: lumen (lm)			
	The amount of radiant flux obtained based on the CIE spectral			
	luminous efficiency for photopic vision and maximum luminous			
	efficiency function. Unit: lumen (Im)			
Public area	The area other than Pavilion Plot.			
Colour temperature	"The temperature of a black body which emits radiation whose			
'	chromaticity is equal to that of the applied stimulation.			
Colour rendering	Colour rendering refers to the properties of light sources that determine			
	how an object appears chromatically when illuminated by the light			
	source.			
Glare	Glare refers to the 'brightness' that interferes with clear vision, causing			
	discomfort and difficulty of seeing.			
	"A state in which discomfort results from an inappropriate luminance			
	distribution or values within a field of view, or extreme contrast, or			
	otherwise which causes to diminish the ability to see small details or			
	the viewing target itself.			
Building exterior wall	A line that indicates the surface of an exterior wall or a column that			
line	replaces the exterior wall of a building.			
Beam angle	The beam angle indicated in lighting equipment specifications refers to			
	the dispersion of light emitted by directional lighting equipment, such as			
	a spotlight, downlight, and floodlight. In general, there are several			
	grades, such as 1/2 and 1/10, which refer to the angle between two			
	points: one at which the luminosity is a half or one-tenth of the			
	maximum luminosity and the other at the centre of the beam. Where it			
0 / ""	is only marked as beam angle, it usually refers to the half beam angle.			
Cut-off line	The line along which the light emitted from lighting equipment is			
5	blocked physically.			
Direct light	The light that directly illuminates. The light that is directed intentionally.			
Exterior light	Lights installed to illuminate the plot area outside a building and the			
Ch anda	structures erected therein.			
Short wavelength	The definition given in the JIS Z8120 standard is that the visible light in			
	terms of the range of electromagnetic wavelength corresponding to			

	visible light which is between appr	evimetaly 260 to 400 pm on the			
	visible light, which is between approximately 360 to 400 nm on the short wavelength side and 760 to 830 nm on the long wavelength side.				
Facade	Front side of a building that faces streets and squares. Side or rear				
. 46446	surfaces may also be called facade				
	building's exterior appearance.				
Vertical surface	A surface that is perpendicular to a horizontal plane.				
Maximum average		The maximum value of the average luminance on a given surface.			
luminance		3			
Fade time	A duration of time during which ligh	t is gradually increased or			
	decreased in intensity, or light appearances gradually change.				
Evening/twilight		(2)b. A distinction between day			
	100 20011 04.001	and night. In modernity, a day is			
	6/2 2 3	divided into two segments, gozen			
	1 221 A 221	(or forenoon), from midnight (zero			
	19 45 Ja 2 4 1 10 1	hour before noon) to midday (zero			
	The Landy	hour after noon), and gogo (or			
		afternoon), from midday to			
		midnight; these are further divided			
	B. L. J. L. J. A.	each into 12 (or the whole day into			
	A TO THE TOTAL OF THE PARTY OF	24). In premodern time, a system			
	J. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	based on zodiac hours was widely			
		in use. In this system, midnight			
	101 11	was assigned with the number 9, which descended by each hour			
		down to 4, followed by midday,			
		which was again the 9th hour,			
		proceeding down to 4 toward			
		midnight. Hours were also			
		associated with geographical			
		directions, divided into 12 and			
		represented by 12 zodiac signs			
		(the hour over midnight was the			
		hour of rat; another approach was			
		to assign the hour of rat to the			
		period from midnight to 2 o'clock			
		in the morning), further dividing			
		one unit hour into the first and			
		second halves, or into quarters.			
		Later, three-part division came in			
		use to divide one unit hour into the			
		first, middle, and last stretches of			
		the hour. Commoners, meanwhile,			
		adopted a version which divided			
		between day and night by the			
		sun's rising and setting hours,			
		which were set as the sixth hour,			
		then each day and night was			
		divided into six even segments,			
	(under 'time' in the Keijen (third	thus the hours differing in length relative to the seasons. Also			
	(under 'time' in the Kojien (third edition))	'jikoku' (time of clock) or 'kokugen'			
	Caldon))	(time).			
		_ (uille).			

1. Introduction

1-1. Purpose of this Guideline

This Guideline has been prepared in view of the creation of 'New Night' in order to enable the Expo 2025 to represent a model vision for 2025 and beyond, through its nightscape in keeping with the overall harmony of the Expo venue intact during the evening and night hours in alignment with its theme 'Designing Future Society for Our Lives'.

Lighting can influence people's moods with calming, exciting, and other effects. The year 2025 should mark a time when lighting evolves from just being a means to provide luminosity and become a purpose of carefully creating a light environment that facilitates sustainability for people and other forms of life, as well as the global environment, with a sense of gratitude for having this invaluable energy. The 'New Night' as a concept to be realised entails the creation of light environments that express universal respect for not only human beings but also the entire biodiversity and represent the hope for future society, by making artificial lights change through time like natural light does, and by carefully coordinating illuminated environments according to the time of the day.

In order to attain this goal, detailed and easy-to-follow rules are provided as guidelines, addressing individual matters concerning lighting arrangements.

1-2. About the Lighting of 2025

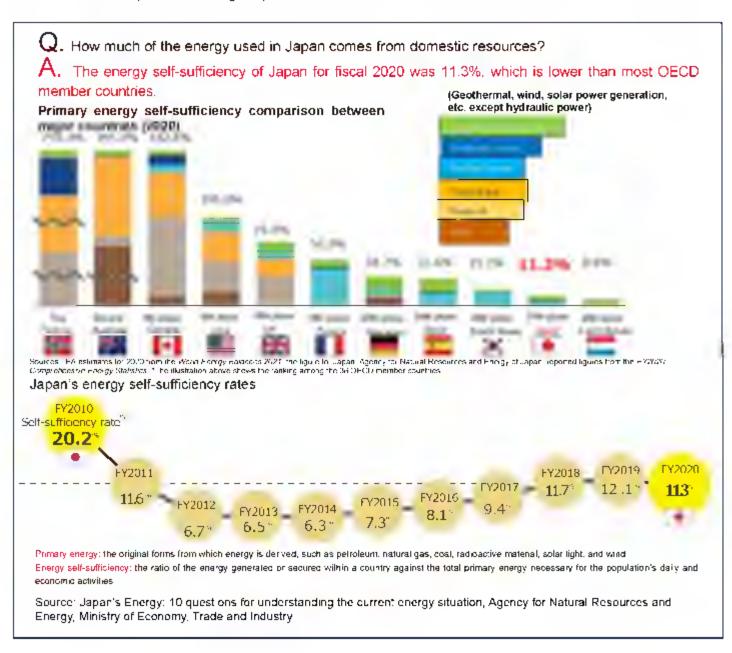
The history of light tells us that, for the first several millennia of humankind, people spent night hours by the light of a bonfire. Light sources subsequently evolved, changing types of fuels from oil and wax to gases.

Electric light was invented in the 19th century, when the Edison's lightbulbs illuminated the site of the 1881 Paris Exposition. The 1939 New York World's Fair introduced the first fluorescent light, and the city's subsequent World's Fair in 1964 exhibited discharge lamps, xenon arc lamps, and other non-combustion light sources. These marked remarkable improvement of luminous intensity of lighting equipment. The most recent benchmarking point in the history of lighting technology is the invention and wide diffusion of light-emitting diode (LED) in the 21st century. As the light sources developed, people also expected the development of indirect lighting techniques and architectural lighting design as a means to make intentional light distributions in a given space. Lighting not only provides light for safety and security, but also plays a role in offering healing effects, enhancing the physical and psychological wellbeing by regulating the biorhythm of the human body.

At the Expo 2025 site, lighting designs are expected to express radiant and dynamic life, coherent with the architectural designs, in alignment with the Expo theme 'Designing Future Society for Our Lives.'

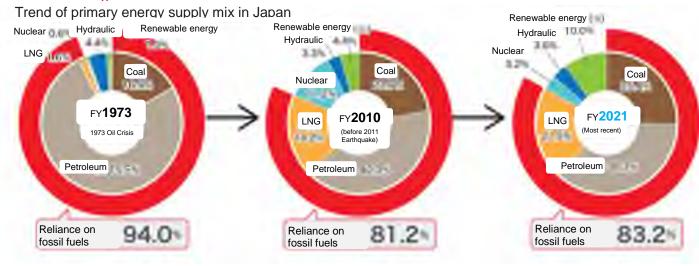
1-3. Electric energy overview

Japan's energy self-sufficiency rate is 11.3% (in 2020), ranking low in the world table at the 37th place. The country, however, heavily relies on fossil fuels, accounting for 83.2% of primary sources in FY2021, and most of it is procured through importation.



Q. What types of energy are used in Japan?

A. Japan heavily relies on imported fossil fuels, including petroleum, coal, and natural gas (LNG). The reliance on fossil fuels has intensified following the 2011 Great East Japan Earthquake, recording 83.2% in FY2021.



Source: Agency for Natural Resources and Energy, provisional figures from the FY2021 Comprehensive Energy Statistics

Source: Japan's Energy: 10 questions for understanding the current energy situation, Agency for Natural Resources and Energy, Ministry of Economy, Trade and Industry

Countries and territories that have declared their carbon neutral goals



- >Countries/territories aiming to attain carbon neutrality (CN) by 2050*1): 145
- >Their CO₂ footprint accounts for 40.0% of the world's total CO₂ emissions (actual figure for FY2018*2)
- >In addition, an increasing number of countries are setting their CN goals, such as China (32.0%), Russia (2.5%), Indonesia (2.2%), and Saudi Arabia (2.0%) among others, pledging to achieve CN by 2060, and India (2.7%) by 2070. (The ratio of the CO₂ footprint of these countries against the global emissions: 89.4%)
- Countries declaring CN to be attained by 2050 (144 including Japan)
- Countries declaring CN to be attained by 2060
- Countries declaring CN to be attained by 2070
 - *1 Data prepared by the Ministry of Economy, Trade and Industry (as of the 9th of November 2021) by tallying the (1) Climate Ambition Alliance member countries and (2) countries that made their CN by 2050 pledges through the long-term strategies submitted to the United Nations or otherwise expressed their such intentions at the 2021 Leaders Summit on Climate held in April or COP26.
 - *2 The CO₂ footprint only covers the energy-related emissions calculated based on IEA's CO₂ Emissions from Fuel Combustion (2020).

Source: Japan's Energy: 10 questions for understanding the current energy situation, Agency for Natural Resources and Energy, Ministry of Economy, Trade and Industry

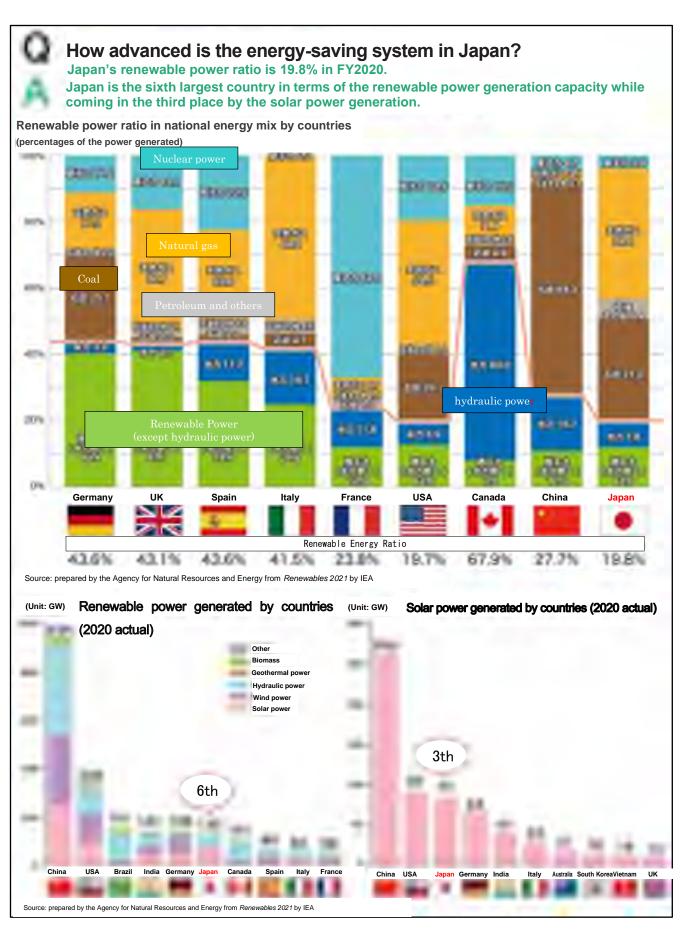
Meanwhile, as part of actions against global climate change and global warming, 145 countries and nations, including Japan, have pledged to attain carbon neutrality by 2050. Hopeful energy sources of the future are renewable energies (solar, wind, geothermal, and biomass power generation), and these

^{*}The total may not amount to 100% due to the rounding below decimal point.

^{*}The renewable energy (geothermal, wind, solar power generation, etc. except hydraulic power) includes the potential energy.

are entering the mainstream, helped by innovations in power storage technology. As of 2020, renewable power generation represents only 19.8% of the total power generated in Japan, but much improvement is expected in view of the figures from other countries, such as Germany, Spain, and Canada, where renewable energy accounts for 43.6%, 43.6%, and 67.9%, respectively.

In Japan, lighting consumes 15-20% of the total power generated, and we can no longer afford to unconditionally allow brightly lit evening events such as local festivals as we used to.



Source: Japan's Energy: 10 questions for understanding the current energy situation, Agency for Natural Resources and Energy, Ministry of Economy, Trade and Industry

1-4. World standards and conventions concerning lighting practices

Lighting practices differ across the world as social infrastructure is different in each country. However, most developed countries follow guidelines and general rules provided by the International Commission on Illumination (CIE) and the Illuminating Engineering Society of North America (IES/NA). The American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers (ASHRAE), meanwhile, provides ASHRAE Standards, which prescribe energy use intensity index applicable to air-conditioning and lighting. The green building certification program LEED uses the ASHRAE Standards as one of the evaluation references. Scores are given according to the extent to which the lighting energy use intensity falls below the standards, and the environmental performance is rated by the certification levels of platinum, gold, silver, and so on. One of the international organisations for environmental conservation, the International Dark-Sky Association, takes leadership in preventing the light leakage into the night sky and preserving the night with star-twinkling skies. They also pay attention to the colour temperatures of artificial lights at night time, promoting low colour temperatures for the wellbeing of all living things.

2. Arrangements of this Guideline

2-1. Guide and Control

For the realisation of the 'New Night' that offers beautiful night skies without superfluous consumption of the finite energy, the site of Expo 2025 shall have arrangements that allow visitors to stay comfortably while the illuminance on the floor is set low. To aid its realisation, specific guidelines are provided in the following to promote lighting designs with ingenious luminance distributions.

The public area is designed with human-centric lighting, keeping the illuminance and colour temperature low and eliminating discomfort glare while also paying attention to colour rendering. For the lighting designs in the Pavilion Plot areas, it is desirable that the points shown as Guides in this Guideline are adopted proactively. Where the adoption of Guides is not practically possible, the minimum requirement is to conform at least to the mandatory points. Regarding the Pavilion Plot areas, this Guideline is applicable to the setback zone (refer to '3-2. Planning Conditions' in the Design Guidelines for Type A (Self-Built) Pavilions) and, where the building has an opening, the internal area within 3 metres from the building's external wall line.

Note, however, that C-01 and the provisions under '2-3-1. Light pollution [Preventing light leakage into the sky]' shall apply to the entire Pavilion Plot area.

Note also that the self-contained solar lighting equipment of less than 10 lm output capacity per unit is exempt from usage restrictions provided that due consideration is given for the neighbouring environments.

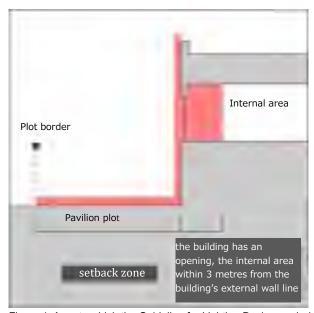


Figure 1. Area to which the Guideline for Lighting Design apply (marked in red)

Each Guide and Control is indicated with an alphanumeric code as follows: G-00 (Guide) describes recommendations that are preferred to be adopted. C-00 (Control) describes requirements that are mandatory.

2-2. Lighting design zoning on Expo site

On the Expo 2025 site, Pavilion Plot areas are assigned with 4 types of lighting design zones according to the characteristics of the space use. Recommended parameters are shown below for each lighting design zone to guide toward the realisation of the 'New Night,' that ensures the consideration for the global environment and well-balanced lighting for relaxing and energising people.

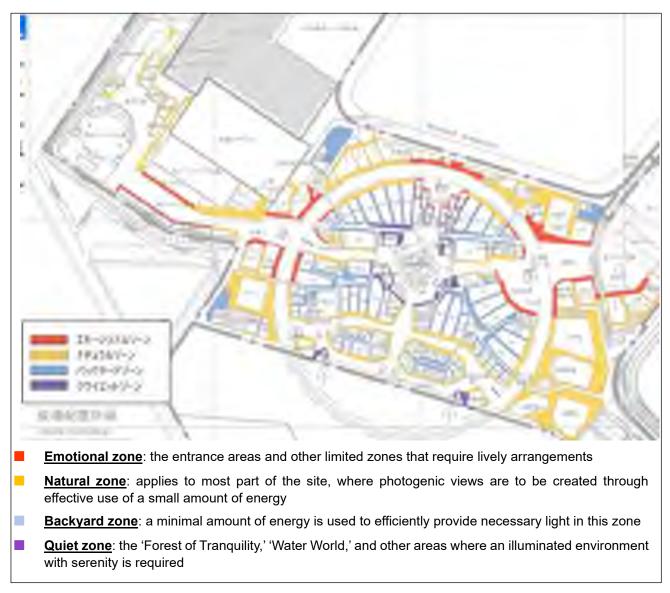


Figure 2. Lighting design zones of Expo site

**Please note that the zoning has been altered and not identical with that illustrated in the Guideline for Lighting Design concerning Facility Implementation Abridged version .

G-01 It is desirable that lighting designs for each zone in terms of colour temperature, average floor illuminance, maximum average vertical luminance, and colour rendering are planned according to the following:

Zone	Colour temperature	Average floor illuminance	Maximum average vertical luminance	Colour rendering
Emotional zone	3,000 K or lower	150 lx or lower	400 cd/m ² or below	Ra 80 or above
Natural zone	3,000 K or lower	30 lx or lower	400 cd/m ² or below	(except self-contained solar lighting)(*1)
Backyard zone	3,000 K or lower	20 lx or lower	50 cd/m ² or below	
Quiet zone	2,800 K or lower	5 lx or lower	50 cd/m ² or below	

Figure 3. Recommended lighting parameters for each designated zone for the realisation of the 'New Night'

(*1) <u>Self-contained solar lighting</u>: lighting equipment with a solar generator and power storage device, requiring no external power source.

2-3. Ensuring responsible outdoor lighting

C-01 Lighting equipment relevant to the exterior vertical luminance (illuminance), as well as digital signage, projection mapping, and other arrangements, must not emit the light that may 'adversely affect the flight' of an aircraft, as stipulated in the Civil Aeronautics Act (Act No. 231 of 1952). Similarly, light should not be emitted in such ways as it disturbs the considerations for visitors' physical needs and, also, uninterrupted visits at, and exhibition designs of, adjacent Pavilions. Recommended values of luminance.
Lighting equipment shall be designed to keep in harmony with the adjacent environment by installing luminance (illuminance) adjusters or adopting dismountable lights so that brightness can be controlled in response to the Organiser's request in such cases as an excessive amount of light crosses the border with the adjacent plots or illuminates the sky,

G-02 It is desirable to design the lighting in keeping with the adjacent environments.

or the luminance (illuminance) level is deemed excessively high.

2-3-1. Light pollution [Preventing light leakage into the sky]

G-03 It is desirable to control the direct light from lighting equipment so that it is not leaked into the night sky, as it amounts to unnecessary consumption of lighting energy and also because lighting up the sky purposelessly can adversely affect the ecosystem. Due attention shall be paid to the selection of lighting equipment as illustrated in Figures 4 to 6. It is also desirable that the lighting equipment adopts light-emitting styles taking into account the cut-off lines (Figure 7) of the emitted light (Figure 8).

However, self-contained solar lighting equipment of less than 300 lm output capacity per unit used for spotlighting is allowed to be directed upwards for purposes such as illuminating flowers.

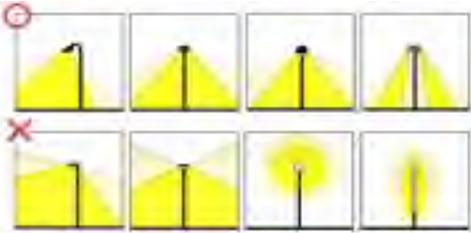


Figure 4. Recommended and non-recommendable lighting equipment by light distribution patterns [pole lights]

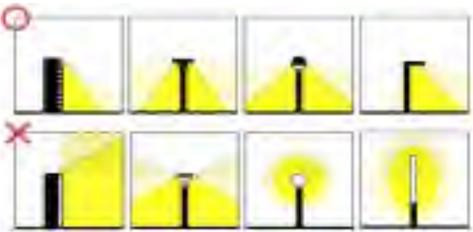


Figure 5. Recommended and non-recommendable lighting equipment by light distribution patterns [bollard lights]

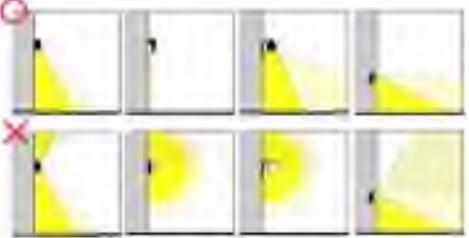


Figure 6. Recommended and non-recommendable lighting equipment by light distribution patterns [bracket lights/foot lights]

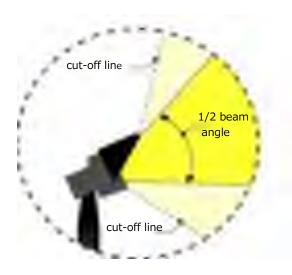
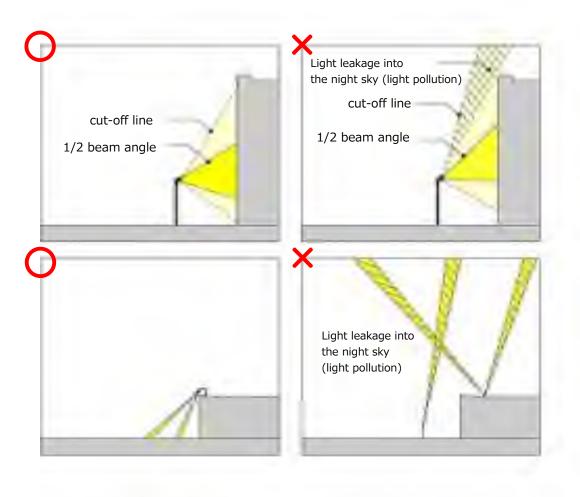


Figure 7. Illustration of cut-off lines of the light emitted by lighting equipment



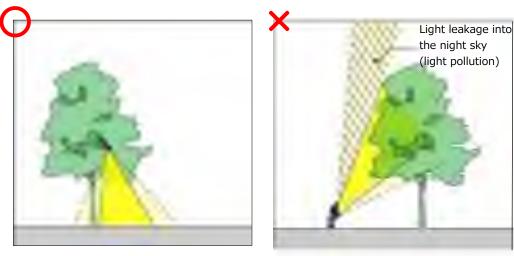


Figure 8. Directions of light emission without light leakage into the sky (left) and with light leakage (right)

2-3-2. Light pollution [Preventing light from crossing into adjacent plots]

G-04 It is desirable that the direct light from lighting equipment is controlled not to cross the plot borders (Figures 9,10 and 11).

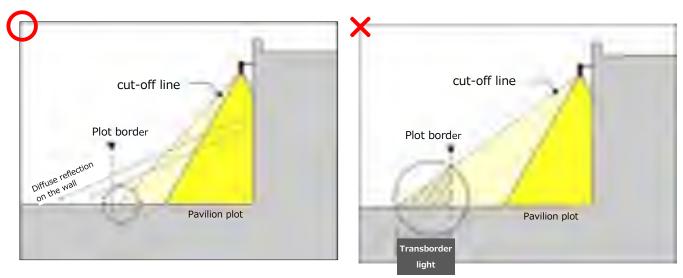
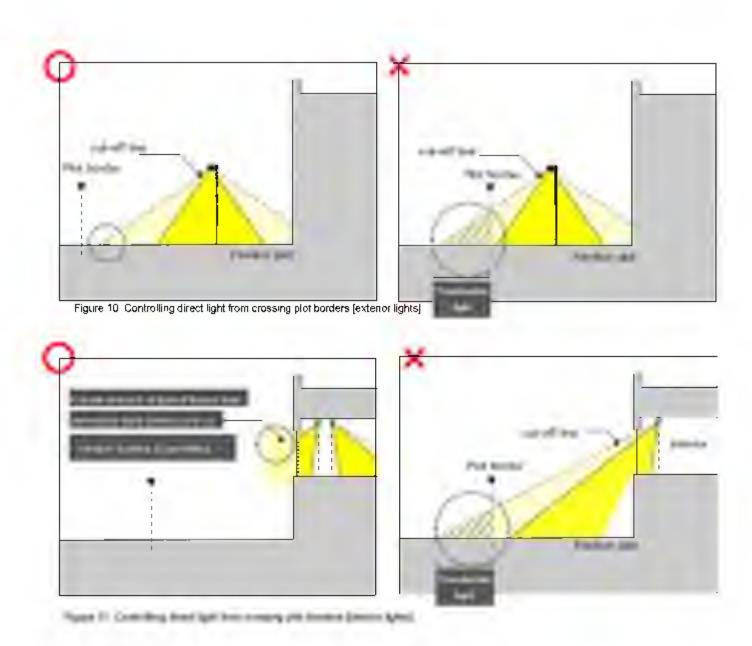


Figure 9. Controlling direct light from crossing plot borders [lights on facades]



2-3-3. Colour temperature

G-05 In consideration of the impact on the night-time circadian rhythm and the effects of short-wavelength lights diffused in night skies, the selection of lights shall be based on low colour temperatures.

2-3-4. Control over discomfort glare

G-06 Discomfort glare should be controlled. The human eye is an organ highly adaptive to the environment, thus it can see quite well under conditions of low illuminance, provided that there are no glaring disturbances. When exposed to extreme brightness or dazzling light, the pupil contracts, which means that the eye needs more light to see. This will hinder the creation of illuminated environments that express universal respect for not only human beings but also the entire biodiversity, as set forth by the concept 'New Night.'

2-4. Aiming to create nightscapes of higher degrees of perfection.

2-4-1. Recommendation on illuminating vertical surfaces

G-07 It is desirable that the facades in the Pavilion Plot area that are visible from the public area are proactively illuminated by 'lit-up windows' and 'lighting on vertical surfaces' to create a dramatic welcoming ambience for visitors. It is also desirable to use lighting arrangements proactively, and within the maximum average vertical luminance levels assigned to each lighting design zone, to serve as components for creating an overall impression of brightness across the entire site.

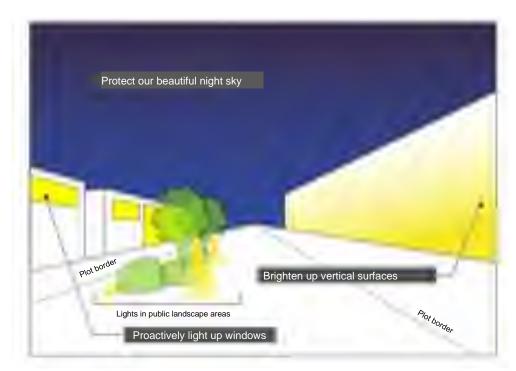


Figure 12. Proactive illumination of vertical surfaces while protecting beautiful night skies is recommended



Figure 13. Example of a public space with lit up vertical surfaces: the Grand Place (Brussels, Belgium)

2-4-2. Approaches to illumination shows on facades

G-08 It is desirable that illumination shows projected on facades (*2) are organised with due consideration given for avoiding disruptions to the illuminated environments in the surrounding areas. It is desirable that these are planned in compliance with the points

described in '2-3. Ensuring responsible outdoor lighting.'

(*2) **Illumination shows projected on facades**: choreographed display of light with a fade time of less than 10 seconds.

2-4-3. Recommendation on time-programmed lighting arrangements

- G-09 By programming lighting arrangements to change over periods of time, it is possible not only to create attractive night views according to the time of the day, but also to appropriately control the energy consumption. The following 4 programmes are applied to the arrangements in the public area. It is desirable that lighting programmes for the Pavilion Plot area are also based on these.
 - <u>Evening</u>: lighting arrangements for the period after the sunset until 8 p.m., for staging the beginning of the New Night
 - <u>Twilight</u>: lighting arrangements between 8 p.m. and 10 p.m., reducing the energy consumption from the Evening programme
 - <u>Special</u>: lighting arrangements for special occasions, such as programmed events, approved by the Organiser of the World Expo 2025
 - <u>Emergency</u>: precautionary lighting arrangements for assisting emergency evacuation in case of natural disasters and other emergency situations

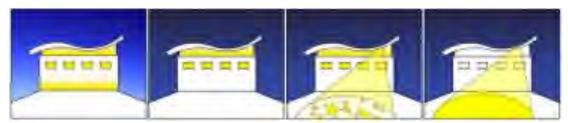


Figure 14. Illustration of lighting programmes: from left to right; Evening, Twilight, Special, and Emergency

2-4-4. Recommendation on proactive use of the self-contained solar lighting system

- G-10 It is desirable to proactively adopt self-contained solar lighting systems with built-in solar generation units as a sustainable lighting solution without the need for external power sources. These offer advantages not only in terms of energy, but also in ensuring continued lighting at the time of power outage due to natural disasters. For the purpose of encouraging proactive introduction of self-contained solar lighting system on the site of Expo 2025, exceptional measures are applicable to the adoption of this system as follows: [Exceptional measures applicable to the adoption of self-contained solar lighting system]
 - 1. Exemption from the application of recommended colour rendering values.
 - 2. No restrictions on spotlights of less than 300 lm output capacity per unit in terms of the upward lighting for purposes such as illuminating flowers.
 - 3. No restrictions on the use of lighting equipment of less than 10 lm output capacity per unit as long as due consideration is given for the neighbouring environments.

2-4-5. Paying attention both to light and shadow

G-11 Japan enjoys a lighting culture that traditionally appreciates the light of finite energy by adding aesthetic arrangements created by shadows. For the purpose of creating the 'New Night,' it is desirable to aim for highly refined nightscapes by paying attention both to light and shadow.



Figure 15. 'Kakitate' (an object used as a weight to stabilise a wick of an oil lamp), Tokaido Akari no Museum



Figure 16. Light projection using silhouette, GREEN SPRINGS

3. References

The documents and materials quoted or referenced for the preparation of this Guideline are as follows:

- Ministry of the Environment: Guidelines for Countermeasures against Light Pollution (Revised Version, March 2021)
- Tokyo Metropolitan Government: Guidebook for architectural planning to create good night views (August 2019)
- Osaka City Government: Discussion on Policies Concerning Nighttime Cityscape (2018)
- City of Yokohama: Guidelines for the Creation of Nighttime Landscape in Urban Bay Area (March 2022)
- Water and air Dept., Environmental Div., Nagano Prefecture: Policies on Specific Initiatives to Prevent Light Pollution (March 2022)
- Civil Aeronautics Act (amended on the 21st of December, 2016)
- Ministry of the Environment: Guidelines for Environmental Considerations in relation to Solar Generation (March 2020)
- Osaka Prefectural Government: Osaka Prefectural Ordinance for Enforcement of the Outdoor Advertisement Act (enforced on the 1st of April, 2020)
- U.S. Green Building Council: LEED v4.1
- International Dark-Sky Association: Five Principles for Responsible Outdoor Lighting
- International Commission on Illumination (CIE): http://cie.co.at/ (accessed on the 31st of August, 2022)
- Expo 2025 Design Guidelines for Type A (Self-Built) Pavilions (June 2022)
- Expo 2025 Revised Universal Design Guidelines for Facility Implementation (for Official Participants' use) (June 2022)
- Agency for Natural Resources and Energy, Ministry of Economy, Trade and Industry: Japan's Energy:
 10 questions for understanding the current energy situation (published in February 2021)
 (Trends of energy self-efficiency, countermeasures against global warming-carbon neutrality, introduction of renewable energy)
- Agency for Natural Resources and Energy, Ministry of Economy, Trade and Industry: Japan's Nuclear Policies: situations with the domestic nuclear power stations (viewed on the 23rd of August, 2022)
- Japan International Association of Lighting Designers: https://ialdjapan.jp/ (accessed on the 31st of August, 2022)
- International Dark-Sky Association: https://www.darksky.org/ (accessed on the 31st of August, 2022)
- Ministry of Economy, Trade and Industry: Energy-efficient and energy-saving programmes of summer for households (June 2022)
- Japan Center for Climate Change Actions: Breakdown of household power consumption (fiscal 2021)
- Izuru Shinmura (ed.): Kojien (third edition), Iwanami Shoten (December 1983)

Contact

The Official Participants can send inquiries concerning the content of this Guide or uncertainties concerning procedures to the Organiser using the Queries function in the online portal for the Official Participants.

If you have any trouble using the online portal for the Official Participants, please contact us by email to; participant@expo2025.or.jp



Lignes directrices relatives à la conception d'éclairage dans le cadre de l'aménagement des installationsignes



Sommaire

Définition des sigles, des acronymes, des unités et des termes

		if des présentes Lignes directrices			
	Vision de l'éclairage en 2025				
	Aperçu sur l'énergie électrique				
		s internationales et connaissances communes sur l'éclairage			
2. Struct	ture des	présentes Lignes directrices	6		
2-1	« Guid	e » et « Contrôle »	6		
2-2	Zonage	e pour la conception d'éclairage sur le Site	7		
		éclairage extérieur responsable			
	2-3-1	Lutte contre la pollution lumineuse : réduction des fuites de lumière vers le ciel	8		
	2-3-2	Lutte contre la pollution lumineuse : réduction des fuites de lumière vers les Parcelles voisines	1		
	2-3-3	Température de couleur			
	2-3-4	Réduction des éblouissements gênants	12		
2-4	Pour un	meilleur paysage nocturne			
	2-4-1	Recommandation: illumination sur les surfaces verticales	12		
	2-4-2	Conception des spectacles de lumière sur les façades			
	2-4-3	Recommandation : mise en scène orchestrée par la lumière qui évolue dans le temps			
	2-4-4	Recommandation : choix privilégié du système d'éclairage solaire autonome			
	2-4-5	Mettre l'accent sur le contraste entre la lumière et l'obscurité.			
3. Référ	ences et	citations	14		
Contact	t		16		